

**西条市のまちづくりに関する
市民意向調査報告書
【都市計画マスタープラン
及び
立地適正化計画】**

令和 7 年 3 月

西 条 市

都 市 計 画 課

目 次

1	調査の概要	1
	（１）調査の目的	1
	（２）調査概要	1
2	調査結果（概要）	2
	（１）基本属性	2
	（２）身近な施設の利用状況について	2
	（３）西条市の生活環境について	2
	（４）定住意向について	3
	（５）西条市が目指すまちづくりについて	3
	（６）防災・減災の取組について	3
	（７）今後のまちづくりについて	4
3	調査結果（詳細）	5
	（１）基本属性	5
	（２）身近な施設の利用状況について	18
	（３）西条市の生活環境について	58
	（４）定住意向について	62
	（５）西条市が目指すまちづくりについて	72
	（６）防災・減災の取組について	98
	（７）今後のまちづくりについて	102
4	調査票	105
	（別添資料）コンパクト・プラス・ネットワークについて	120

1 調査の概要

(1)調査の目的

生活環境に対する満足度や土地利用上の問題点など、市民の住みやすさに対する問題意識、まちづくりの方向に対する意向等を把握し、「西条市都市計画マスタープラン」と「西条市立地適正化計画」の見直しを行う際の基礎資料とするために実施しました。

(2)調査概要

① 調査対象

西条市内居住者（18 歳以上） 2,000 名（層化抽出法：性別・年齢別）

② 調査方法

- ・調査票（紙媒体）の郵送配布・回収
- ・インターネット（LoGo フォーム）による回答

③ 調査期間

令和 6 年 10 月 25 日（金）から 11 月 15 日（金）

④ 調査項目

- ・基本属性（問 1～問 2）
- ・身近な施設の利用状況について（問 3～問 6）
- ・西条市の生活環境について（問 7）
- ・定住意向について（問 8～11）
- ・西条市が目指すまちづくりについて（問 12～22）
- ・防災・減災の取組について（問 23～24）
- ・今後のまちづくりについて（問 25）
- ・自由意見（問 26）

⑤ 調査票の回収状況

項目	回収結果
配布数（A）	2,000 票
返戻数（B）	0 票
有効配布数（C=A-B）	2,000 票
回収数（D）	777 票 （紙：504 票、web：273 票）
無効票数（白票）（E）	0 票
有効回収数（F=D-E）	777 票
有効回収率（G=F/C）	38.85%

⑥ 集計結果

- ・回答者数に対する割合（％）を示しているが、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合があります
- ・集計結果のグラフや表の見出し及び本文中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります
- ・質問ごとに指定する選択数以上の回答があった場合など、無効となる回答については、無回答に含めて集計しています

2 調査結果(概要)

(1)基本属性

- 小学生以下の子どもがいる回答者は約 25%、65 歳以上の同居人がいる回答者は約 30%
- 西条市に 20 年以上居住している方が 7 割以上
- 住戸は「持ち家 1 戸建て」が 7 割以上
- 9 割以上が自家用車を保有しており、約 8 割がほぼ毎日利用する

(2)身近な施設の利用状況について

- ①食料品や飲料などの日用品の買い物
 - 9 割以上が市内の店舗を利用
 - 約 9 割が自家用車を利用し、アクセス性は約 5 割が満足であると回答
 - 約 9 割がほぼ毎日～1 週間に数回程度利用
- ②衣料品、家具・家電や趣味品などの買い回り品の買い物
 - 約 6 割が市内、約 3 割が近隣市（新居浜市、今治市、松山市）の店舗を利用
 - 約 9 割が自家用車を利用し、アクセス性は約 4 割が満足であると回答
 - 約 5 割が 1 か月に数回程度利用
- ③かかりつけの病院や診療所
 - 約 8 割が市内の施設を利用（西条地区内の施設が比較的多い）
 - 約 9 割が自家用車を利用し、アクセス性は約 5 割が満足であると回答
 - 約 6 割が 1 年に数回程度利用
- ④高齢者福祉施設・障がい者福祉施設など
 - 1 割未満ではあるものの市内の施設を利用
 - 利用者は自家用車又は施設の送迎等により移動

(3)西条市の生活環境について

- 「総合的にみた西条市の暮らしやすさ」をはじめ、「緑・水等の自然環境」や「住まい（住宅）の満足度」、「上水道・簡易水道の整備状況」等で満足度が高くなっている一方、「バスや鉄道などの公共交通の便」等は満足度が低くなっている
- 地域別にみると、丹原地域では「バスや鉄道などの公共交通の便」のほか「スポーツ・レクリエーション施設の整備状況」や「医療施設や救急医療体制の整備状況」、「インターネットなどの情報環境」、「幼稚園、小・中学校、高等学校などの教育環境」など、満足度が低い項目が多い
- 年齢別にみると、10～20 歳代・40 歳代・70 歳代以上で満足度は比較的高い項目が多いものの、50 歳代・60 歳代で満足度が低い項目が多い

(4)定住意向について

- 西条市に住んでいるきっかけは、「西条市で生まれ育ったから」、「結婚・出産」など
- 約7割が「今後も住み続けたい」という意向がある一方、10～20歳代は「現時点ではわからない」という回答も多い
- 住み続けたい理由は「住環境に満足している」や「日常の買い物をする施設が充実している」が挙げられている一方、引っ越したい理由としても「日常の買い物をする施設が不足している」や「住環境に不満がある」が挙げられている
- また、「交通の利便性の悪さ」も引っ越したい理由として挙げられている

(5)西条市が目指すまちづくりについて

- 『コンパクト・プラス・ネットワーク』は約8割が「知らなかった」と回答しており、平成27年に実施したアンケート結果より割合が高い。一方で、過半数が『コンパクト・プラス・ネットワーク』の必要性を感じており、過年度アンケートよりその割合は増している
- 西条市の将来像は「日々の暮らしに必要な店舗などが充実し、買い物などに便利なまち」が最も多い一方。若い世代（10～30歳代）は「若者や子育て世代などが暮らしやすく、活気にあふれたまち」を望んでいる
- 西条市に必要な施策は「空き家・空き店舗・空き地などの有効活用」や「子育て環境の充実」、「持続可能で歩いて暮らせるまちづくりの実現に向けた取組」など
- 駅周辺などの拠点に必要な施設として「駐車場や駐輪場」が最も多いが、40歳代以上による回答意見が多く、若い世代は「日常生活に必要な店舗・コンビニ」のほか、「娯楽施設」や「公園や広場」という回答が多い
- 住宅地は「既に形成されている市街地内で空き家や空き地などを活用して再開発する」が過半数を占めている
- 商業施設は「既に形成されている市街地内の商業を活性化させる」が最も多い
- 工業施設は「高速道路等が利用しやすい適地を新しい工業用地として整備し、企業を誘致する」が最も多い
- 道路は「緊急車両が通れない生活道路の改善」や「地域間や都市間の連携・防災対策のための幹線道路の整備」など
- 公園は「身近に遊べる公園・緑地の整備」や「防災機能を有した公園の整備」など
- 自然環境や美しい街並みの景観の保全・創出に向けては「森林や丘陵、水辺等の自然景観の保全」が過半数を占めている

(6)防災・減災の取組について

- 今後重視すべきハード対策は「河川浸水に対応するための河川改修」や「土砂災害に対応するための砂防事業や斜面崩壊を防止するための対策」、「避難所や避難路、避難所周辺の環境改善」など
- ソフト対策は「防災用品の備蓄の充実」や「災害が起きても行政として機能が維持できるための取組」など

(7) 今後のまちづくりについて

- 今後のまちづくりへの参加意向として「広報や市のホームページなどで内容を知りたい」が過半数を占めていた
- 自由意見として、「地域・コミュニティに関する意見」や「市への要望」が比較的多い

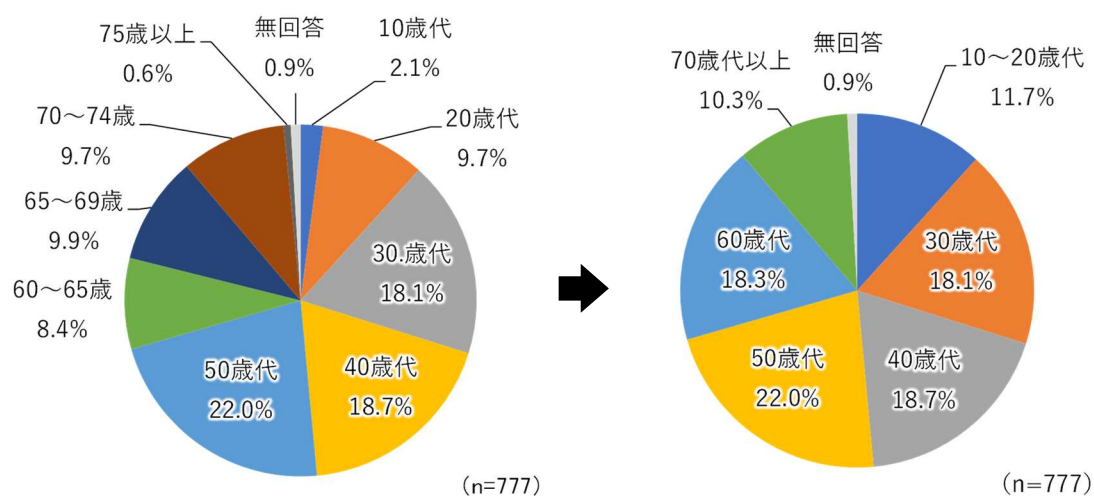
3 調査結果(詳細)

(1)基本属性

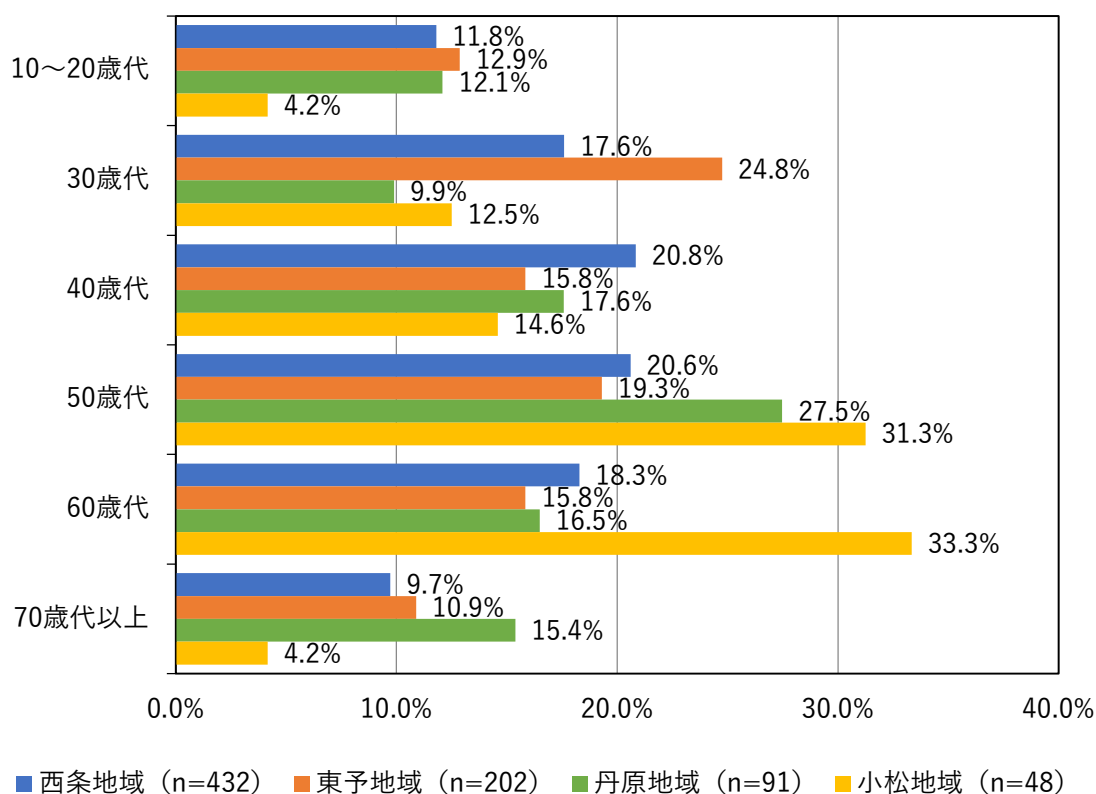
問1：②年齢（1つ選択）

- ・年齢は、「50 歳代」が 171 人（22.0%）と最も多く、次いで「40 歳代」が 145 人（18.7%）、「60 歳代」が 142 人（18.3%）となっています。
- ・地域別にみると、東予地域では「30 歳代」が、丹原地域では「50 歳代」が、小松地域では「50 歳代」及び「60 歳代」が比較的多くなっています。

■ 年齢（再区分）



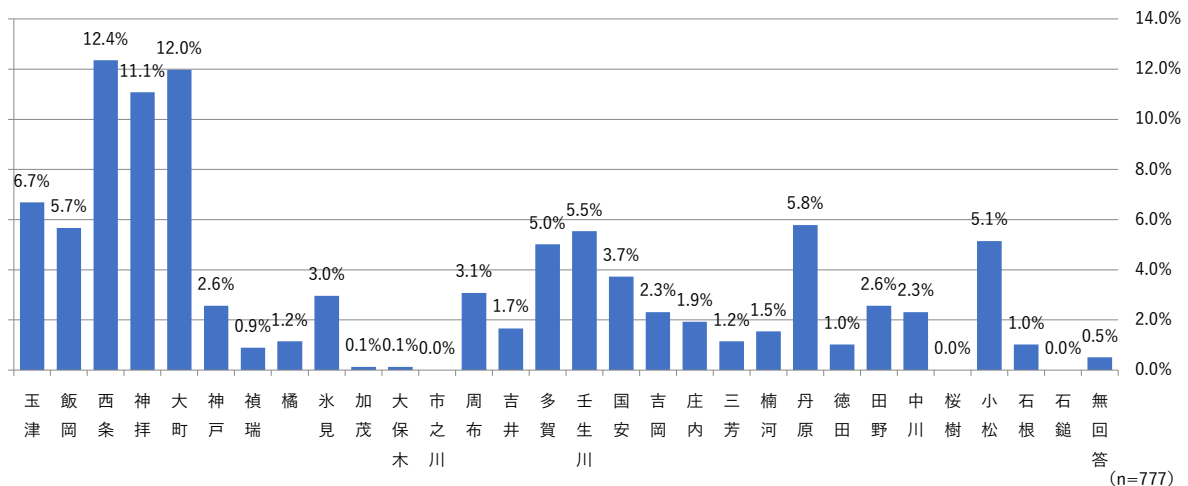
■ 年齢（地域別）



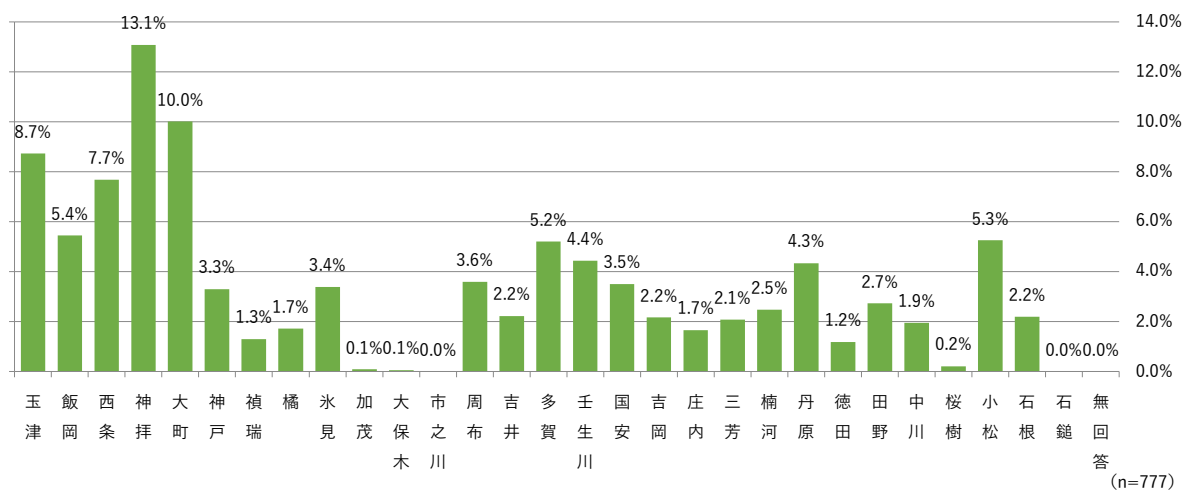
問 2：居住地区（1つ選択）

- ・居住地区は、「西条」が 96 人（12.4%）と最も多く、次いで「大町」が 93 人（12.0%）、「神拝」が 86 人（11.1%）となっています。
- ・令和 6 年 9 月時点の住民基本台帳と比較すると「西条」や「大町」等では比較的多くなっていますが、その他は概ね同様の傾向となっています。

■ 居住地区

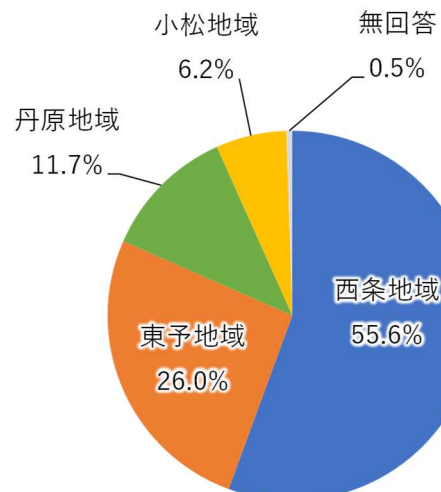


（参考）居住地区（令和 6 年 9 月住民基本台帳）



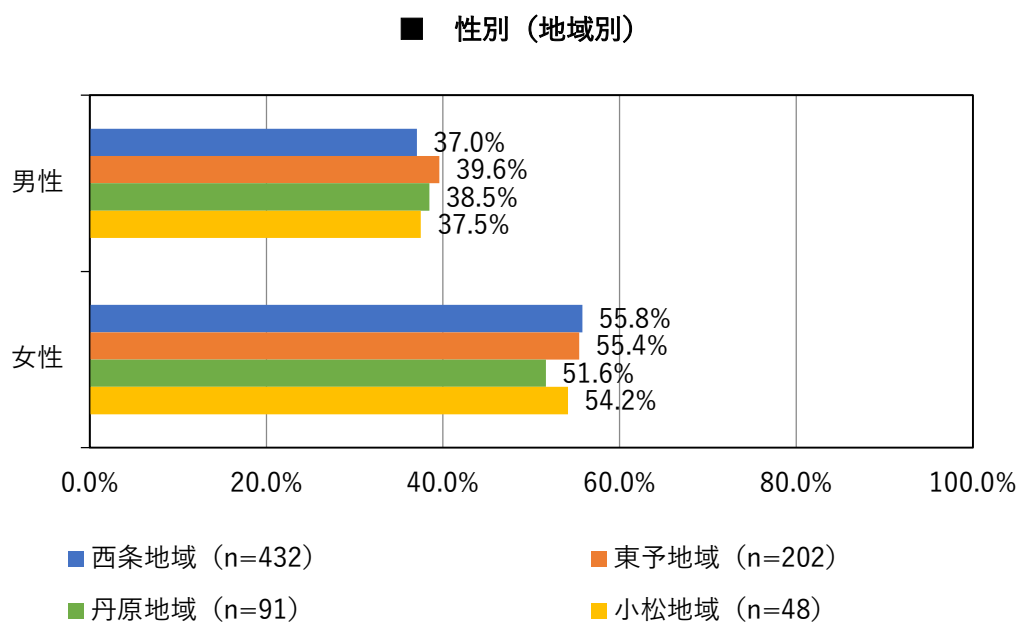
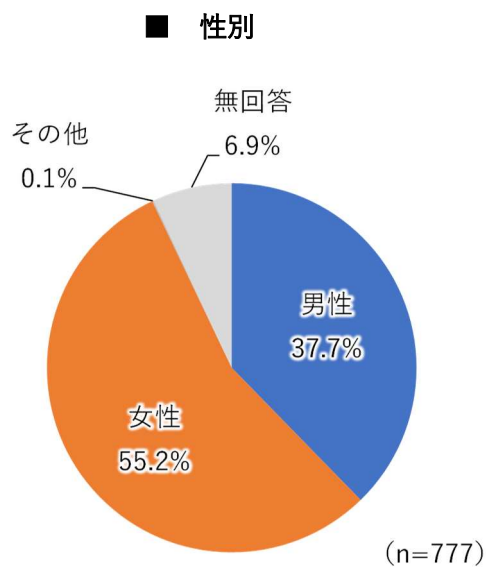
■ 居住地区（再区分）

- ・合併前の旧市町単位（西条地域、東予地域、丹原地域、小松地域）で再区分すると、西条地域が 432 人（55.6%）と最も多く、次いで「東予地域」が 202 人（26.0%）、丹原地域が 91 人（11.7%）、小松地域が 48 人（6.2%）となっています。

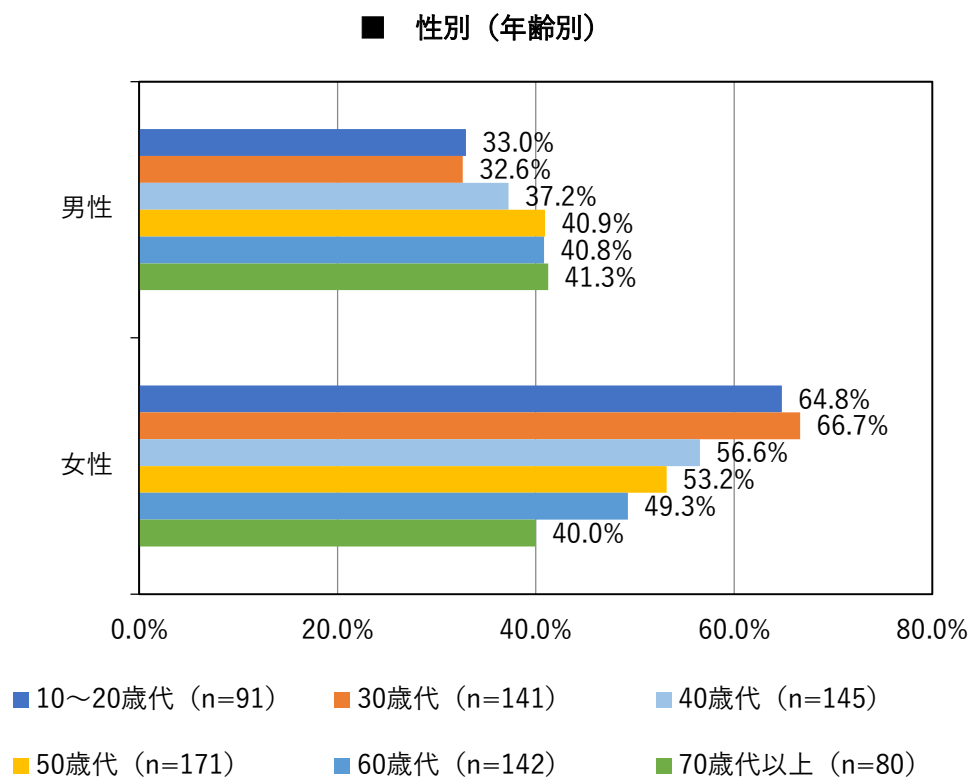


問 1 ①：性別（1つ選択）

- ・性別は、「男性」が 293 人（37.7%）、「女性」が 429 人（55.2%）、「その他」が 1 人（0.1%）となっており、女性が過半数を占めています。
- ・地域別では、各地域で概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

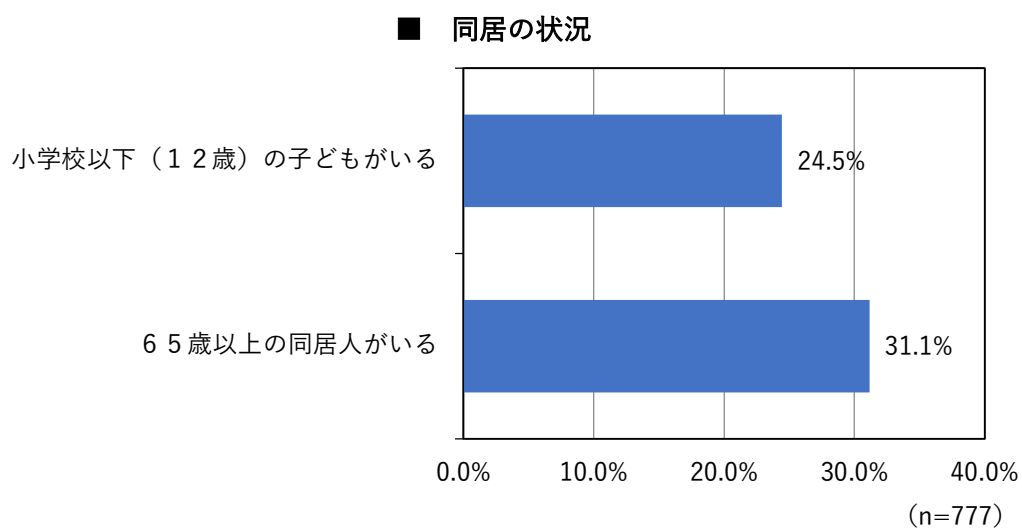


- ・年齢別にみると、年齢が若くなるほど「女性」による回答割合が多くなっています。



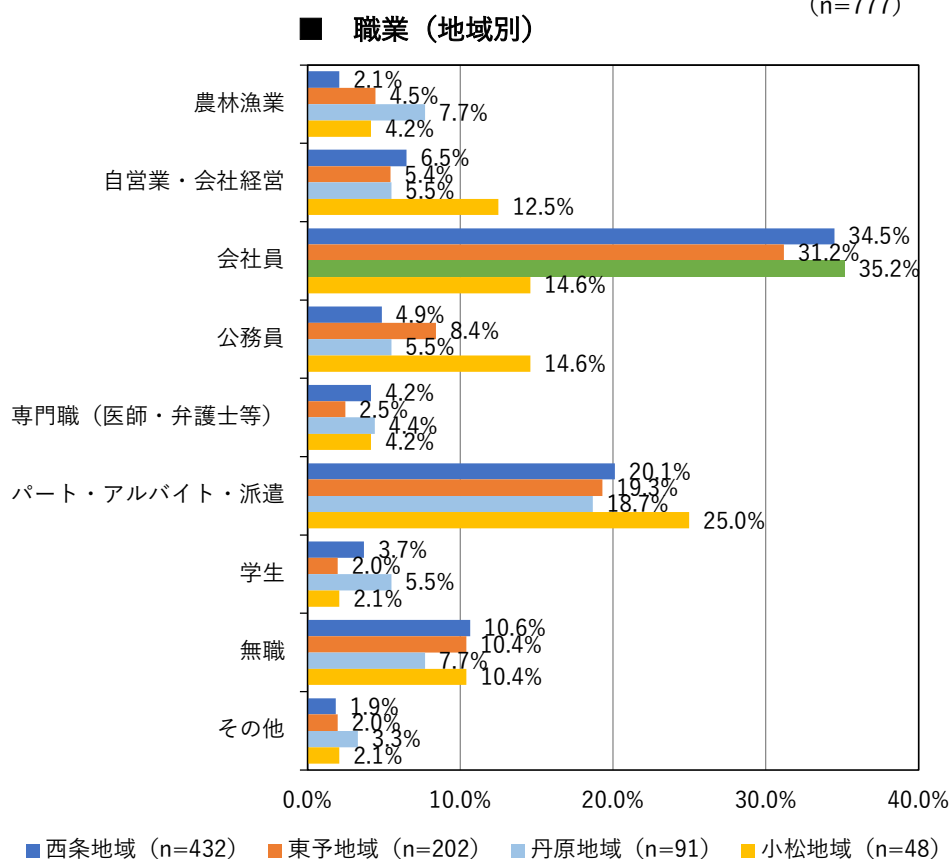
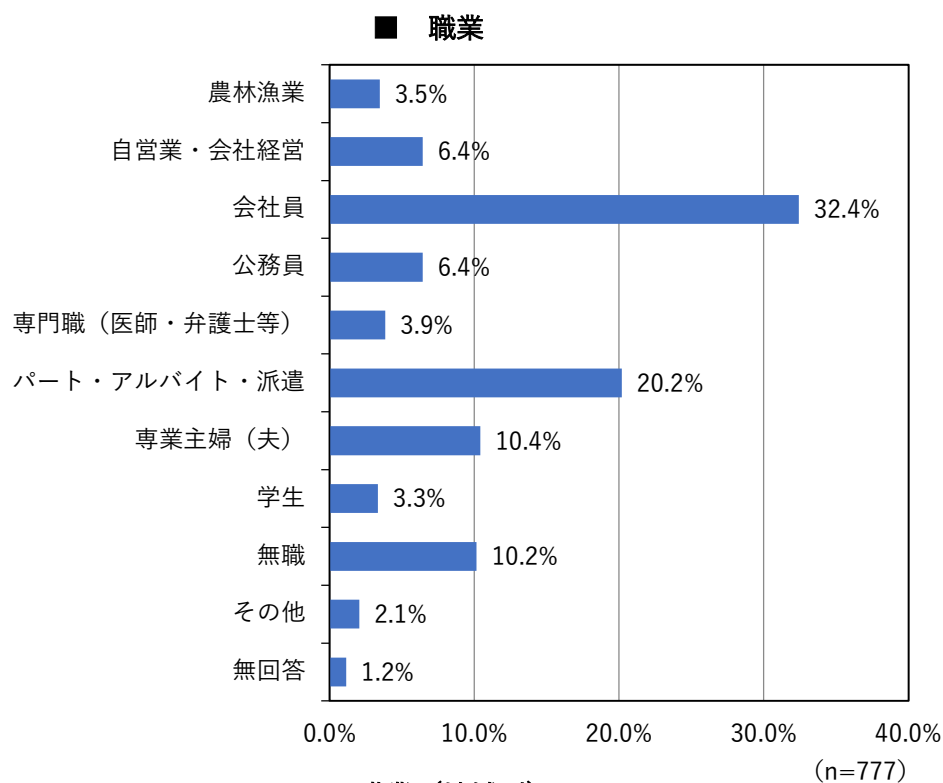
問 1 ③：同居の状況（あてはまるもの全て選択）

- ・同居の状況について、「小学生以下（12 歳）の子どもがいる」が 190 人（24.5%）、「65 歳以上の同居人がある」が 242 人（31.1%）となっています。

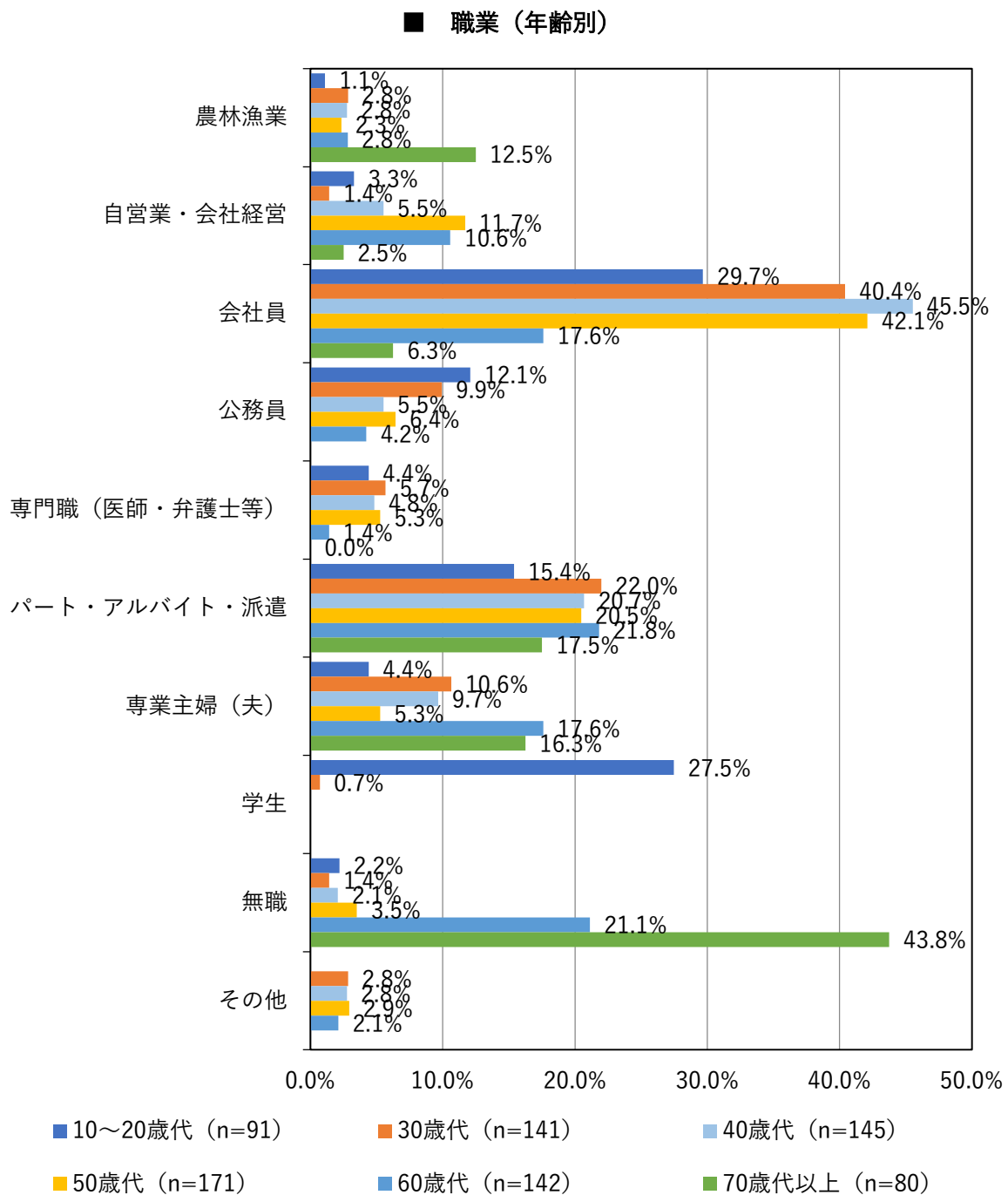


問 1 ④：職業（1つ選択）

- ・職業は、「会社員」が 252 人（32.4%）と最も多く、次いで「パート・アルバイト・派遣」が 157 人（20.2%）、「無職」が 79 人（10.2%）となっています。
- ・地域別にみると、小松地域では「自営業・会社経営」、「公務員」、「パート・アルバイト・派遣」が比較的多くなっています。

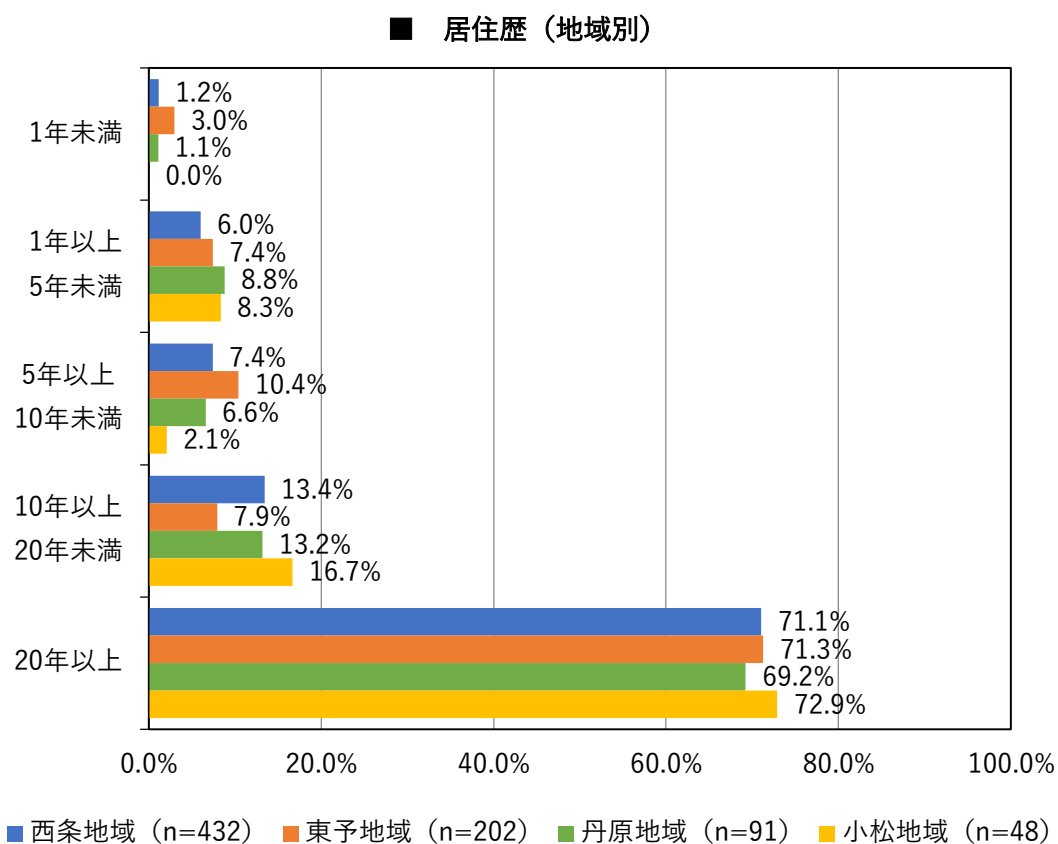
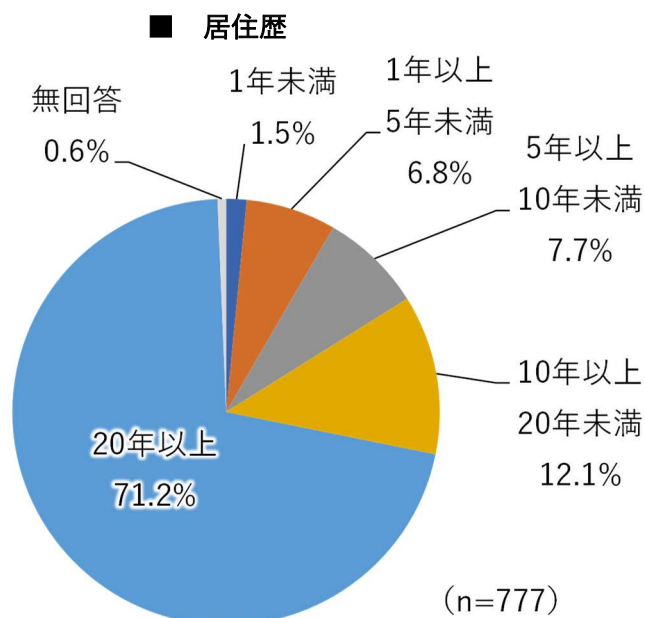


- ・年齢別にみると、10～20歳代では「学生」及び「公務員」が比較的多くなっています。
- ・60歳代以上では「専業主婦（夫）」や「無職」が比較的多くなっています。

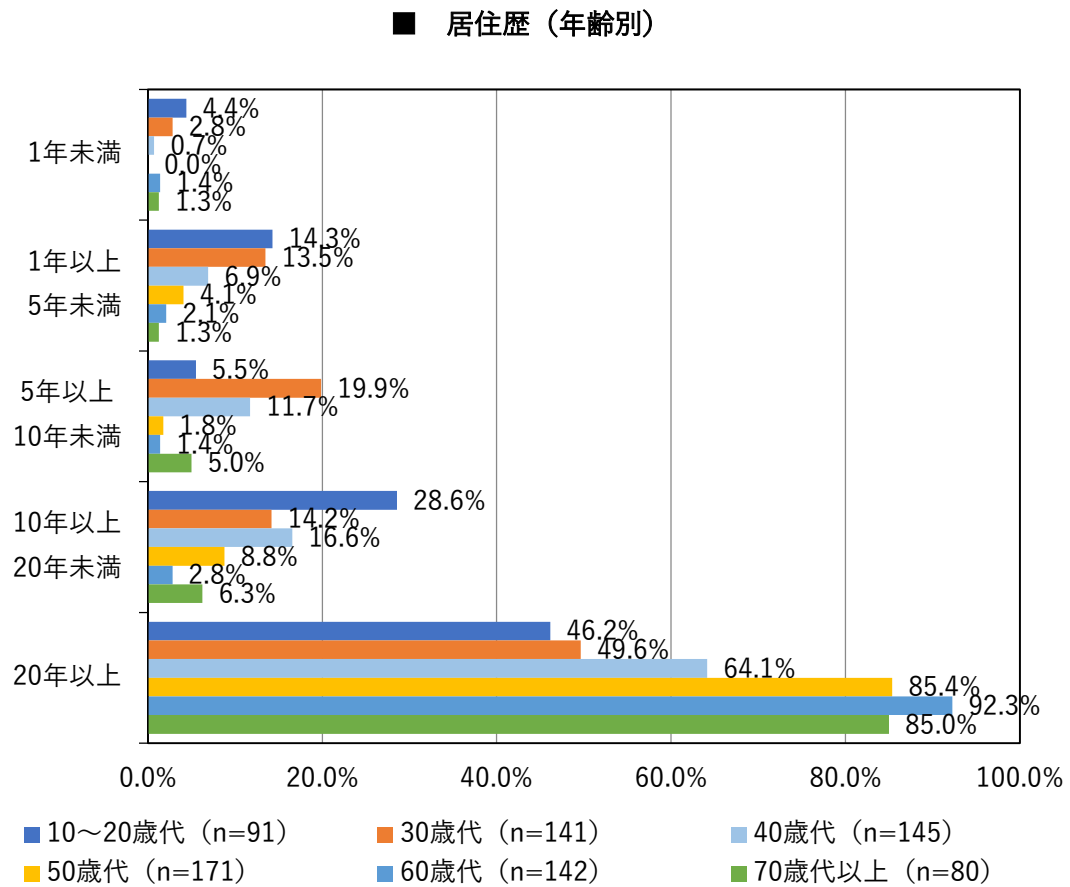


問 1 ⑤：居住歴（1 つ選択）

- ・職業は、「20 年以上」が 553 人（71.2%）と突出して多く、次いで「10 年以上」が 94 人（12.1%）となっています。
- ・地域別では、各地域で同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

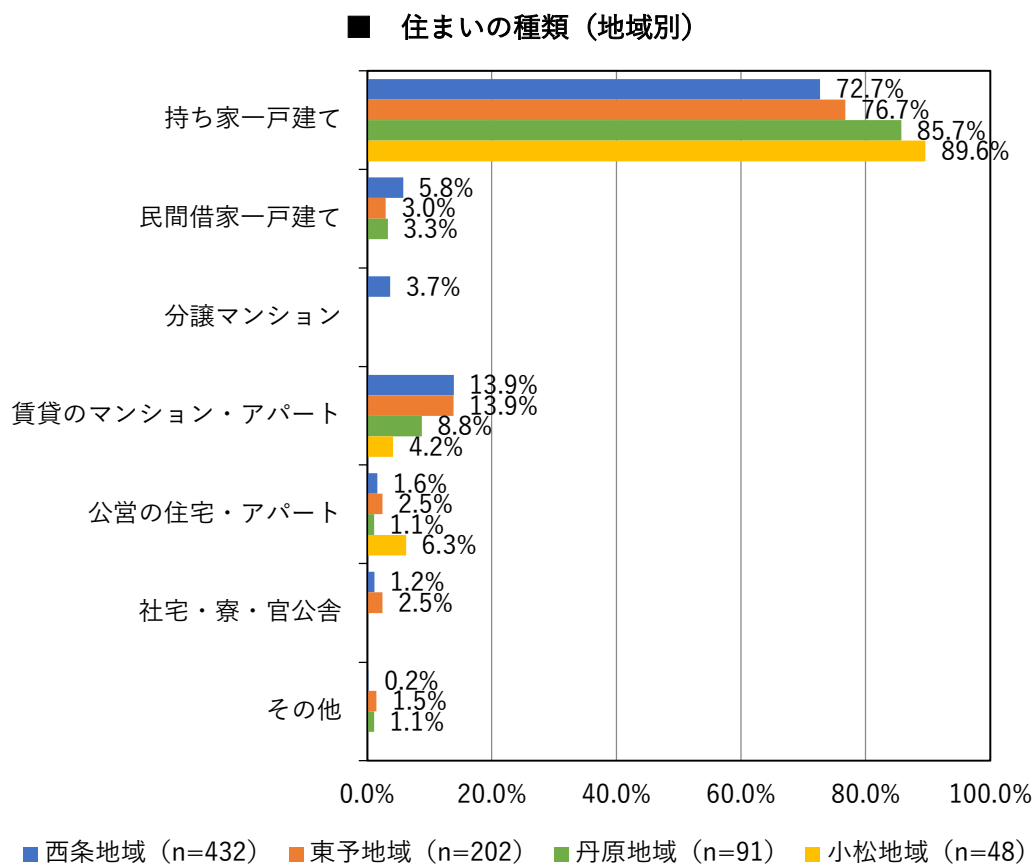
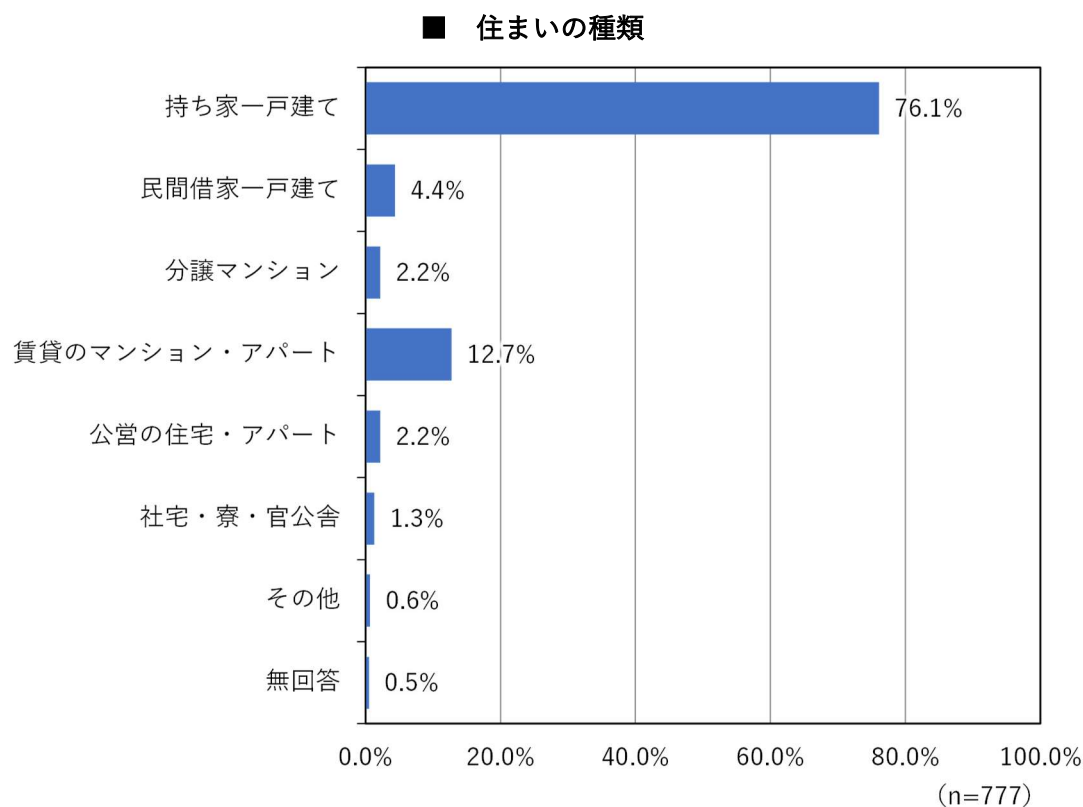


- ・年齢別にみると、「20 年以上」は高齢になるほど多く、20 年未満は若いほど多くなる傾向がみられます。

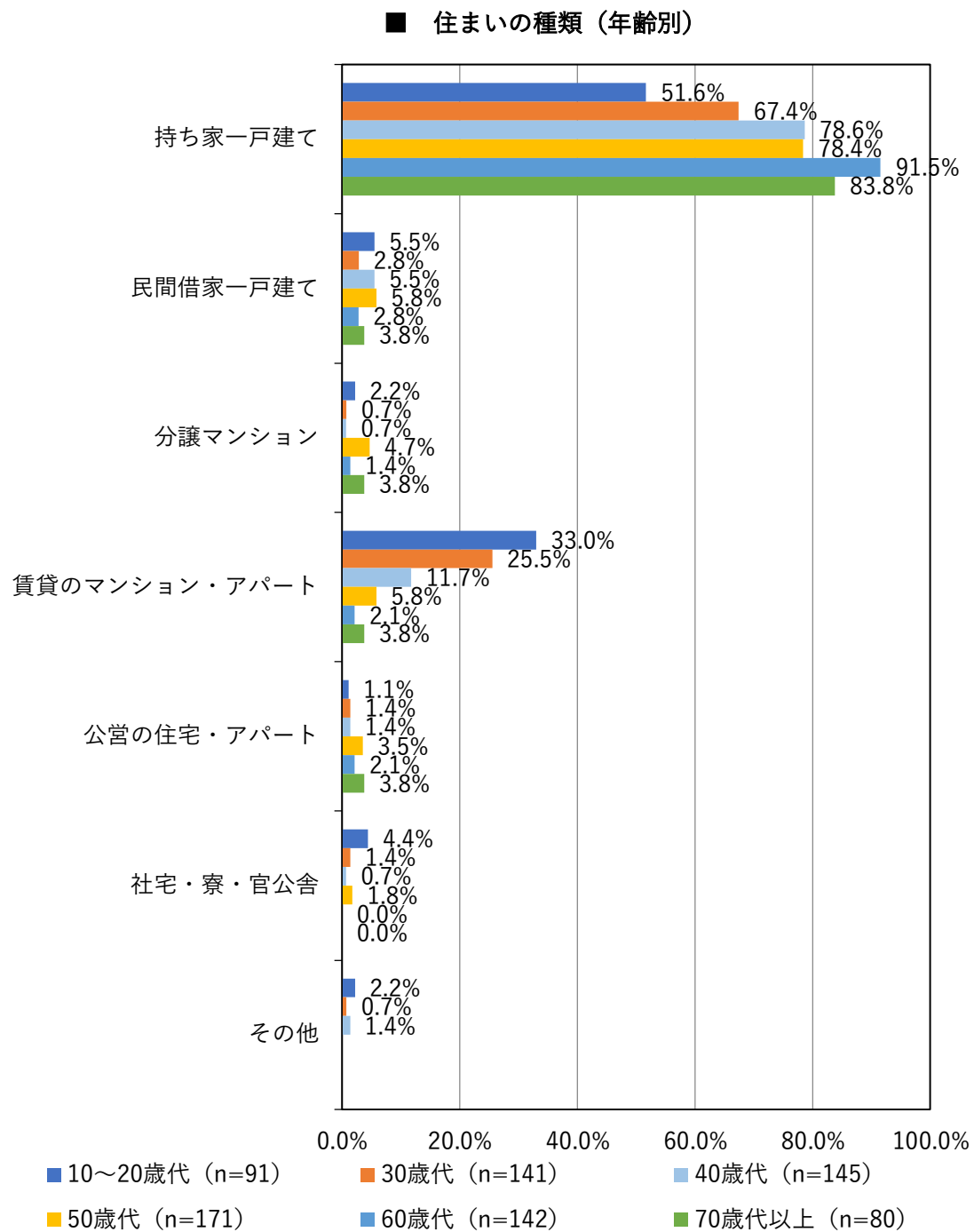


問1⑥：住まいの種類（1つ選択）

- ・住まいの種類は、「持ち家一戸建て」が591人（76.1%）と突出して多く、次いで「賃貸のマンション・アパート」が99人（12.7%）となっています。
- ・地域別にみると、小松地域では「持ち家一戸建て」が、西条地域や東予地域では「賃貸のマンション・アパート」が比較的多くなっています。



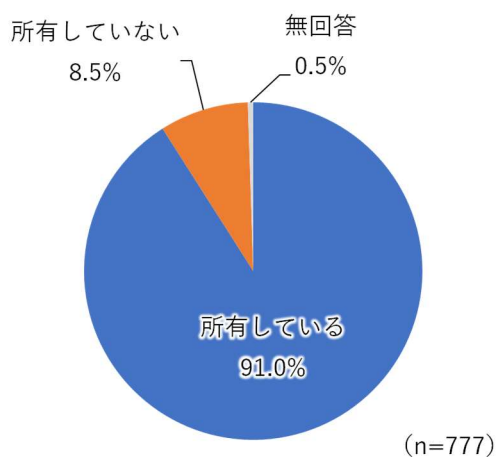
- ・年齢別にみると、高齢になるほど「持ち家一戸建て」が、若くなるほど「賃貸のマンション・アパート」が多くなる傾向があります。



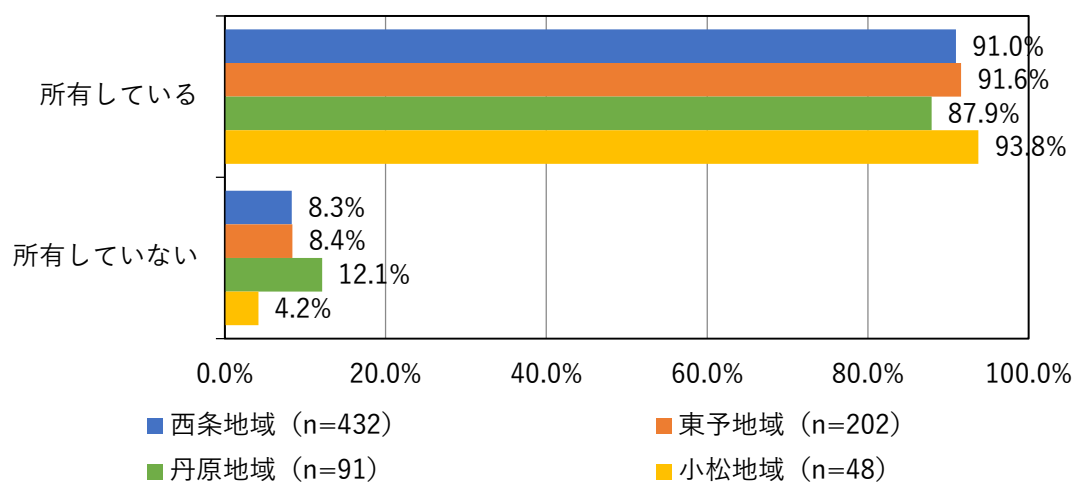
問 1 ⑦：自家用車の所有（1 つ選択）

- ・自家用車の所有については、「所有している」が 707 人（91.0%）と大半を占めています。
- ・地域別では、各地域で同様の傾向となっており、大きな差はみられません。
- ・年齢別にみると、10～20 歳代は「所有していない」が 3 割程度となっています。

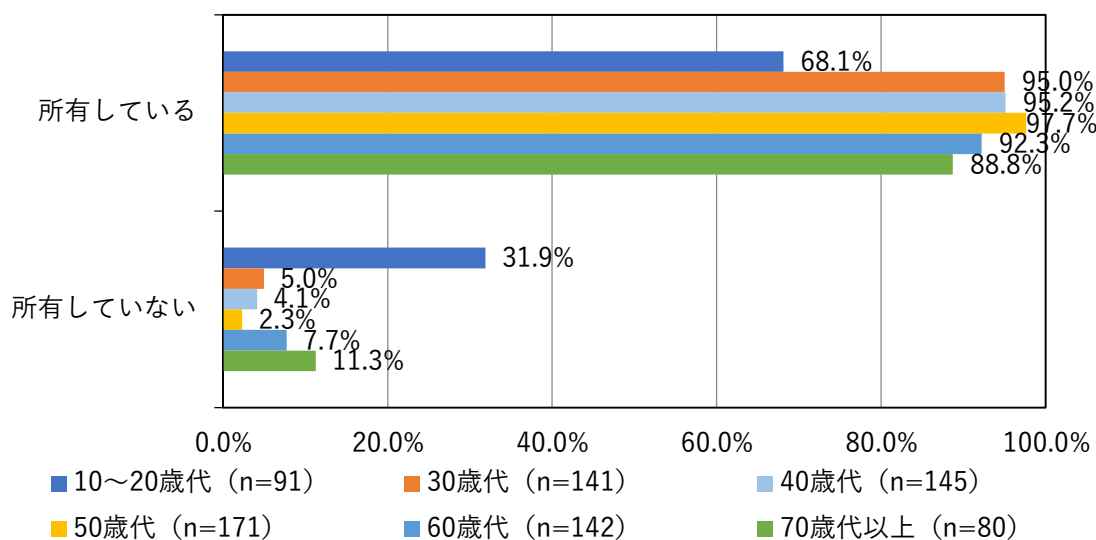
■ 自家用車の所有



■ 自家用車の所有（地域別）

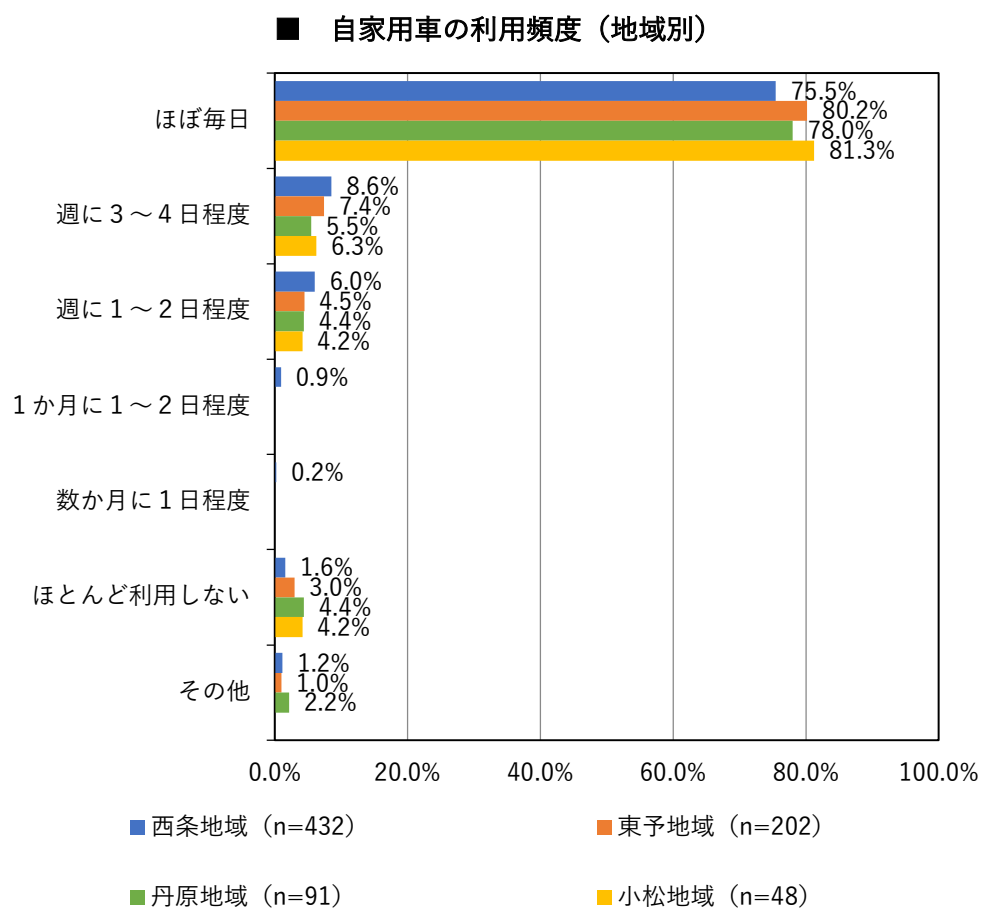
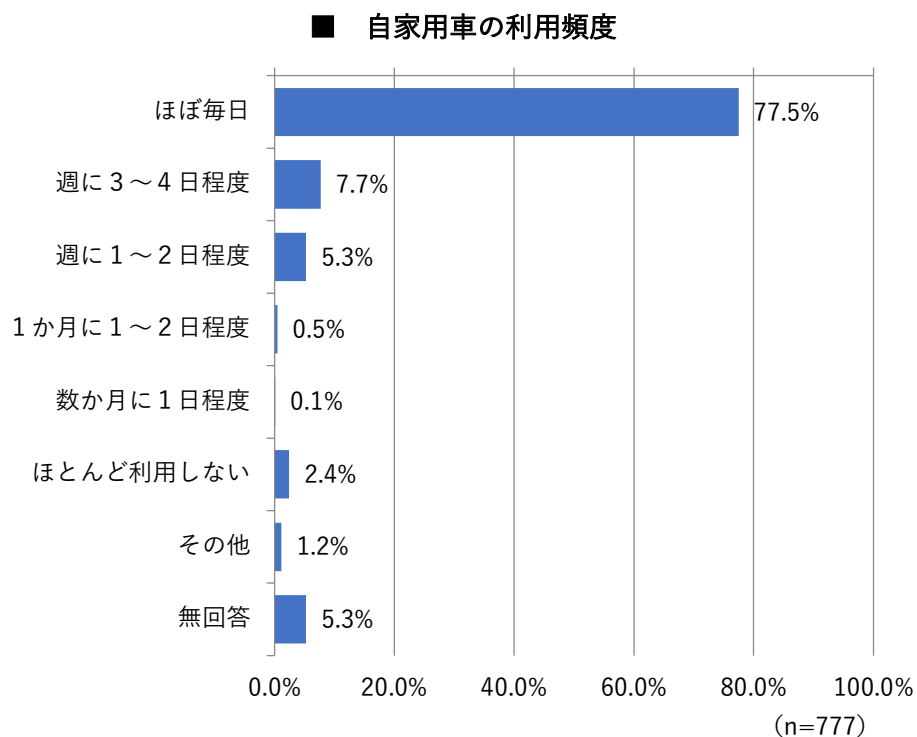


■ 自家用車の所有（年齢別）

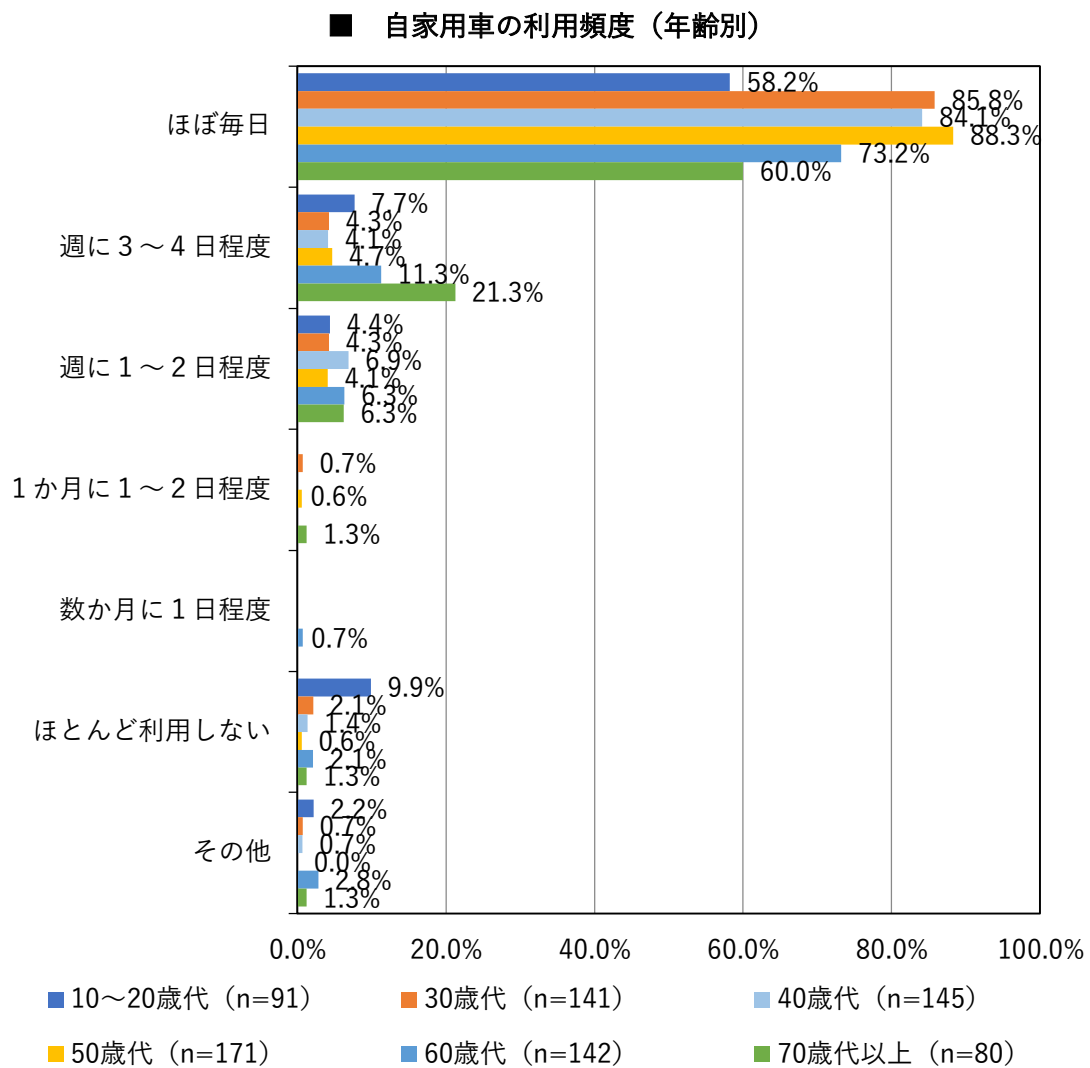


問 1 ⑧：自家用車の利用頻度（1 つ選択）

- ・自家用車の利用頻度については、「ほぼ毎日」が 602 人（77.5%）と突出して多くなっています。
- ・地域別では、各地域で同様の傾向となっており、大きな差はみられません。



- ・年齢別にみると、10～20 歳代は「ほとんど利用しない」が、70 歳代以上は「週に 3～4 日程度」が比較的多くなっています。



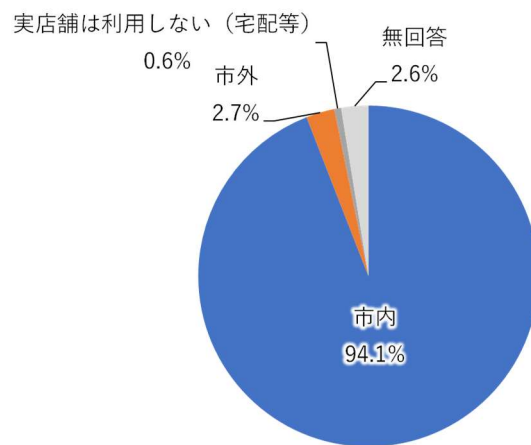
(2) 身近な施設の利用状況について

問3：食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗

①店舗の場所（1つ選択）

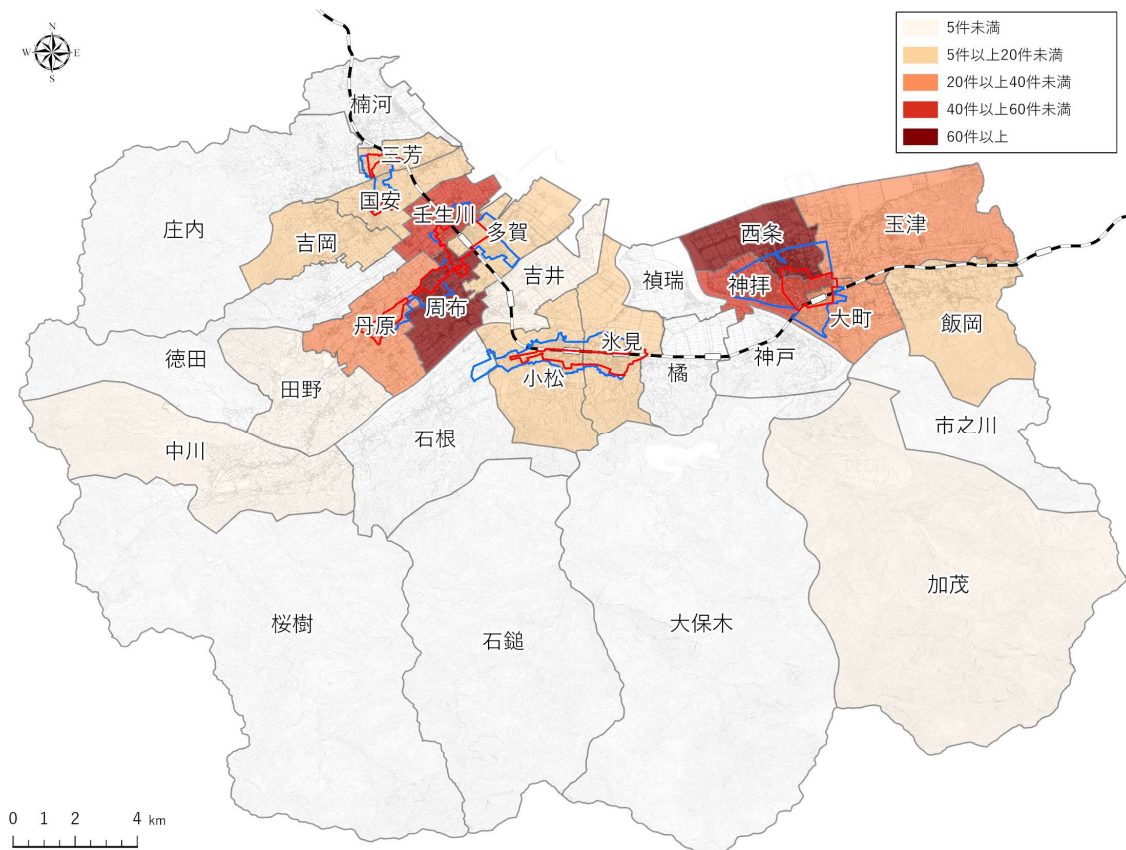
- ・食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗の場所については、「市内」が731人(94.1%)と大半を占めています。
- ・「市内」の具体的な地区として、西条地区(95人)、周布地区(72人)、神拝地区(57人)、壬生川地区(53人)等が挙げられています。

■ 日用品に利用する店舗の場所



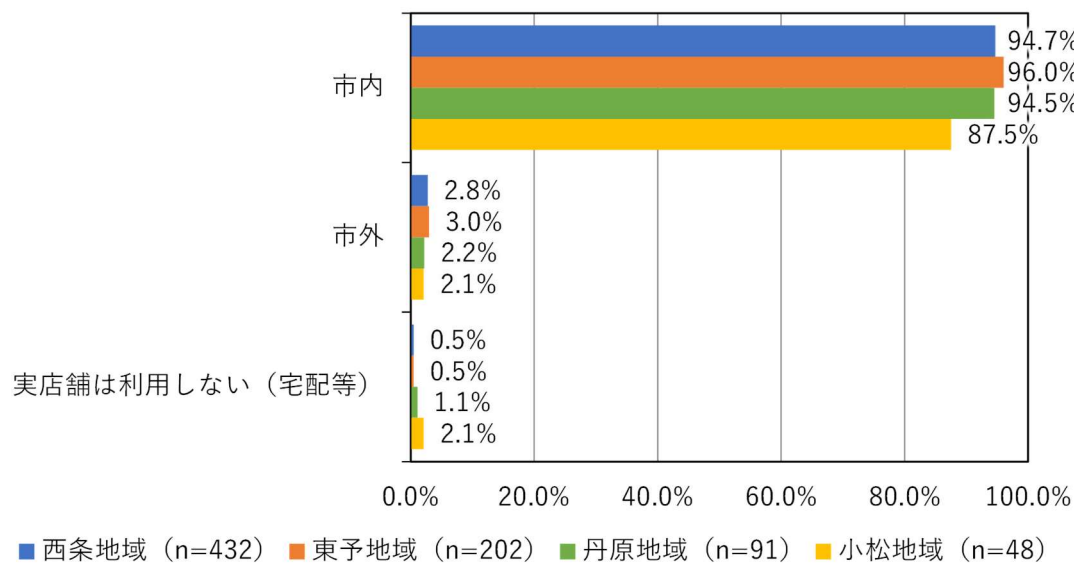
(n=777)

■ 日用品に利用する店舗の場所（地区別）

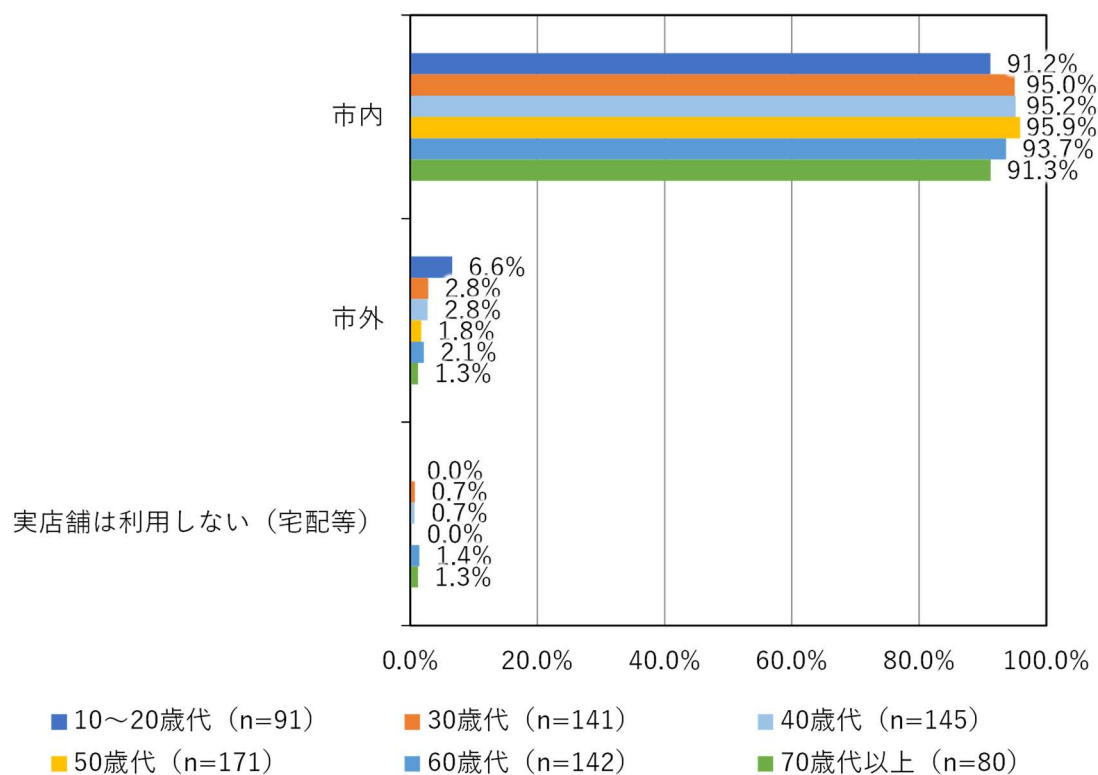


- ・地域別及び年齢別では、それぞれ同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

■ 日用品に利用する店舗の場所（地域別）



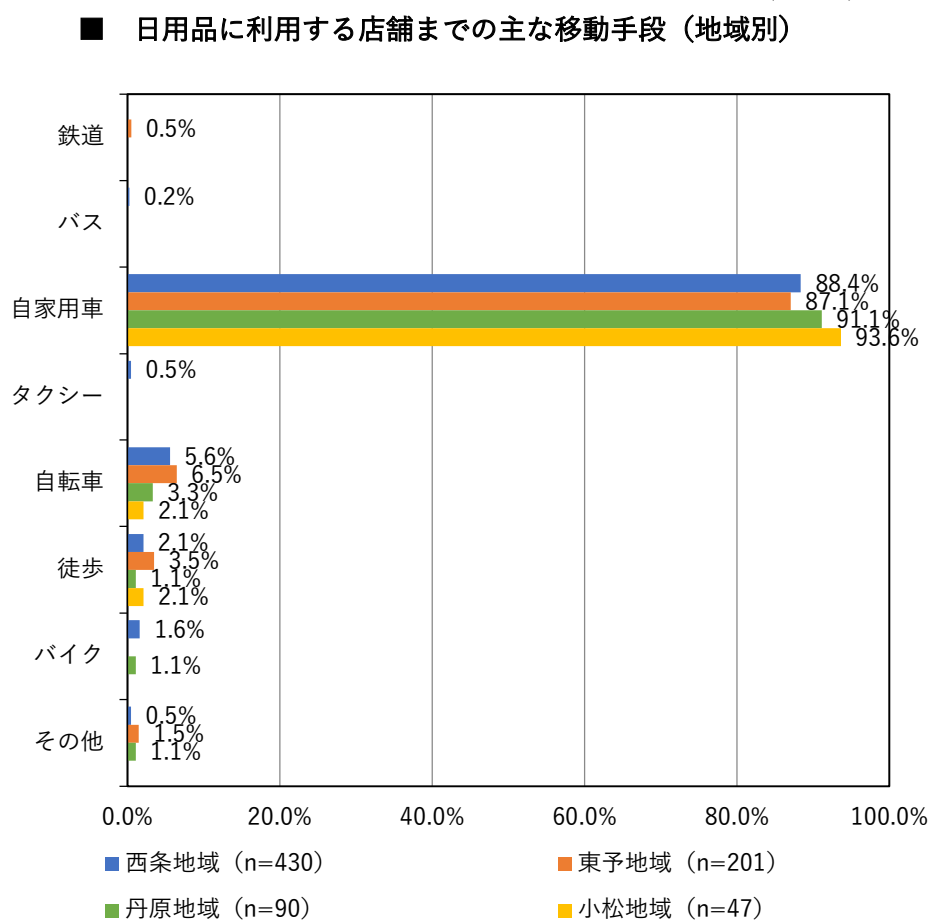
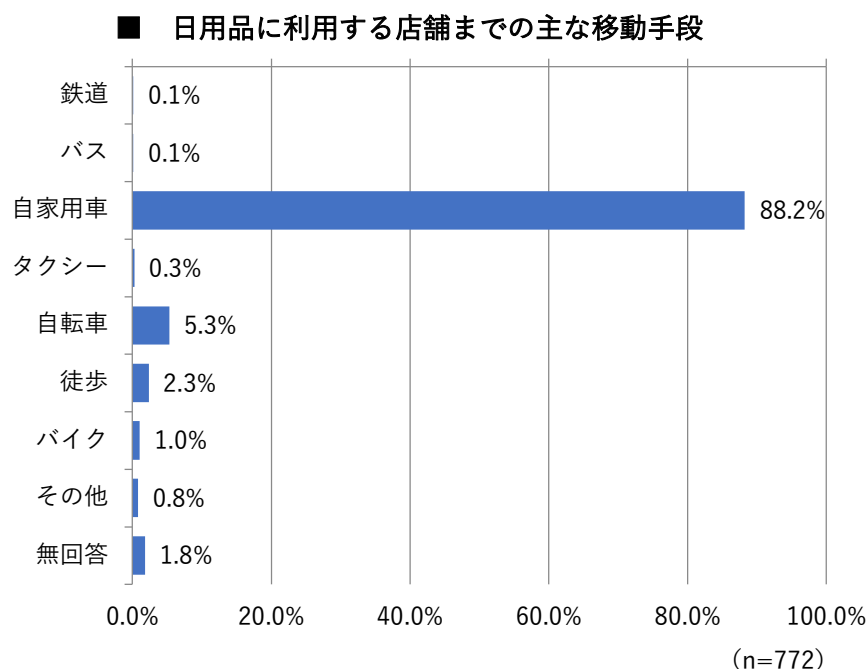
■ 日用品に利用する店舗の場所（年齢別）



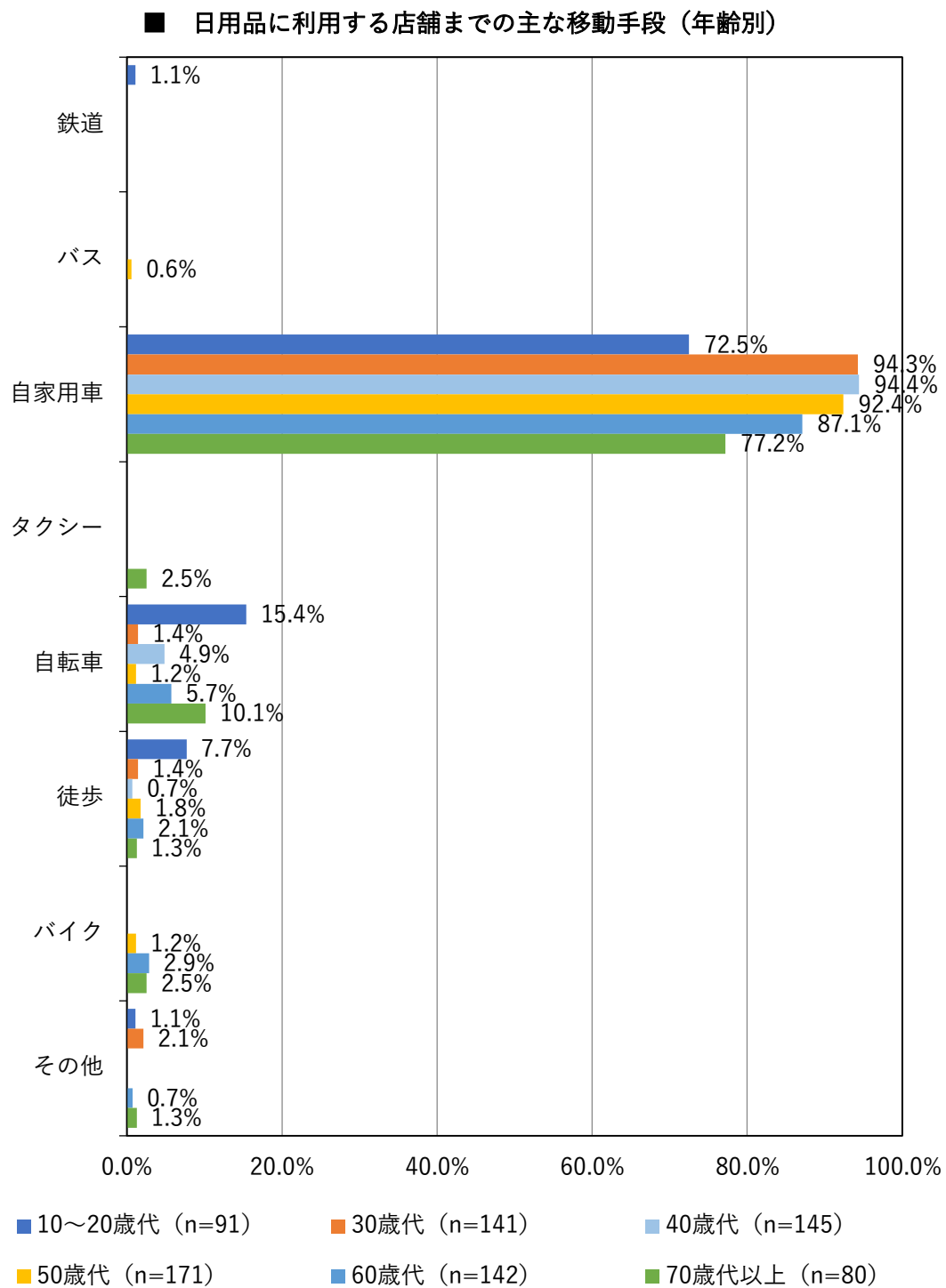
問3：食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗

②主な移動手段（1つ選択）

- ・食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗までの主な移動手段については、「自家用車」が681人（88.2%）と突出して多くなっています。
- ・地域別では、各地域で概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられません。



- ・年齢別にみると、10～20 歳代では「自転車」や「徒歩」が、70 歳代以上では「自転車」が比較的多くなっています。

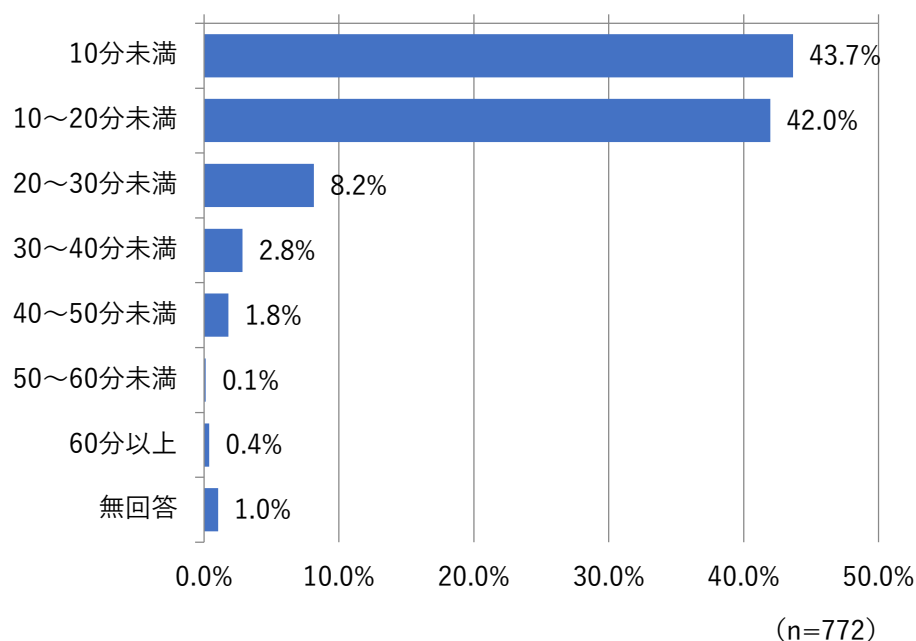


問3：食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗

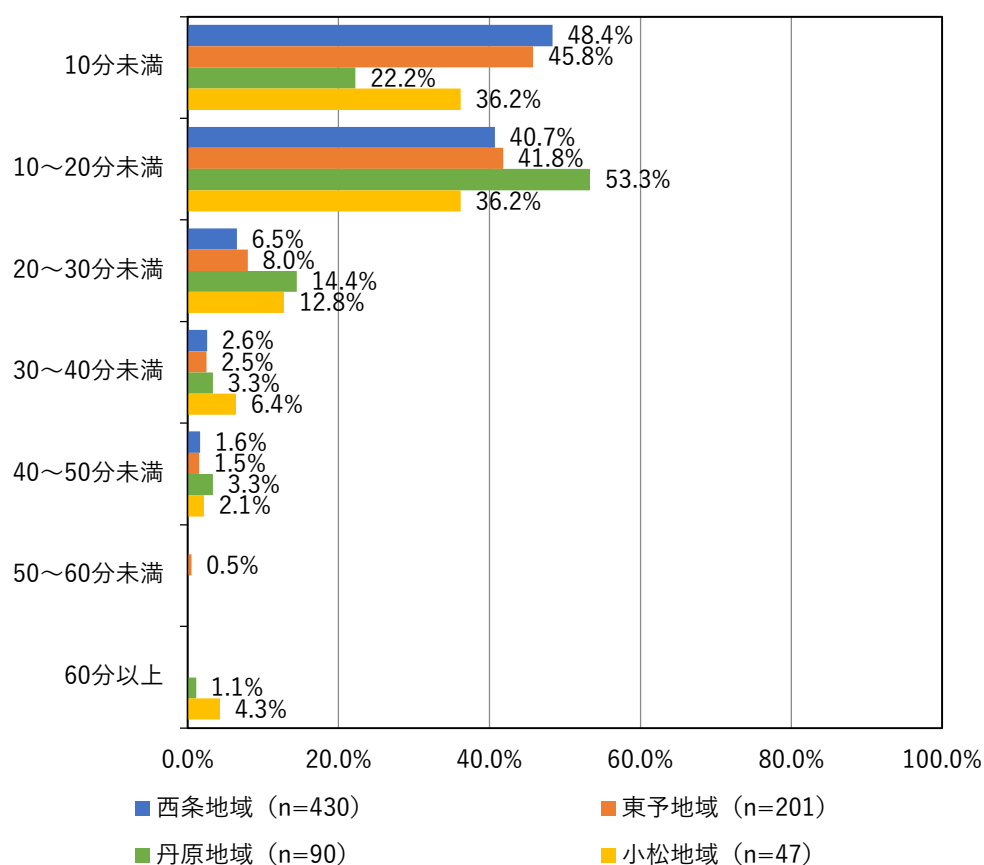
③移動時間（1つ選択）

- ・食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗までの移動時間は、「10分未満」が337人（43.7%）、「10～20分未満」が324人（42.0%）と、20分以内という回答が8割以上となっています。
- ・地域別にみると、丹原地域では「10分未満」が比較的少なく、「10～20分未満」が比較的多くなっています。

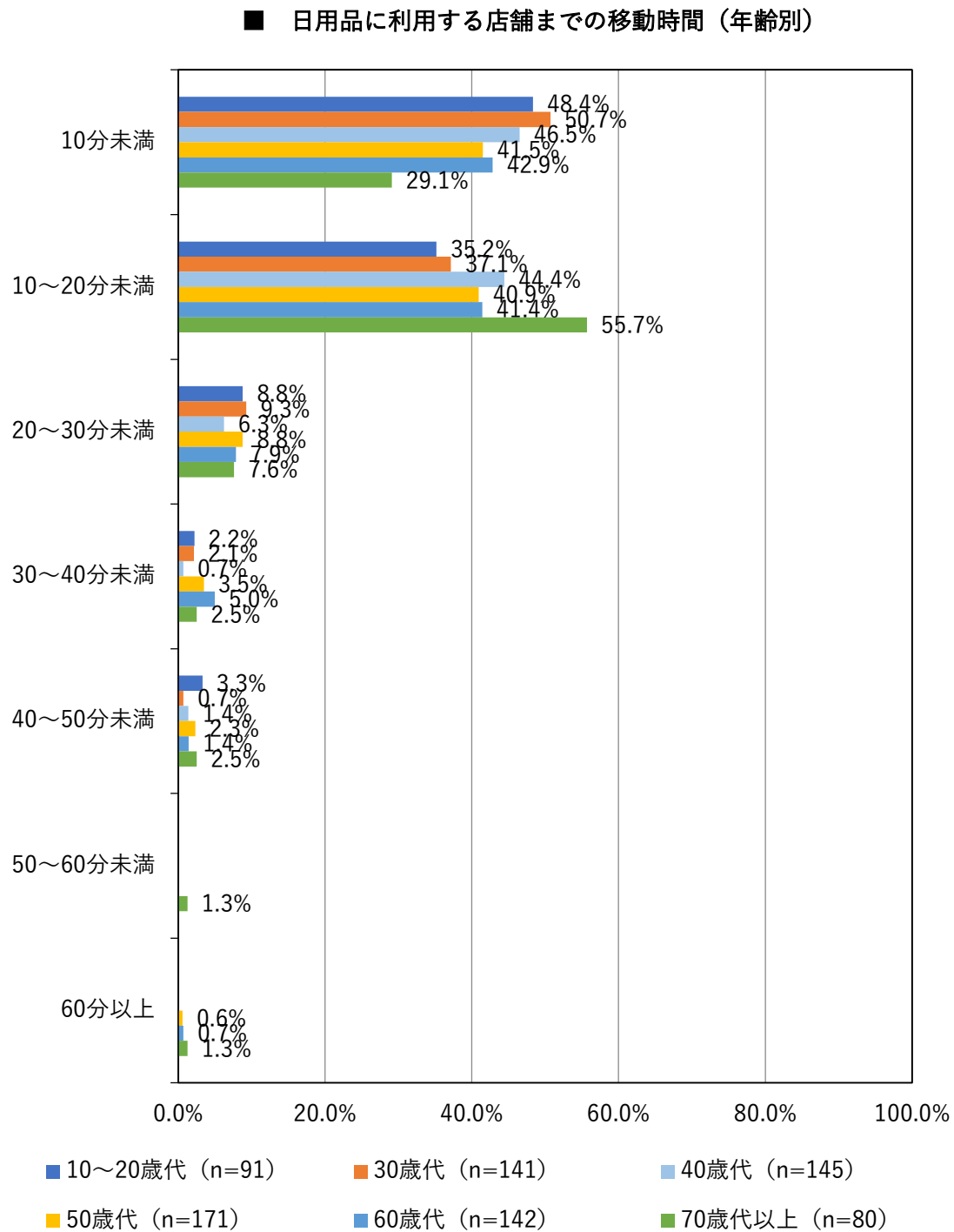
■ 日用品に利用する店舗までの移動時間



■ 日用品に利用する店舗までの移動時間（地域別）



- ・年齢別にみると、70歳以上では「10分未満」が比較的少なく、「10～20分未満」が比較的多くなっています。

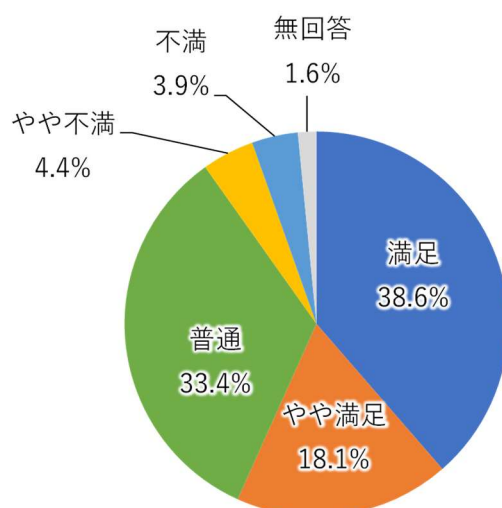


問3：食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗

④アクセスの利便性（1つ選択）

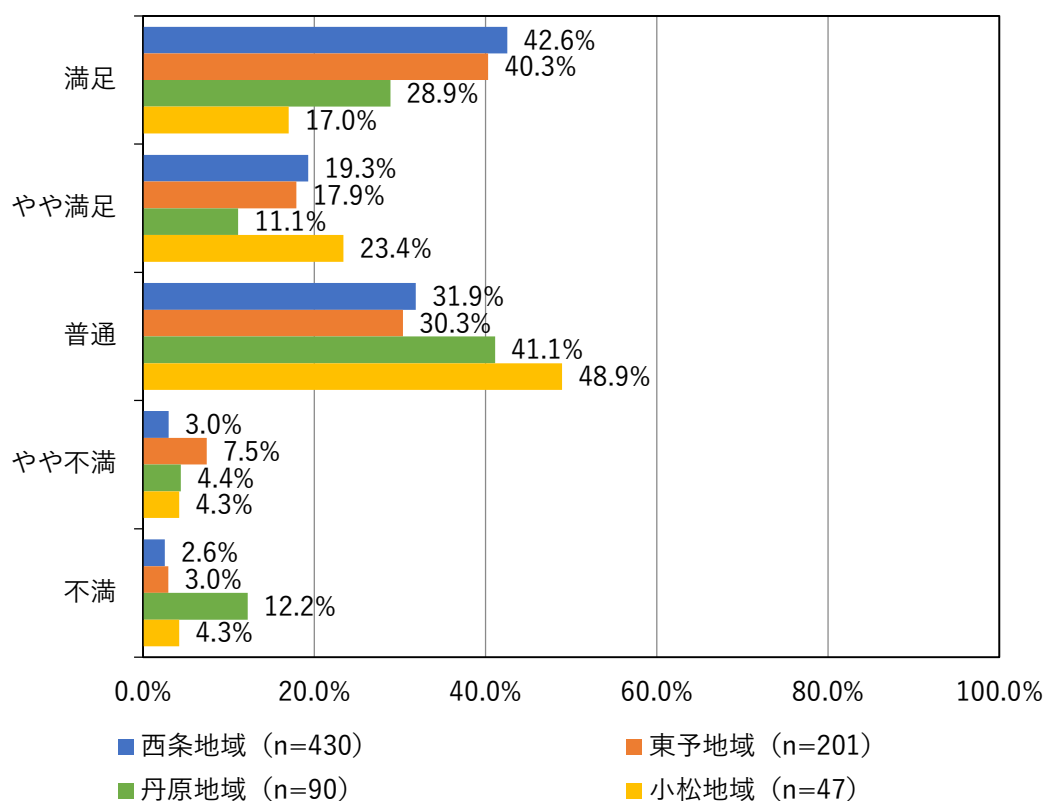
- ・食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗のアクセス利便性については、「満足」が298人（38.6%）と最も多く、次いで「普通」が140人（18.1%）となっており、「満足」と「やや満足」を合わせると、過半数は満足度が高くなっています。
- ・地域別にみると、西条地域及び東予地域では「満足」が、丹原地域や小松地域では「普通」がそれぞれ比較的多くなっています。

■ 日用品に利用する店舗までのアクセス利便性



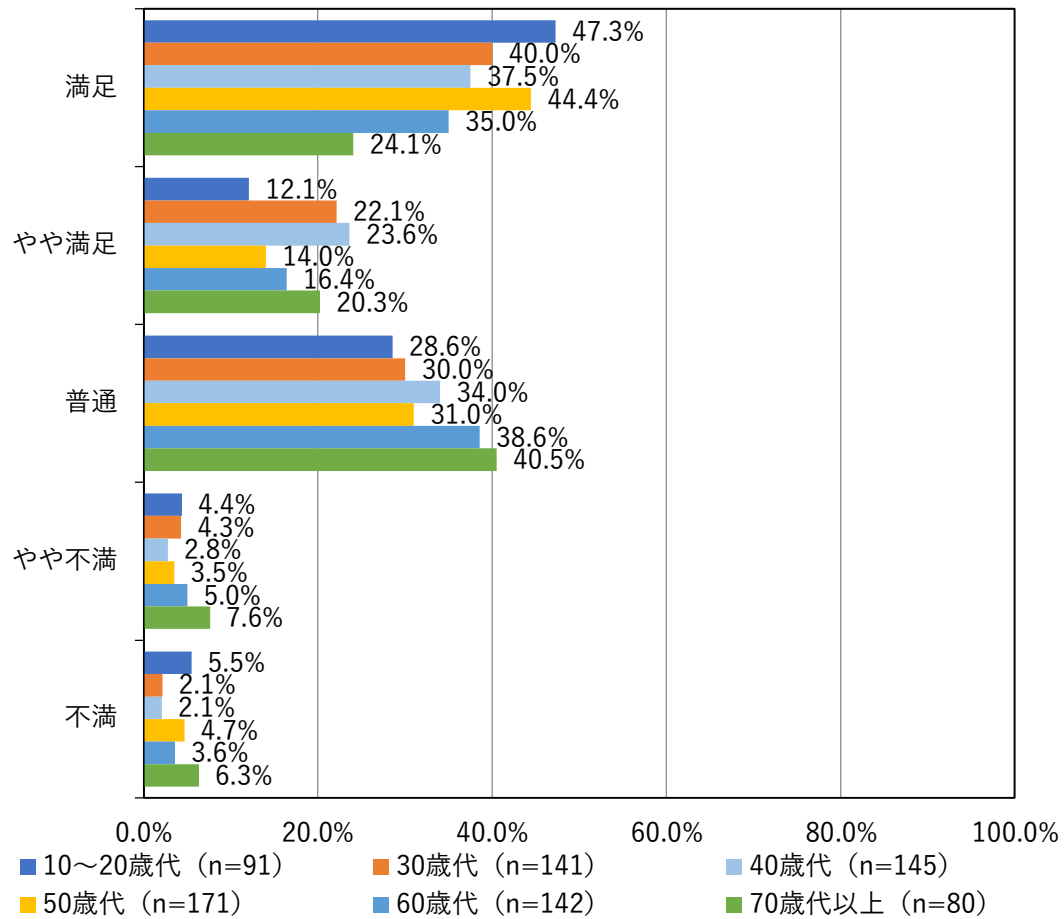
(n=772)

■ 日用品に利用する店舗までのアクセス利便性（地域別）



- ・年齢別にみると、10～20 歳代及び 50 歳代では「満足」が、70 歳代以上では「普通」が比較的多くなっています。

■ 日用品に利用する店舗までのアクセス利便性（年齢別）

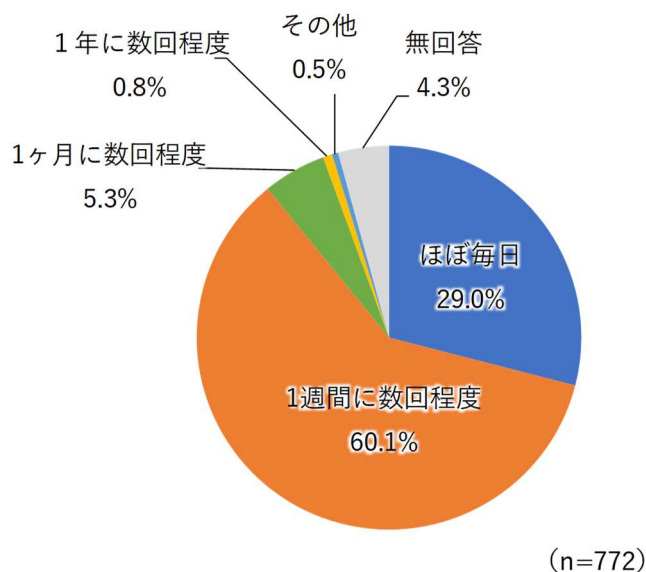


問3：食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗

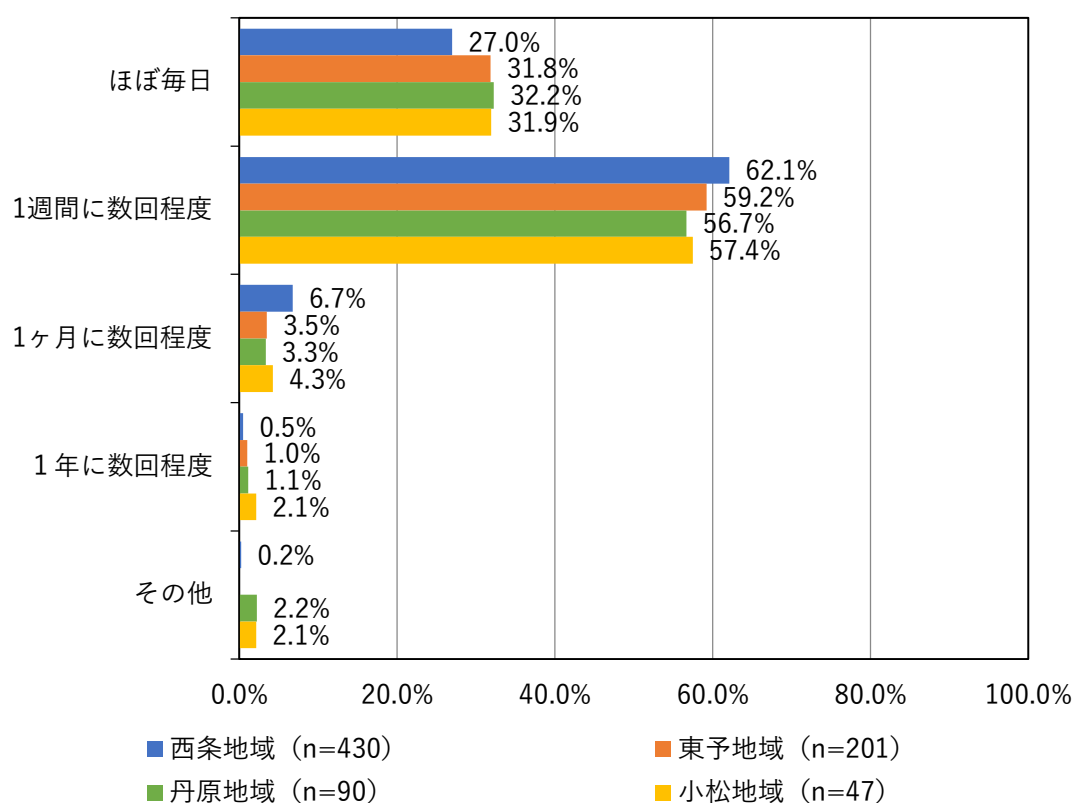
⑤利用頻度（1つ選択）

- ・食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗の利用頻度については、「1週間に数回程度」が464人（60.1%）と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が224人（29.0%）となっています。
- ・地域別では、各地域で同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

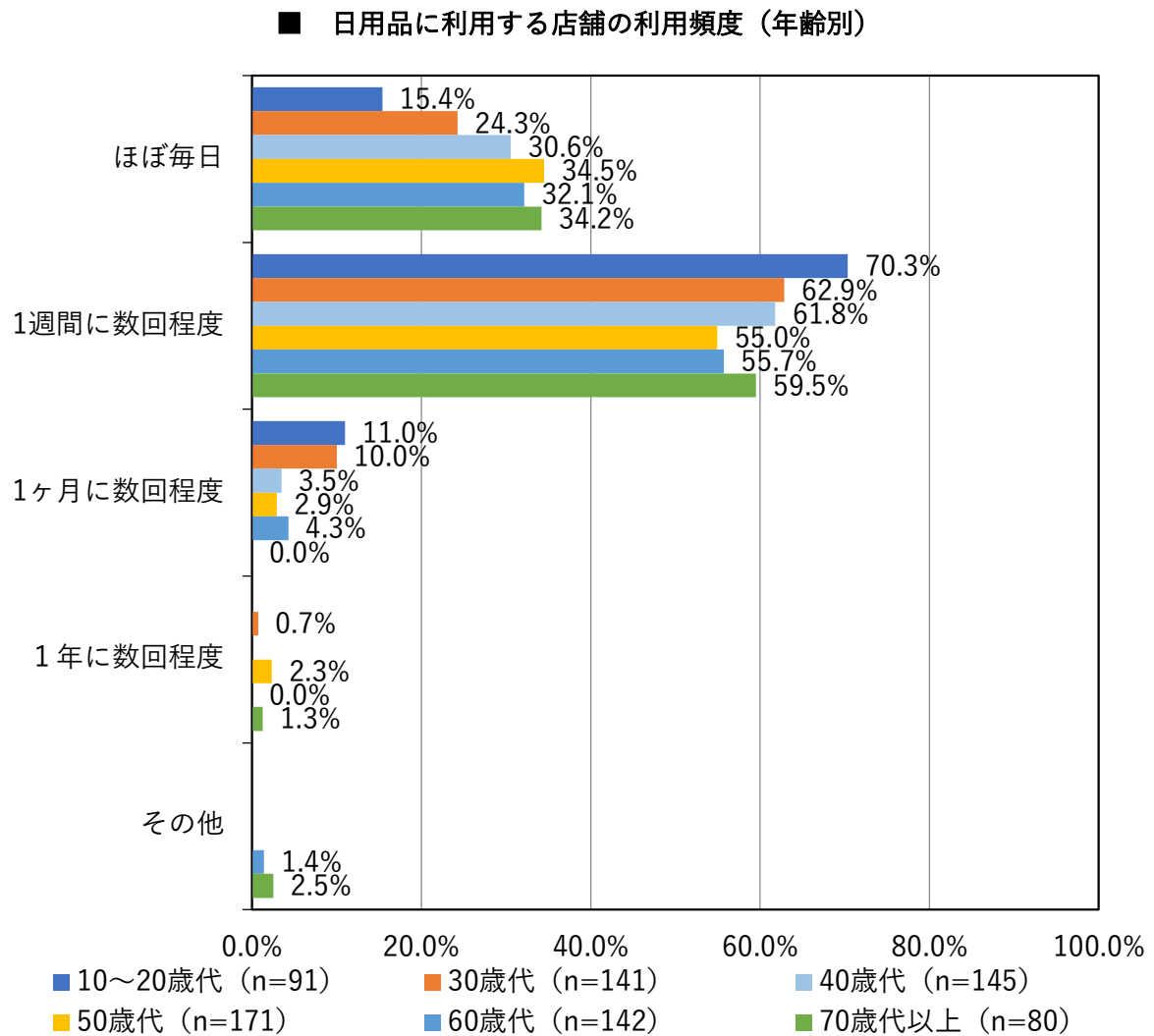
■ 日用品に利用する店舗の利用頻度



■ 日用品に利用する店舗の利用頻度（地域別）



- ・年齢別にみると、10～20歳代は「ほぼ毎日」が比較的少なく、「1週間に数回程度」が比較的多くなっています。

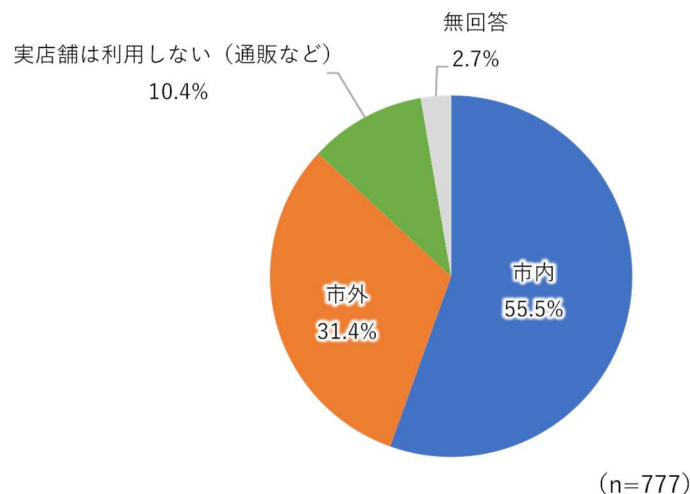


問4：衣料品、家具・家電や趣味品など（買い回り品）の買い物に利用する店舗

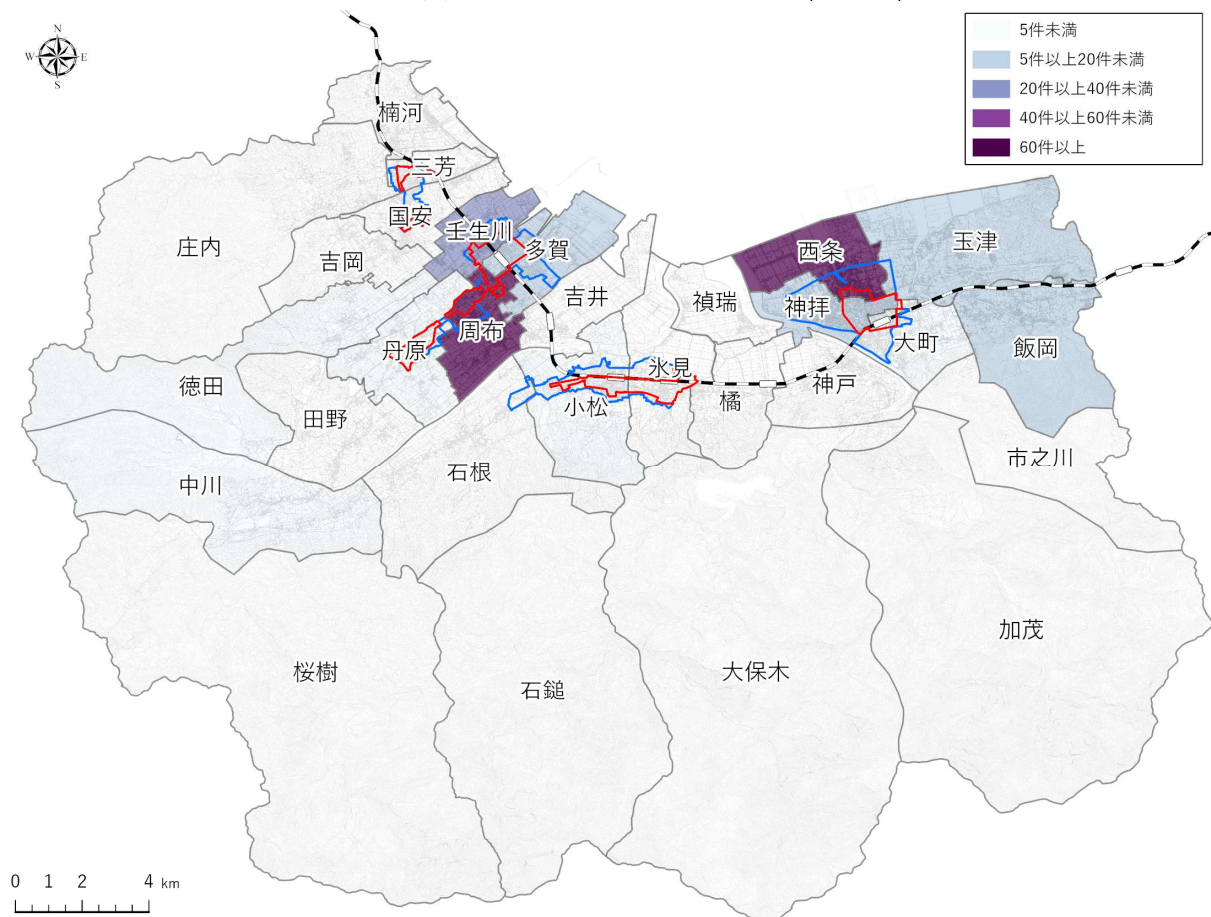
①店舗の場所（1つ選択）

- ・衣料品、家具・家電や趣味品など（買い回り品）の買い物に利用する店舗の場所については、「市内」が431人（55.5%）、「市外」が244人（31.4%）となっています。
- ・「市内」の具体的な地区として、西条地区（97人）、周布地区（70人）、壬生川地区（34人）等が挙げられています。
- ・「市外」の具体的な場所として、新居浜市（23人）、今治市（16人）、松山市（11人）等が挙げられています。

■ 買い回り品に利用する店舗の場所

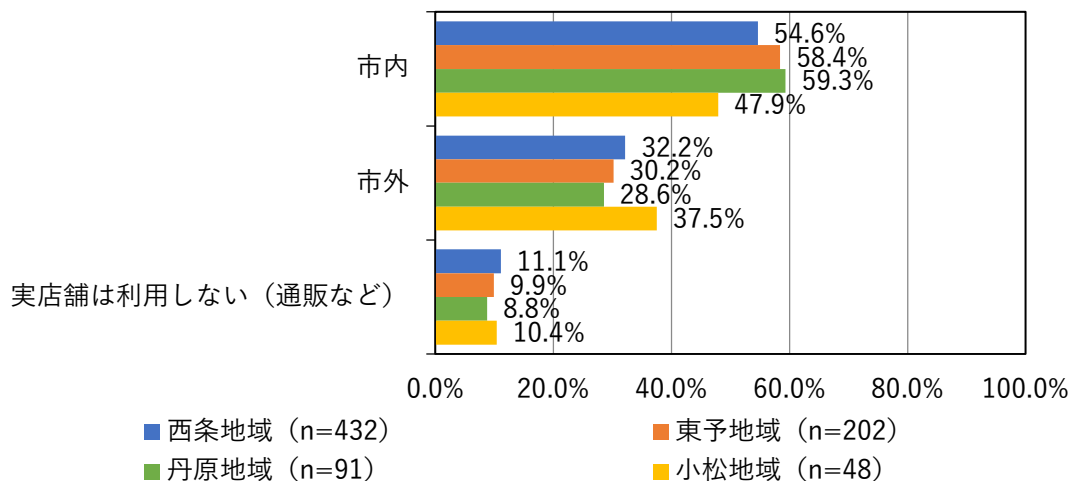


■ 買い回り品に利用する店舗の場所（地区別）

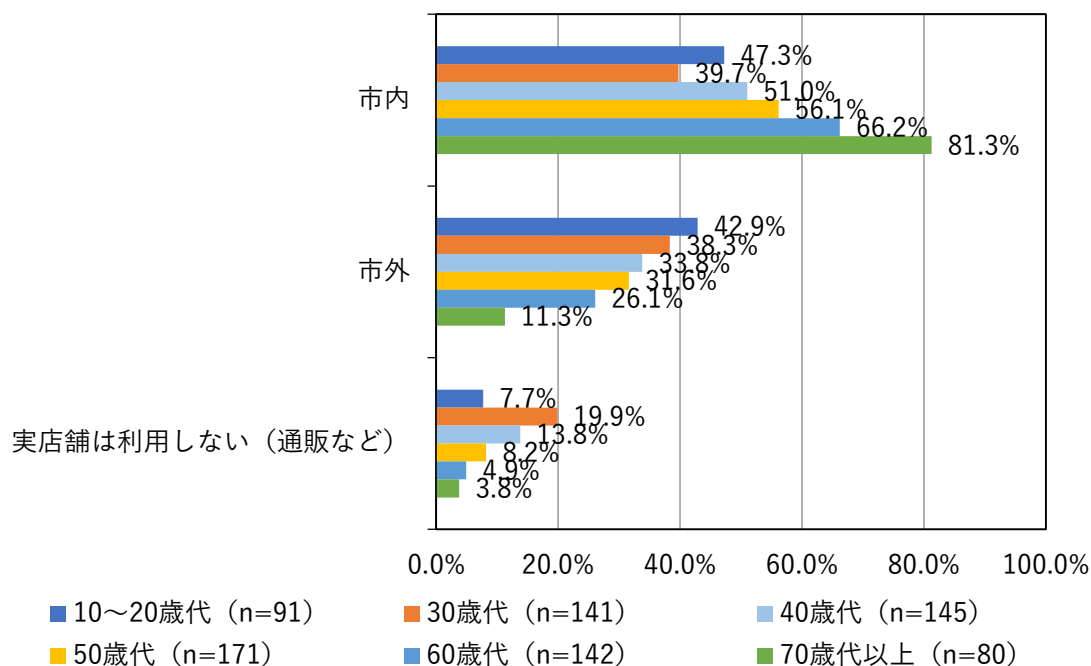


- ・地域別にみると、小松地域で「市外」が比較的多くなっています。
- ・年齢別では、高齢になるにつれて「市内」が、若くなるにつれて「市外」が多くなる傾向がみられます。

■ 買い回り品に利用する店舗の場所（地域別）



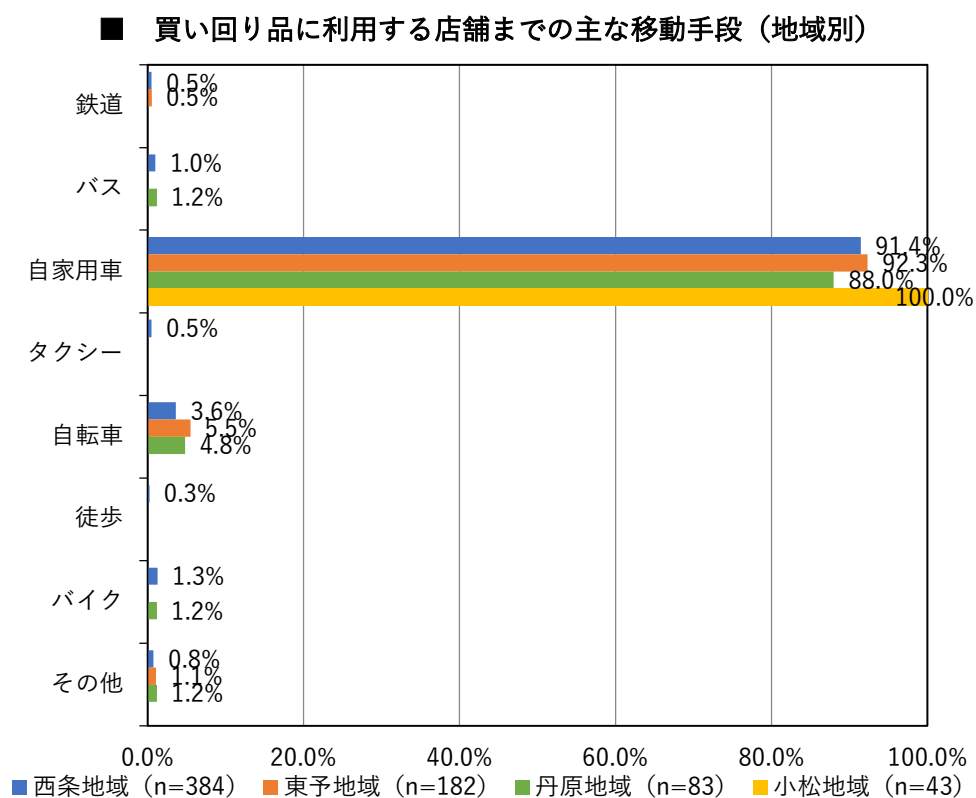
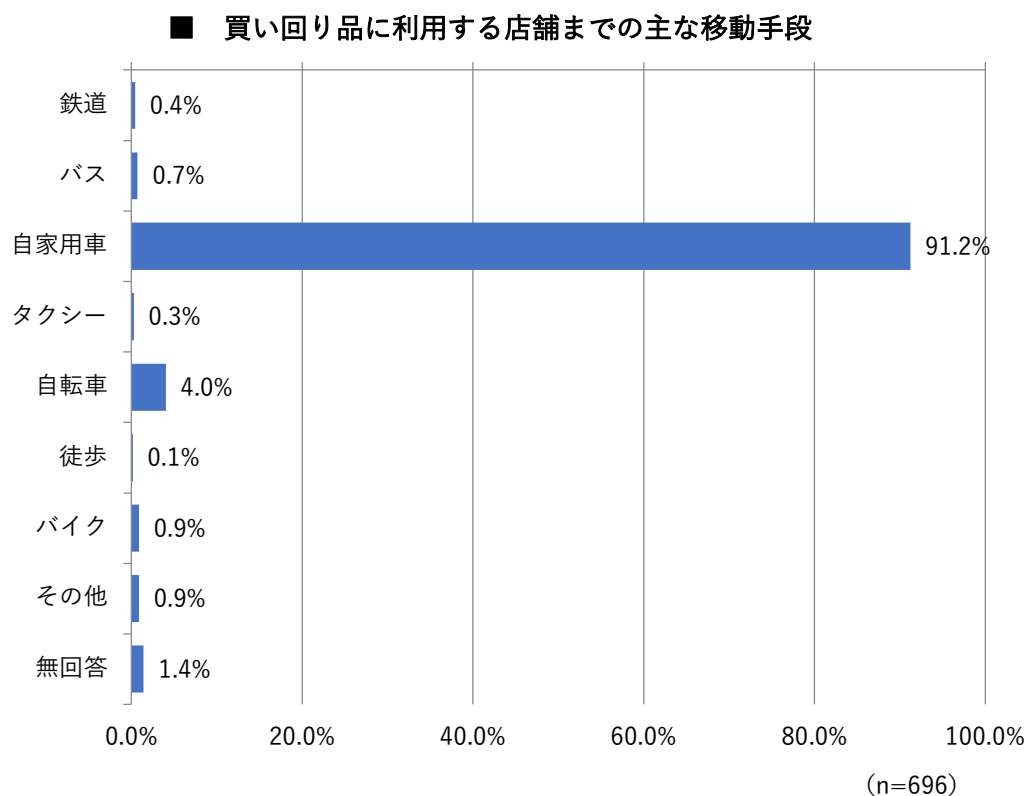
■ 買い回り品に利用する店舗の場所（年齢別）



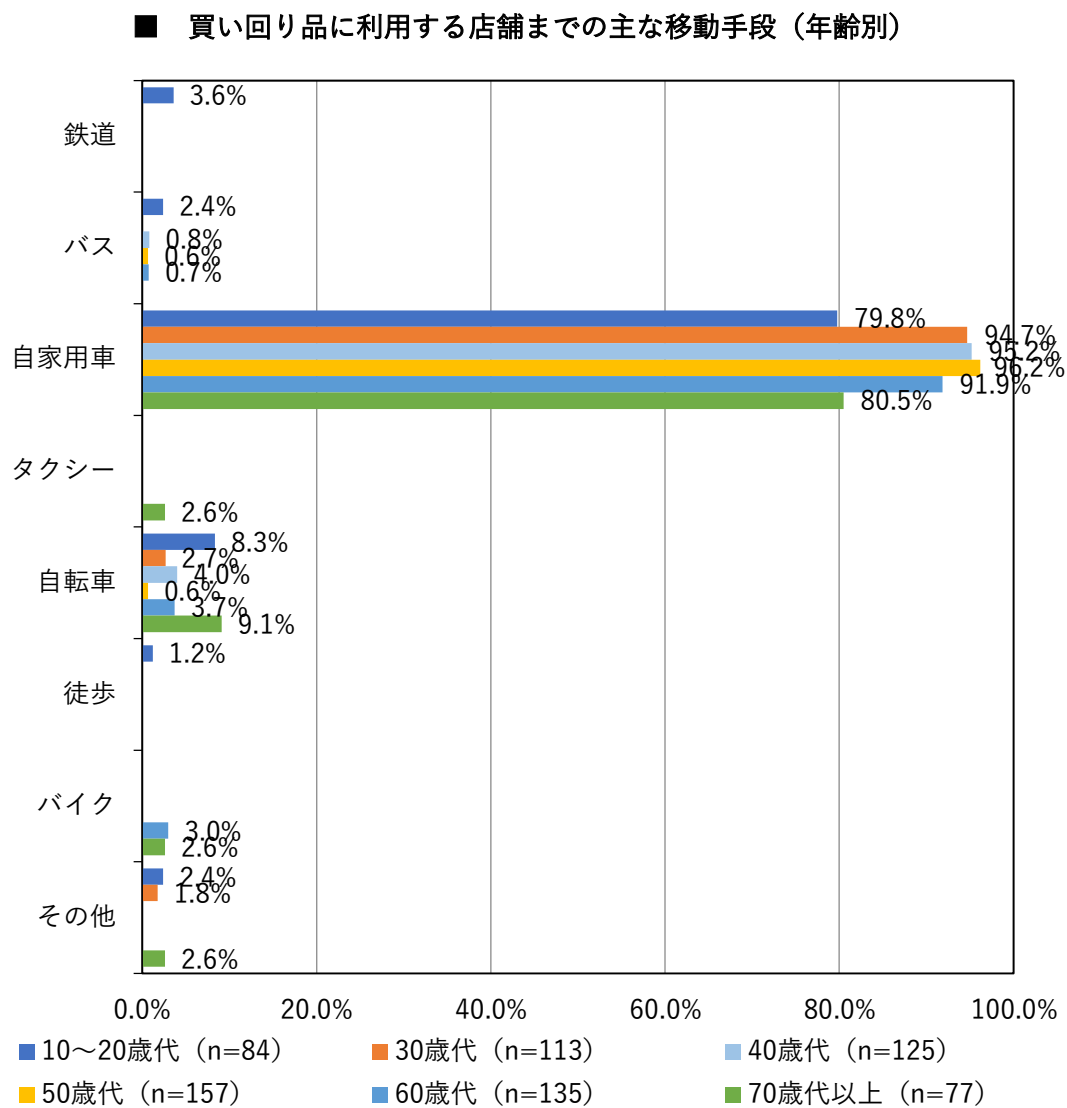
問4：衣料品、家具・家電や趣味品など（買い回り品）の買い物に利用する店舗

②主な移動手段（1つ選択）

- ・衣料品、家具・家電や趣味品など（買い回り品）の買い物に利用する店舗までの主な移動手段については、「自家用車」が635人（91.2%）と突出して多くなっています。
- ・地域別では、各地域で概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられません。



- ・年齢別では、各世代で概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

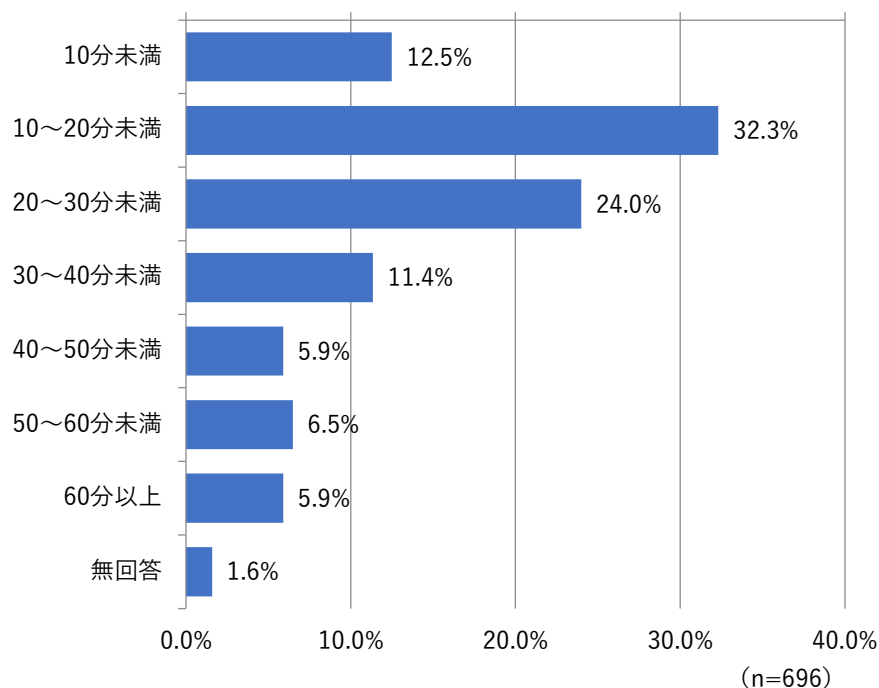


問4：衣料品、家具・家電や趣味品など（買い回り品）の買い物に利用する店舗

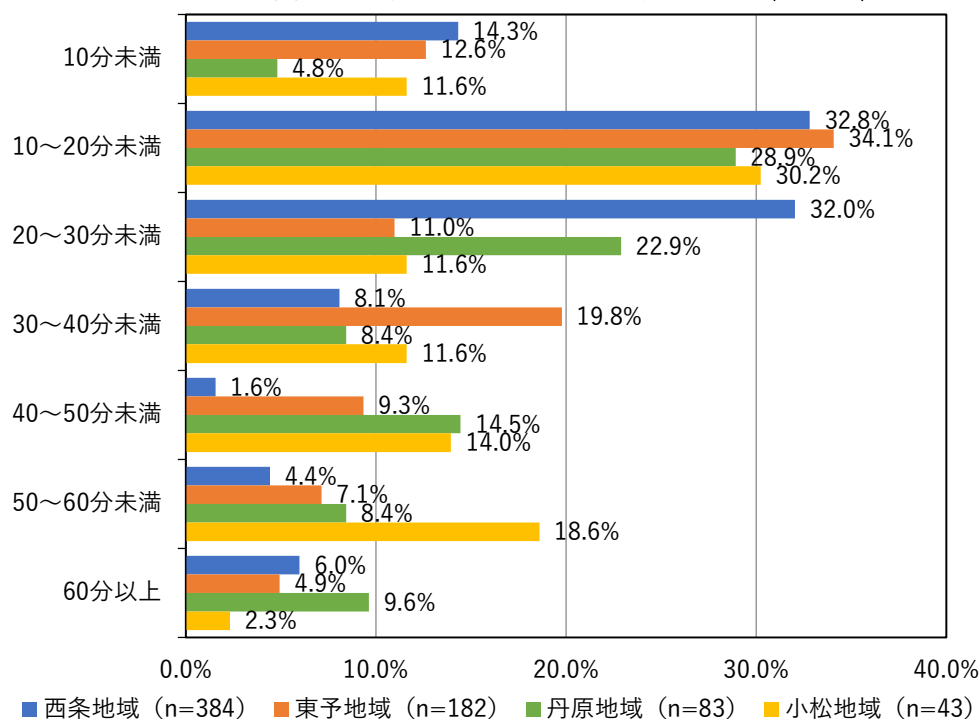
③移動時間（1つ選択）

- ・衣料品、家具・家電や趣味品など（買い回り品）の買い物に利用する店舗までの移動時間は、「10～20分未満」が225人（32.3%）が最も多く、次いで「20～30分未満」が167人（24.0%）となっています。
- ・地域別にみると、西条地域及び丹原地域では「20～30分未満」が、東予地域では「30～40分未満」が比較的多くなっています。なお、丹原地域では「10分未満」が比較的に少なくなっています。

■ 買い回り品に利用する店舗までの移動時間

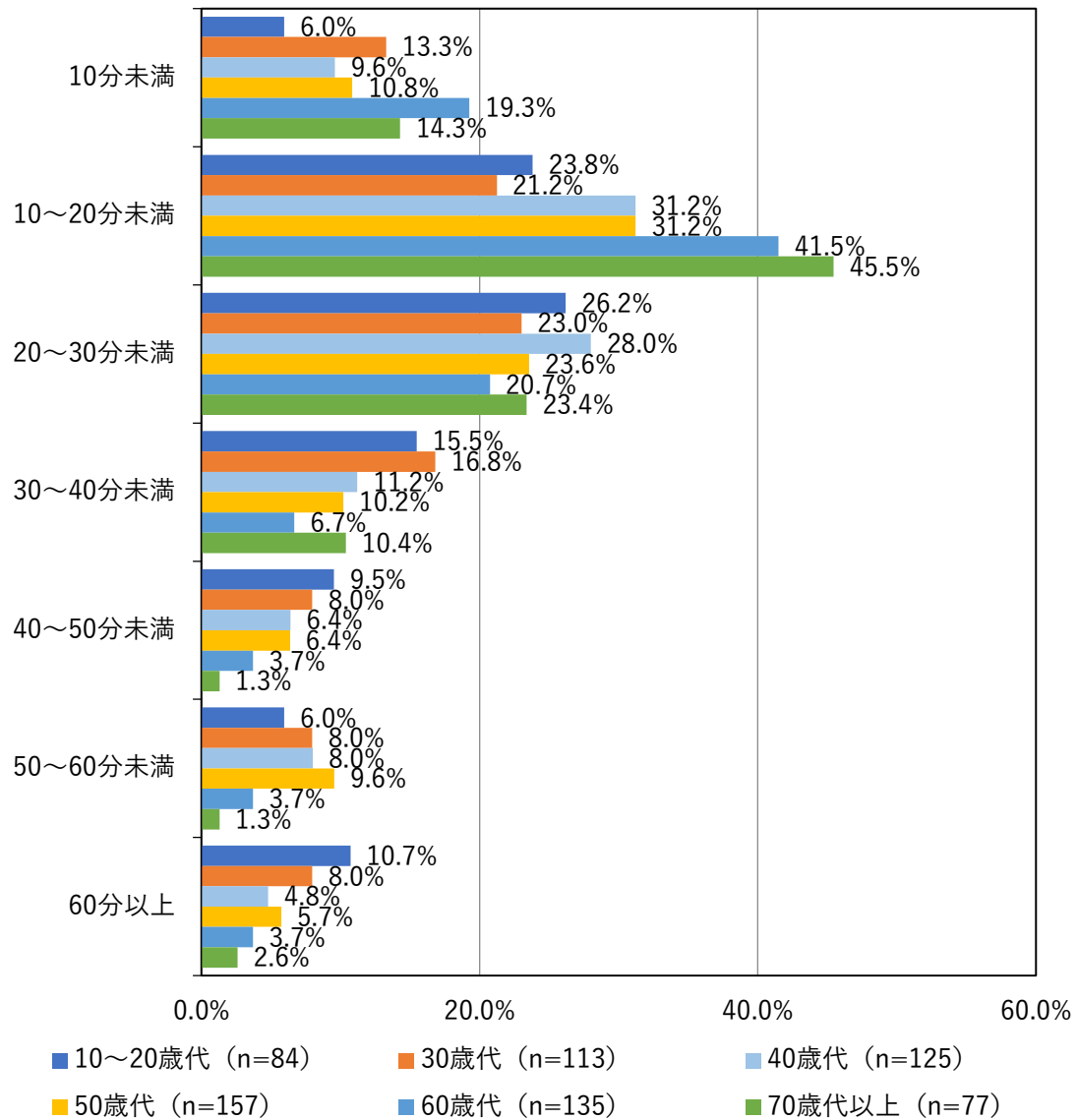


■ 買い回り品に利用する店舗までの移動時間（地域別）



- ・年齢別にみると、10～30 歳代では「20～30 分未満」が、40 歳代以上では「10～20 分未満」がそれぞれ比較的多くなっています。

■ 買い回り品に利用する店舗までの移動時間（年齢別）

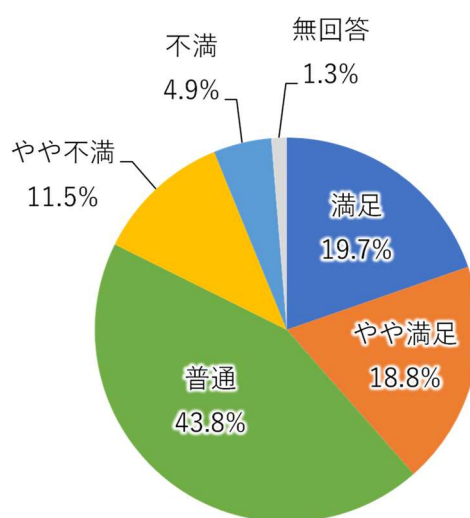


問4：衣料品、家具・家電や趣味品など（買い回り品）の買い物に利用する店舗

④アクセスの利便性（1つ選択）

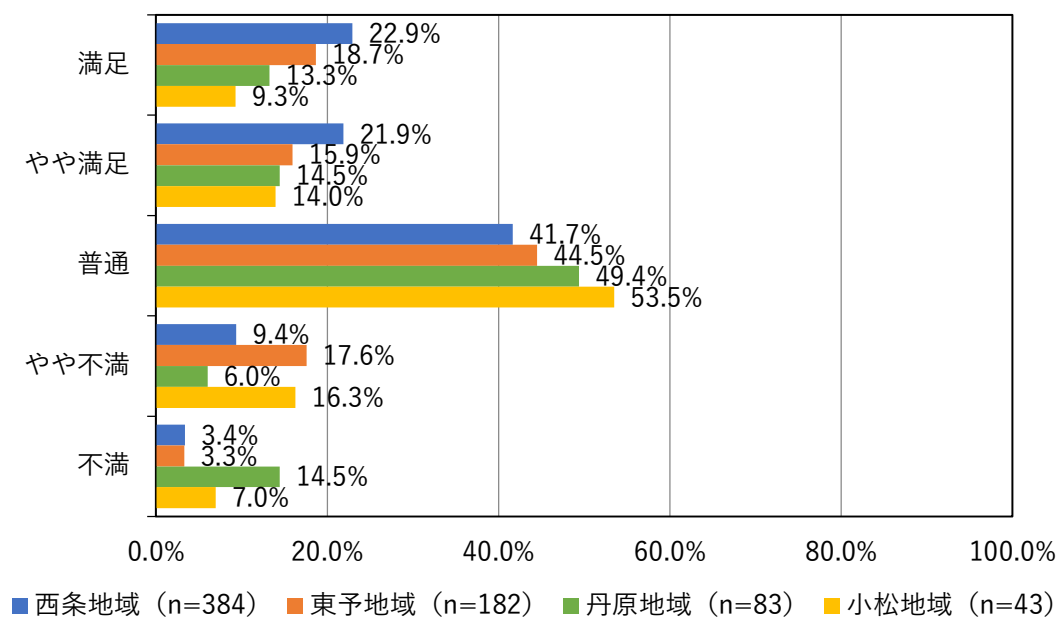
- ・食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗のアクセス利便性については、「普通」が305人（43.8%）と最も多く、次いで「満足」が137人（19.7%）、「やや満足」が131人（18.8%）となっており、「満足」と「やや満足」を合わせると、約4割で満足度が高くなっています。
- ・地域別にみると、西条地域及び東予地域では「満足」が、丹原地域や小松地域では「普通」がそれぞれ比較的多くなっています。

■ 買い回り品に利用する店舗までのアクセス利便性



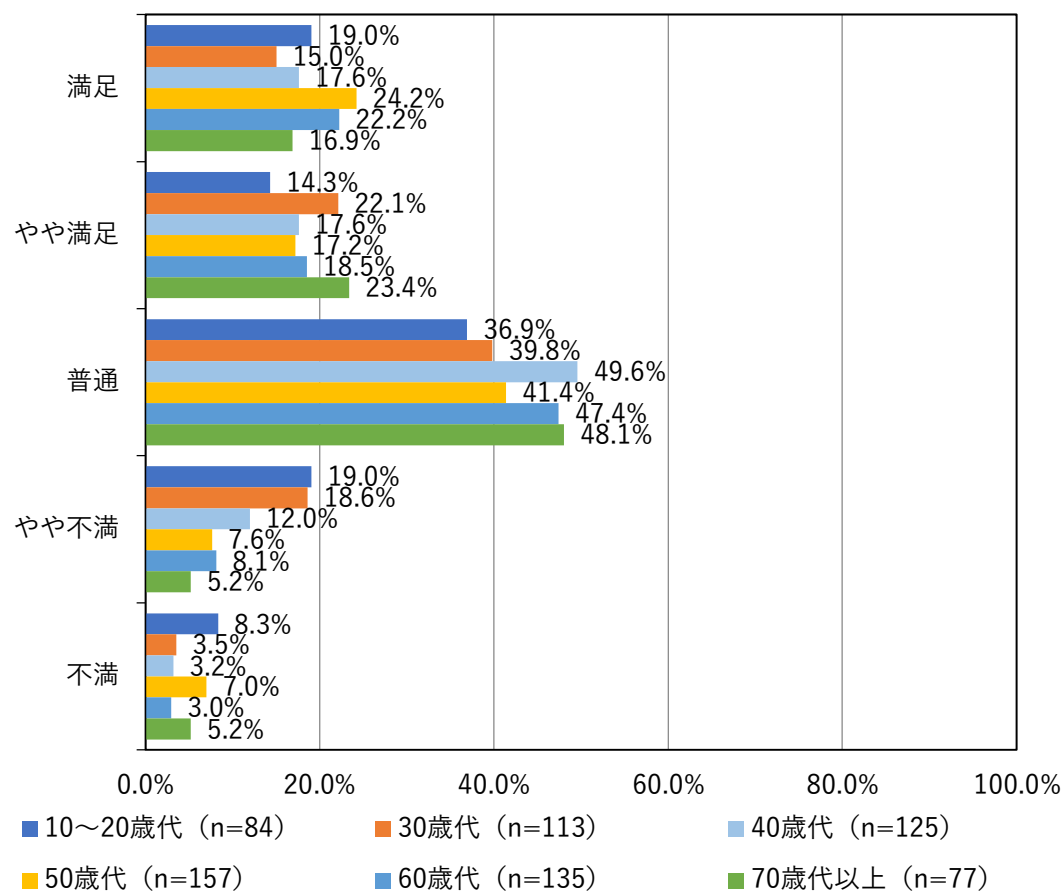
(n=696)

■ 買い回り品に利用する店舗までのアクセス利便性（地域別）



- ・年齢別では、各世代で概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

■ 買い回り品に利用する店舗までのアクセス利便性（年齢別）

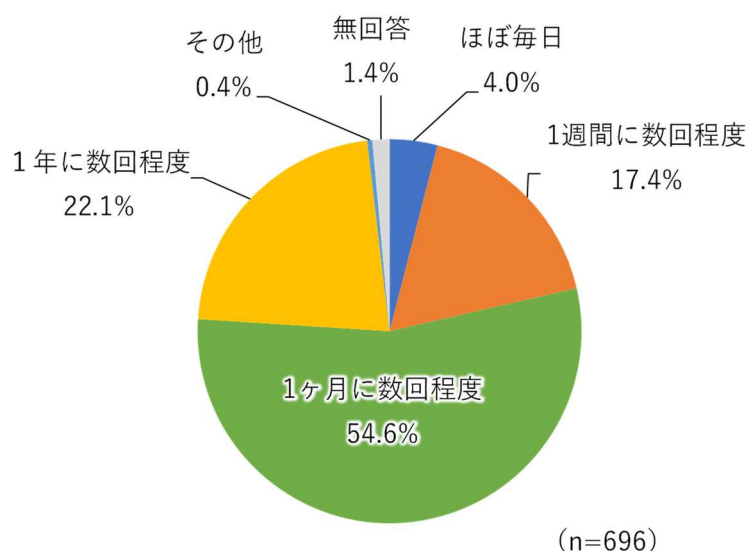


問4：衣料品、家具・家電や趣味品など（買い回り品）の買い物に利用する店舗

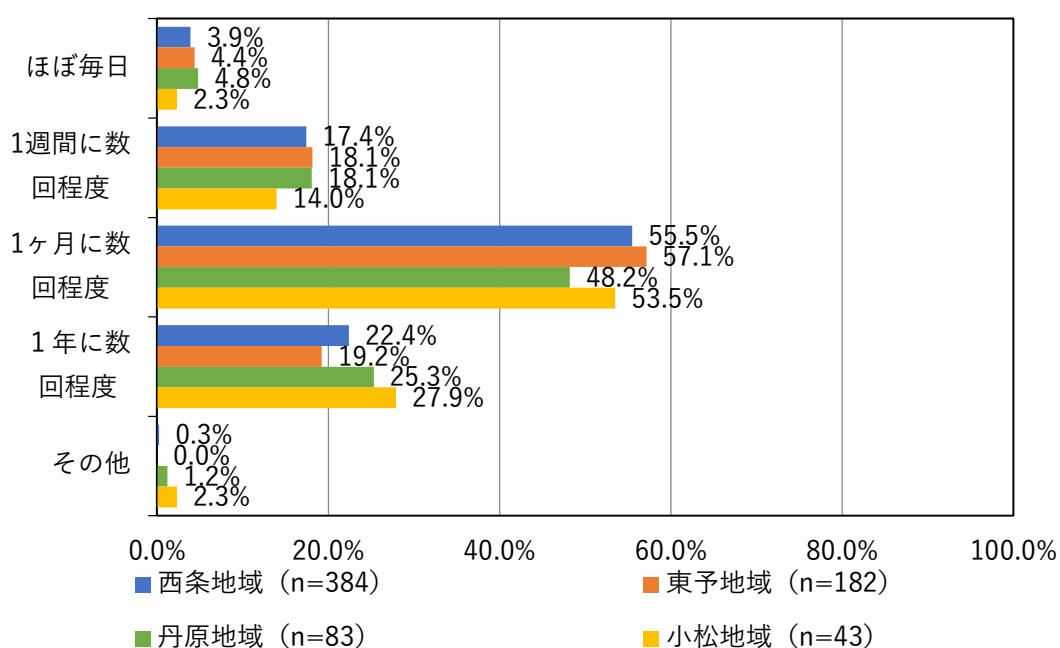
⑤利用頻度（1つ選択）

- ・衣料品、家具・家電や趣味品など（買い回り品）の買い物に利用する店舗の利用頻度については、「1ヶ月に数回程度」が380人（54.6%）と最も多く、次いで「1年に数回程度」が154人（22.1%）となっています。
- ・地域別では、各地域で同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

■ 買い回り品に利用する店舗の利用頻度

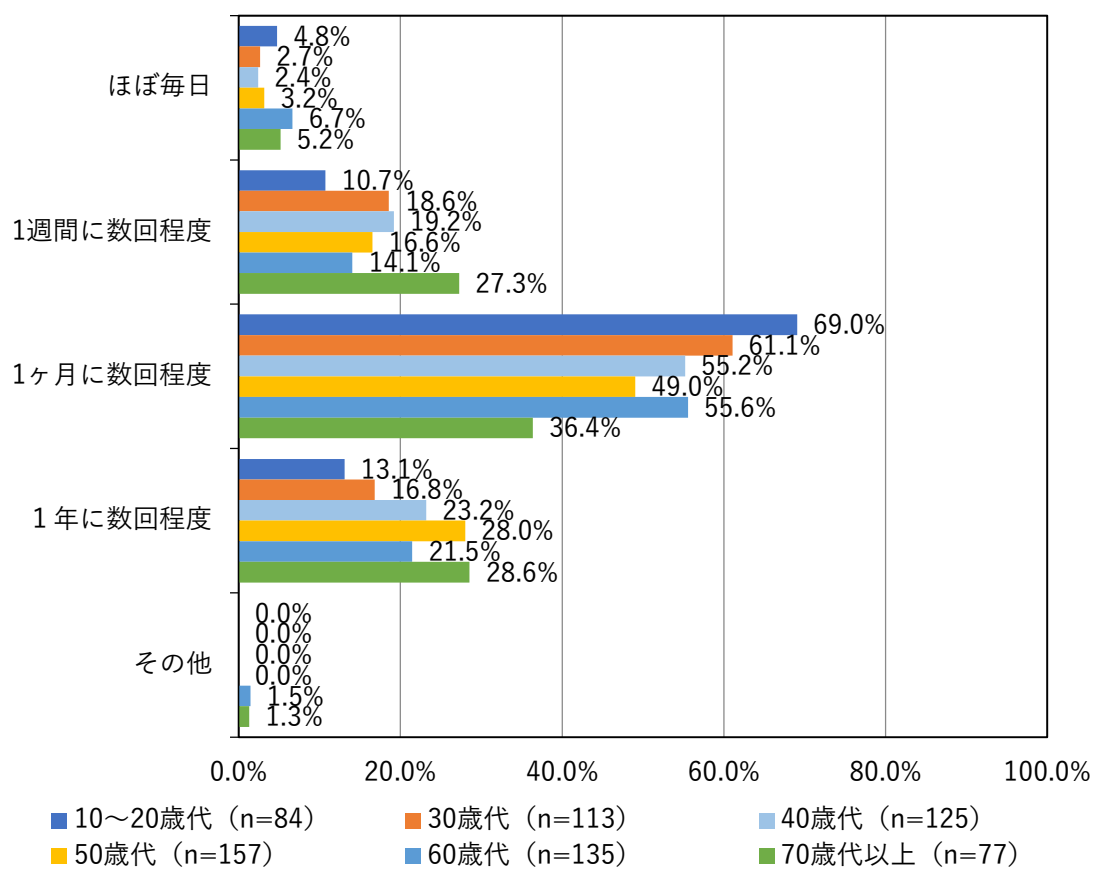


■ 買い回り品に利用する店舗の利用頻度（地域別）



- ・年齢別にみると、10～20 歳代では「1 か月に数回程度」の割合が比較的多くなっています。

■ 買い回り品に利用する店舗の利用頻度（年齢別）

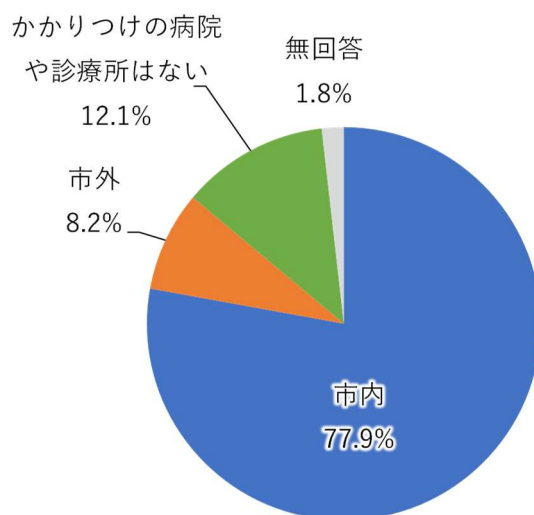


問5：かかりつけの病院や診療所への通院

①施設の場所（1つ選択）

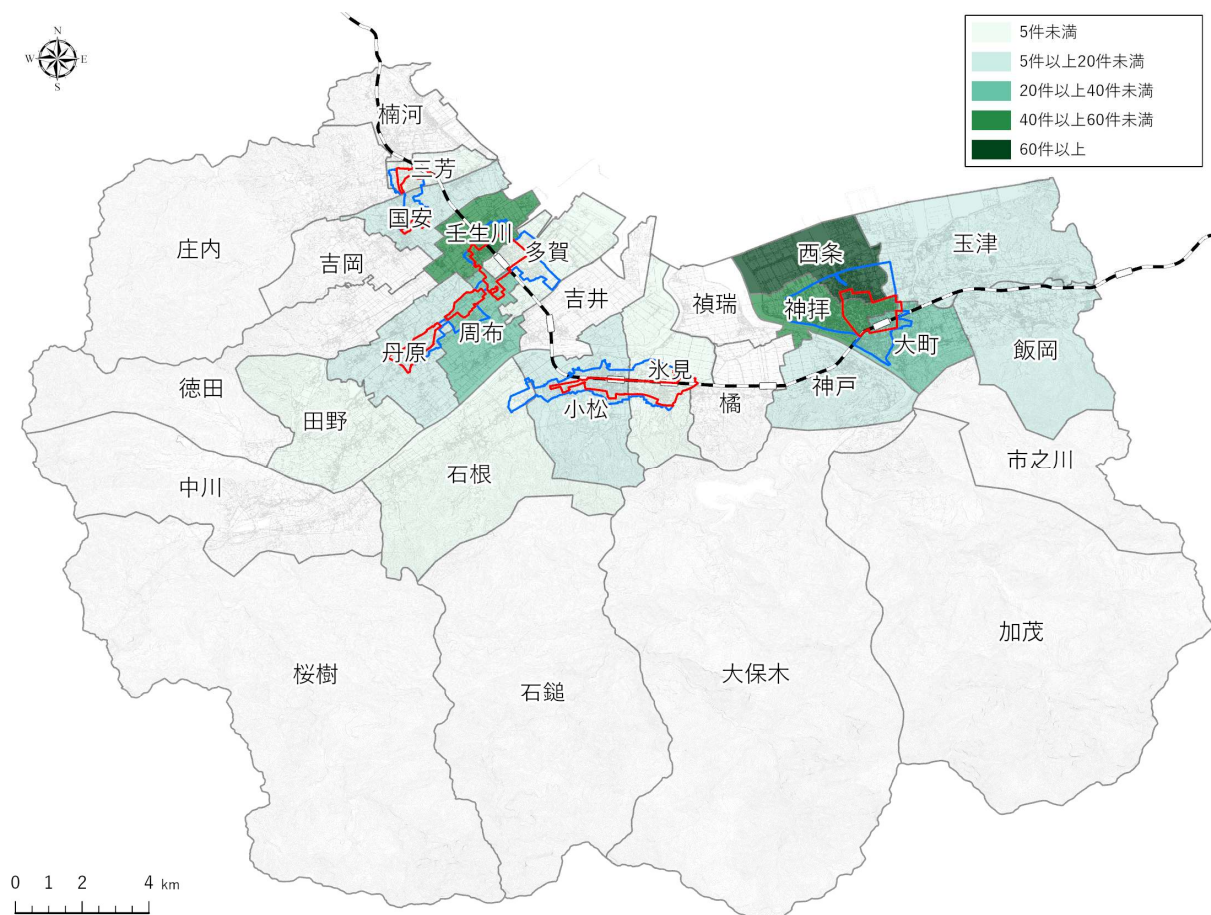
- ・かかりつけの病院や診療所の場所については、「市内」が605人（77.9%）が最も多く、次いで「かかりつけの病院や診療所がない」が94人（12.1%）となっています。
- ・「市内」の具体的な地区としては、西条地区が122人と突出して多く、次いで壬生川地区（44人）、神拝地区（42人）、周布地区（35人）、大町地区（34人）等が挙げられています。

■ かかりつけの病院や診療所の場所



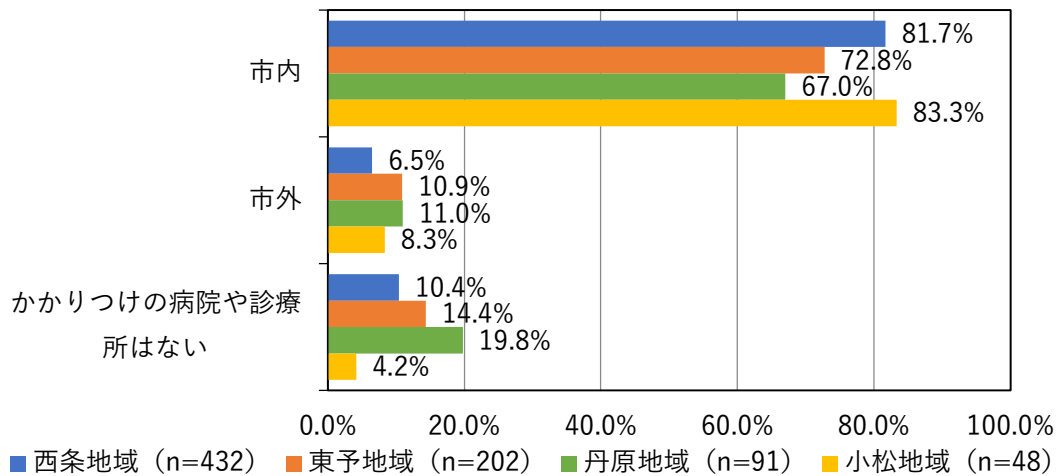
(n=777)

■ かかりつけの病院や診療所の場所（地区別）

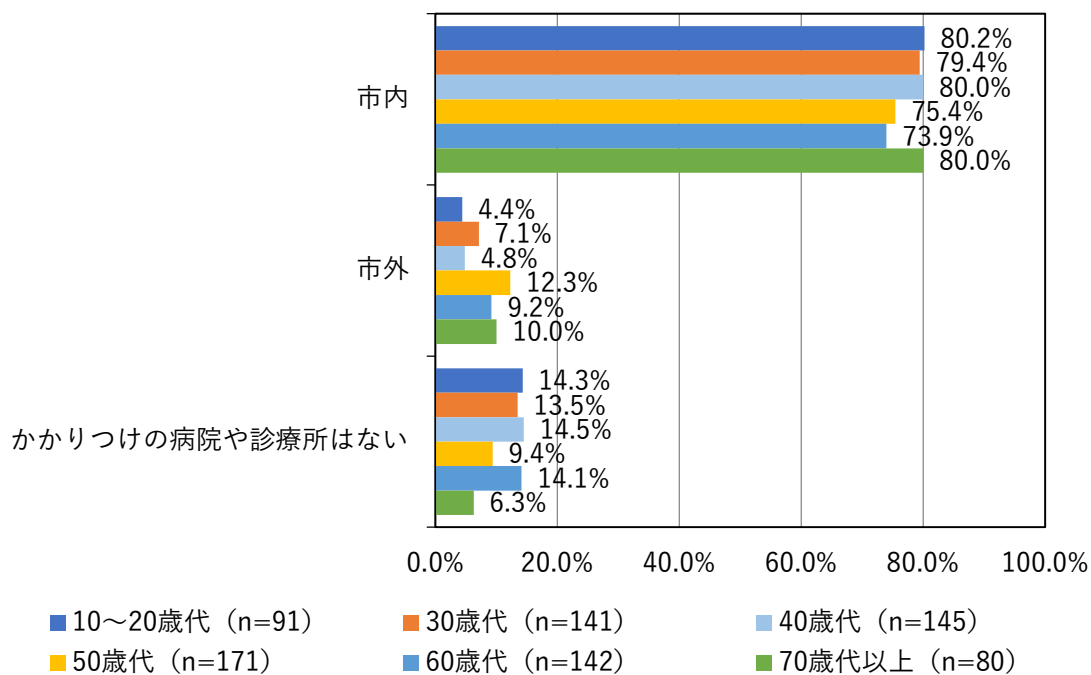


- ・地域別及び年齢別では、それぞれ概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

■ かかりつけの病院や診療所の場所（地域別）



■ かかりつけの病院や診療所の場所（年齢別）

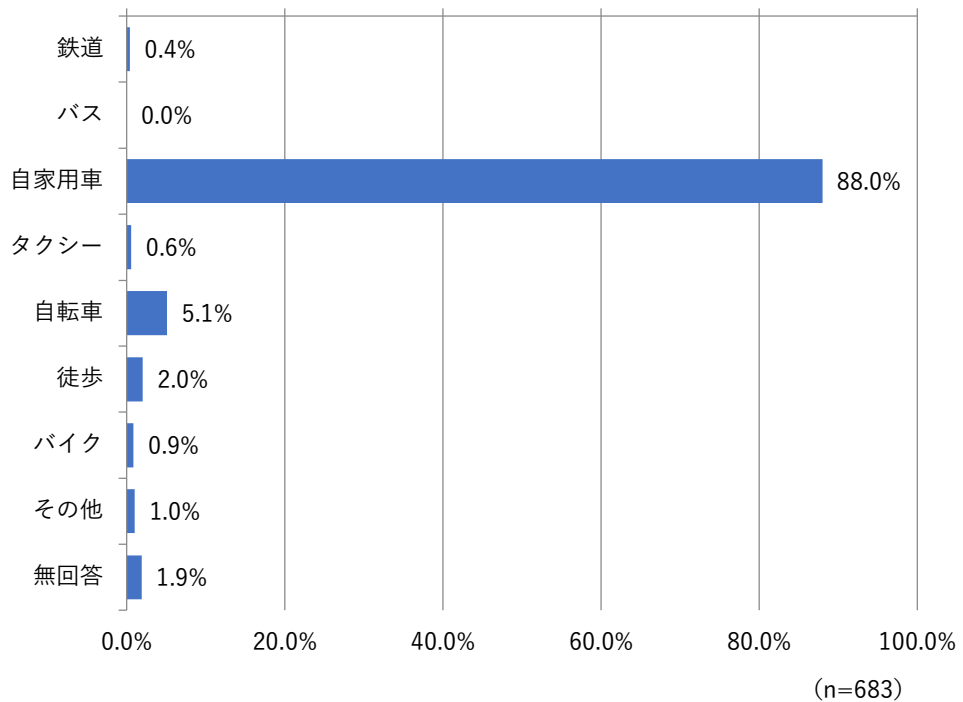


問5：かかりつけの病院や診療所への通院

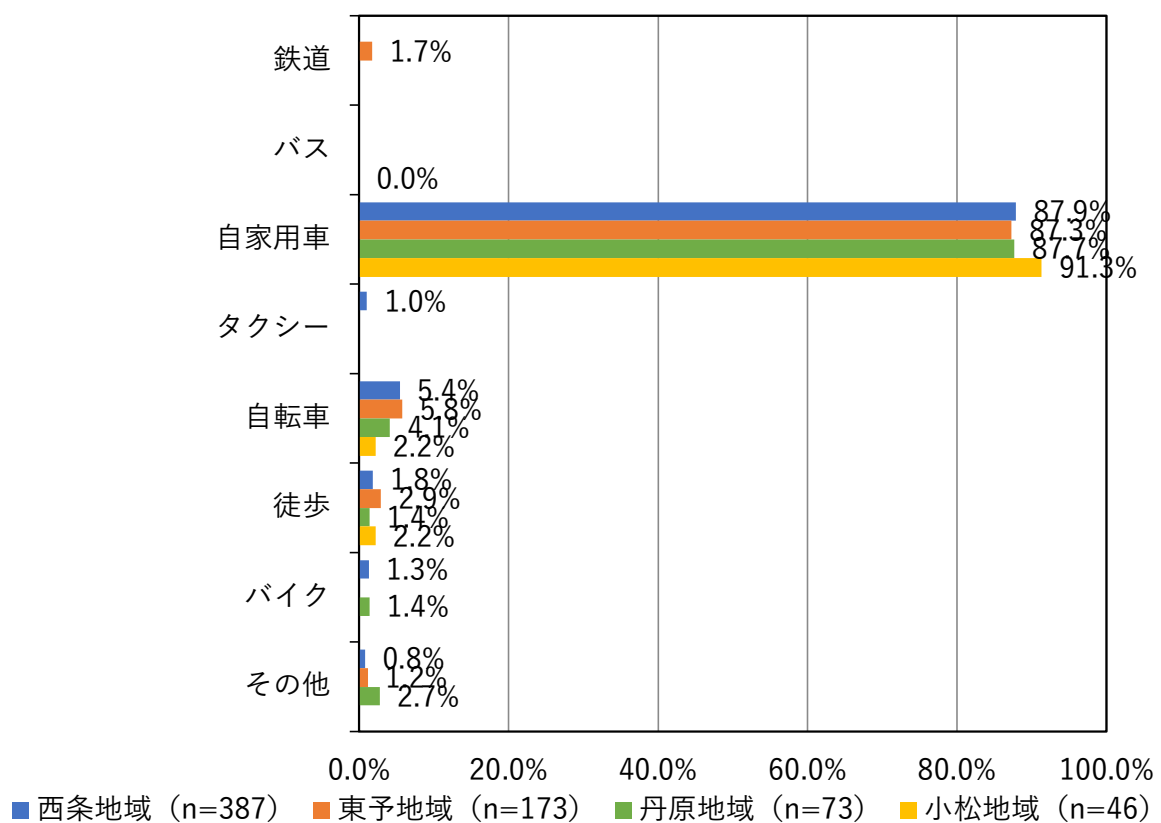
②主な移動手段（1つ選択）

- ・かかりつけの病院や診療所までの主な移動手段については、「自家用車」が601人（88.0%）と突出して多くなっています。
- ・地域別では、各地域で概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

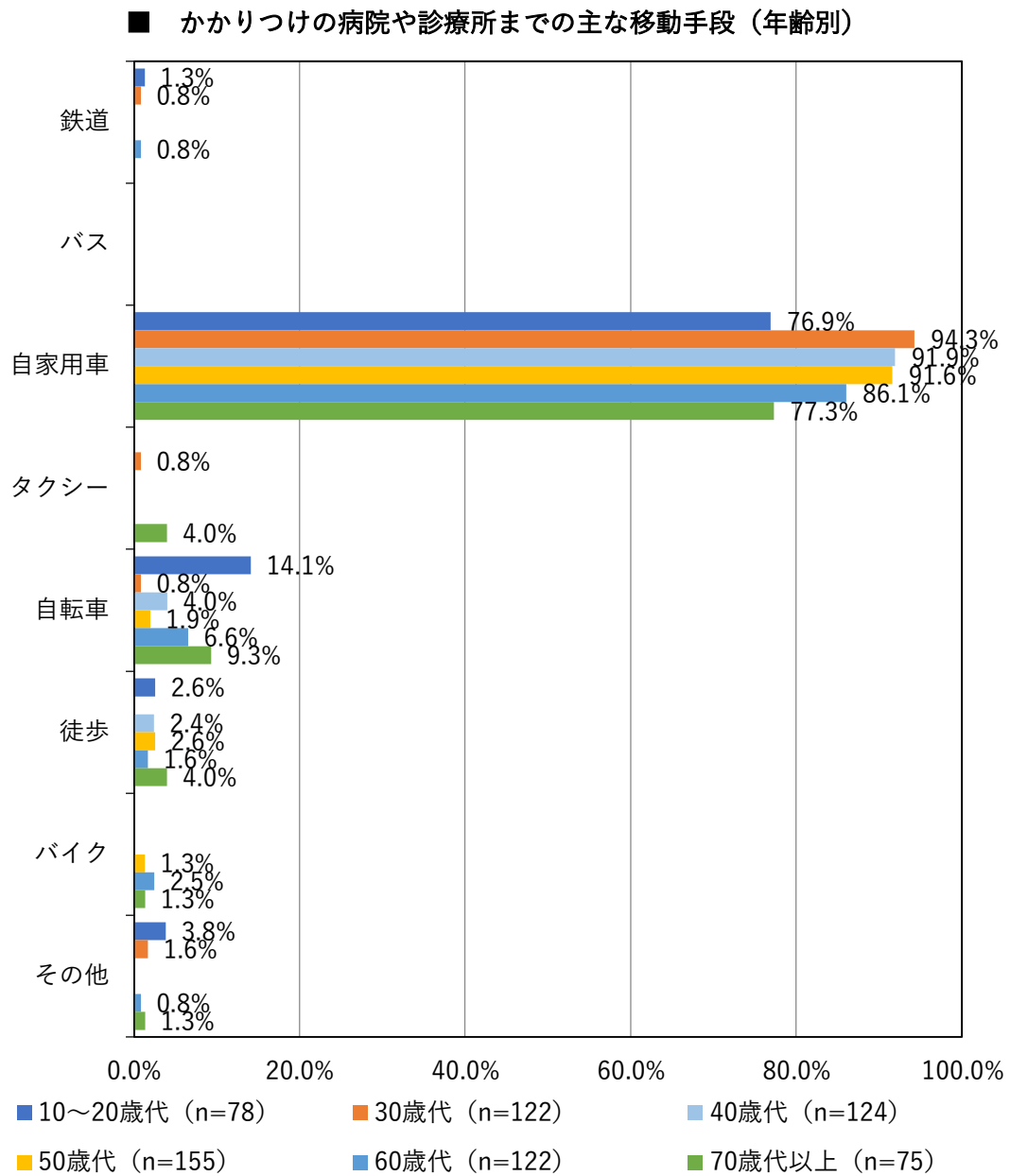
■ かかりつけの病院や診療所までの主な移動手段



■ かかりつけの病院や診療所までの主な移動手段（地域別）



- ・年齢別にみると、10～20 歳代では「自転車」や「徒歩」が、70 歳代以上では「自転車」が比較的多くなっています。

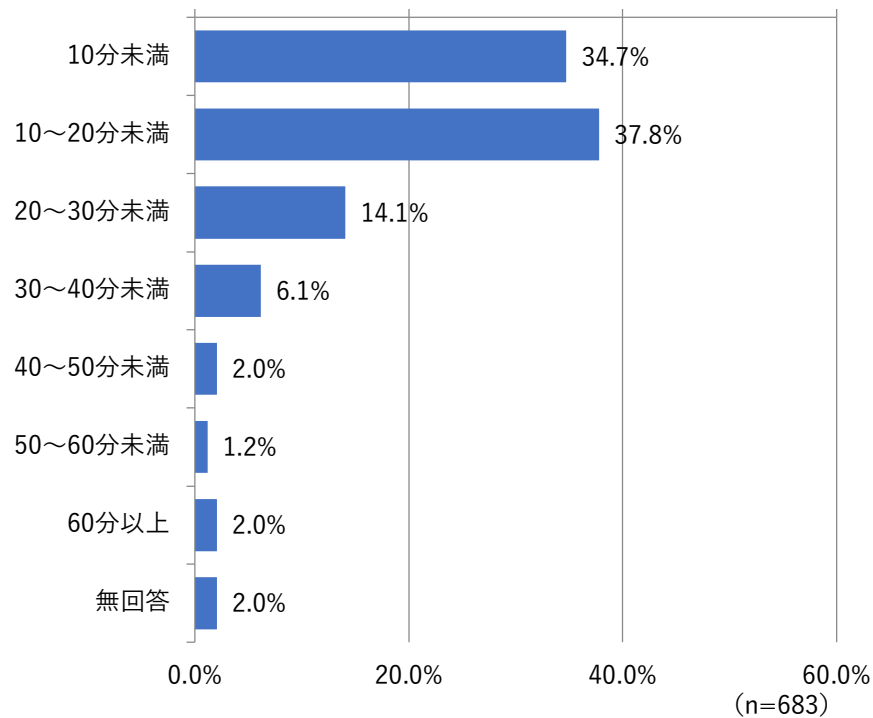


問 5：かかりつけの病院や診療所への通院

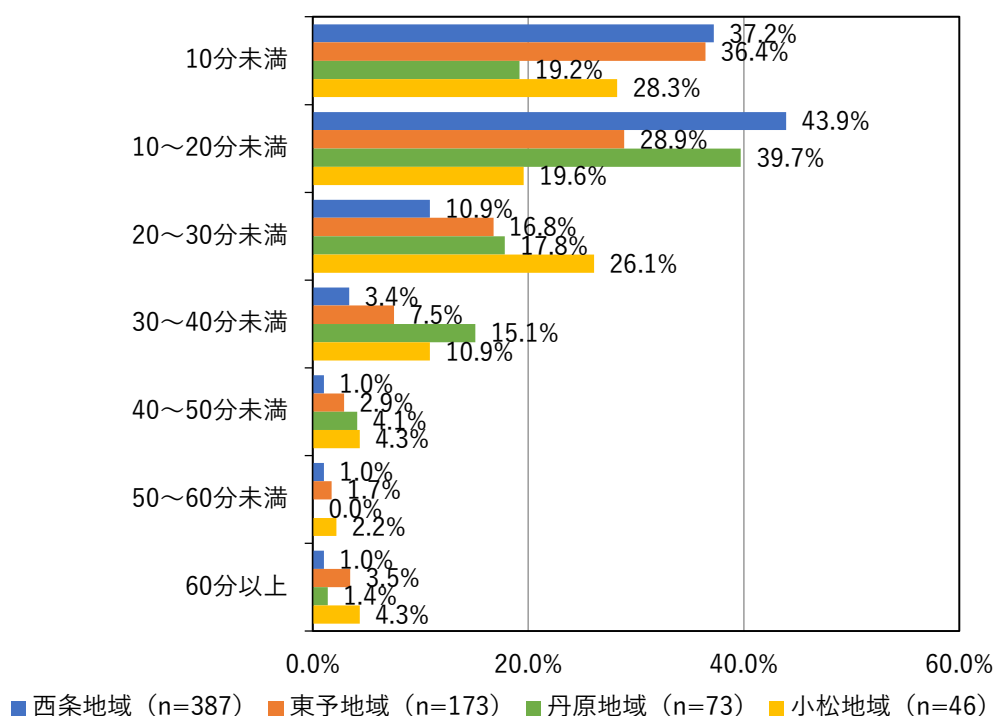
③移動時間（1つ選択）

- ・かかりつけの病院や診療所までの移動時間は、「10 分未満」が 237 人（34.7%）、「10～20 分未満」が 258 人（37.8%）と、20 分以内という回答が 7 割以上となっています。
- ・地域別にみると、西条地域及び丹原地域では「10 分～20 分未満」が、東予地域では「10 未満」がそれぞれ比較的多くなっています。

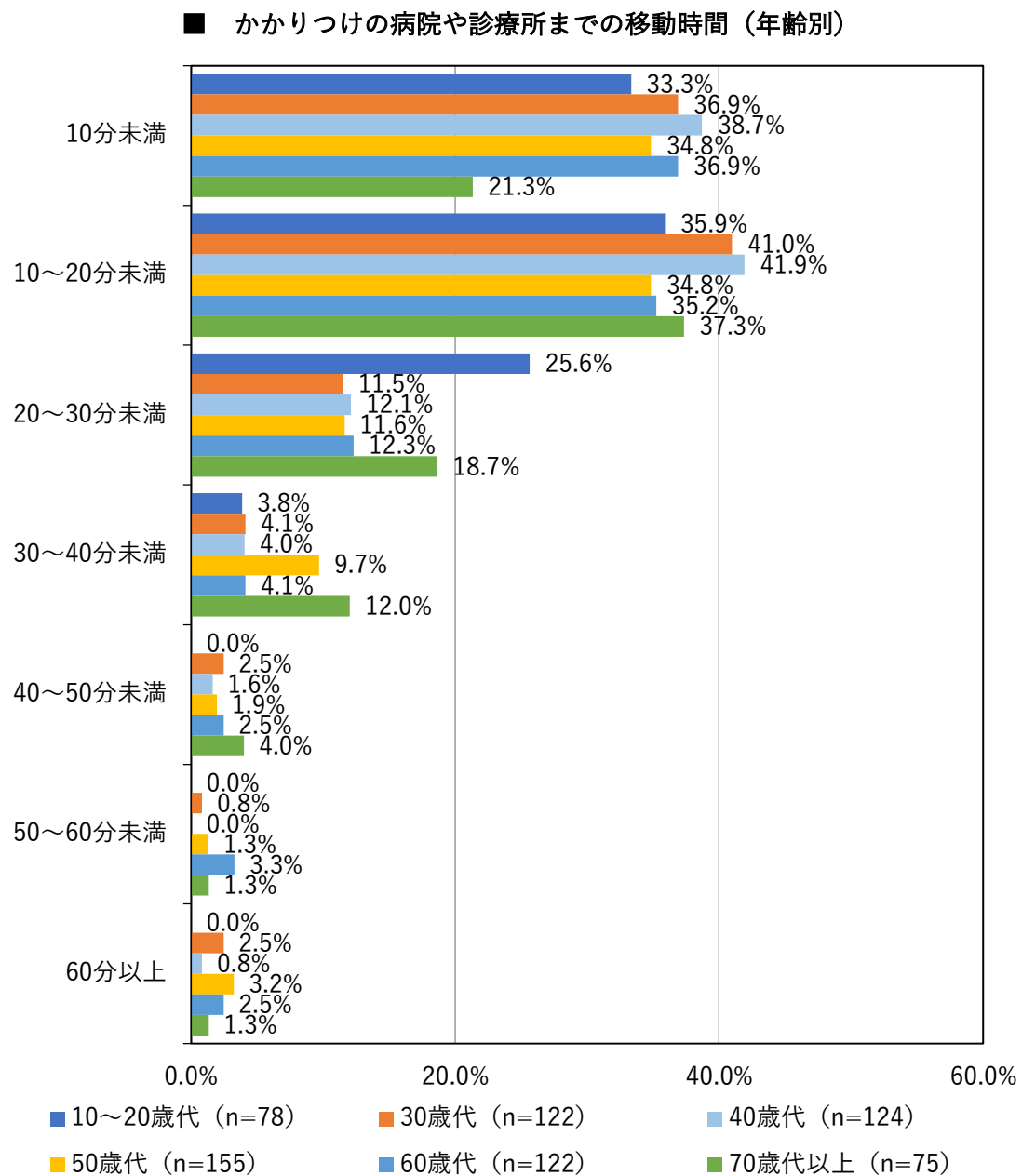
■ かかりつけの病院や診療所までの移動時間



■ かかりつけの病院や診療所までの移動時間（地域別）



- ・年齢別にみると、10～20 歳代及び 70 歳以上では「20～30 分未満」が比較的多くなっており、70 歳以上は「30～40 分未満」も比較的多くなっています。

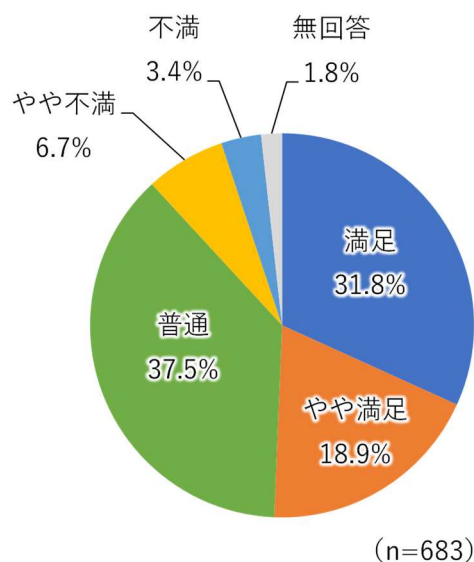


問 5：かかりつけの病院や診療所への通院

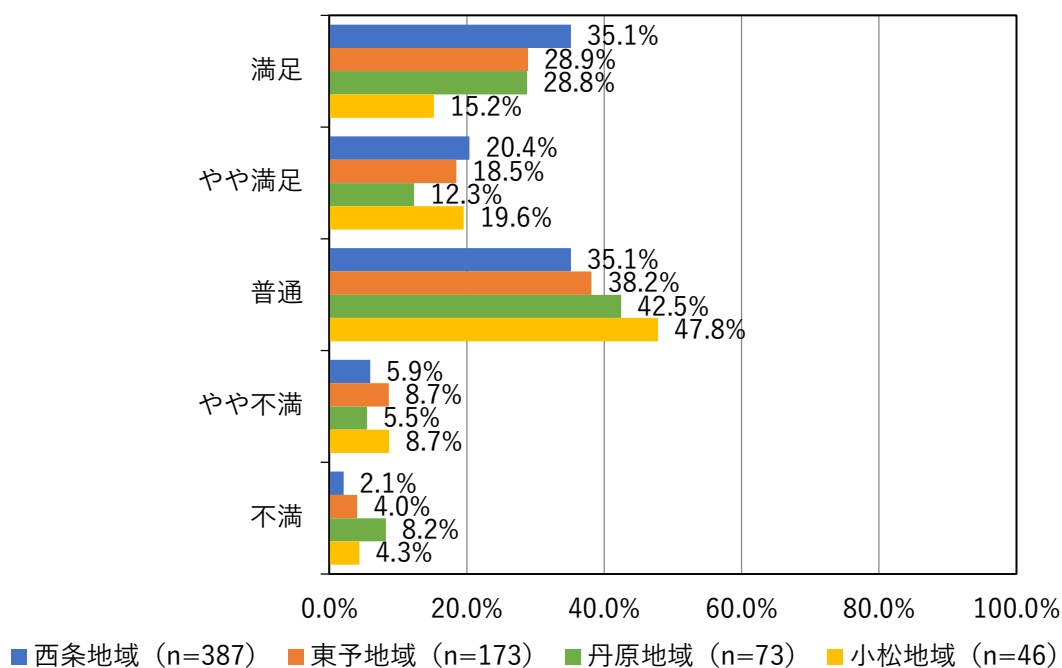
④アクセスの利便性（1つ選択）

- ・かかりつけの病院や診療所のアクセス利便性については、「普通」が 256 人（37.5%）と最も多く、次いで「満足」が 217 人（31.8%）、「やや満足」が 129 人（18.9%）となっており、「満足」と「やや満足」を合わせると、過半数は満足度が高くなっています。
- ・地域別にみると、丹原地域や小松地域では「普通」が比較的多くなっています。

■ かかりつけの病院や診療所までのアクセス利便性

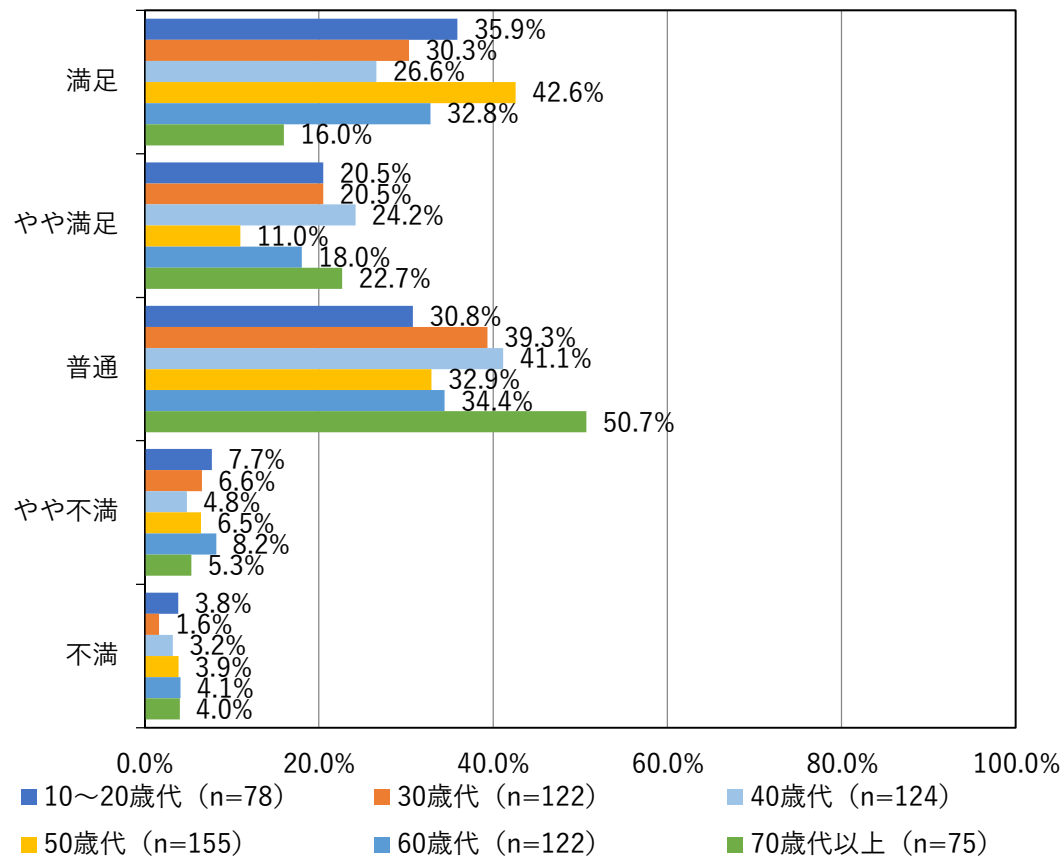


■ かかりつけの病院や診療所までのアクセス利便性（地域別）



- ・年齢別にみると、70歳代以上では「普通」が比較的多くなっています。

■ かかりつけの病院や診療所までのアクセス利便性（年齢別）

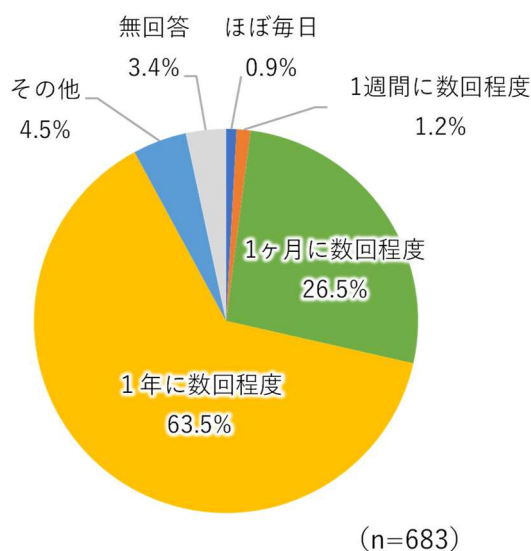


問 5：かかりつけの病院や診療所への通院

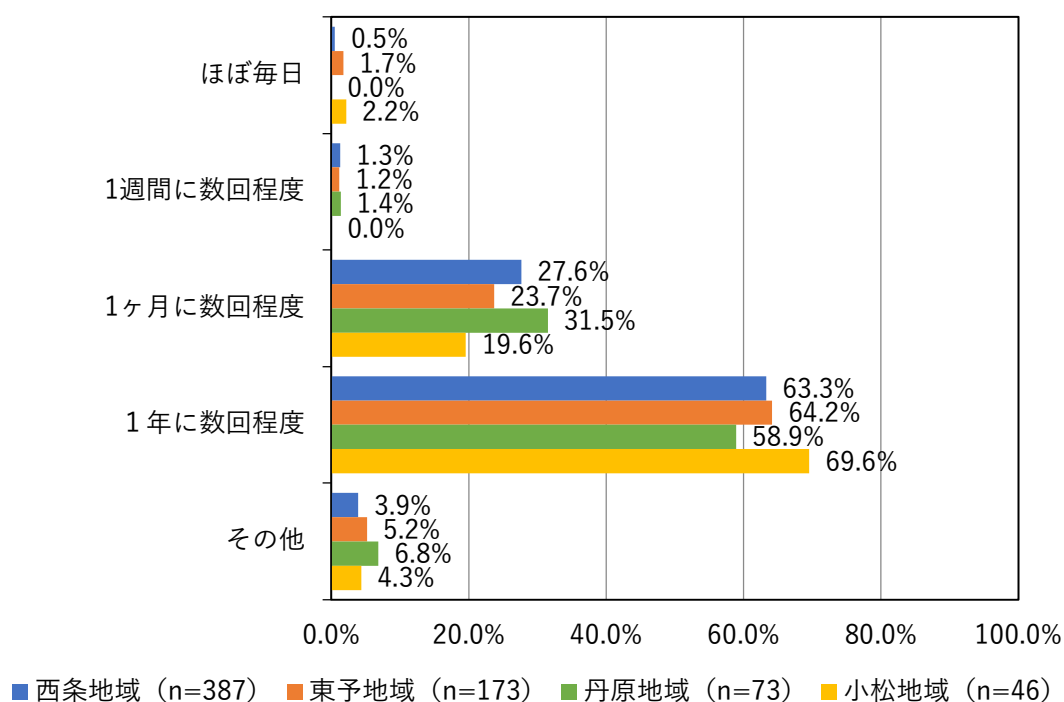
⑤利用頻度（1つ選択）

- ・食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗の利用頻度については、「1年に数回程度」が434人（63.5%）と最も多く、次いで「1か月に数回程度」が181人（26.5%）となっています。
- ・地域別では、各地域で同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

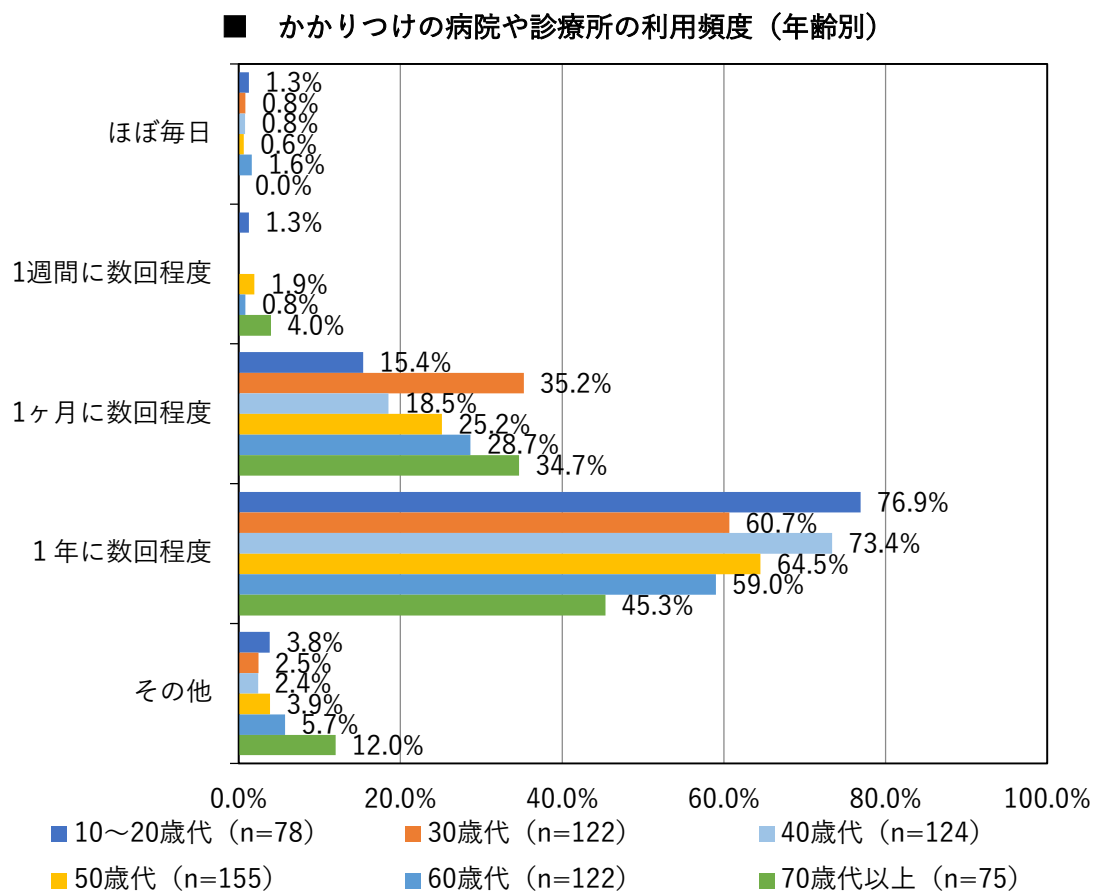
■ かかりつけの病院や診療所の利用頻度



■ かかりつけの病院や診療所の利用頻度（地域別）



- ・年齢別では、30歳代が「1か月に数回程度」が比較的多くなっています。

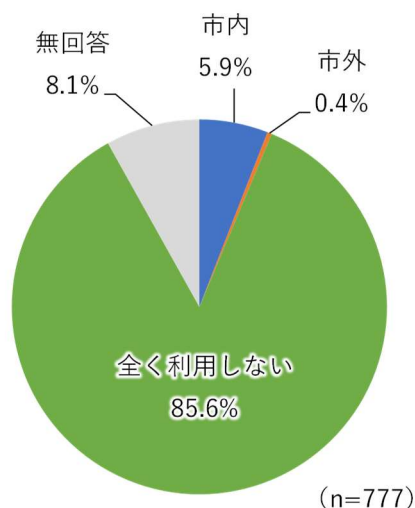


問6：通所型の福祉施設デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、障がい者福祉施設の利用

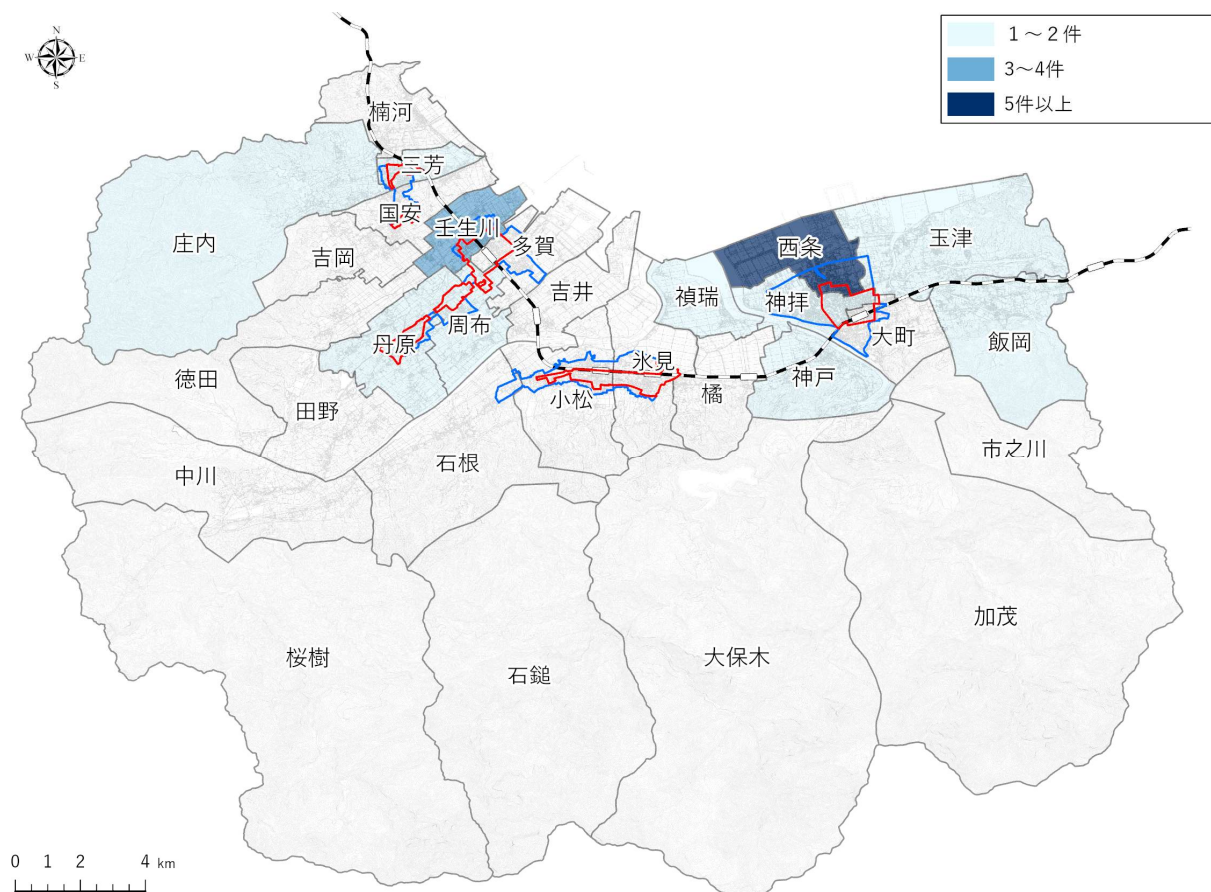
①施設の場所（1つ選択）

- ・通所型の福祉施設デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、障がい者福祉施設については、「全く利用しない」が665人（85.6%）と大半を占めており、「市内」の利用は46人（5.9%）となっています。
- ・「市内」の具体的な地区として、西条地区（8人）、壬生川地区（4人）、飯岡地区（2人）等が挙げられています。

■ 利用している福祉施設等の場所

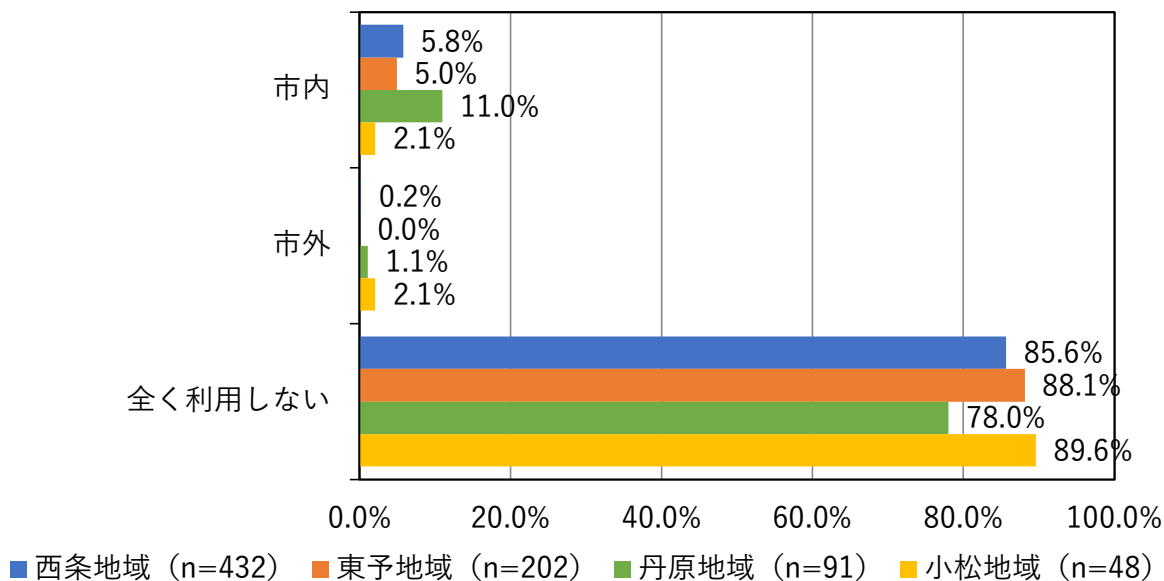


■ 利用している福祉施設等の場所（地区別）

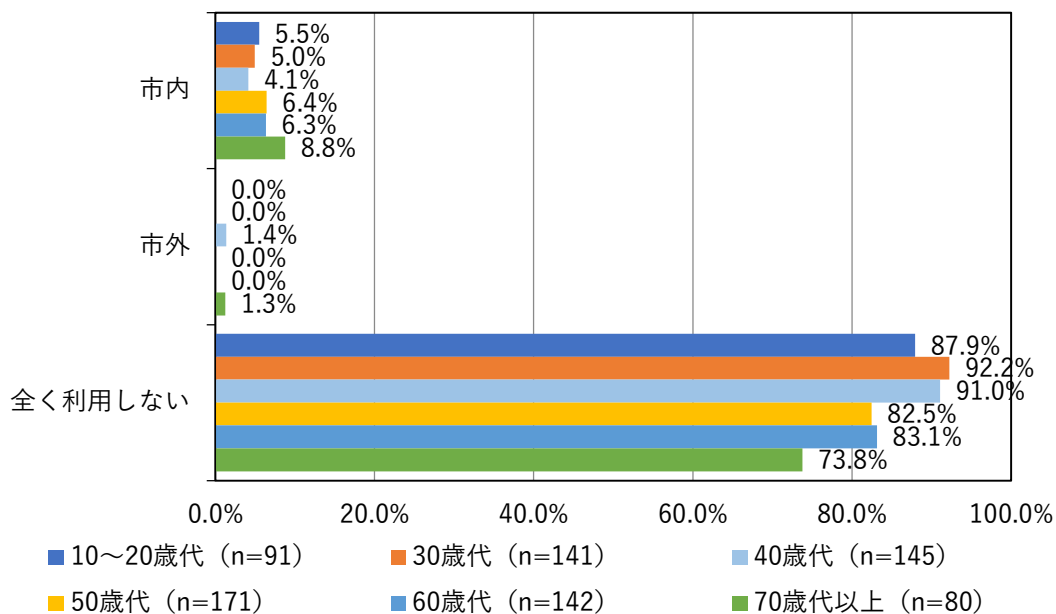


- ・地域別及び年齢別では、それぞれ同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

■ 利用している福祉施設等の場所（地域別）



■ 利用している福祉施設等の場所（年齢別）

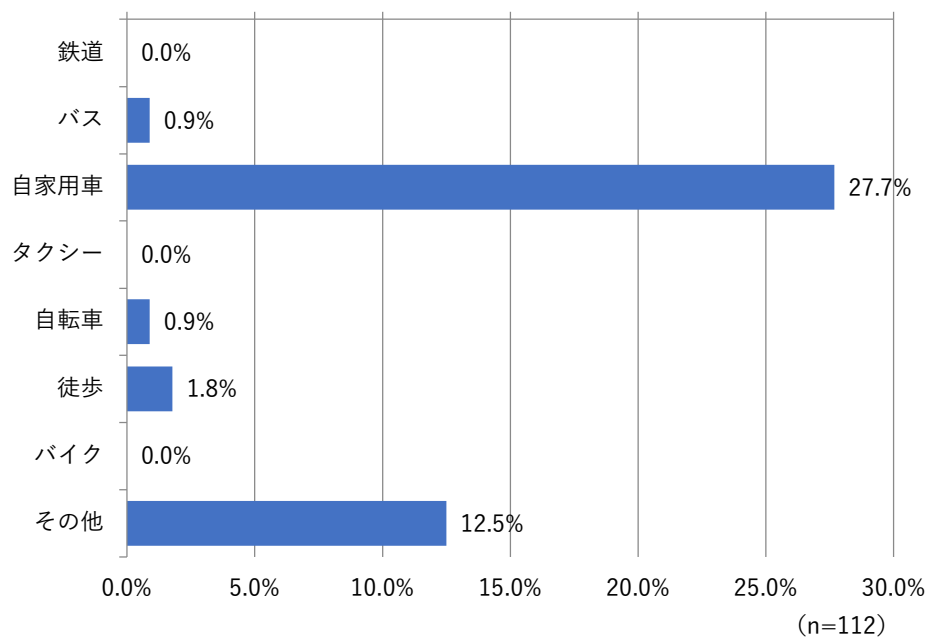


問6：通所型の福祉施設デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、障がい者福祉施設の利用

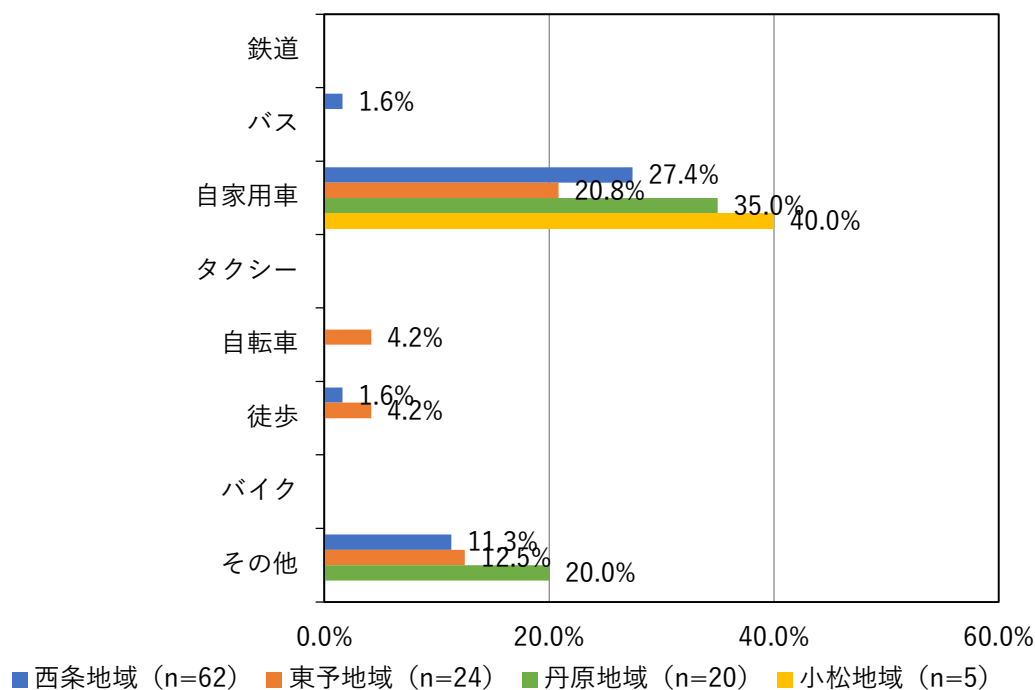
②主な移動手段（1つ選択）

- ・通所型の福祉施設デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、障がい者福祉施設までの主な移動手段については、「自家用車」が31人（27.7%）と最も多く、次いで「その他」（「送迎」又は「訪問」）が14人（12.5%）となっています。
- ・地域別にみると、丹原地域及び小松地域では「自家用車」が比較的多くなっています。

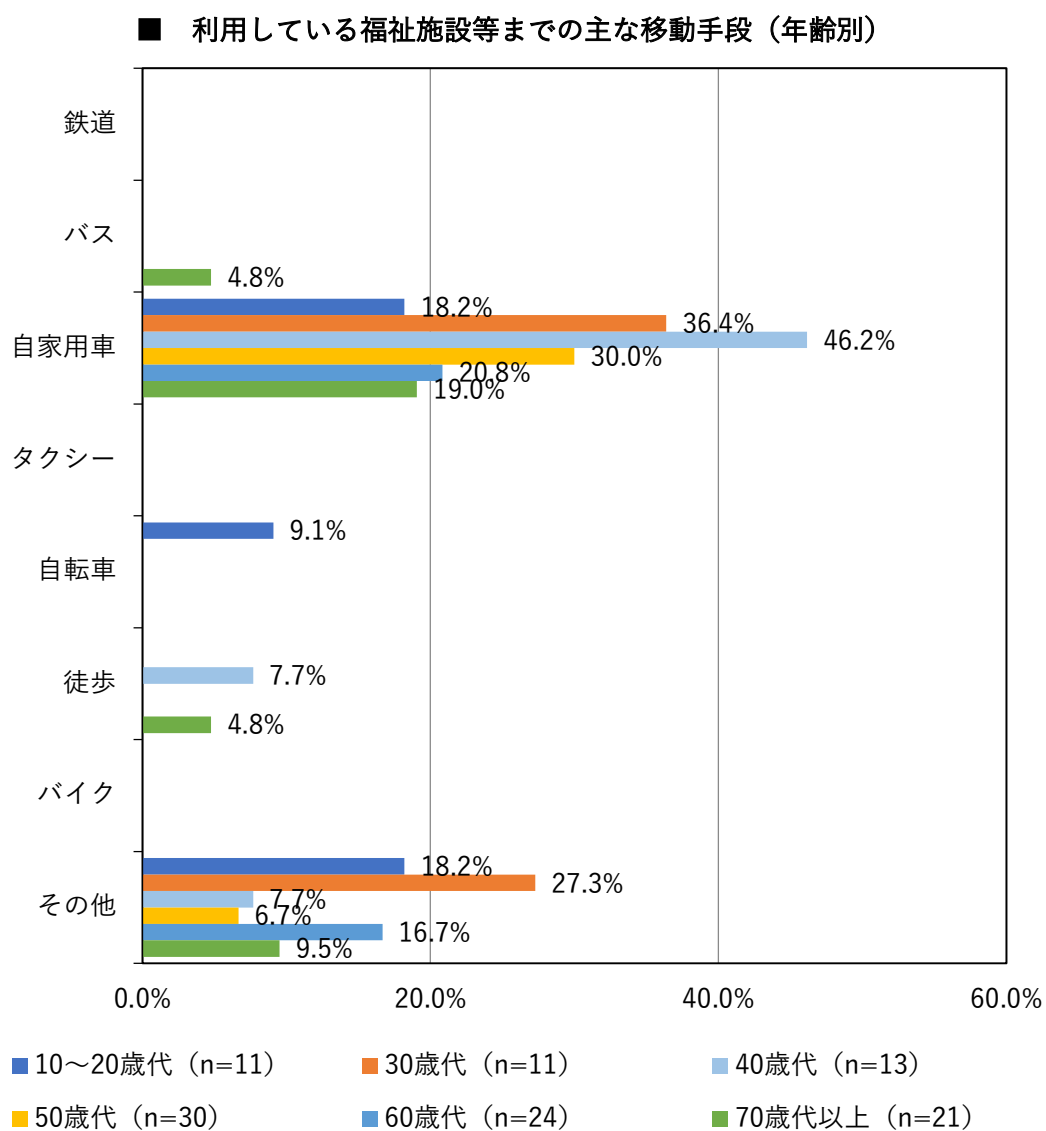
■ 利用している福祉施設等までの主な移動手段



■ 利用している福祉施設等までの主な移動手段（地域別）



- ・年齢別にみると、30～50 歳代は「自家用車」の割合が比較的多くなっています。

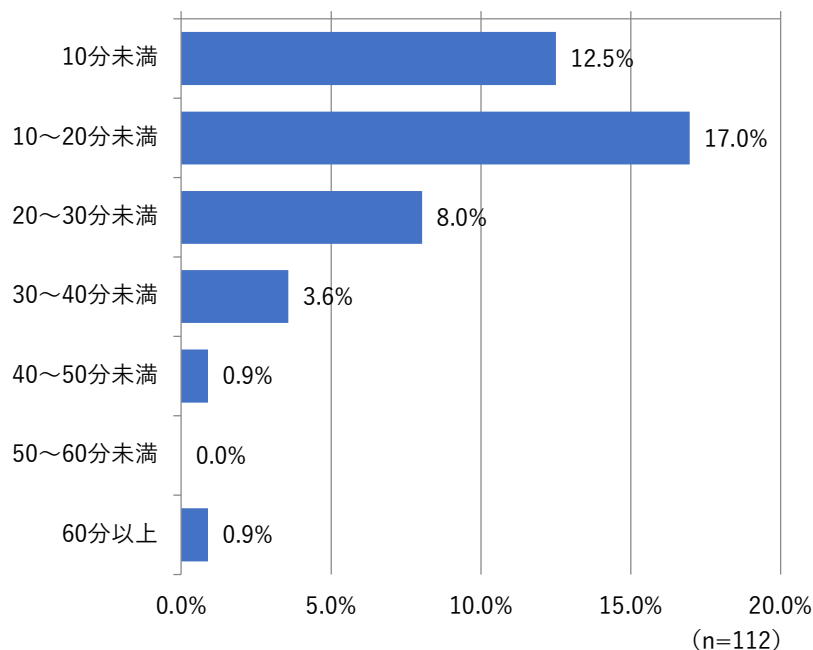


問 6：通所型の福祉施設デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、
障がい者福祉施設の利用

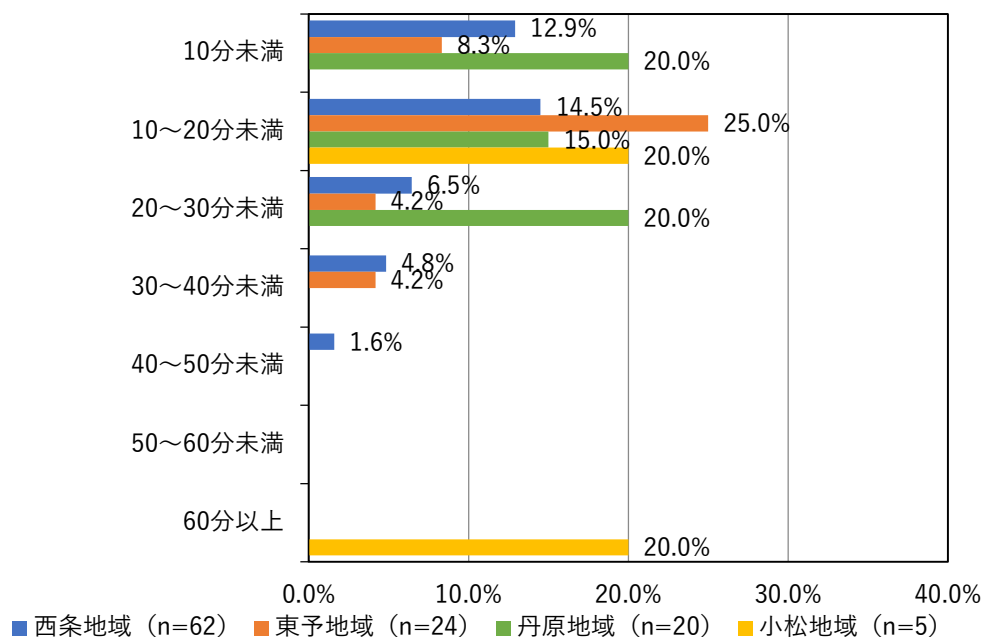
③移動時間（1つ選択）

- ・通所型の福祉施設デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、障がい者福祉施設までの移動時間は、「10～20分未満」が19人（17.0%）と最も多く、次いで「10分未満」が14人（12.5%）となっています。
- ・地域別にみると、東予地域では「10～20分未満」が比較的多くなっています。

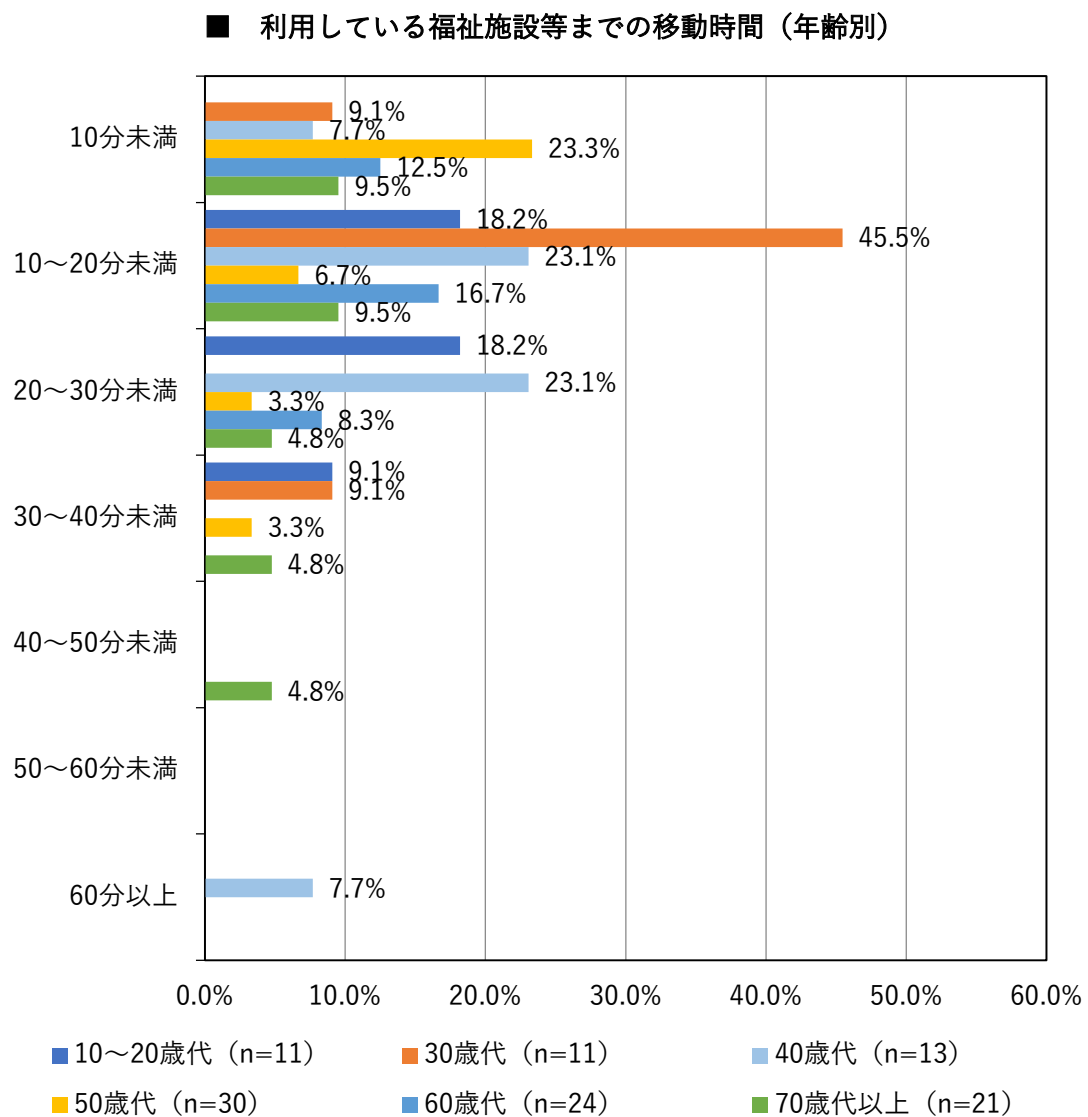
■ 利用している福祉施設等までの移動時間



■ 利用している福祉施設等までの移動時間（地域別）



- ・年齢別にみると、30歳代が「10～20分未満」で比較的多くなっています。

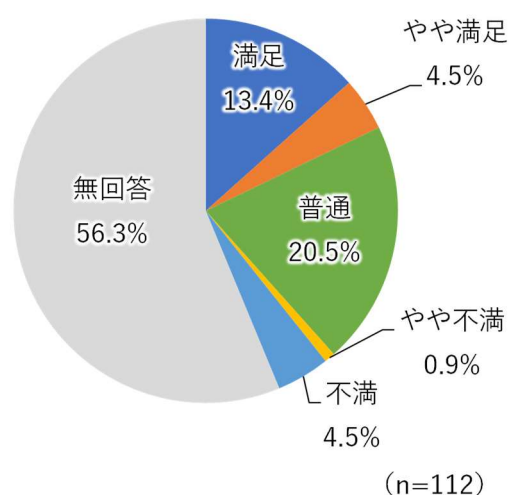


問6：通所型の福祉施設デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、
障がい者福祉施設の利用

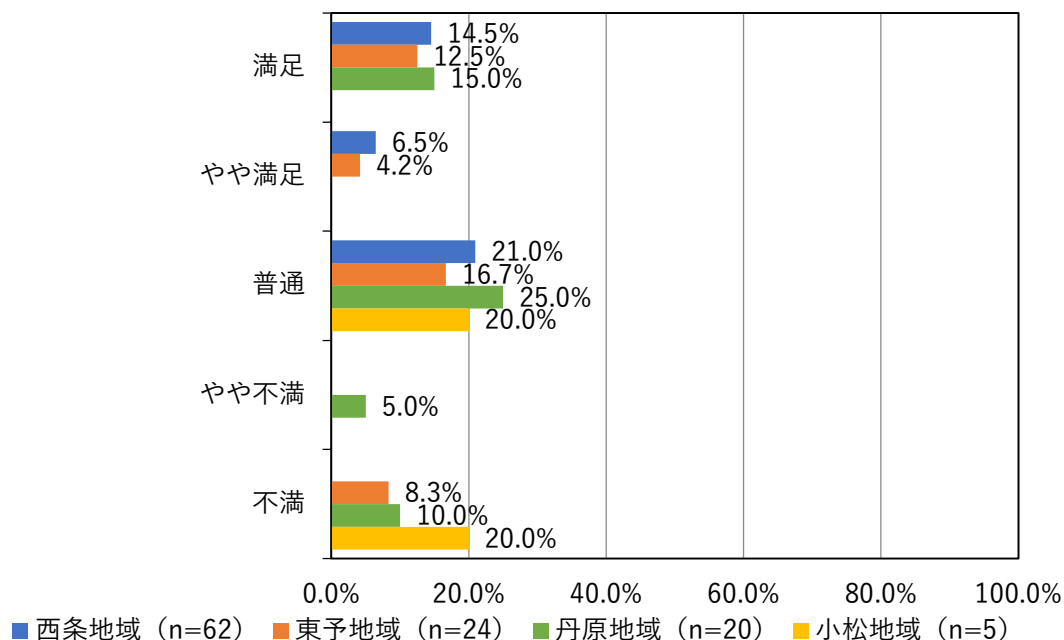
④アクセスの利便性（1つ選択）

- ・通所型の福祉施設デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、障がい者福祉施設のアクセス利便性については、「普通」が23人（20.5%）と最も多く、次いで「満足」が15人（13.4%）となっています。
- ・地域別にみると、小松地域では「不満」が比較的高くなっています。

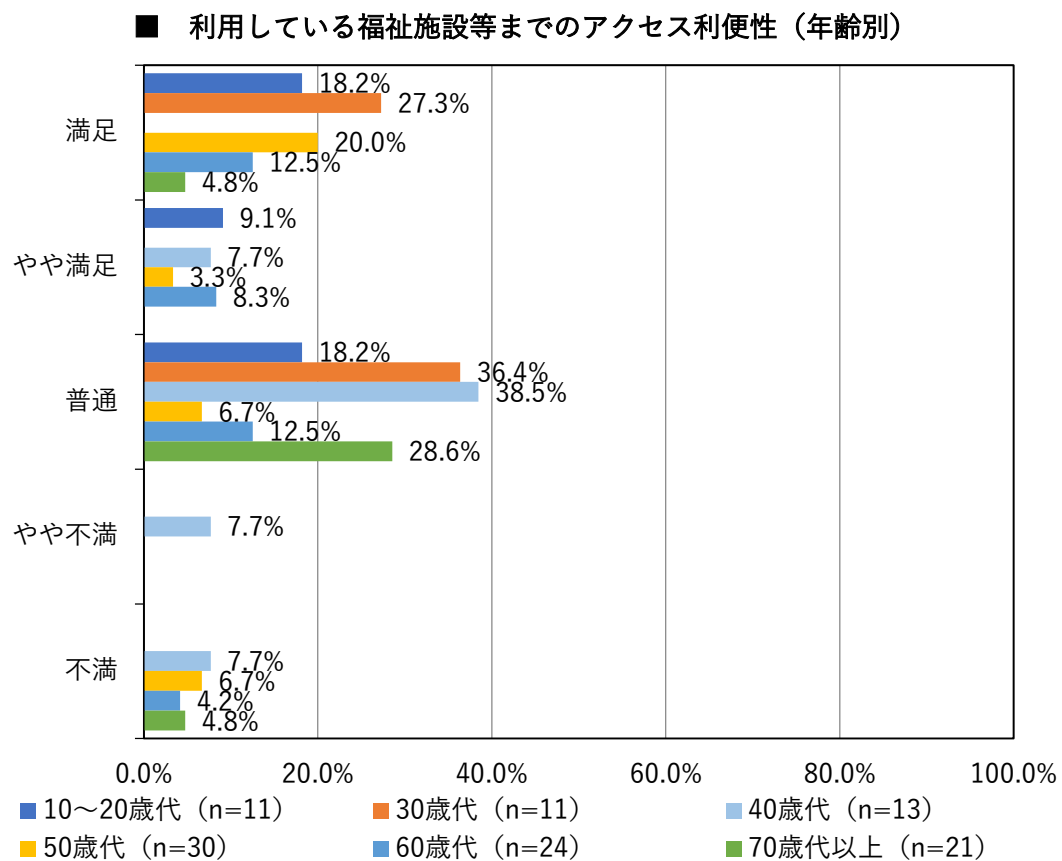
■ 利用している福祉施設等までのアクセス利便性



■ 利用している福祉施設等までのアクセス利便性（地域別）



- ・年齢別にみると、30 歳代及び 40 歳代では「普通」が比較的高くなっています。

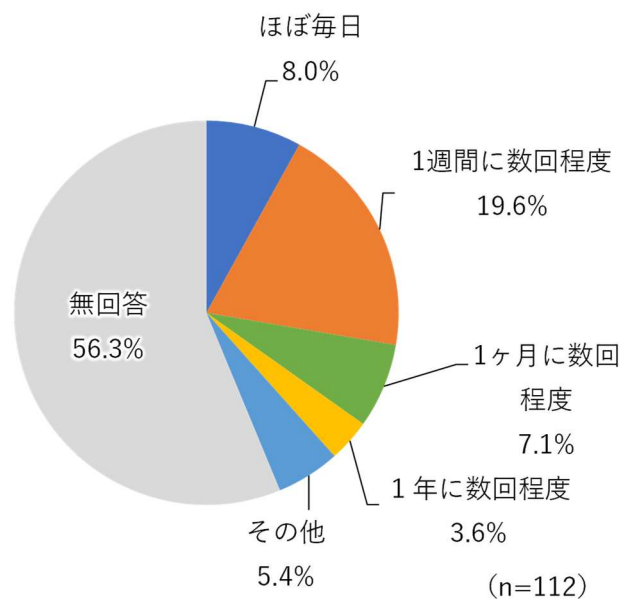


問 6：通所型の福祉施設デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、
障がい者福祉施設の利用

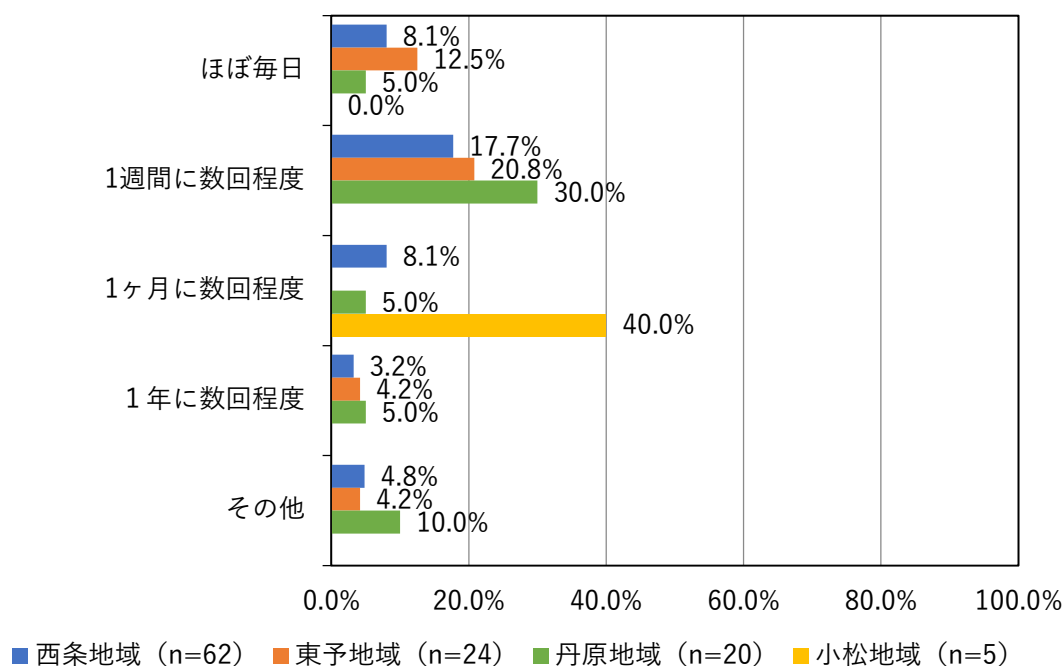
⑤利用頻度（1つ選択）

- ・通所型の福祉施設デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、障がい者福祉施設の利用頻度については、「1週間に数回程度」が22人（19.6%）と最も多く、次いで「1か月に数回程度」が8人（7.1%）となっています。
- ・地域別にみると、小松地域では「1か月に数回程度」が比較的多くなっています。

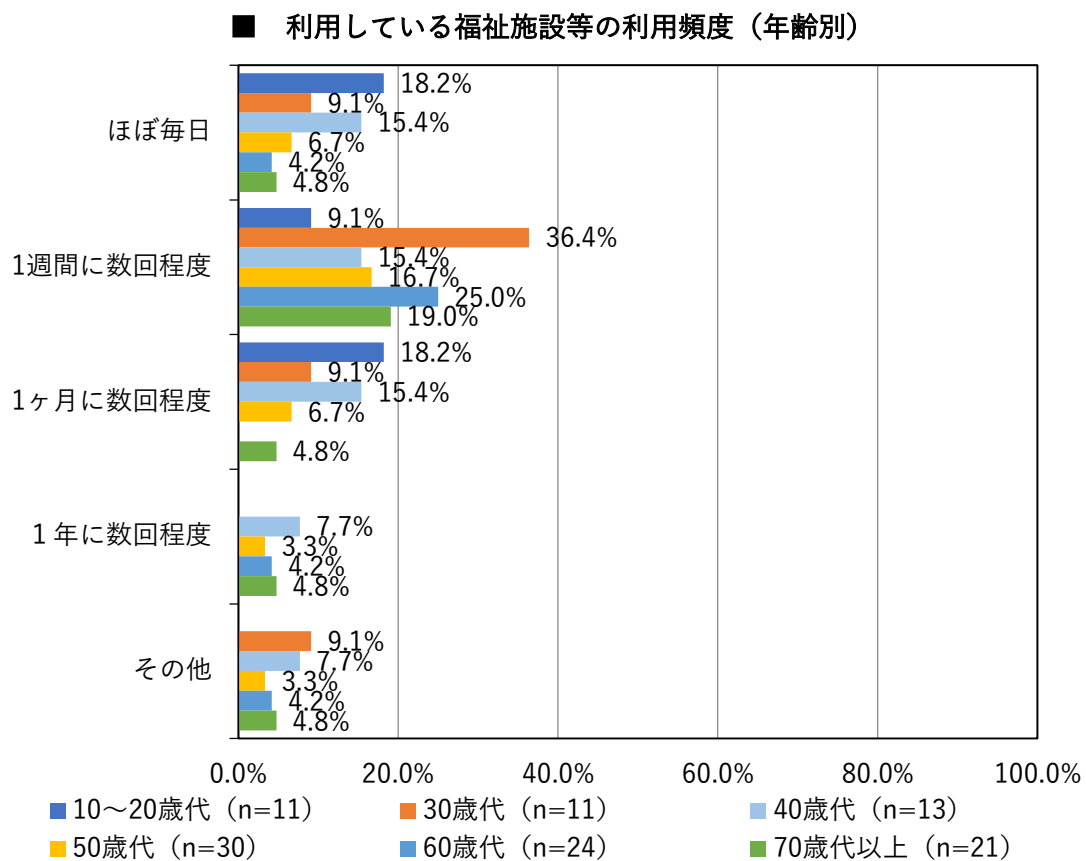
■ 利用している福祉施設等の利用頻度



■ 利用している福祉施設等の利用頻度（地域別）



- ・年齢別にみると、30歳代では「1週間に数回程度」が比較的多くなっています。

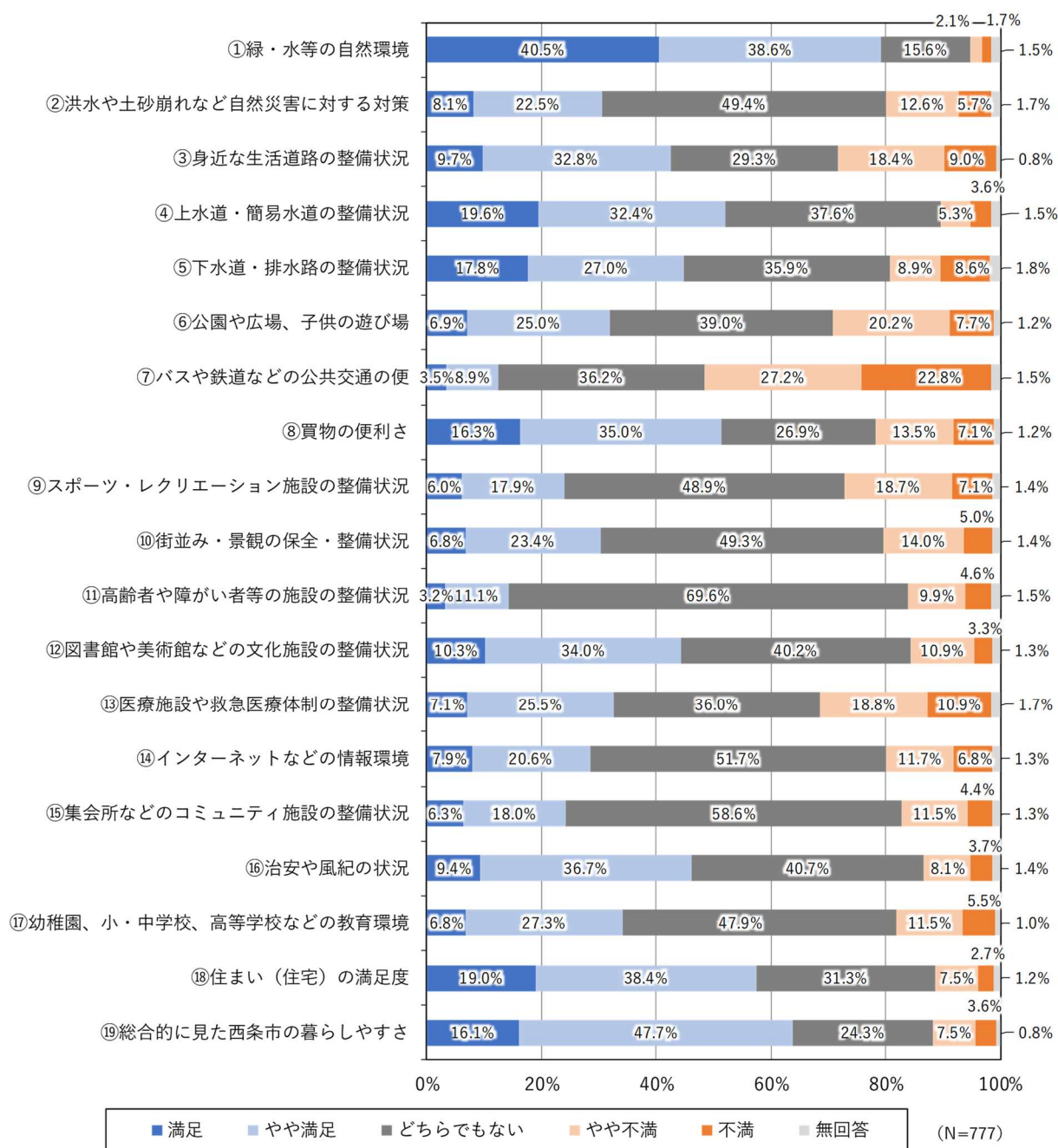


(3)西条市の生活環境について

問 7：西条市の生活環境の満足度（1 つ選択）

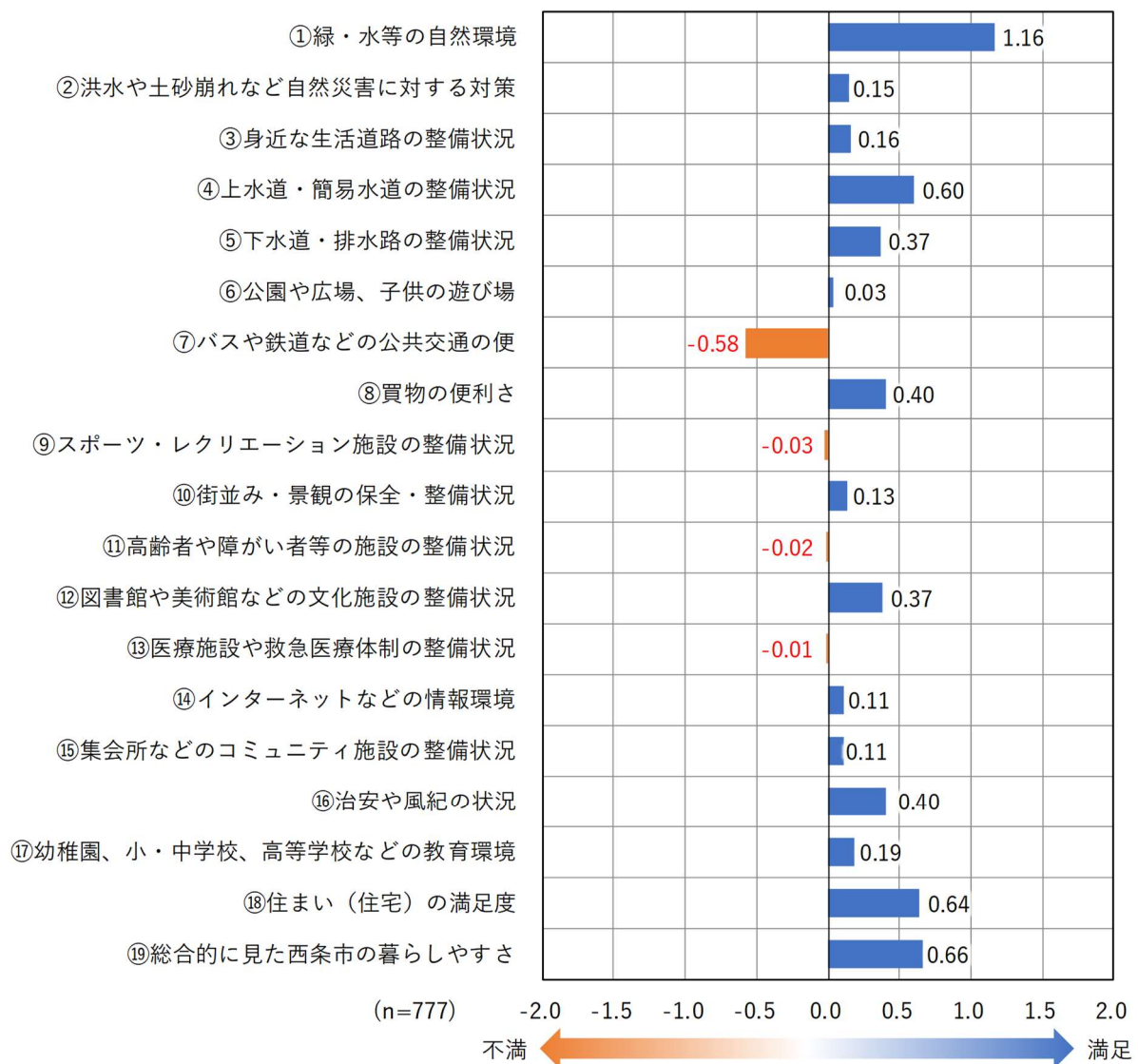
- ・西条市の生活環境の満足度について、「満足」は「①緑・水等の自然環境」が 315 人（40.5%）と最も高く、次いで「④上水道・簡易水道の整備状況」が 152 人（19.6%）、「⑱住まい（住宅）の満足度」が 148 人（19.0%）、「⑤下水道・排水路の整備状況」が 138 人（17.8%）、「⑧買物の便利さ」が 127 人（16.3%）となっています。
- ・一方、「不満」は、「⑦バスや鉄道などの公共交通の便」が 177 人（22.8%）と最も高く、次いで「⑬医療施設や救急医療体制の整備状況」が 85 人（10.9%）となっています。

■ 生活環境の満足度



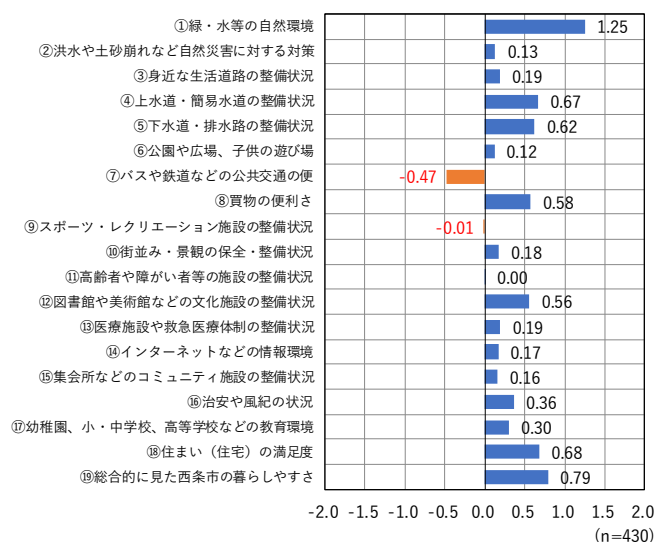
- ・生活環境の満足度について、「満足」を2点、「やや満足」を1点、「どちらでもない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点にして点数化を行ったところ、「①緑・水等の自然環境」が1.16ポイントと最も満足度が高く、次いで「⑨総合的に見た西条市の暮らしやすさ」(0.66ポイント)、「⑮住まい(住宅)の満足度」(0.64ポイント)となっています。
- ・一方、「⑦バスや鉄道などの公共交通の便」は-0.58ポイントと不満度が最も高く、次いで「⑨スポーツ・レクリエーション施設の整備状況」(-0.03ポイント)、「⑪高齢者や障がい者等の施設の整備状況」(-0.02ポイント)、「⑬医療施設や救急医療体制の整備状況」(-0.01ポイント)となっています。

■ 生活環境の満足度(点数化)

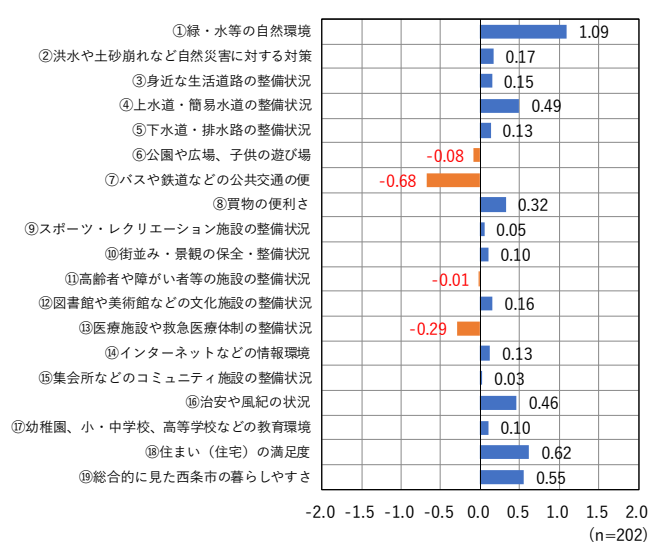


- ・地域別にみると、西条地域では「⑦バスや鉄道などの公共交通の便」及び「⑨スポーツ・レクリエーション施設の整備状況」を除き、全体的に満足度が高くなっています。
- ・東予地域では、「⑦バスや鉄道などの公共交通の便」に加えて「⑥公園や広場、子供の遊び場」、「⑪高齢者や障がい者等の施設の整備状況」、「⑬医療施設や救急医療体制の整備状況」で満足度が低くなっています。
- ・丹原地域では、西条地域及び東予地域の項目に加えて「⑧買物の便利さ」、「⑩街並み・景観の保全・整備状況」、「⑫図書館や美術館などの文化施設の整備状況」、「⑭インターネットなどの情報環境」、「⑰幼稚園、小・中学校、高等学校などの教育環境」と、他の地域と比較して多くの項目で満足度が低くなっています。
- ・小松地域では、「⑤下水道・排水路の整備状況」、「⑦バスや鉄道などの公共交通の便」、「⑪高齢者や障がい者等の施設の整備状況」、「⑮集会所などのコミュニティ施設の整備状況」で満足度が低くなっています。

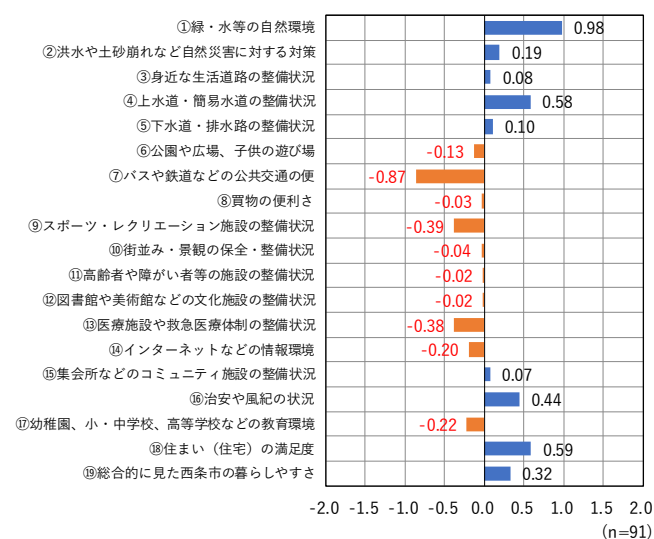
■ 生活環境の満足度（西条地域）



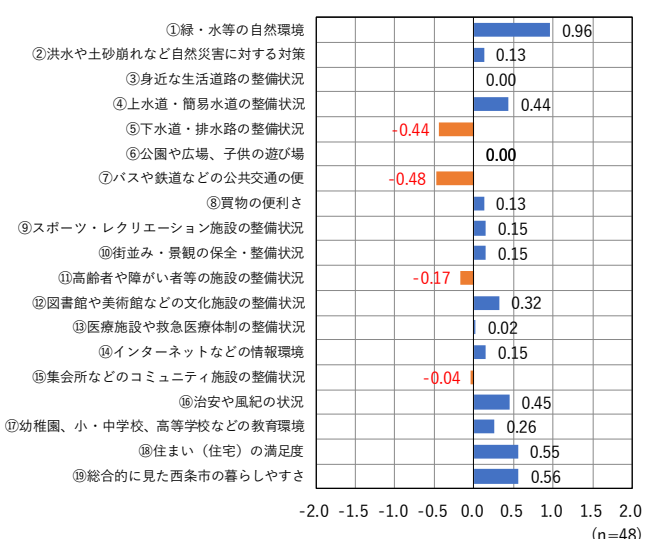
■ 生活環境の満足度（東予地域）



■ 生活環境の満足度（丹原地域）

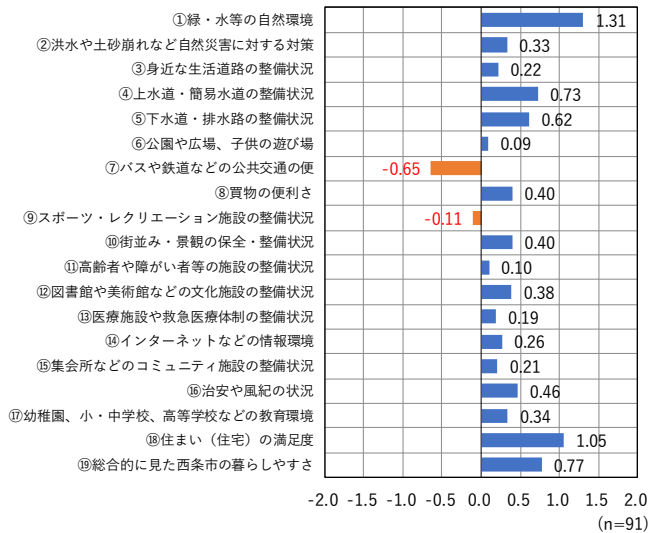


■ 生活環境の満足度（小松地域）

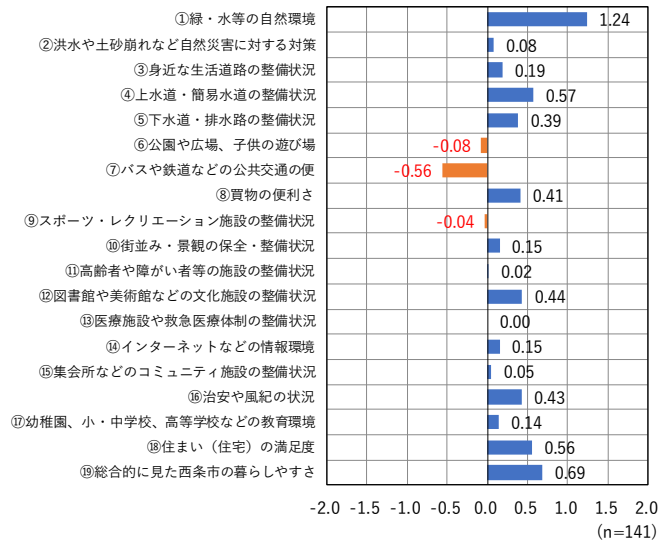


- ・年齢別にみると、10～20 歳代、40 歳代、70 歳代では比較的満足度が高くなっています。
- ・50 歳代、60 歳代では、「⑪高齢者や障がい者等の施設の整備状況」、「⑬医療施設や救急医療体制の整備状況」など、他の世代と比較して満足度が低くなっています。

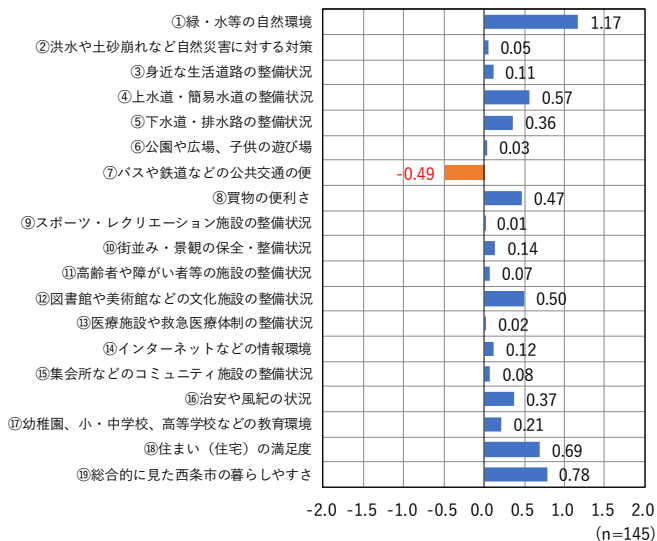
■ 生活環境の満足度（10～20 歳代）



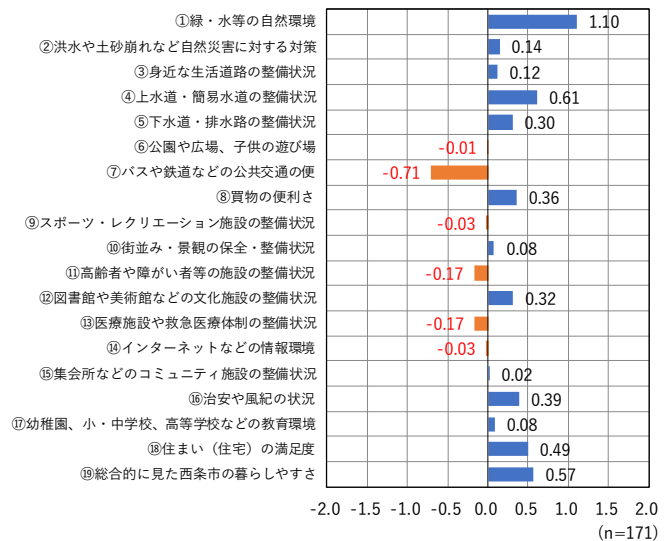
■ 生活環境の満足度（30 歳代）



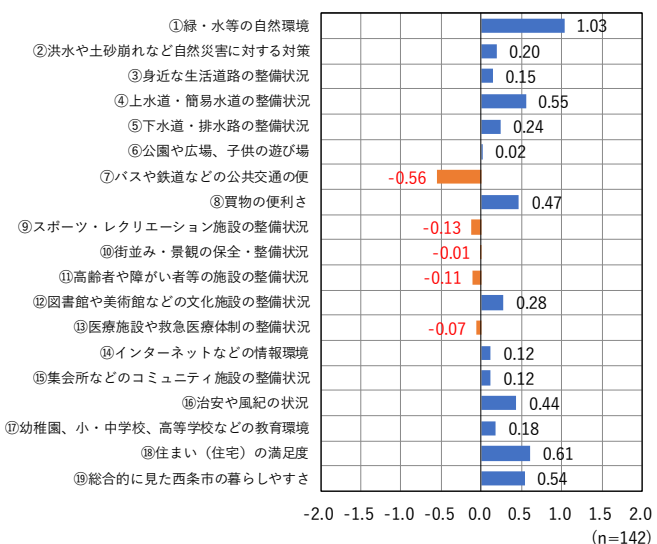
■ 生活環境の満足度（40 歳代）



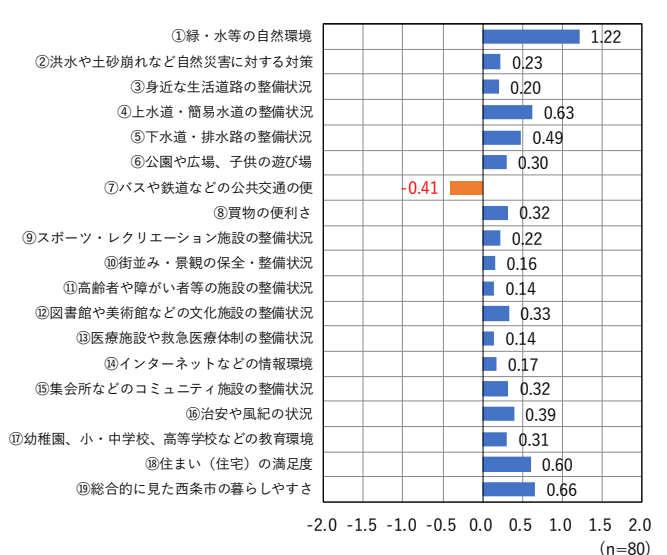
■ 生活環境の満足度（50 歳代）



■ 生活環境の満足度（60 歳代）



■ 生活環境の満足度（70 歳以上）

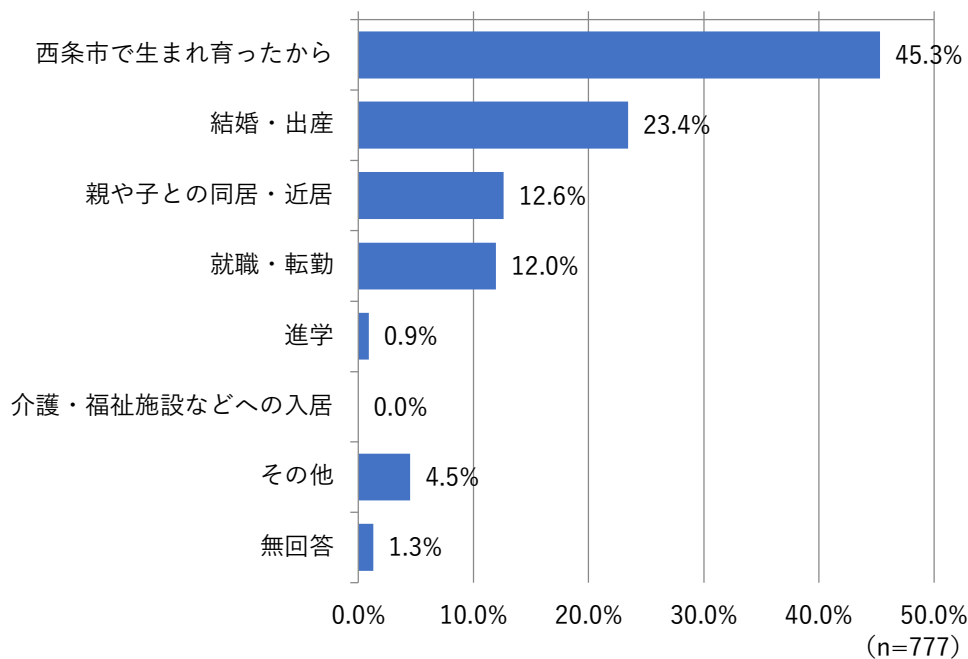


(4)定住意向について

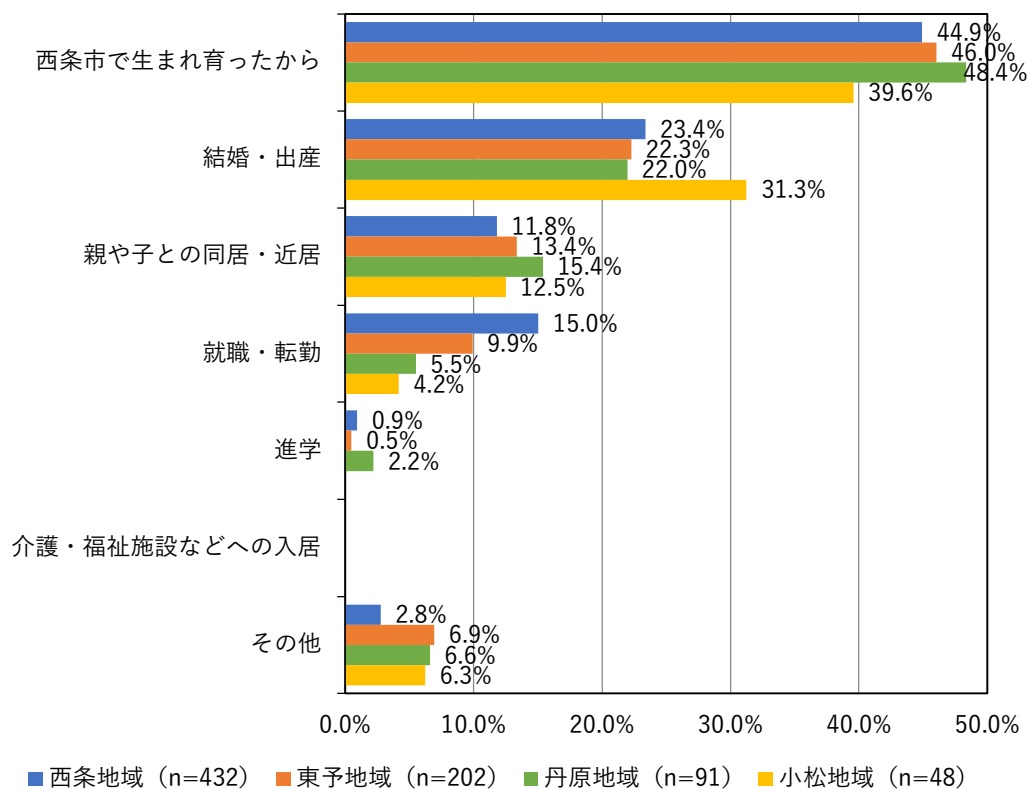
問 8：現在の場所に住んでいるきっかけ（1つ選択）

- ・現在の場所に住んでいるきっかけは、「西条市で生まれ育ったから」が 352 人（45.3%）と最も高く、次いで「結婚・出産」が 182 人（23.4%）となっています。
- ・地域別にみると、小松地域では「結婚・出産」が比較的多くなっています。

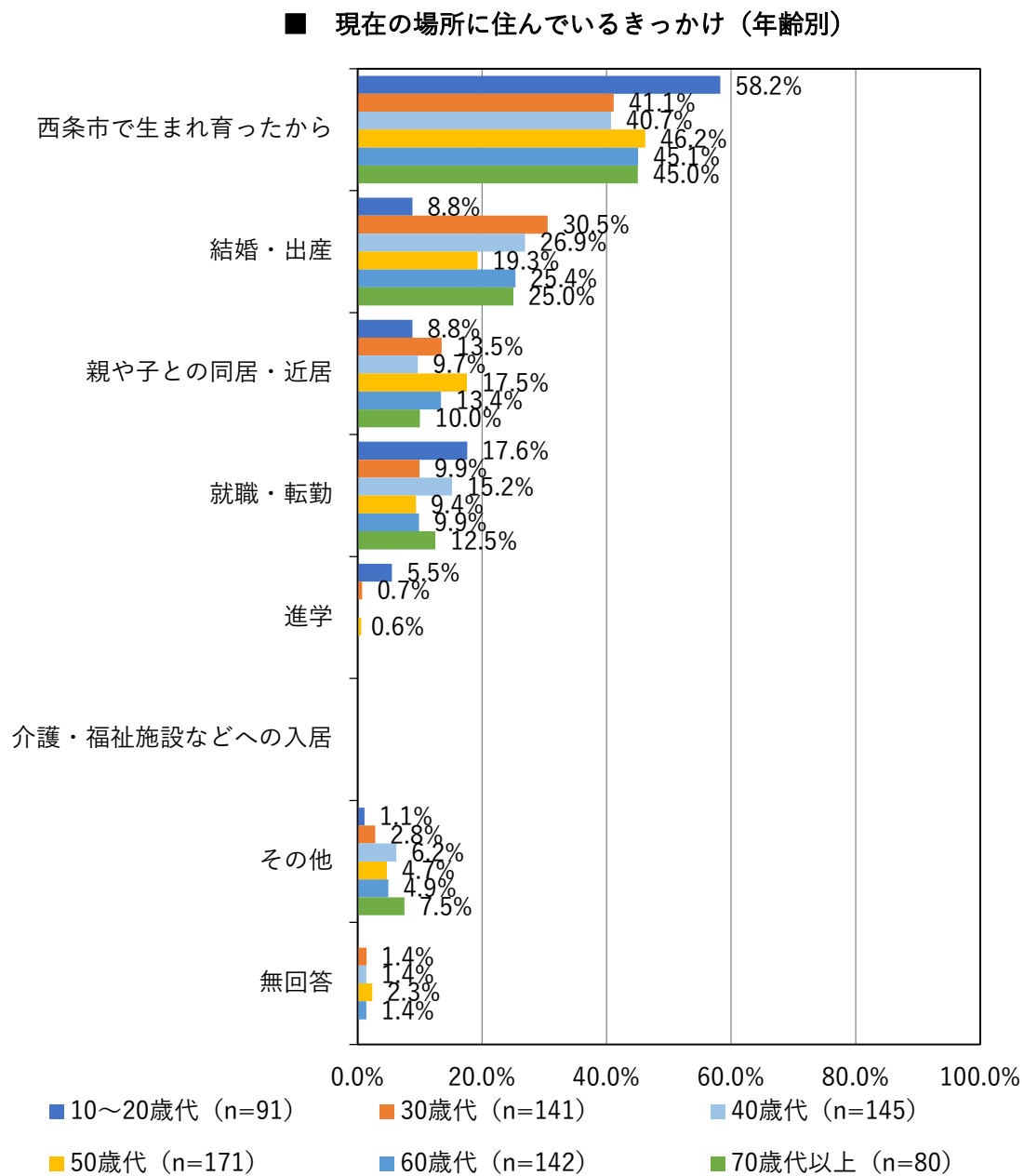
■ 現在の場所に住んでいるきっかけ



■ 現在の場所に住んでいるきっかけ（地域別）



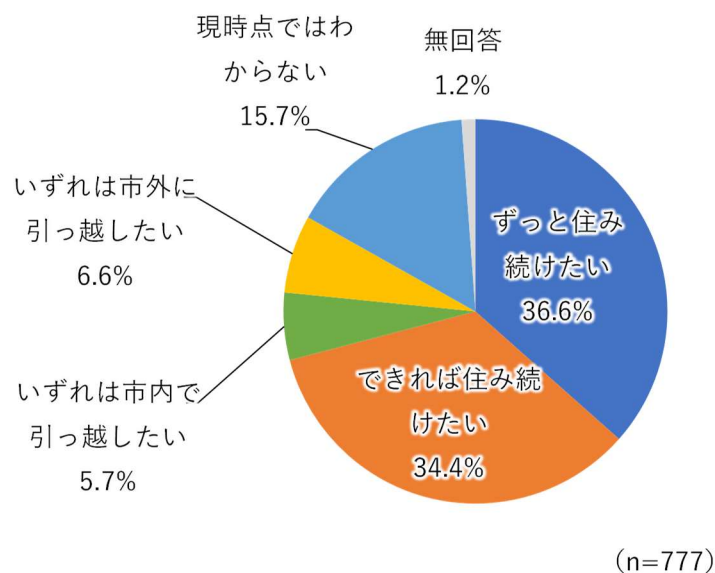
・年齢別にみると、10～20 歳代では「西条市で生まれ育ったから」が比較的多くなっています。



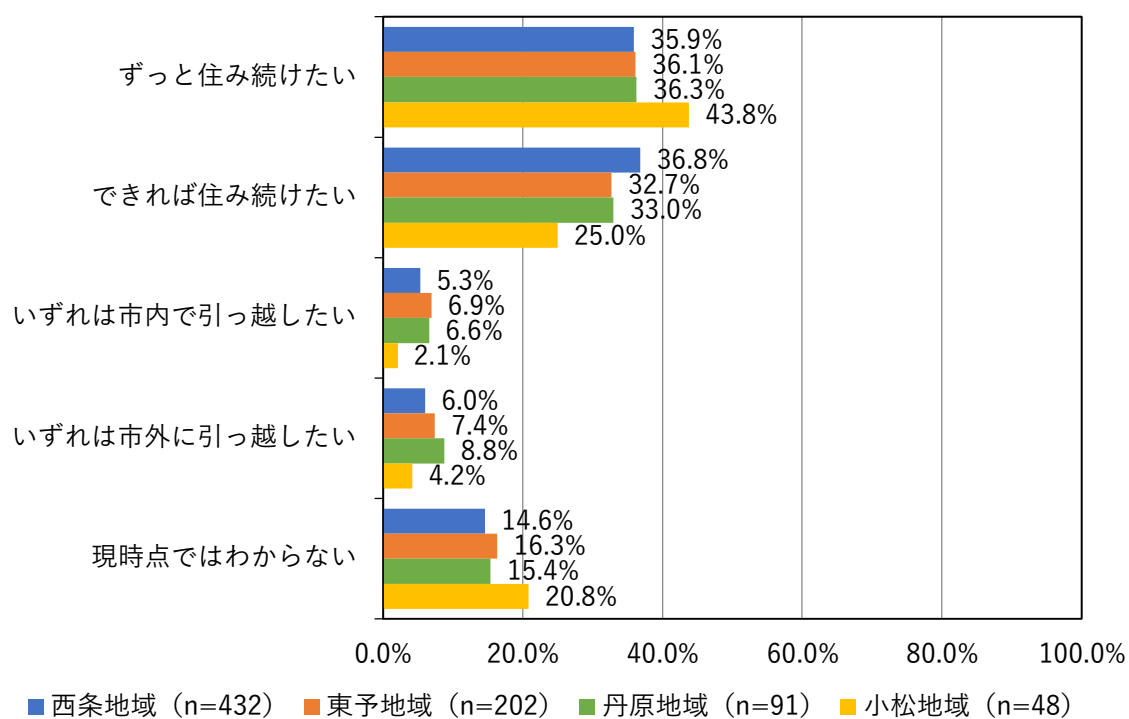
問 9：現在の住まいに今後も住み続けたいか（1 つ選択）

- ・現在の住まいの定住意向については、「ずっと住み続けたい」が 284 人（36.6%）、「できれば住み続けたい」が 267 人（34.4%）となっており、「住み続けたい」が約 7 割となっています。
- ・地域別にみると、小松地域では「住み続けたい」が若干多くなっています。

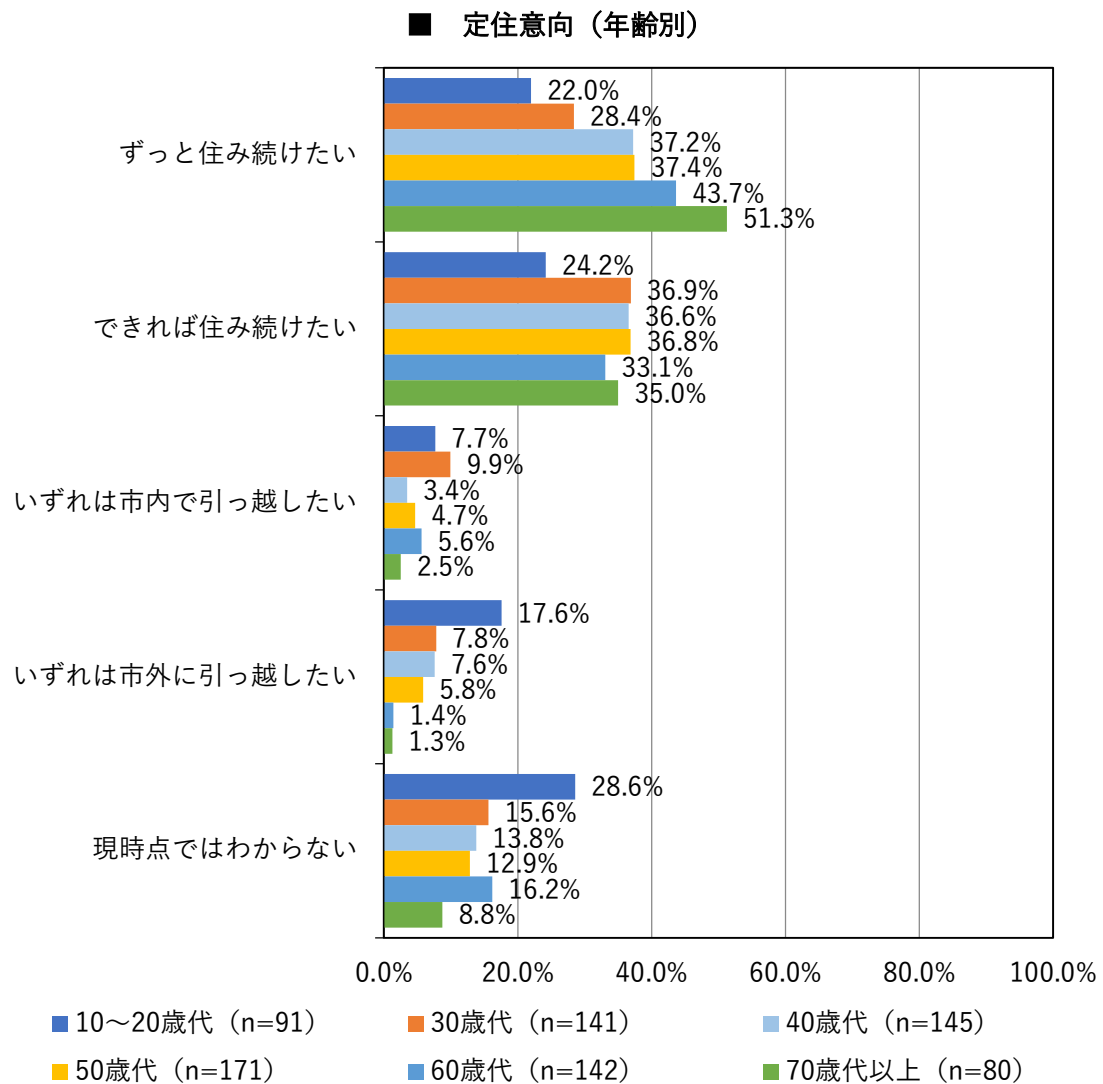
■ 定住意向



■ 定住意向（地域別）



- ・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は高齢になるほど多い傾向がみられます。
- ・10～20歳代では、「現時点ではわからない」が比較的多くなっています。

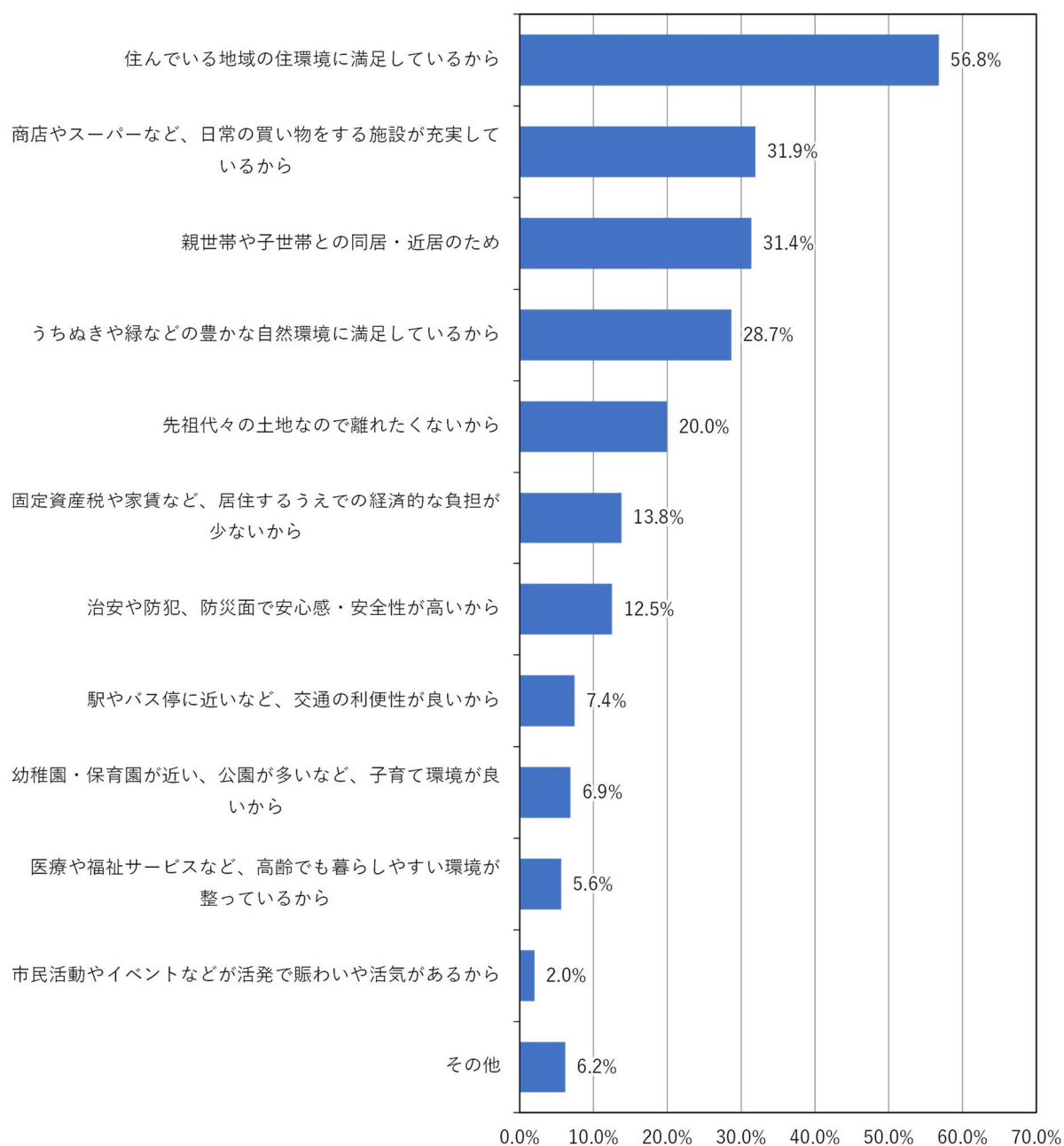


問 10：住みたい理由（最大 3 つまで選択）

【問 9 で「1. ずっと住みたい」、「2. できれば住みたい」と回答した方のみ】

- ・問 9 で「1. ずっと住みたい」、「2. できれば住みたい」と回答した 551 人に、住みたい理由を尋ねたところ、「住んでいる地域の住環境に満足しているから」が 313 人（56.8%）と最も多く、次いで「商店やスーパーなど、日常の買い物をする施設が充実しているから」が 176 人（31.9%）、「親世帯や子世帯との同居・近居のため」が 173 人（31.4%）となっています。

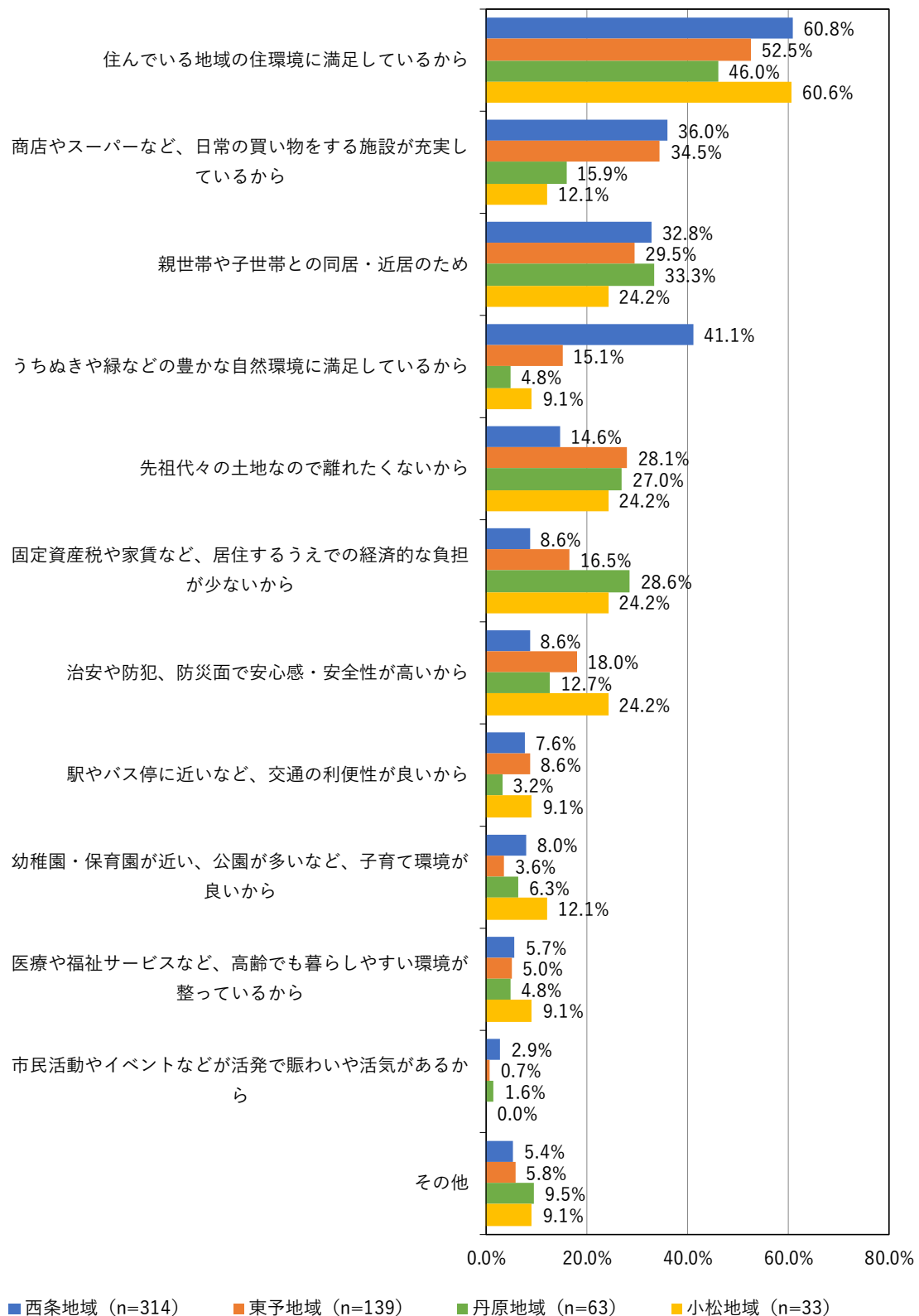
■ 住みたい理由



(n=551)

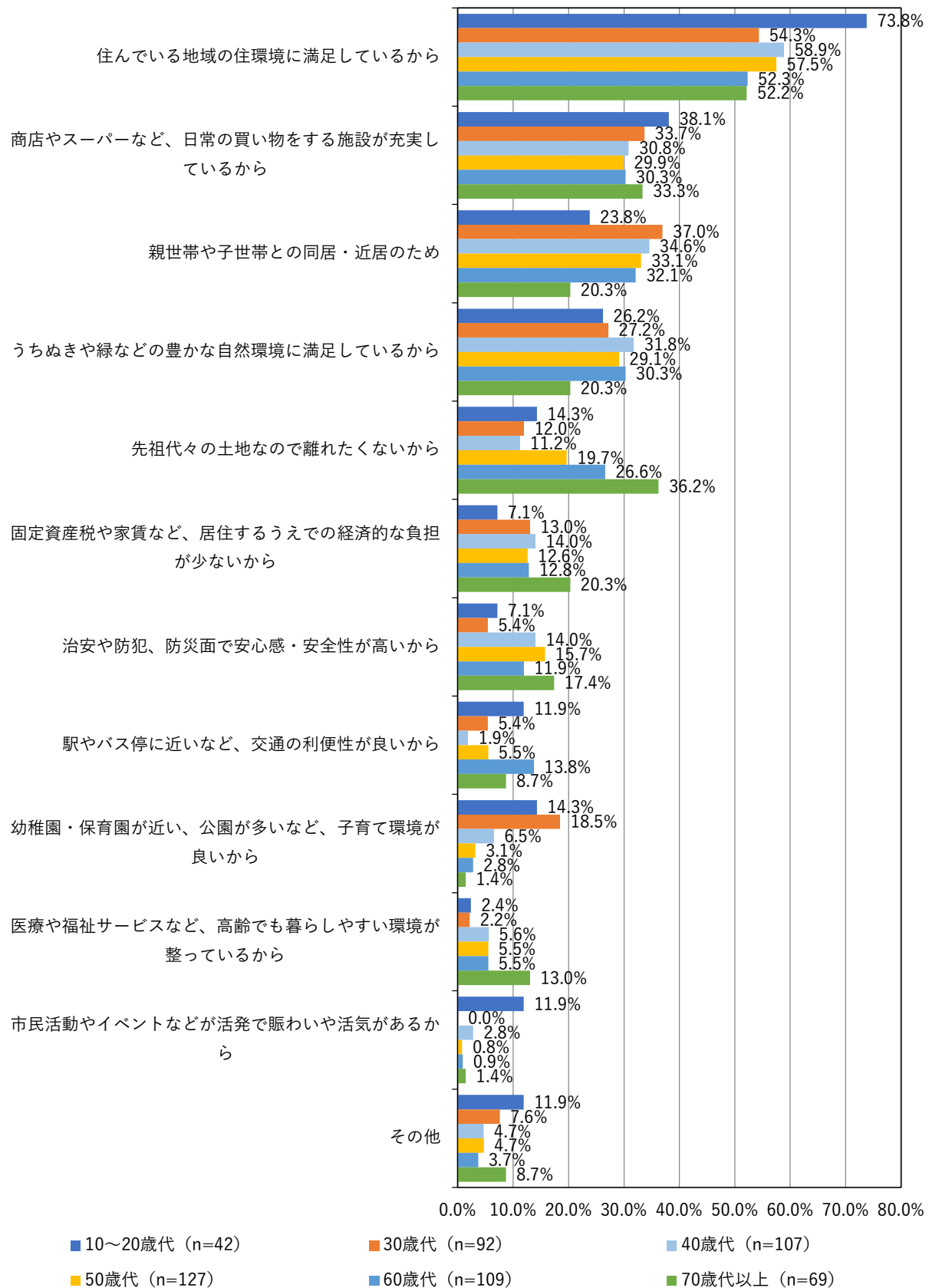
- ・地域別にみると、西条地域及び東予地域では「商店やスーパーなど、日常の買い物をする施設が充実しているから」が比較的多くなっています。
- ・また、西条地域では「うちぬきや緑などの豊かな自然環境に満足しているから」が特に多くなっています。

■ 住み続けたい理由（地域別）



- ・年齢別にみると、10～20 歳代では「住んでいる地域の住環境に満足しているから」が比較的多くなっています。
- ・「先祖代々の土地なので離れたくないから」は高齢になるほど多くなる傾向があります。

■ 住み続けたい理由（年齢別）

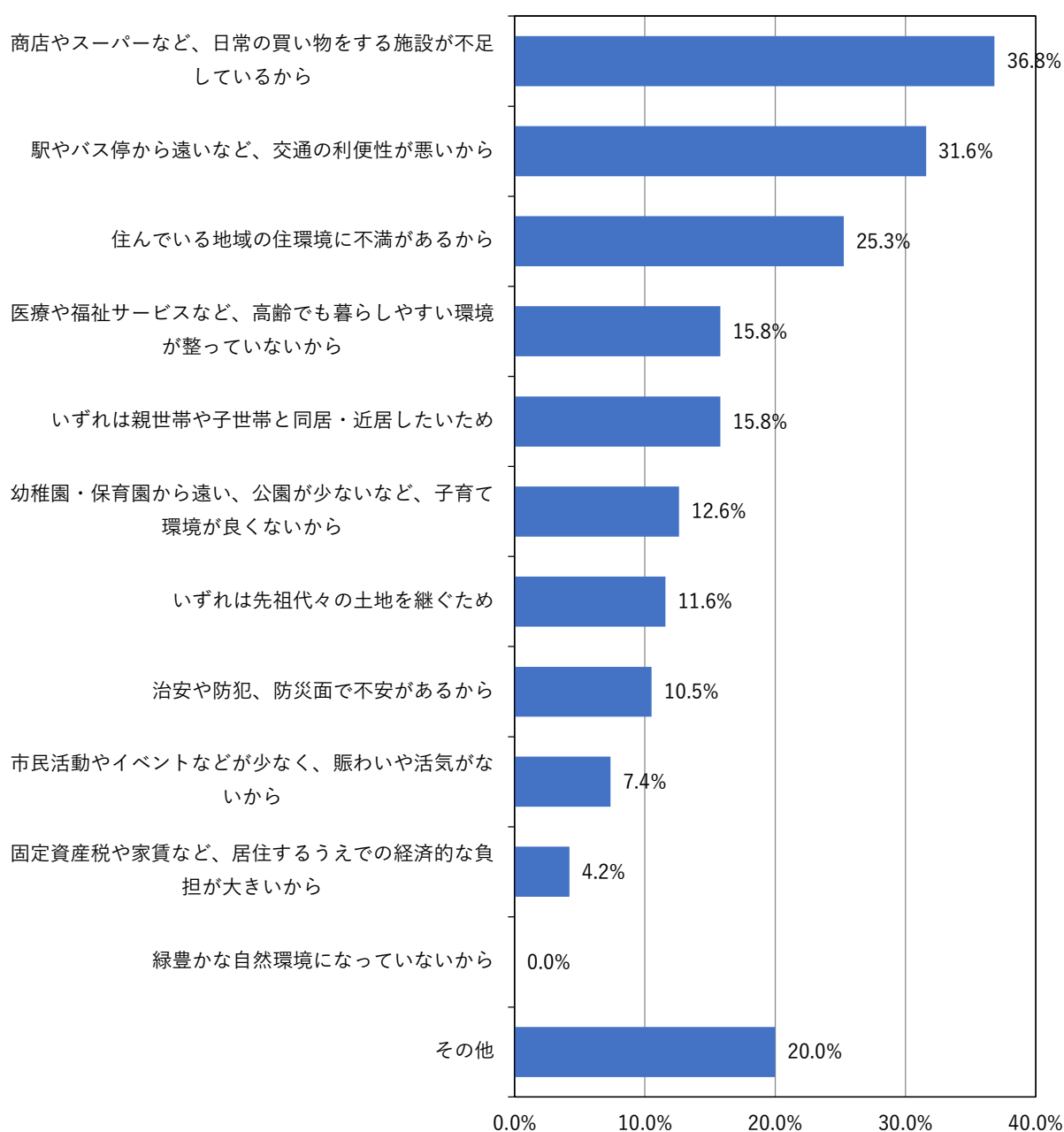


問 11：引っ越したい理由（最大3つまで選択）

【問9で「3. いずれは市内で引っ越したい」、「4. いずれは市外に引っ越したい」と回答した方のみ】

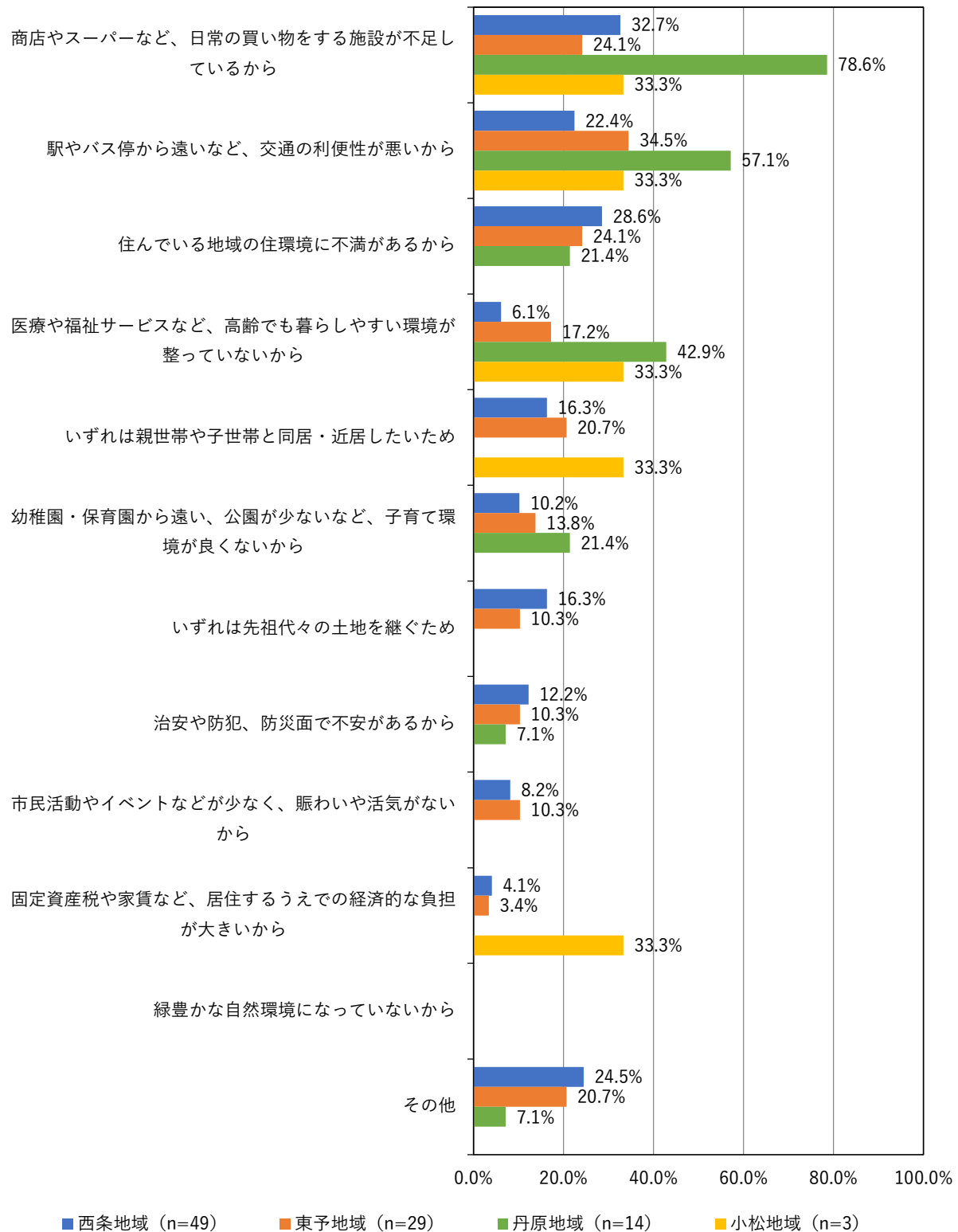
- ・問9で「3. いずれは市内で引っ越したい」、「4. いずれは市外に引っ越したい」と回答した95人に、引っ越したい理由を尋ねたところ、「商店やスーパーなど、日常の買い物をする施設が不足しているから」が35人（36.8%）と最も多く、次いで「駅やバス停から遠いなど、交通の利便性が悪いから」が30人（31.6%）、「住んでいる地域の住環境に不満があるから」が24人（25.3%）となっています。
- ・「その他」の具体的内容としては、「進学」や「新築移転」等が挙げられています。

■ 引っ越したい理由



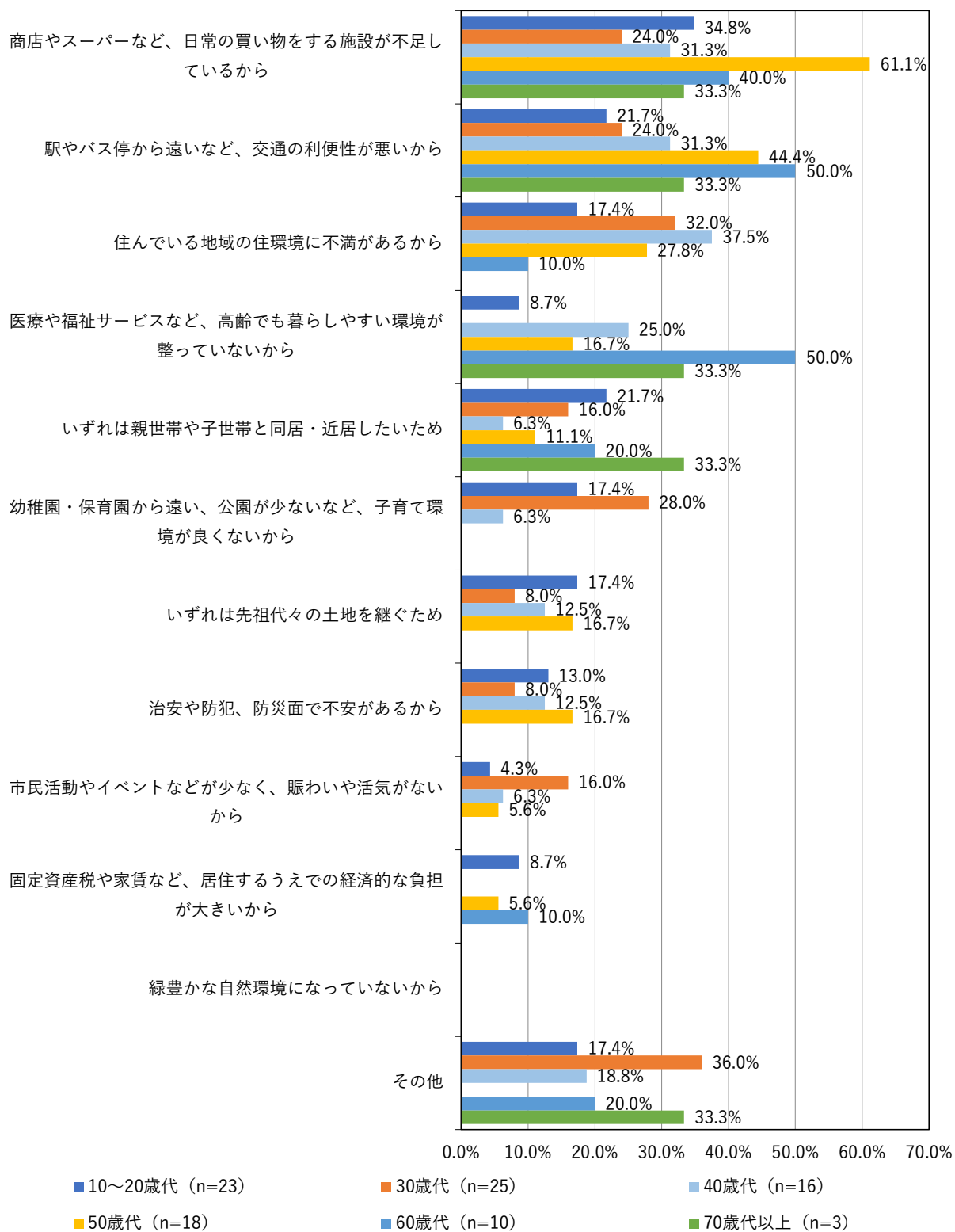
- ・地域別にみると、丹原地域では「商店やスーパーなど、日常の買い物をする施設が不足しているから」、「駅やバス停から遠いなど、交通の利便性が悪いから」、「医療や福祉サービスなど、高齢でも暮らしやすい環境が整っていないから」が比較的多くなっています。

■ 引っ越したい理由（地域別）



- ・年齢別にみると、50歳代では「商店やスーパーなど、日常の買い物をする施設が不足しているから」が、60歳代では「駅やバス停から遠いなど、交通の利便性が悪いから」、「医療や福祉サービスなど、高齢でも暮らしやすい環境が整っていないから」が比較的多くなっています。

■ 引っ越したい理由（年齢別）

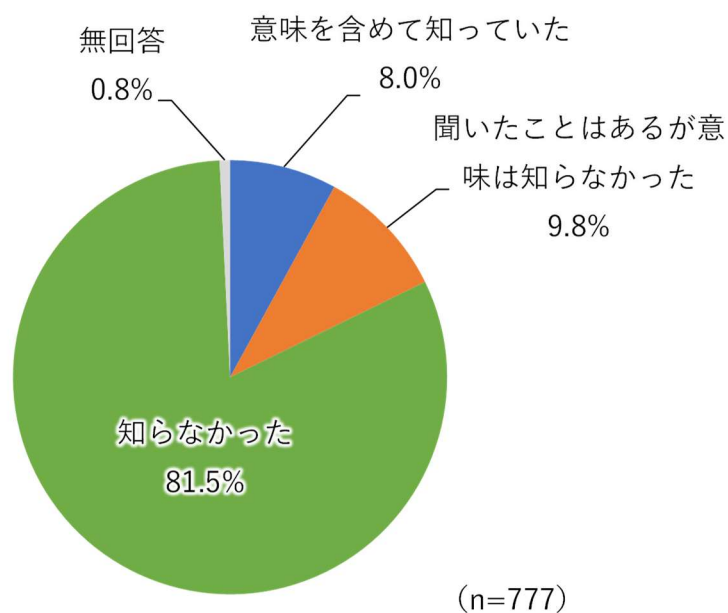


(5)西条市が目指すまちづくりについて

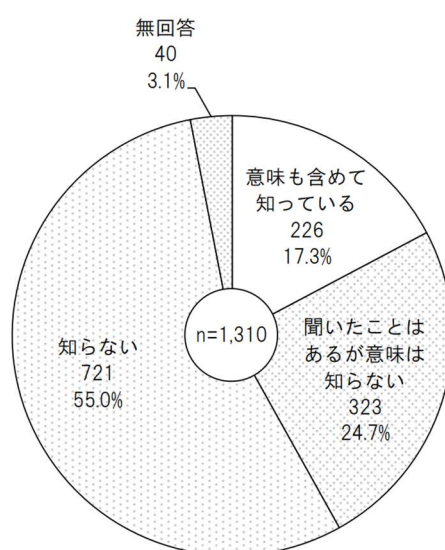
問 12：『コンパクト・プラス・ネットワーク』の認知度（1つ選択）

- ・『コンパクト・プラス・ネットワーク』を認知度については、「意味を含めて知っていた」が1割未満となっており、「知らなかった」が81.5%（633人）となっています。
- ・平成27年度に実施した同様のアンケートでは、「意味も含めて知っている」が17.3%、「聞いたことはあるが意味は知らない」が24.7%、「知らない」が55.0%となっていることから、認知度は著しく低下しています。

■ 『コンパクト・プラス・ネットワーク』の認知度



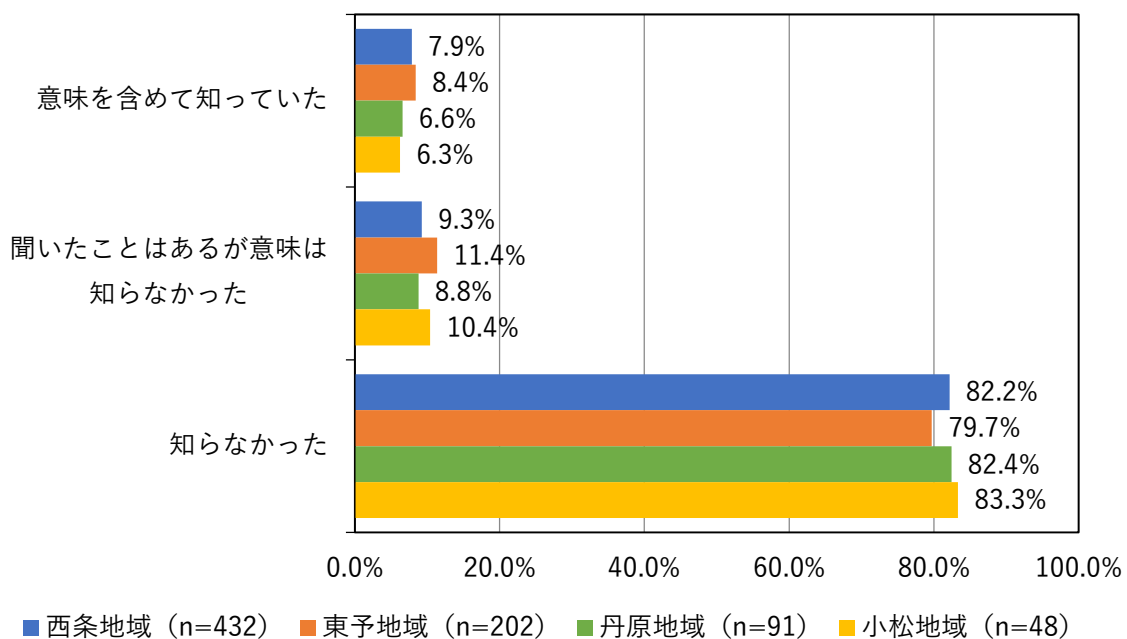
（参考）過年度アンケート調査における『コンパクト・プラス・ネットワーク』の認知度



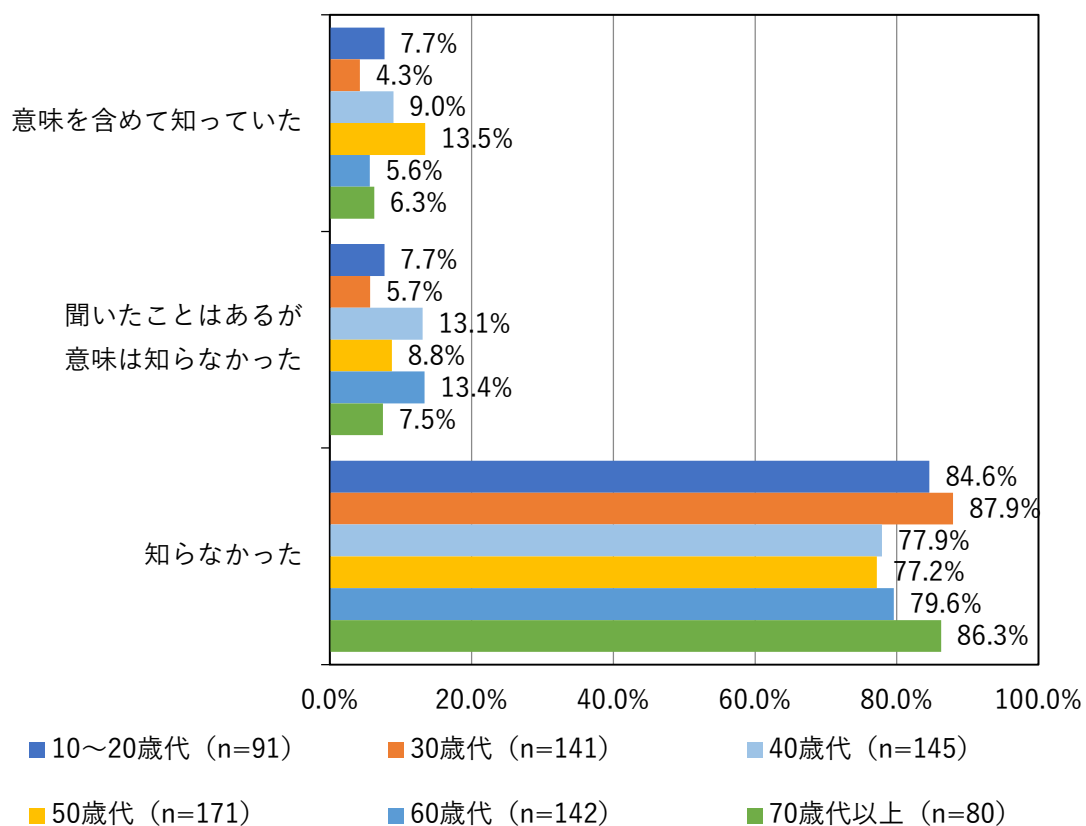
出典：西条市コンパクトシティに関するアンケート調査報告書（平成27年11月）

・地域別及び年齢別では、それぞれ概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

■ 『コンパクト・プラス・ネットワーク』の認知度（地域別）



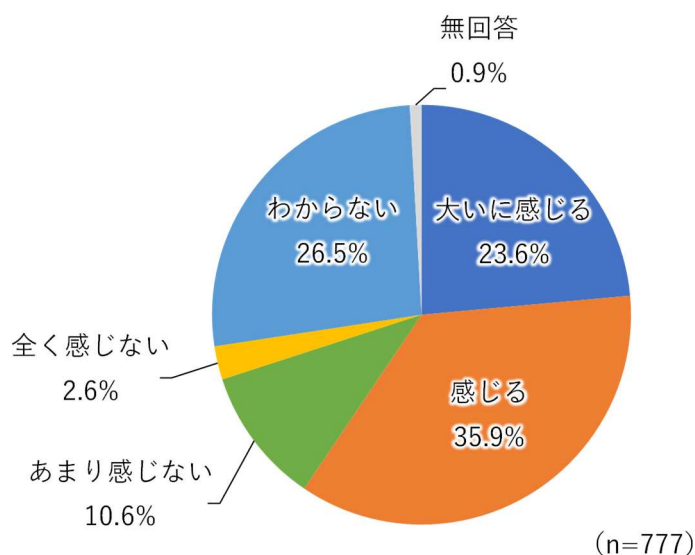
■ 『コンパクト・プラス・ネットワーク』の認知度（年齢別）



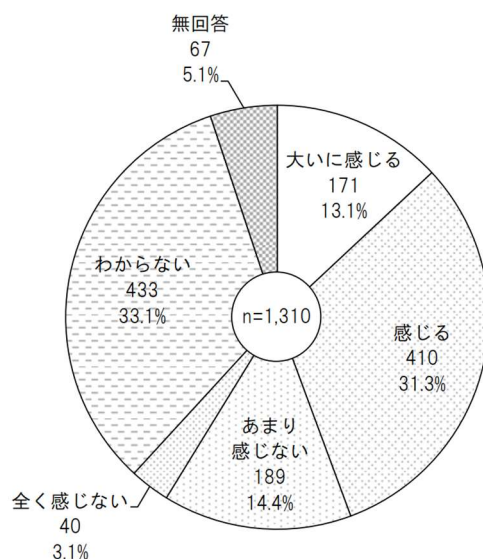
問 13：『コンパクト・プラス・ネットワーク』の必要性（1つ選択）

- ・『コンパクト・プラス・ネットワーク』の必要性については、「大いに感じる」が 183 件 (23.6%)、「感じる」が 279 人 (35.9%) となっており、過半数が『コンパクト・プラス・ネットワーク』の必要性を感じています。
- ・平成 27 年度に実施した同様のアンケートでは、「大いに感じる」が 13.1%、「感じる」が 31.3%、となっていることから、必要性を感じる割合は多くなっています。

■ 『コンパクト・プラス・ネットワーク』の必要性



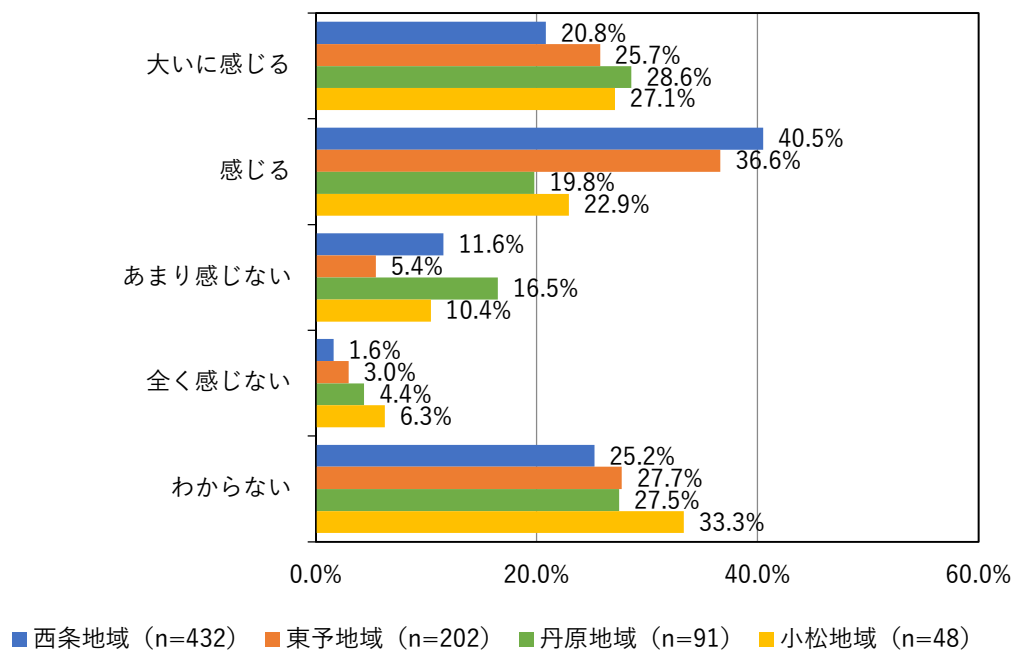
(参考) 過年度アンケート調査における『コンパクト・プラス・ネットワーク』の必要性



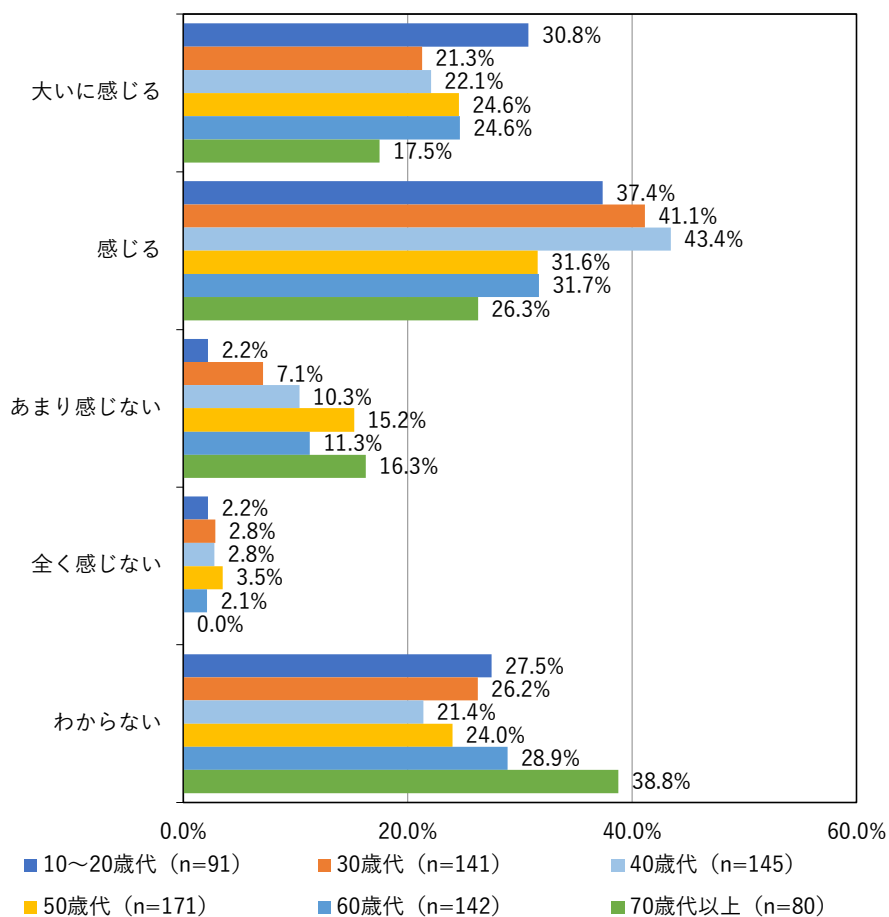
出典：西条市コンパクトシティに関するアンケート調査報告書（平成 27 年 11 月）

- ・地域別にみると、西条地域及び東予地域では、「感じる」の割合が比較的多くなっています。
- ・年齢別にみると、10～20歳代で「大いに感じる」が比較的多くなっています。また、10～30歳代では「感じる」も比較的多くなっています。
- ・一方、高齢になるほど、「あまり感じない」の割合が多くなる傾向がみられます。

■ 『コンパクト・プラス・ネットワーク』の必要性（地域別）



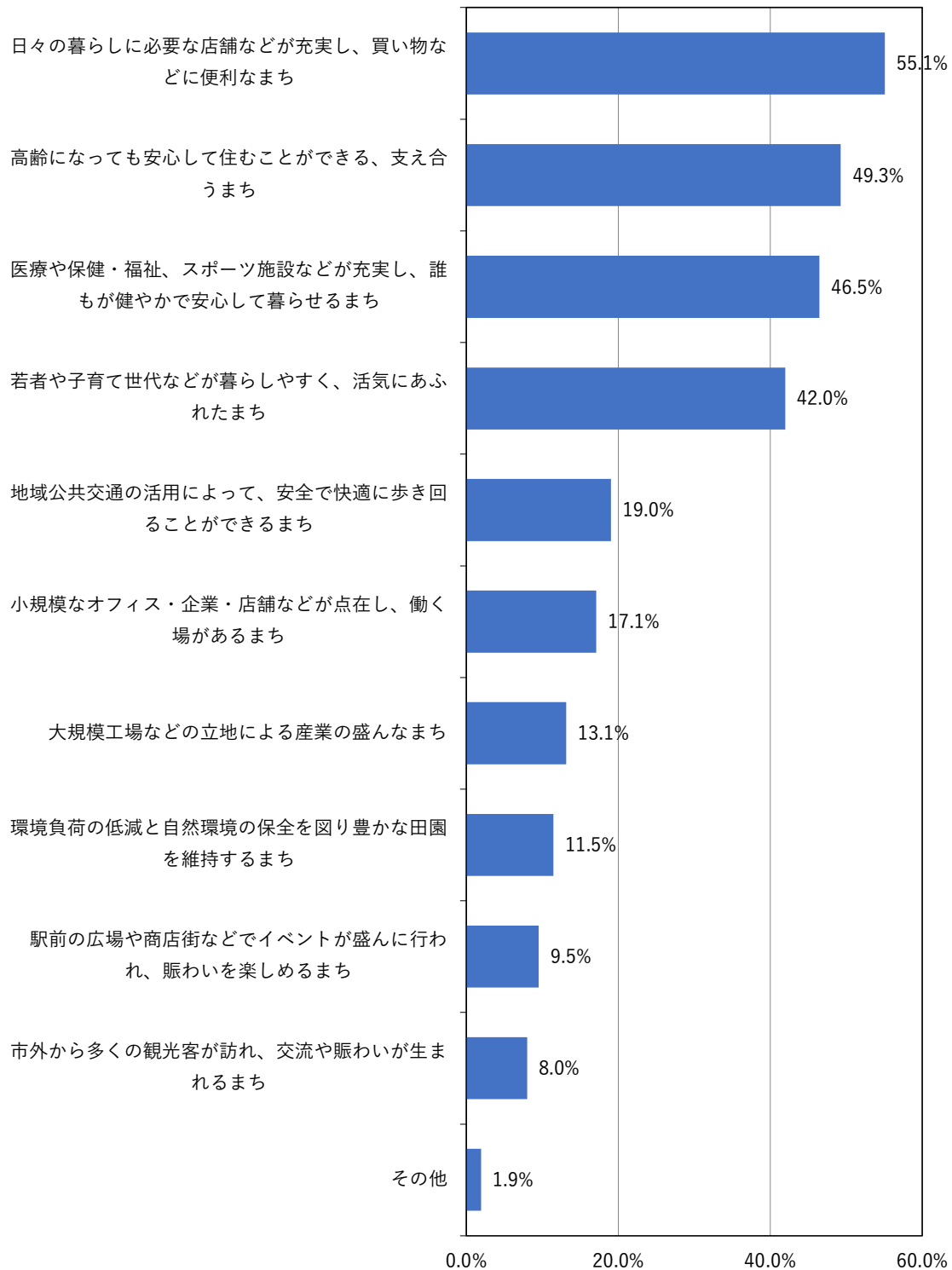
■ 『コンパクト・プラス・ネットワーク』の必要性（年齢別）



問 14：西条市の将来像（最大 3 つまで選択）

- ・西条市の将来像については、「日々の暮らしに必要な店舗などが充実し、買い物などに便利なまち」が 428 人（55.1%）と最も多く、次いで「高齢になっても安心して住むことができる、支え合うまち」が 383 人（49.3%）、「医療や保健・福祉、スポーツ施設などが充実し、誰もが健やかで安心して暮らせるまち」が 361 人（46.5%）、「若者や子育て世代などが暮らしやすく、活気にあふれたまち」が 326 人（42.0%）となっています。

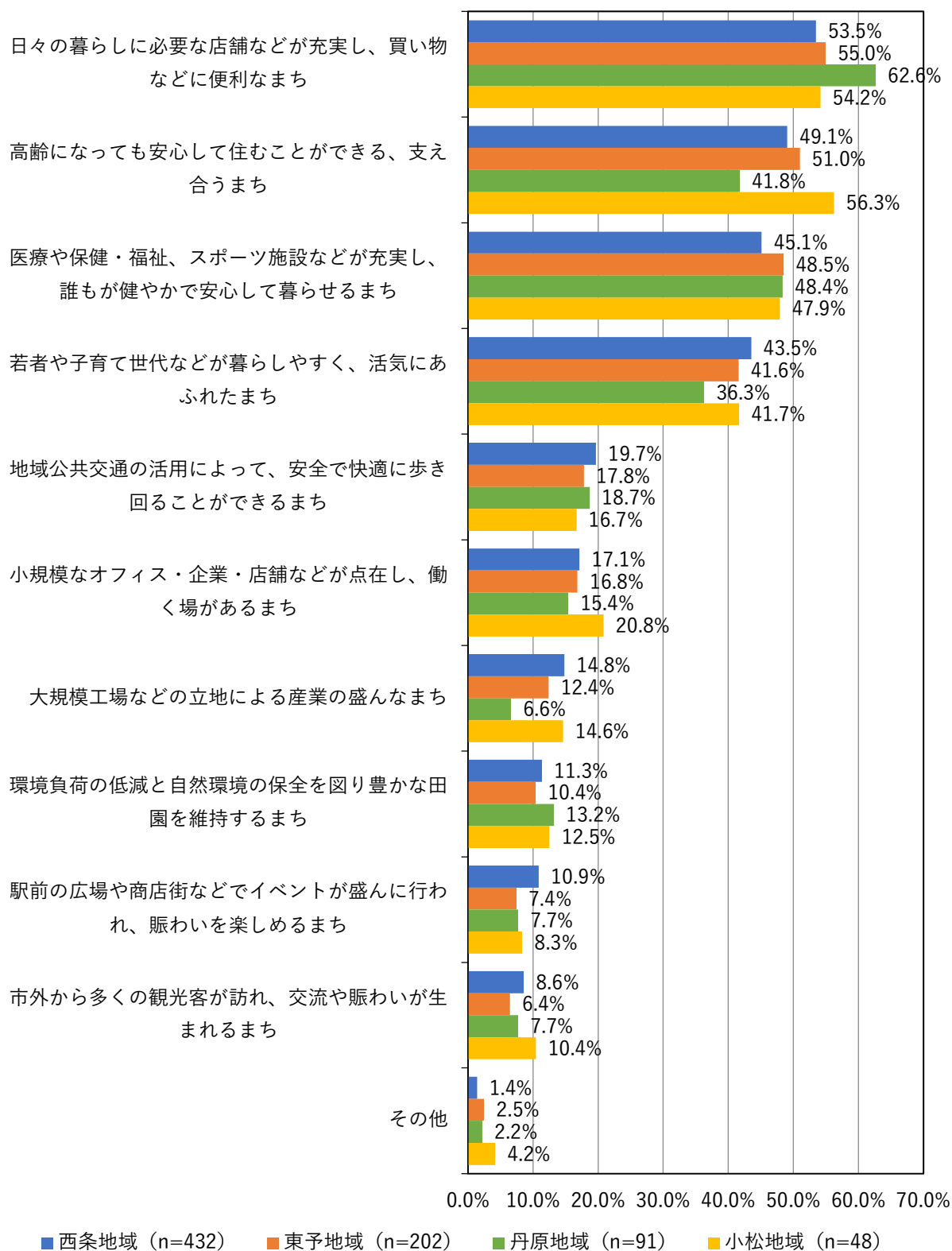
■ 西条市の将来像



(N=777)

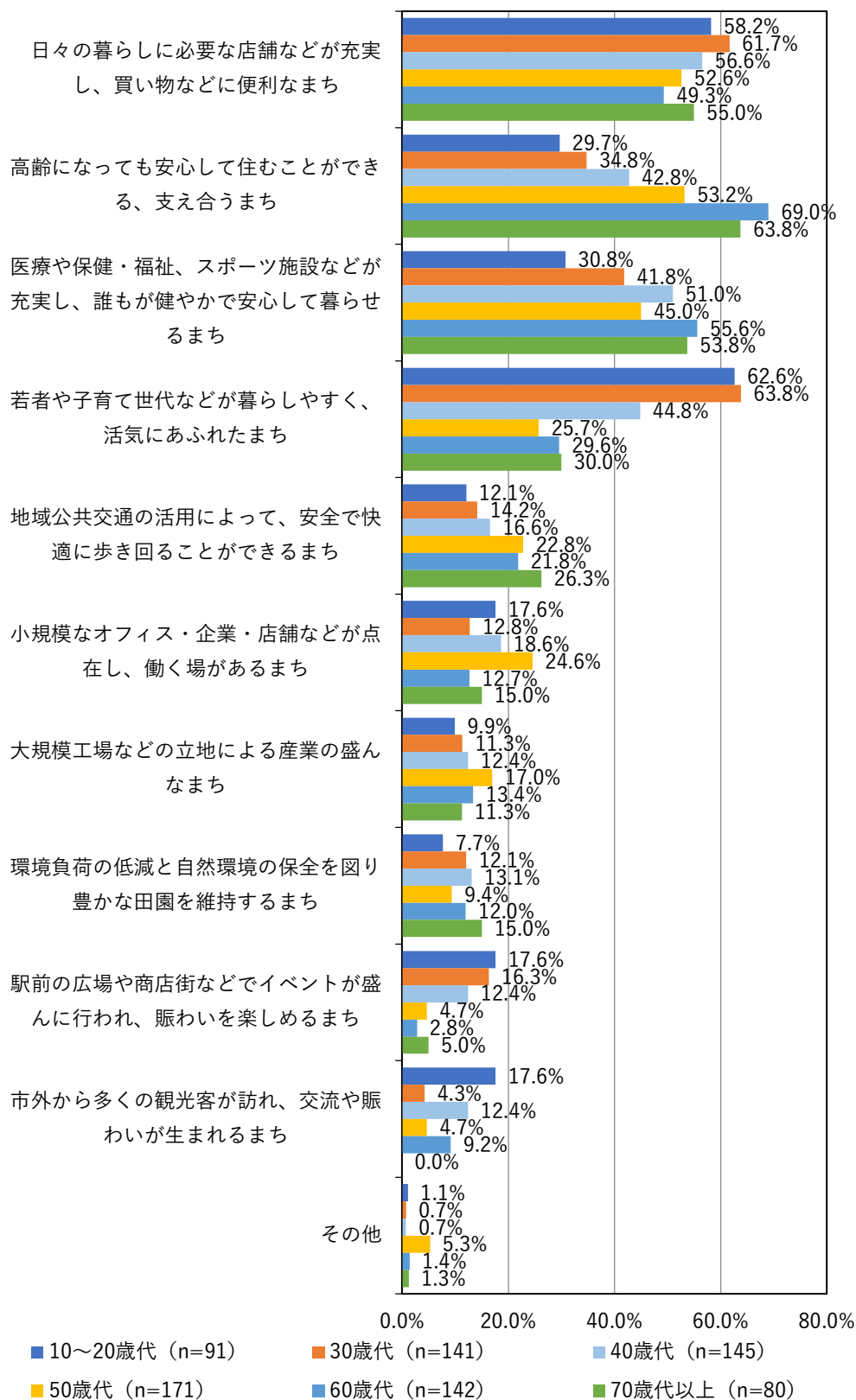
- ・地域別にみると、丹原地域では「日々の暮らしに必要な店舗などが充実し、買い物などに便利なまち」が比較的多くなっています。

■ 西条市の将来像（地域別）



- ・年齢別にみると、高齢になるほど「高齢になっても安心して住むことができる、支え合うまち」、「医療や保健・福祉、スポーツ施設などが充実し、誰もが健やかで安心して暮らせるまち」、「地域公共交通の活用によって、安全で快適に歩き回ることができるまち」が多くなる傾向がみられます。
- ・10～30歳代では、「若者や子育て世代などが暮らしやすく、活気にあふれたまち」が比較的多くなっています。

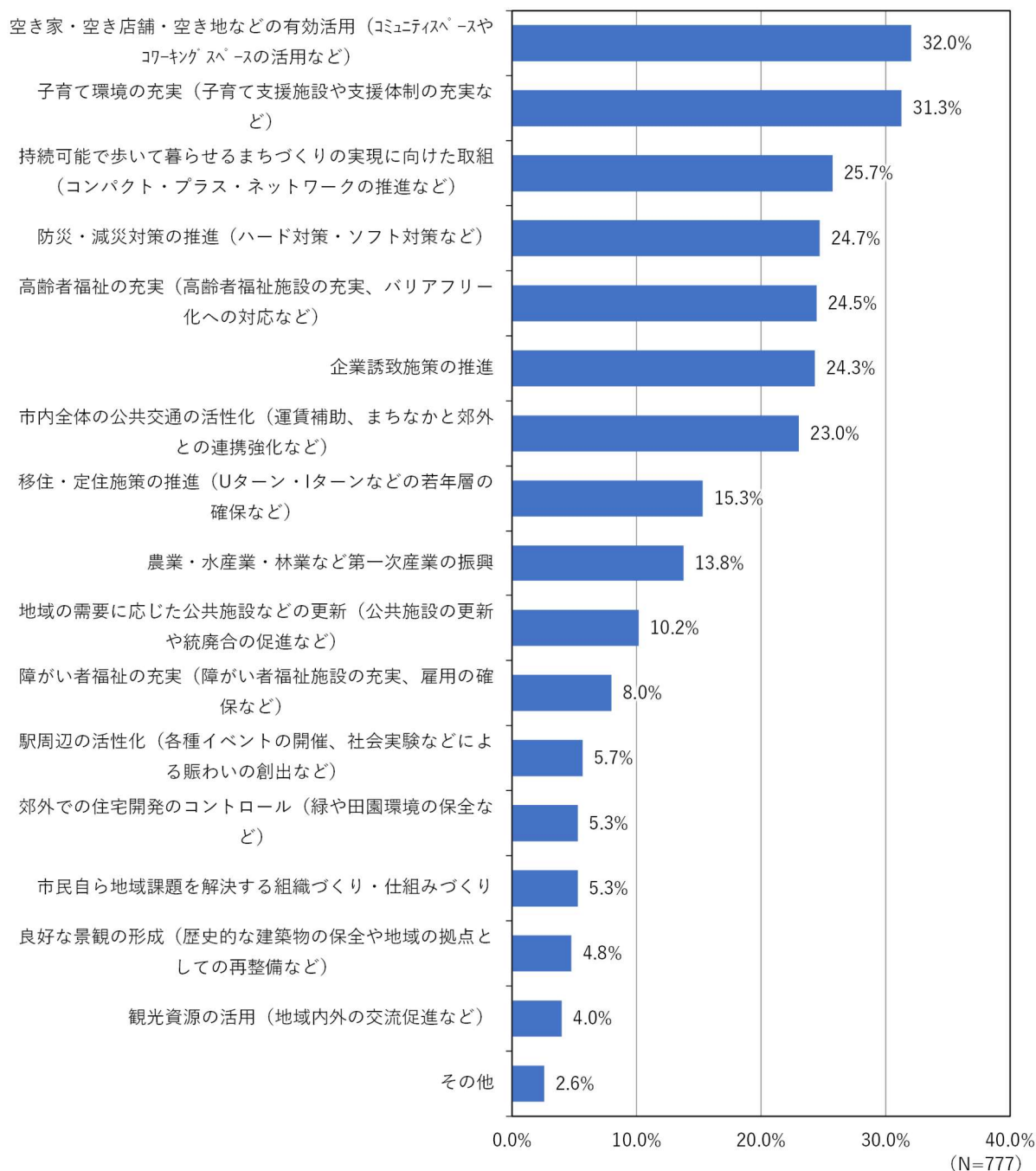
■ 西条市の将来像（年齢別）



問 15：西条市に必要な施策（最大 3 つまで選択）

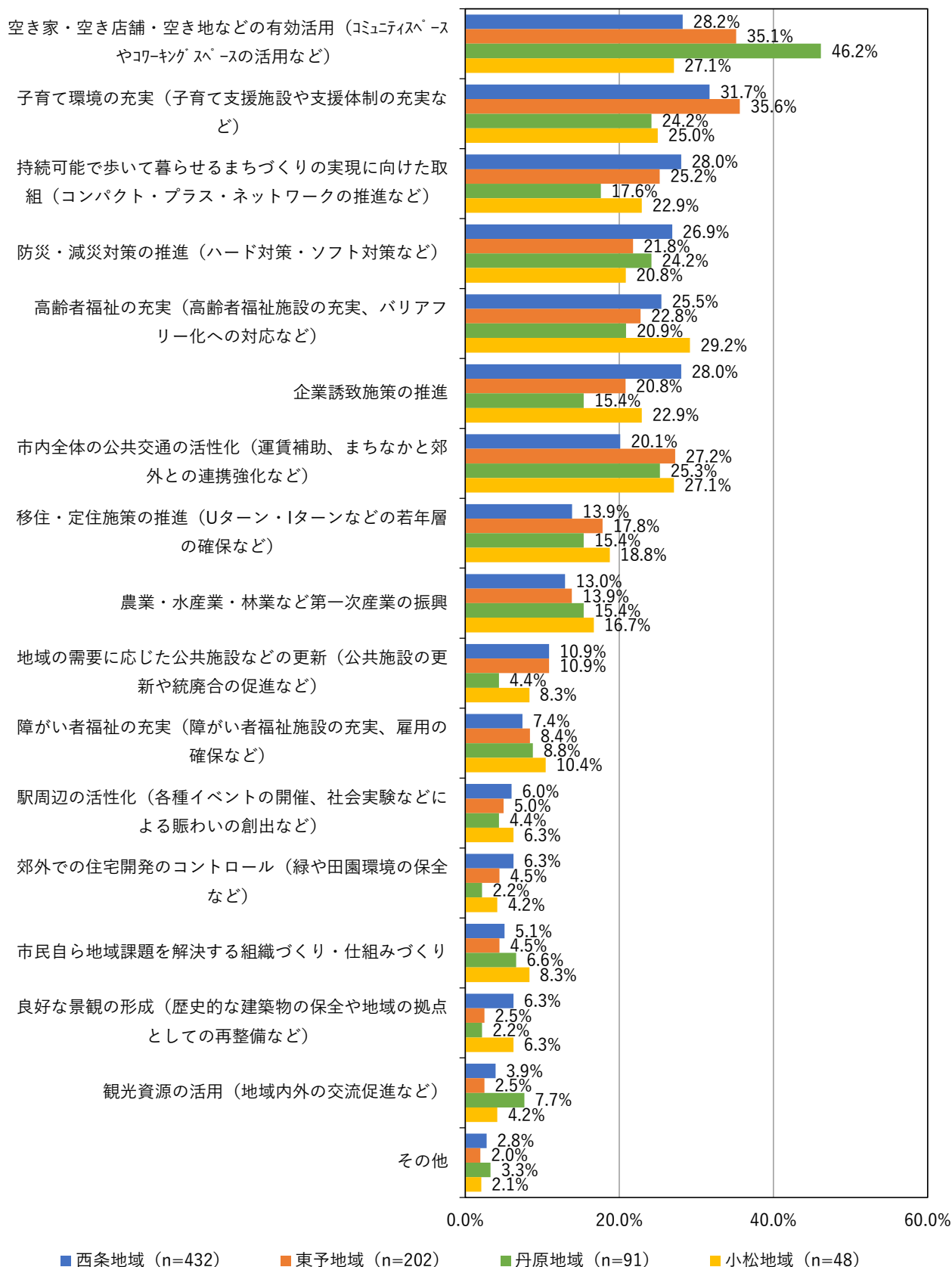
・西条市に今後必要な施策は、「空き家・空き店舗・空き地などの有効活用（コミュニティスペースやコワーキングスペースの活用など）」が 249 人（32.0%）と最も多く、次いで「子育て環境の充実（子育て支援施設や支援体制の充実など）」が 243 人（31.3%）となっています。

■ 西条市に必要な施策



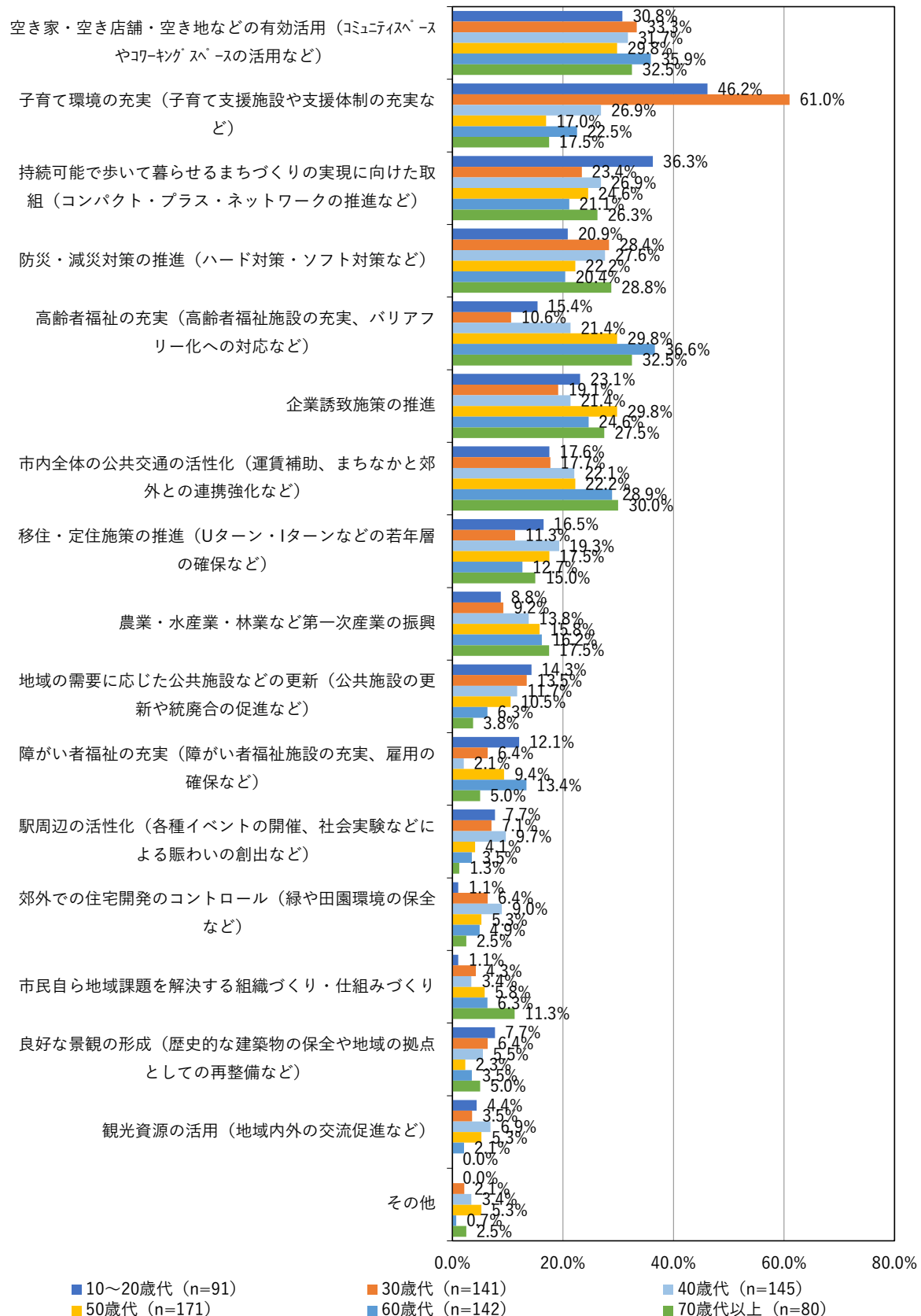
- ・地域別にみると、丹原地域では「空き家・空き店舗・空き地などの有効活用（コミュニティスペースやワーキングスペースの活用など）」が比較的多くなっています。
- ・西条地域や東予地域では、「子育て環境の充実（子育て支援施設や支援体制の充実など）」が比較的多くなっています。

■ 西条市に必要な施策（地域別）



- ・年齢別にみると、10～30歳代では「子育て環境の充実（子育て支援施設や支援体制の充実など）」が突出して多くなっています。
- ・60歳代以上では「高齢者福祉の充実（高齢者福祉施設の充実、バリアフリー化への対応など）」及び「市内全体の公共交通の活性化（運賃補助、まちなかと郊外との連携強化など）」が比較的多くなっています。

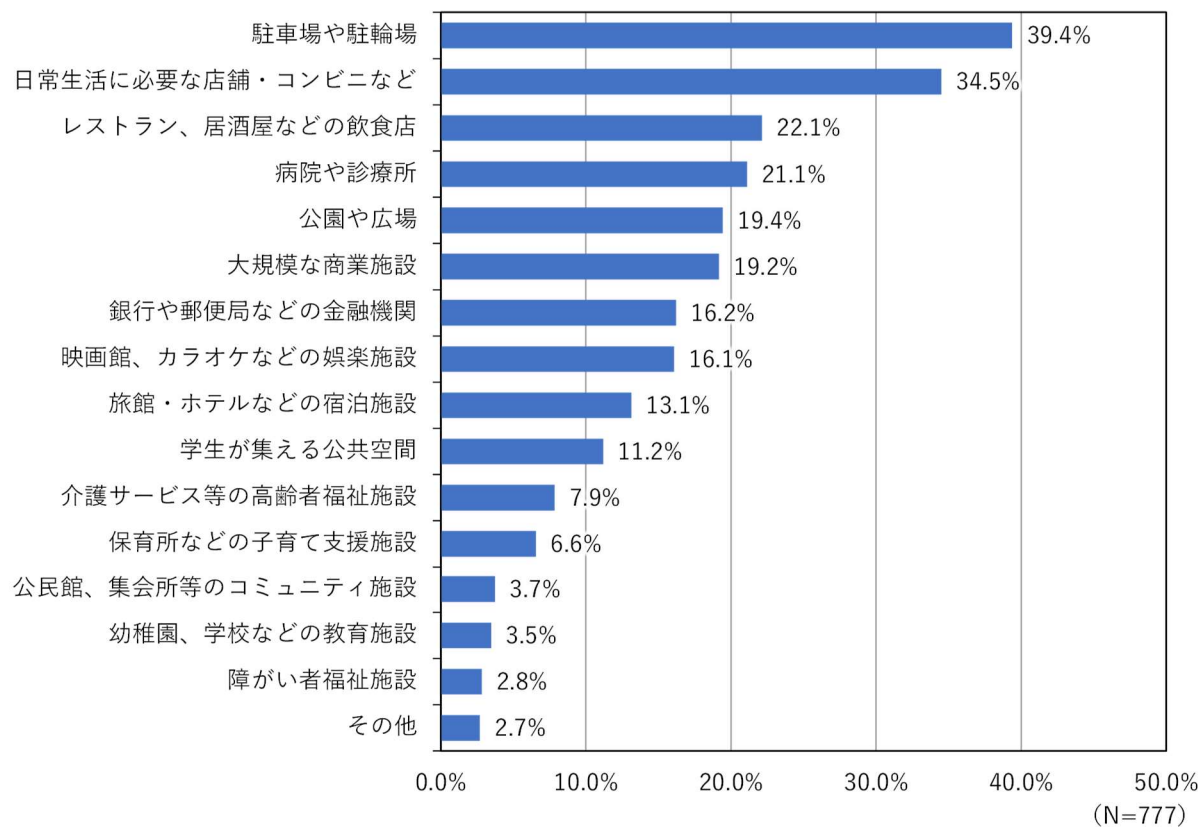
■ 西条市に必要な施策（年齢別）



問 16：駅周辺などの拠点で特に必要と思う生活サービス施設（最大 3 つまで選択）

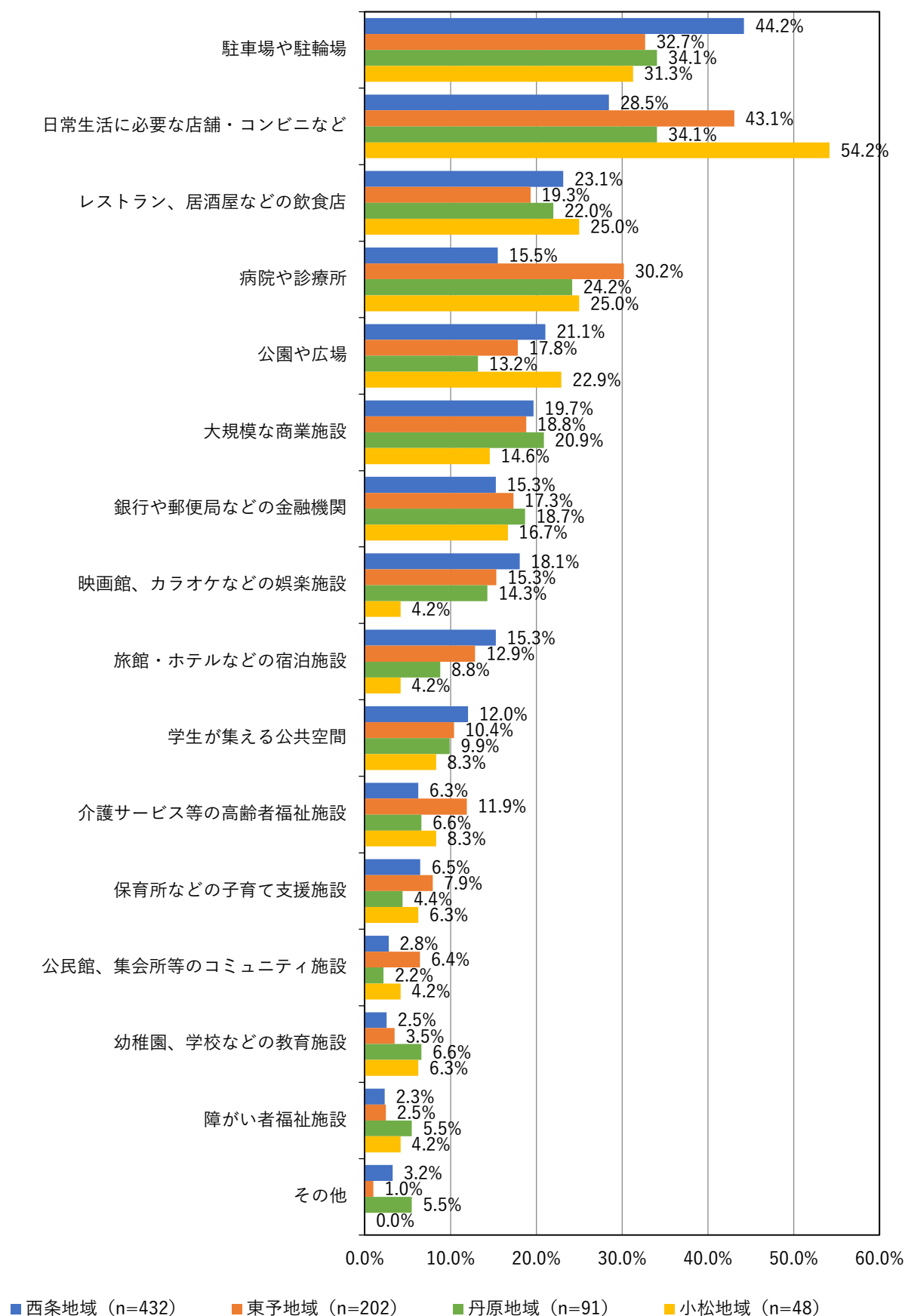
・駅周辺などの拠点で特に必要と思う生活サービス施設は、「駐車場や駐輪場」が 306 人（39.4%）と最も多く、次いで「日常生活に必要な店舗・コンビニなど」が 268 人（39.4%）となっています。

■ 拠点に必要な生活サービス施設



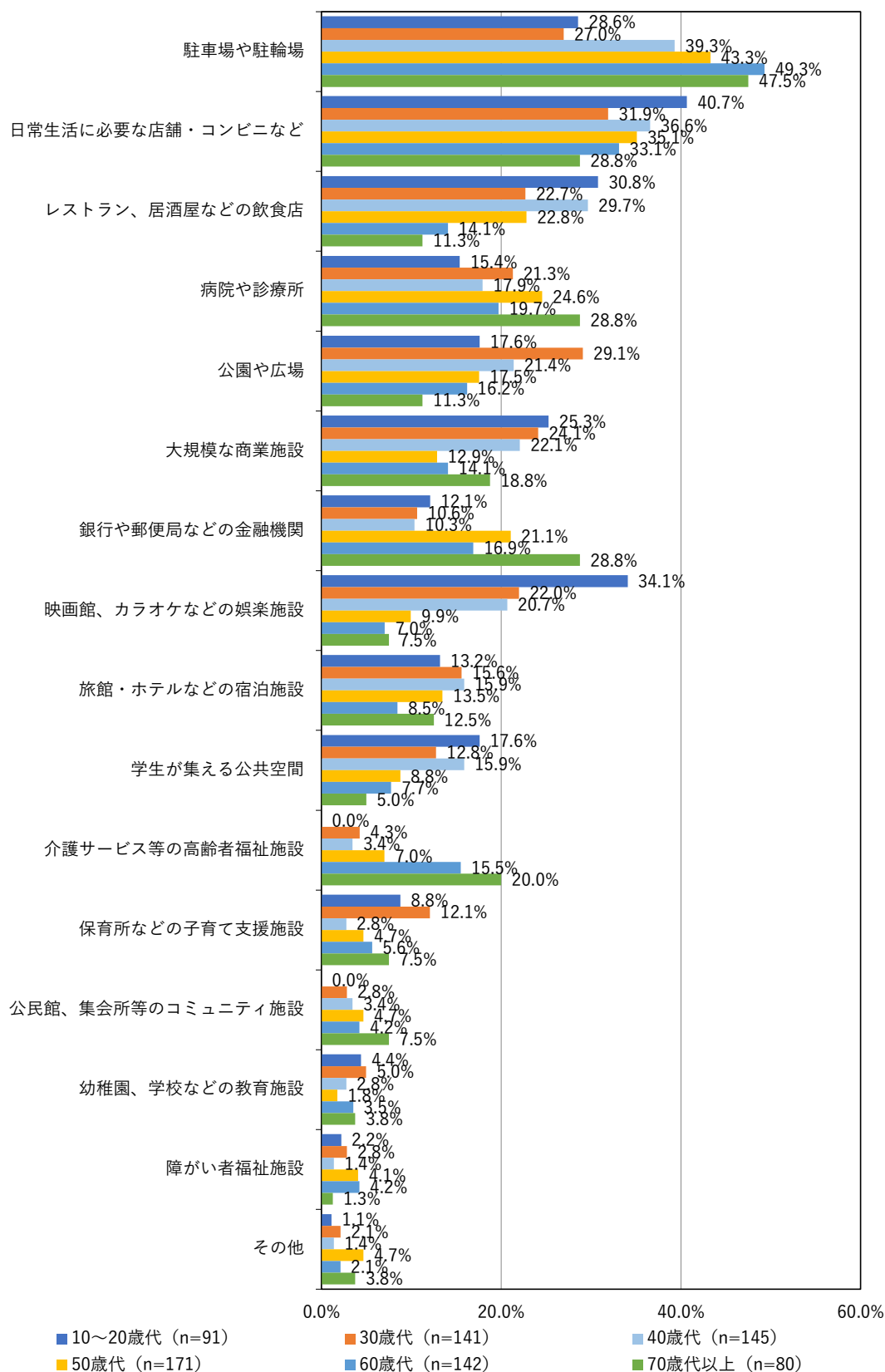
- ・地域別にみると、西条地域では「駐車場や駐輪場」が、東予地域及び小松地域では「日常生活に必要な店舗・コンビニなど」がそれぞれ比較的多くなっています。

■ 拠点に必要な生活サービス施設（地域別）



- ・年齢別にみると、40 歳代以上では「駐車場や駐輪場」が比較的多くなっています。
- ・10～20 歳代は「映画館やカラオケなどの娯楽施設」が、30 歳代では「公園や広場」の割合が特に多くなっています。
- ・70 歳以上では、「病院や診療所」、「銀行や郵便局などの金融機関」、「介護サービス等の高齢者福祉施設」等も比較的多くなっています。

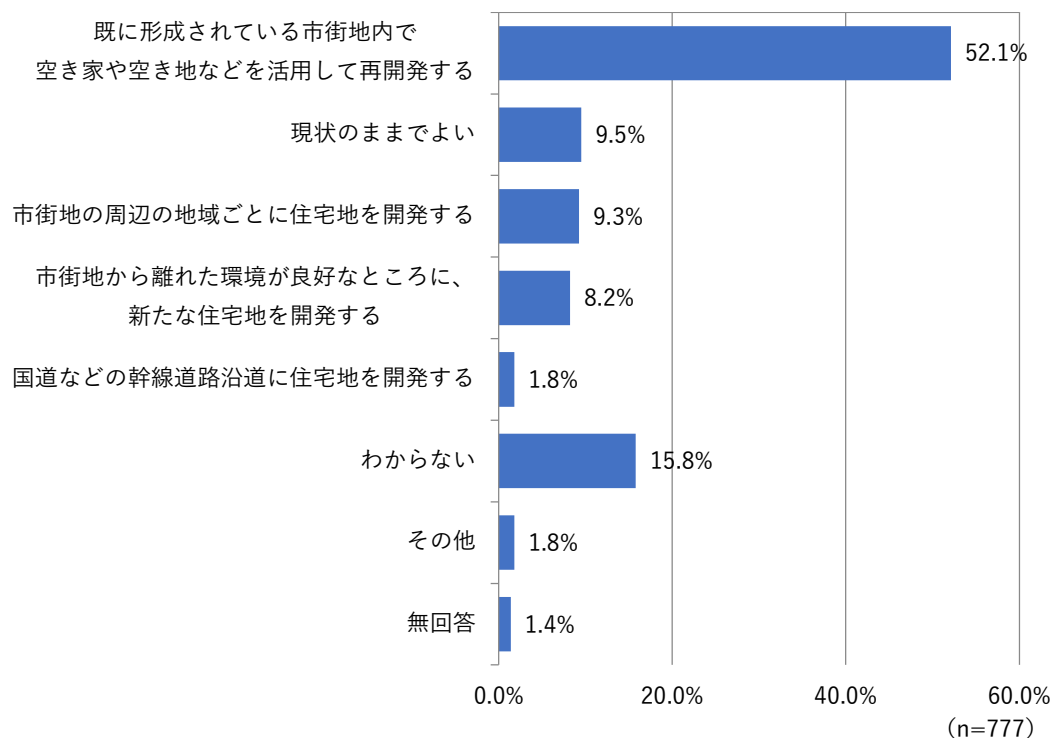
■ 拠点に必要な生活サービス施設（年齢別）



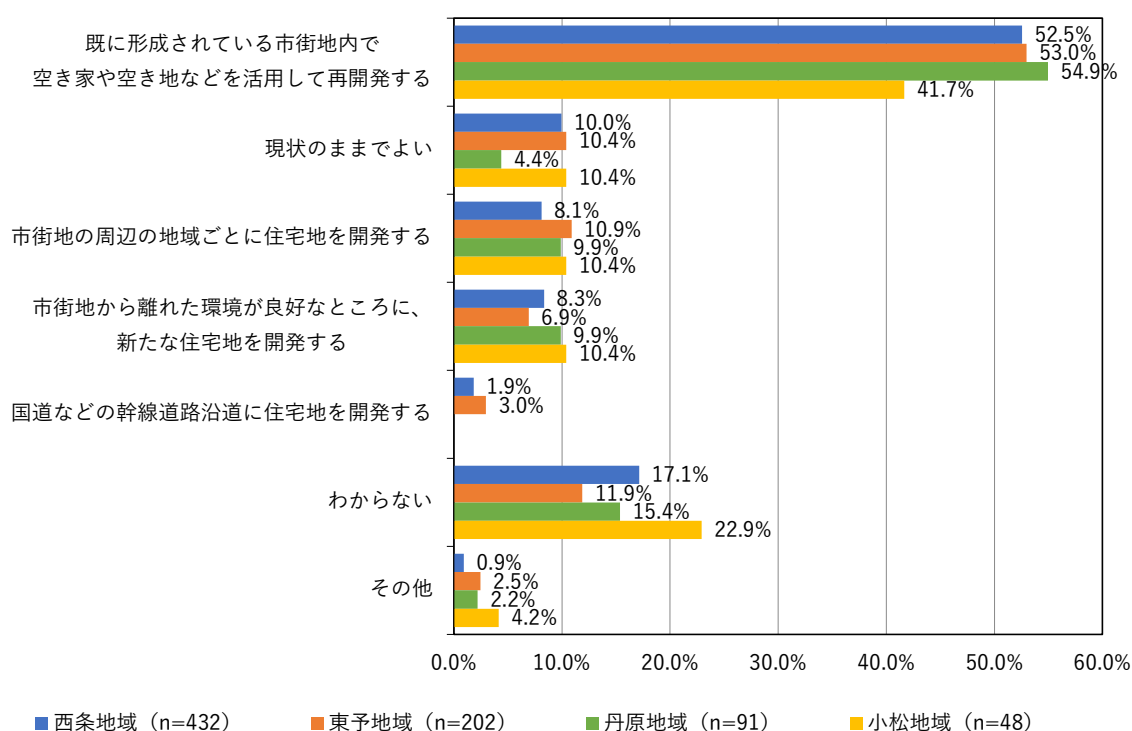
問 17：新たな住宅地の開発に望むこと（1つ選択）

- ・新たな住宅地の開発に望むことは、「既に形成されている市街地内で、空き家や空き地などを活用して再開発する」が405人（52.1%）と過半数を占めています。
- ・地域別では、各地域で概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

■ 住宅地の開発に望むこと

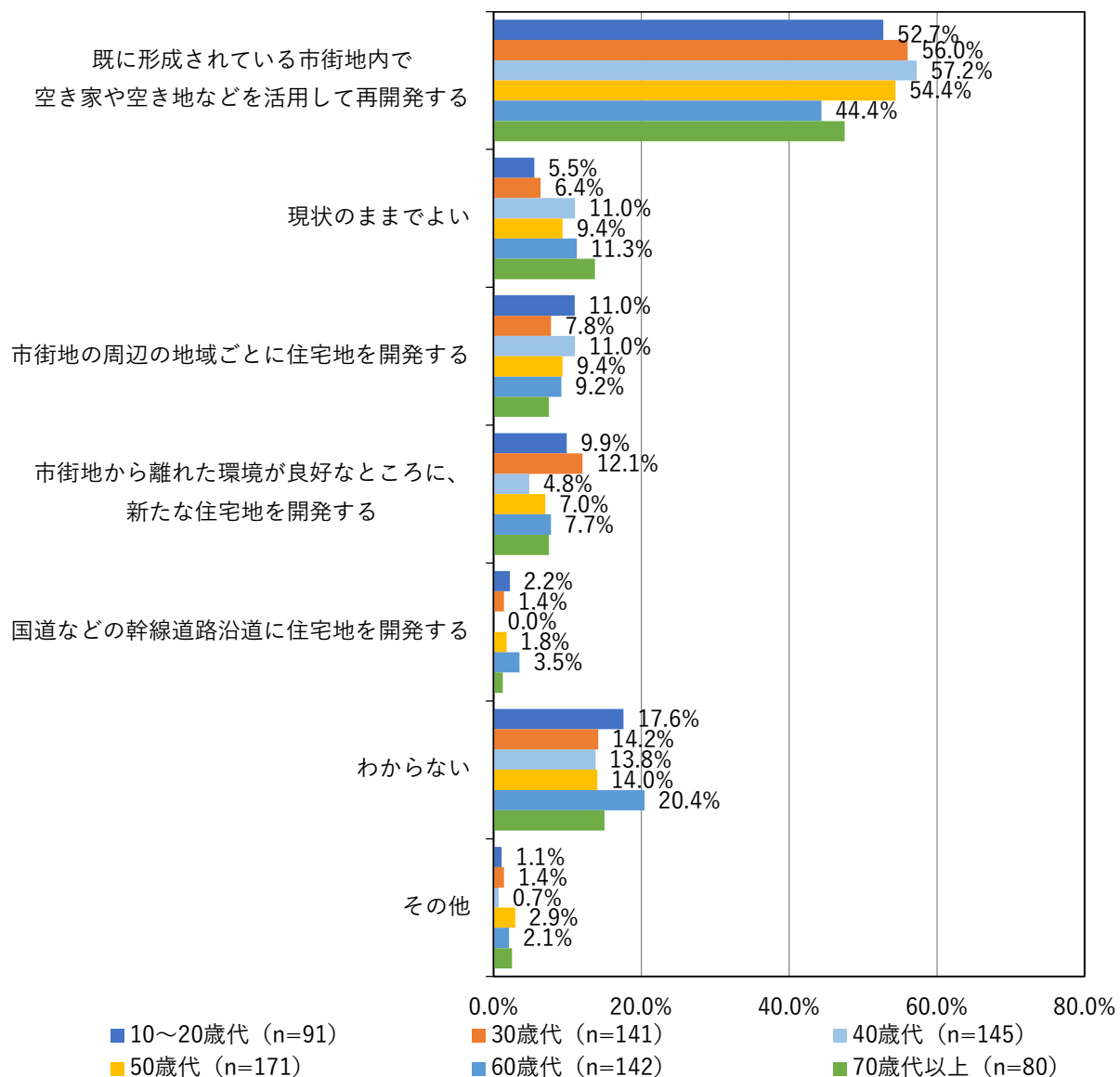


■ 住宅地の開発に望むこと（地域別）



- ・年齢別では、各世代で概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

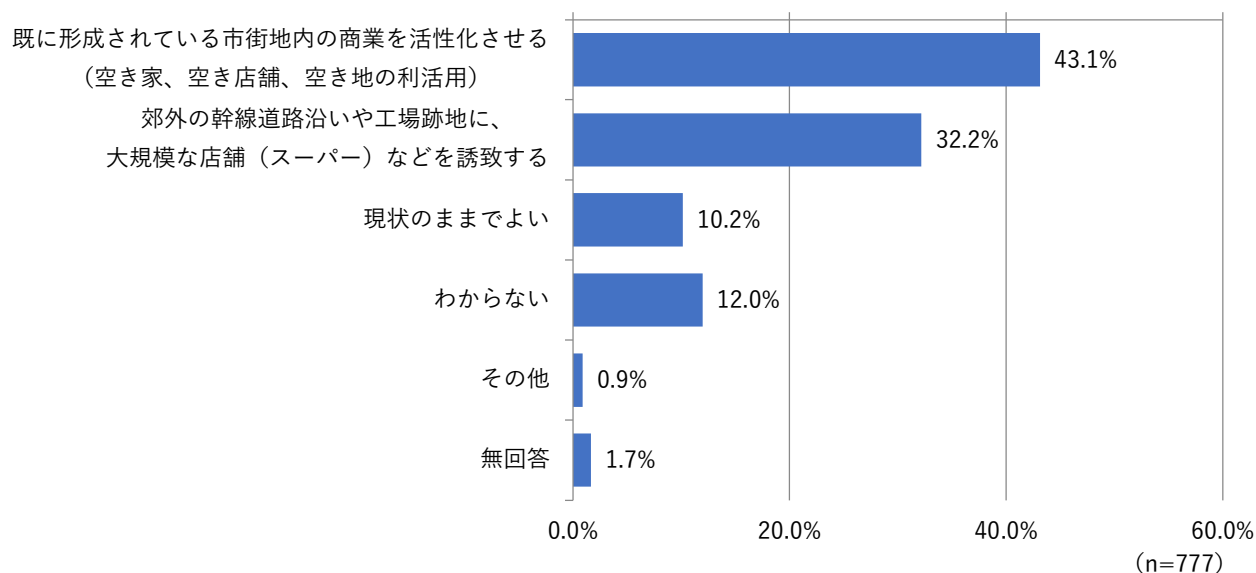
■ 住宅地の開発に望むこと（年齢別）



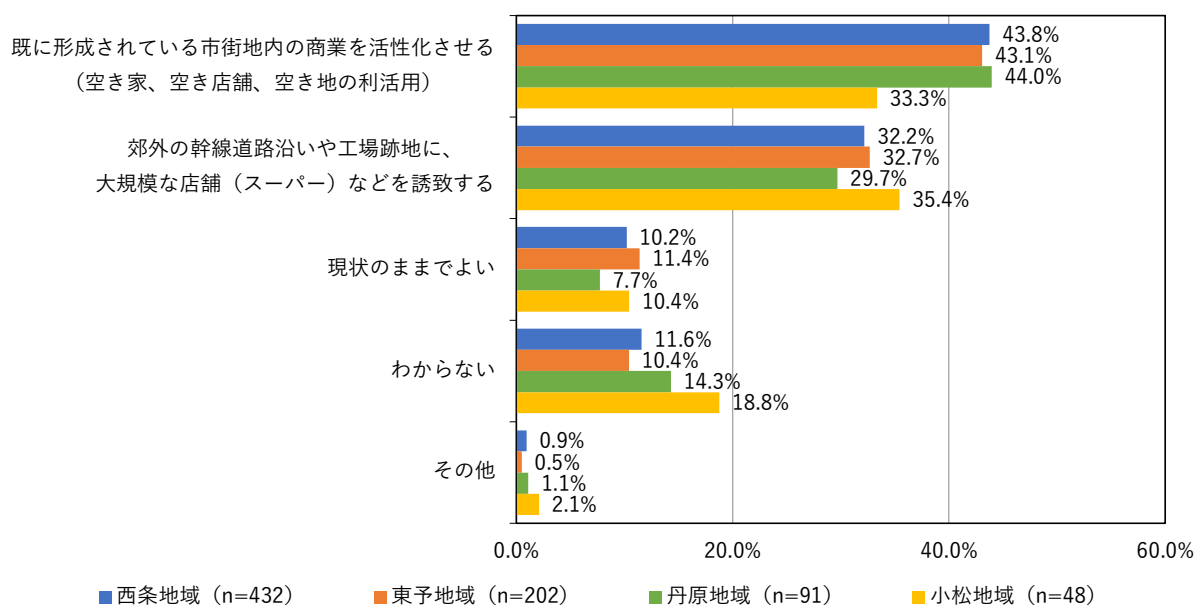
問 18：商業店舗の出店場所やあり方に望むこと（1つ選択）

- ・商業店舗の出店場所やあり方に望むことは、「既に形成されている市街地内の商業を活性化させる」が 335 人（43.1%）と最も多く、次いで「郊外の幹線道路沿いや工場跡地に、大規模な店舗（スーパー）などを誘致する」が 250 人（32.2%）となっています。
- ・地域別では、各地域で概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

■ 商業店舗の出店場所やあり方に望むこと

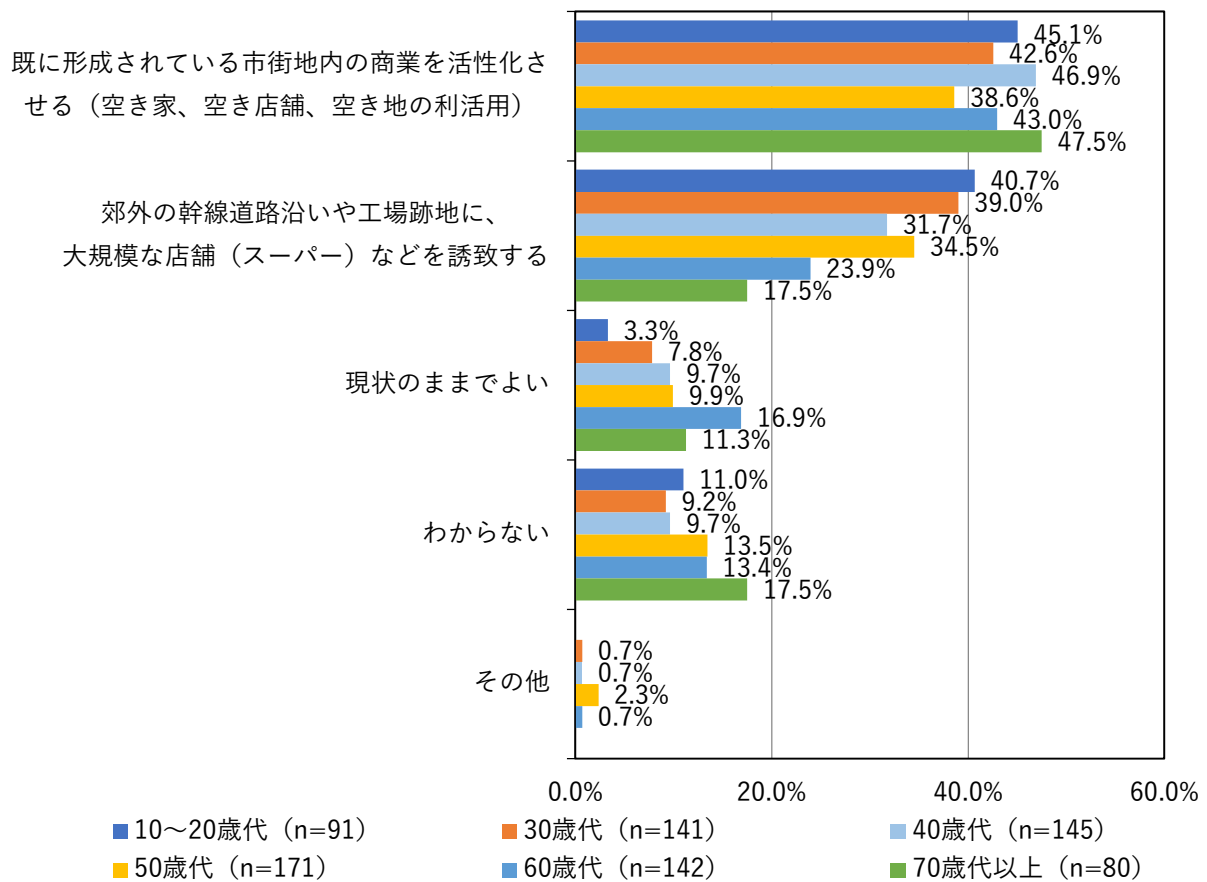


■ 商業店舗の出店場所やあり方に望むこと（地域別）



- ・年齢別にみると、「郊外の幹線道路沿いや工場跡地に、大規模な店舗（スーパー）などを誘致する」は若いほど多くなる傾向がみられます。

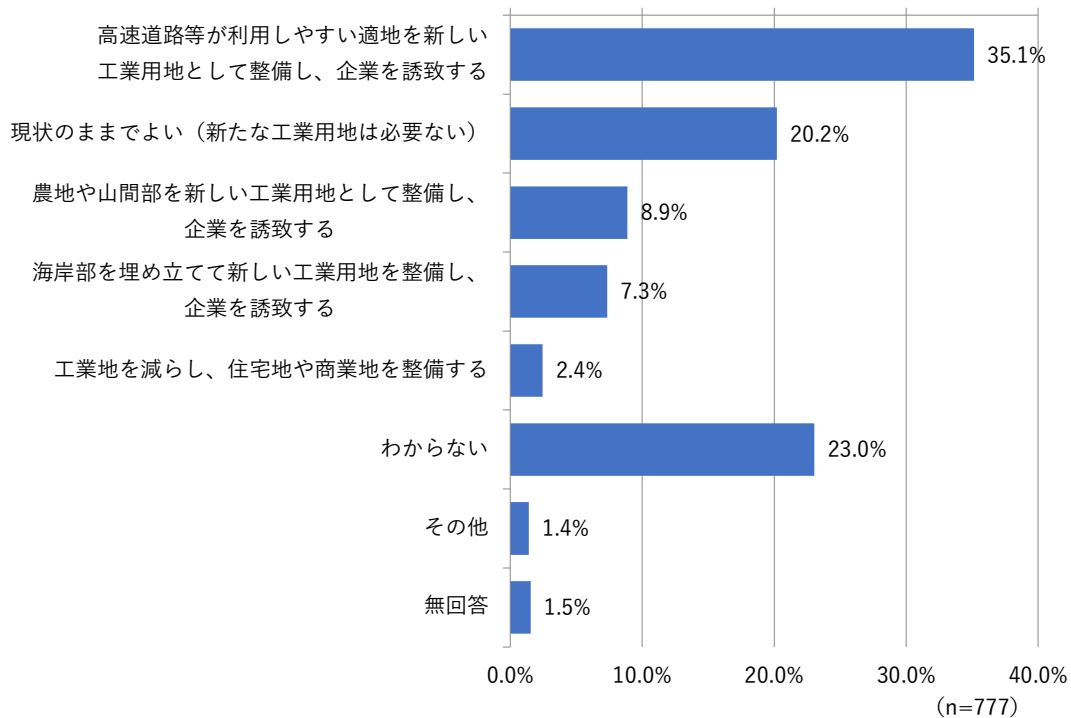
■ 商業店舗の出店場所やあり方に望むこと（年齢別）



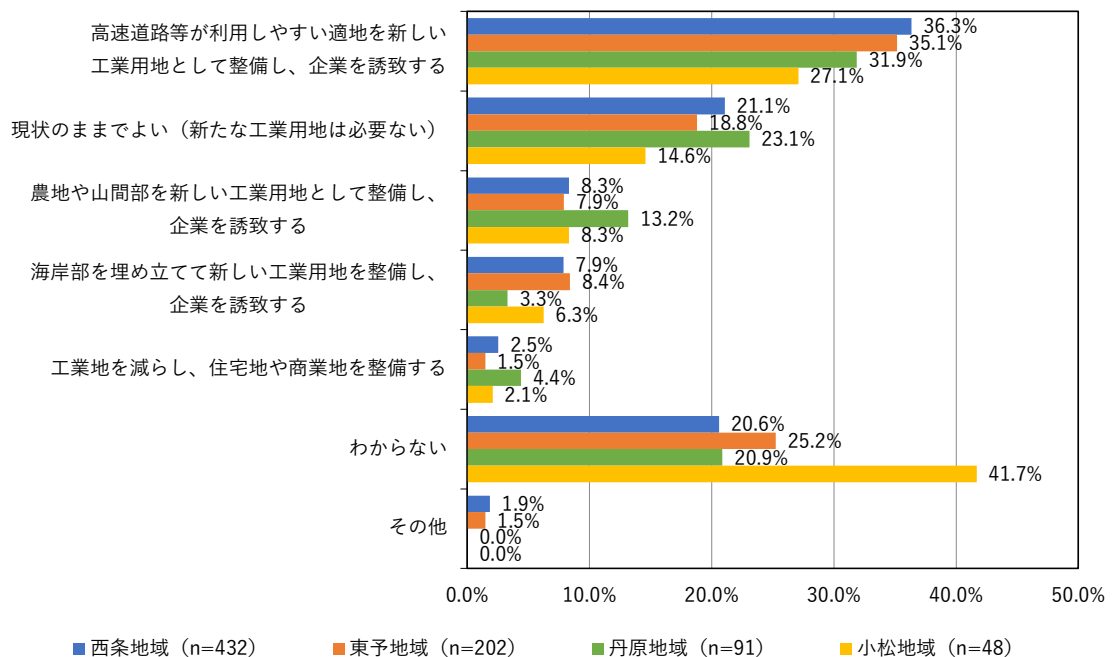
問 19：工業施設の立地場所やあり方に望むこと（1つ選択）

- ・工業施設の立地場所やあり方に望むことは、「高速道路等が利用しやすい適地を新しい工業用地として整備し、企業を誘致する」が 273 人（35.1%）と最も多く、次いで「現状のままでよい（新たな工業用地は必要ない）」が 157 人（20.2%）となっています。
- ・地域別にみると、「高速道路等が利用しやすい適地を新しい工業用地として整備し、企業を誘致する」は若いほど多い傾向がみられます。
- ・丹原地域では「農地や山間部を新しい工業用地として整備し、企業を誘致する」が比較的多くなっています。

■ 工業施設の立地場所やあり方に望むこと

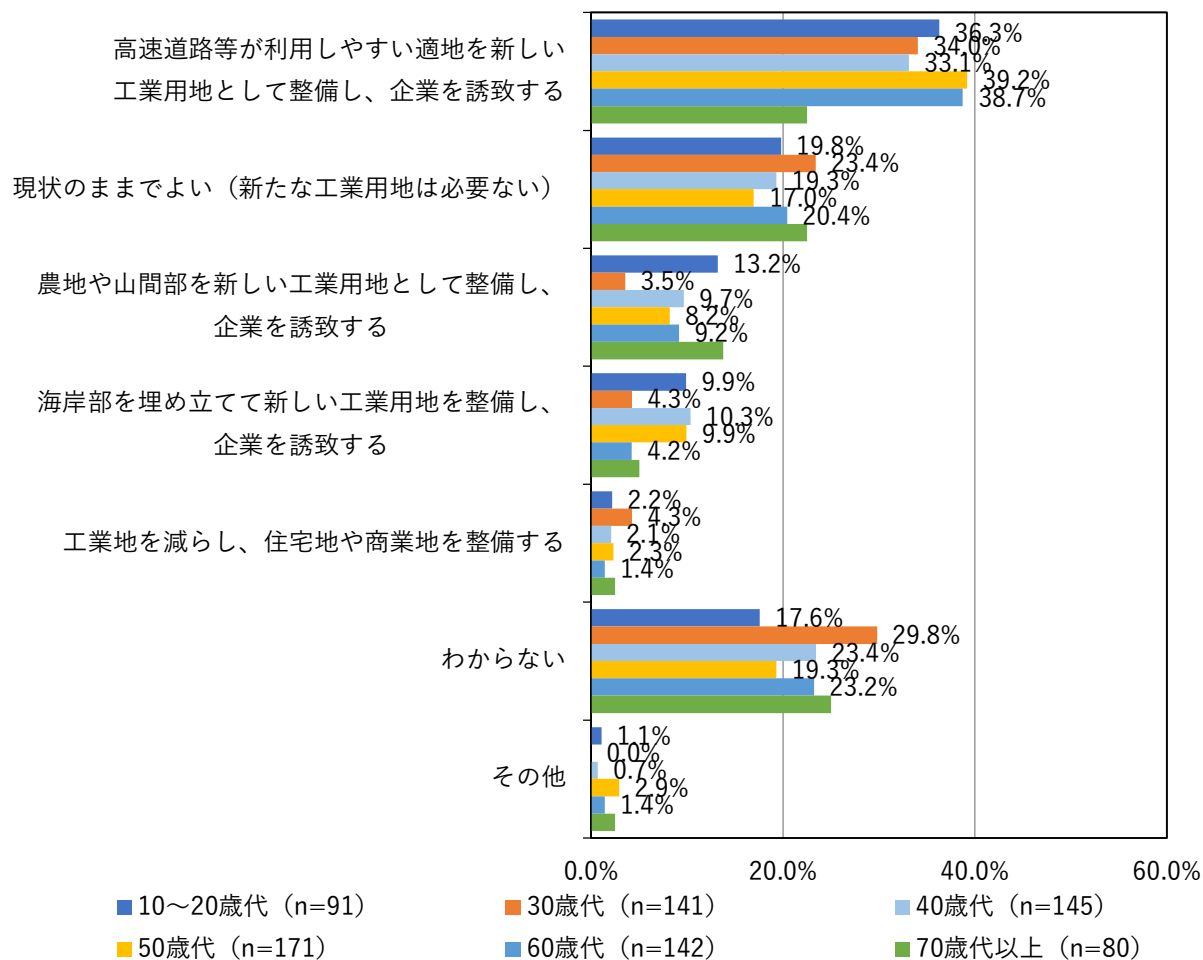


■ 工業施設の立地場所やあり方に望むこと（地域別）



- ・年齢別では、各世代で概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられません。

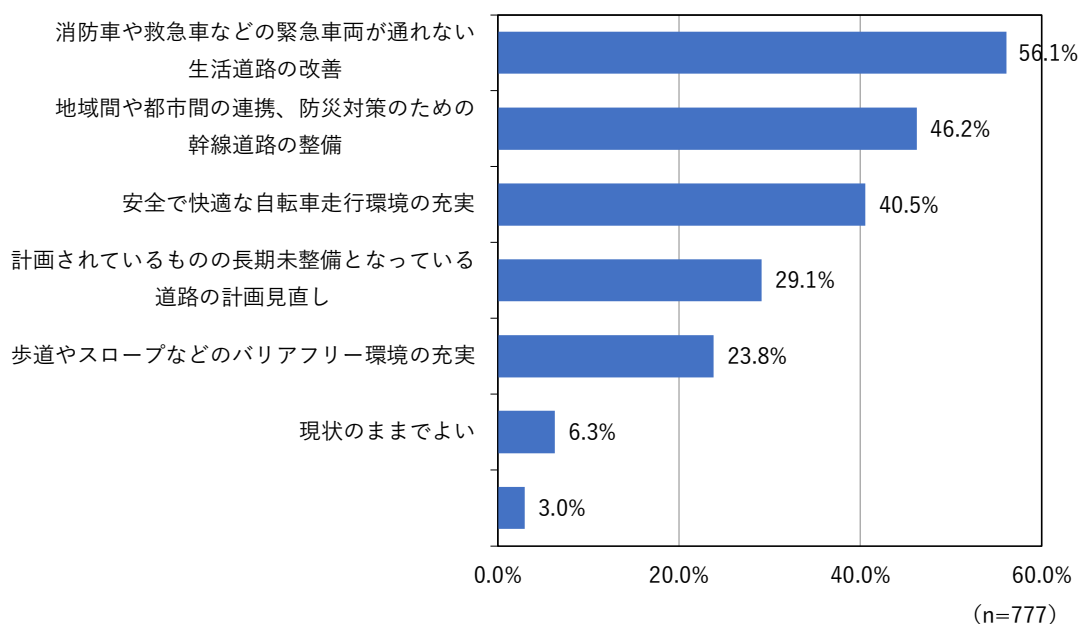
■ 工業施設の立地場所やあり方に望むこと（年齢別）



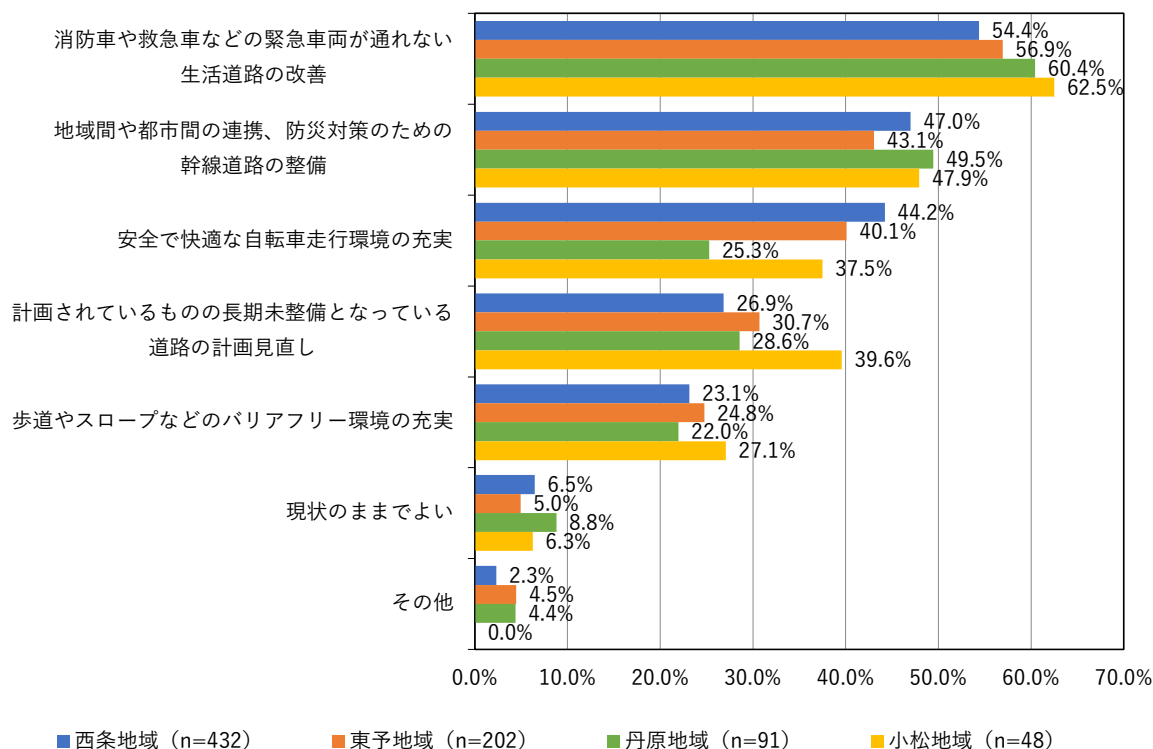
問 20：今後の道路整備に望むこと（最大3つまで選択）

- ・今後の道路整備に望むことは、「消防車や救急車などの緊急車両が通れない生活道路の改善」が 436 人（56.1%）と最も多くなっており、次いで「地域間や都市間の連携、防災対策のための幹線道路の整備」が 359 人（46.2%）、「安全で快適な自転車走行環境の充実」が 315 人（40.5%）となっています。
- ・地域別にみると、小松地域では、「計画されているものの長期未整備となっている道路の計画見直し」が比較的多くなっています。

■ 今後の道路整備に望むこと

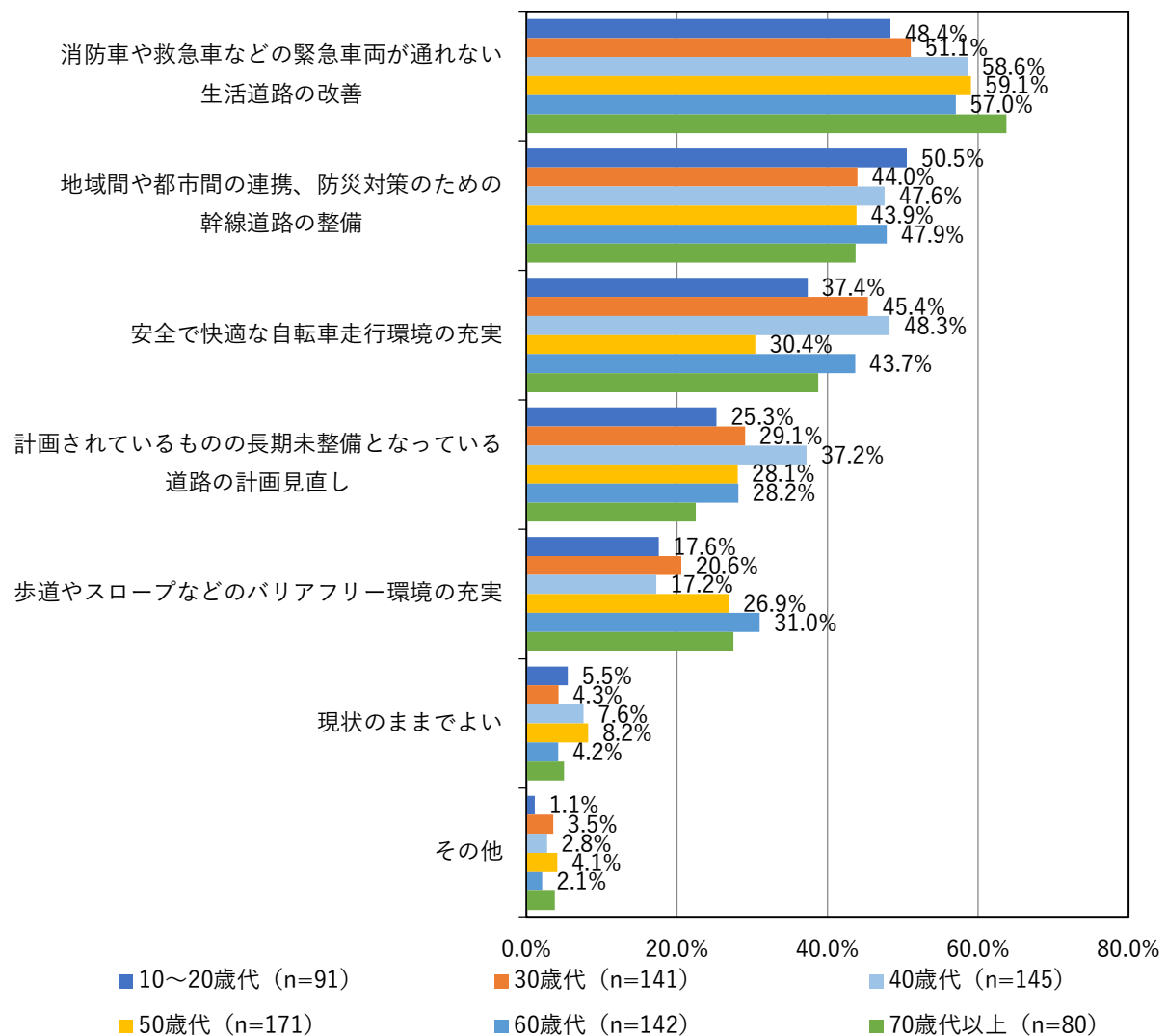


■ 今後の道路整備に望むこと（地域別）



- ・年齢別にみると、50歳代以上では「歩道やスロープなどのバリアフリー環境の充実」が比較的多くなっています。

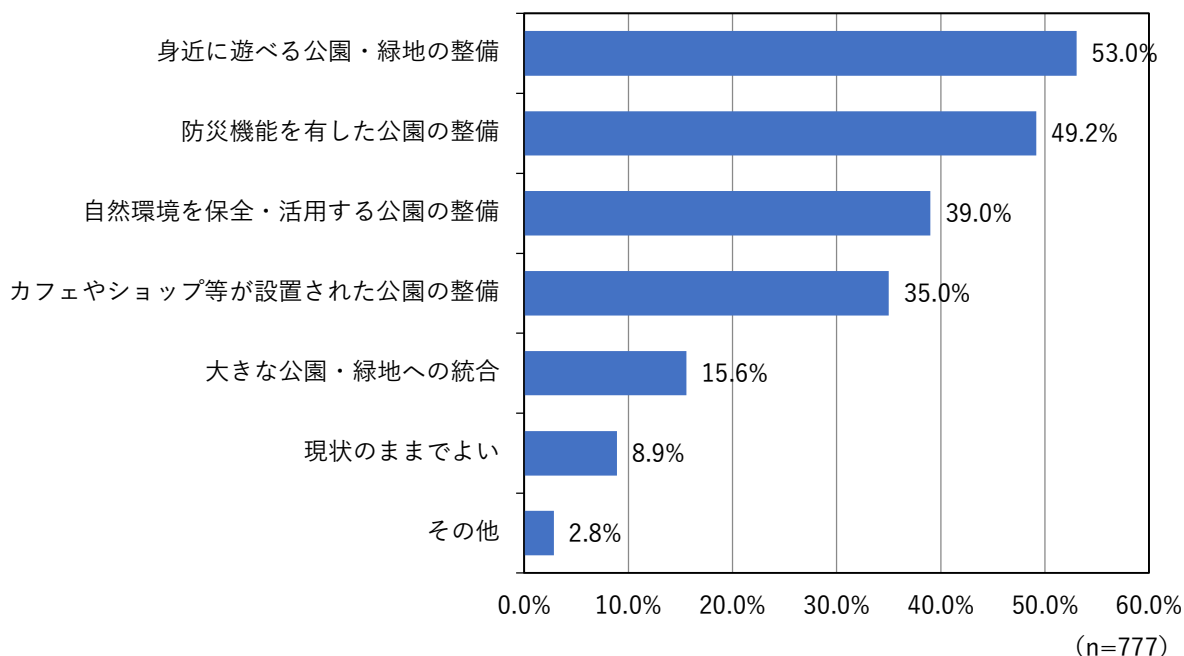
■ 今後の道路整備に望むこと（年齢別）



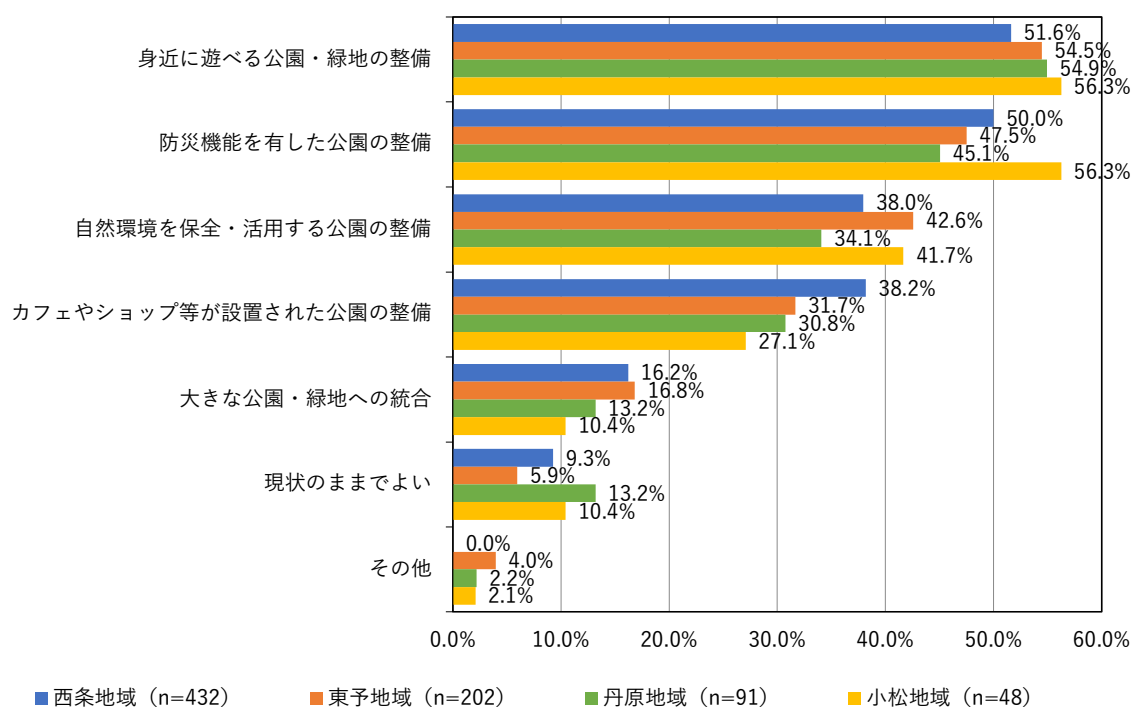
問 21：今後の公園整備に望むこと（最大3つまで選択）

- ・今後の公園整備に望むことは、「身近に遊べる公園・緑地の整備」が412人（53.0%）と最も多く、次いで「防災機能を有した公園の整備」が382人（49.2%）となっています。
- ・地域別にみると、小松地域で「防災機能を有した公園の整備」が比較的多くなっています。

■ 今後の公園整備に望むこと

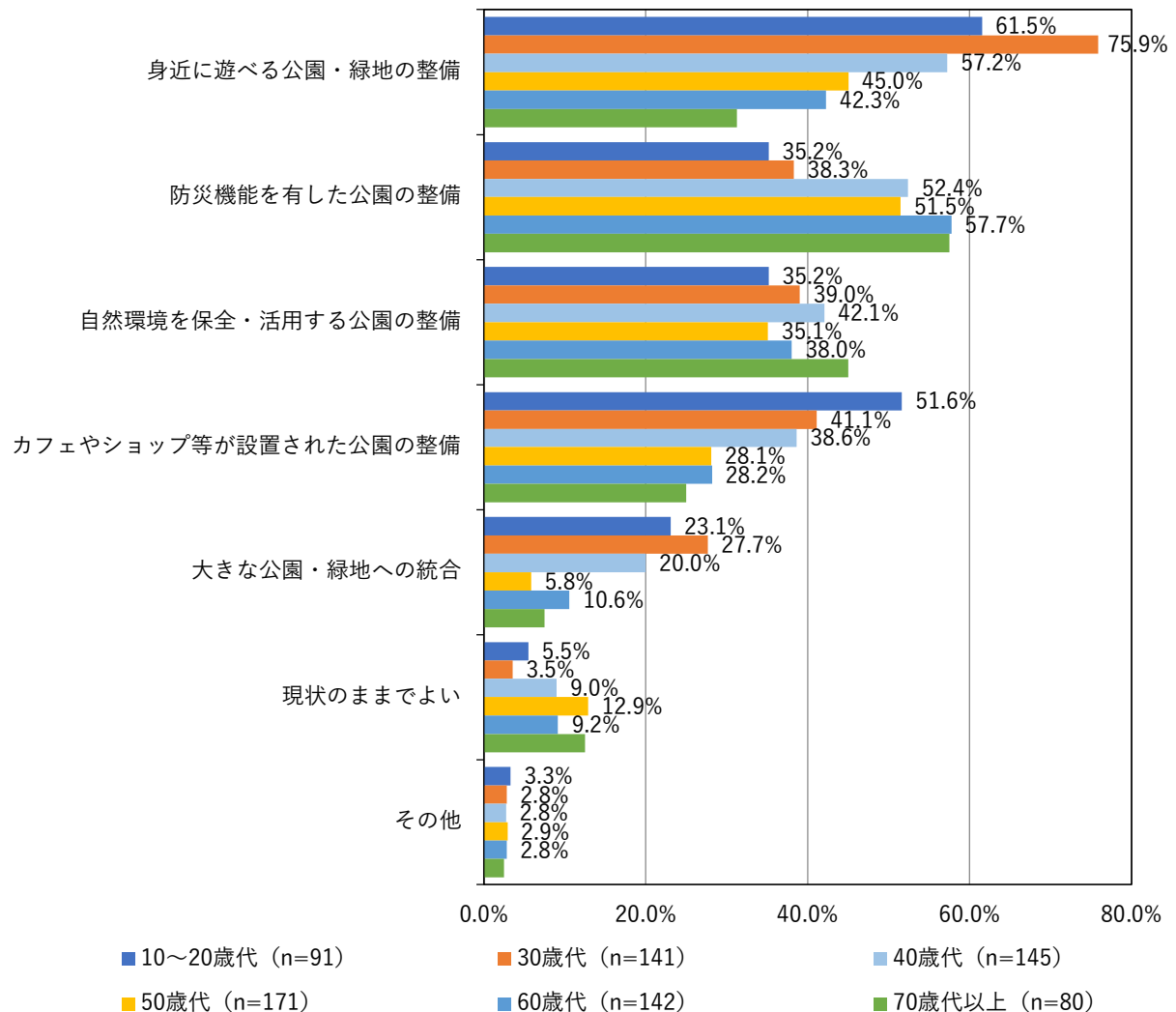


■ 今後の公園整備に望むこと（地域別）



- ・年齢別にみると、10～20 歳代では「カフェやショップ等が設置された公園の整備」が、30 歳代で「身近に遊べる公園・緑地の整備」が、40 歳代以上では「防災機能を有した公園の整備」がそれぞれ比較的多くなっています。

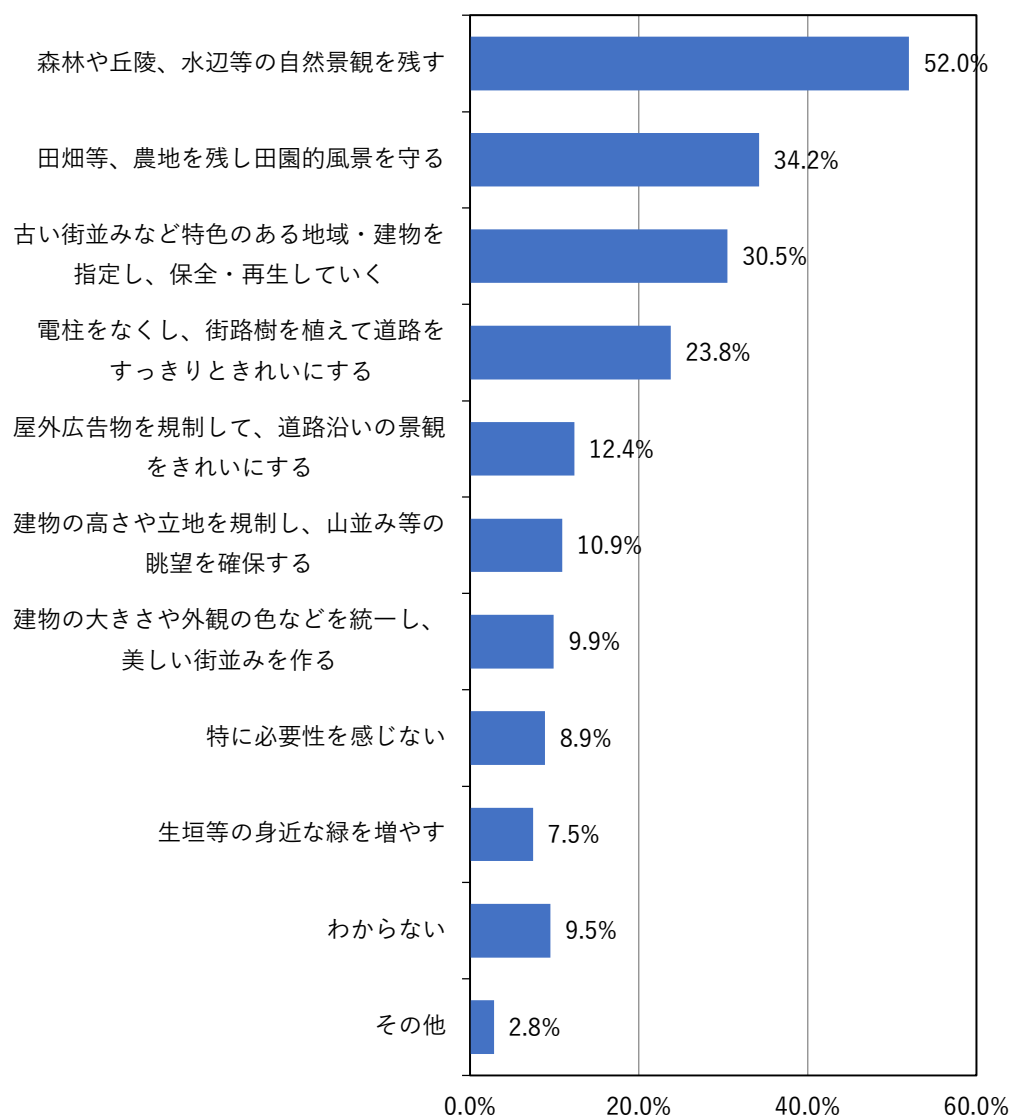
■ 今後の公園整備に望むこと（年齢別）



問 22：自然環境や美しい街並みの景観の保全・創出に必要な取組（最大3つまで選択）

- ・自然環境や美しい街並みの景観の保全・創出に必要な取組は、「森林や丘陵、水辺等の自然景観を残す」が404人（52.0%）で最も多く、次いで「田畑等、農地を残し田園的風景を守る」が266人（34.2%）、「古い街並みなど特色のある地域・建物を指定し、保全・再生していく」が237人（30.5%）となっています。

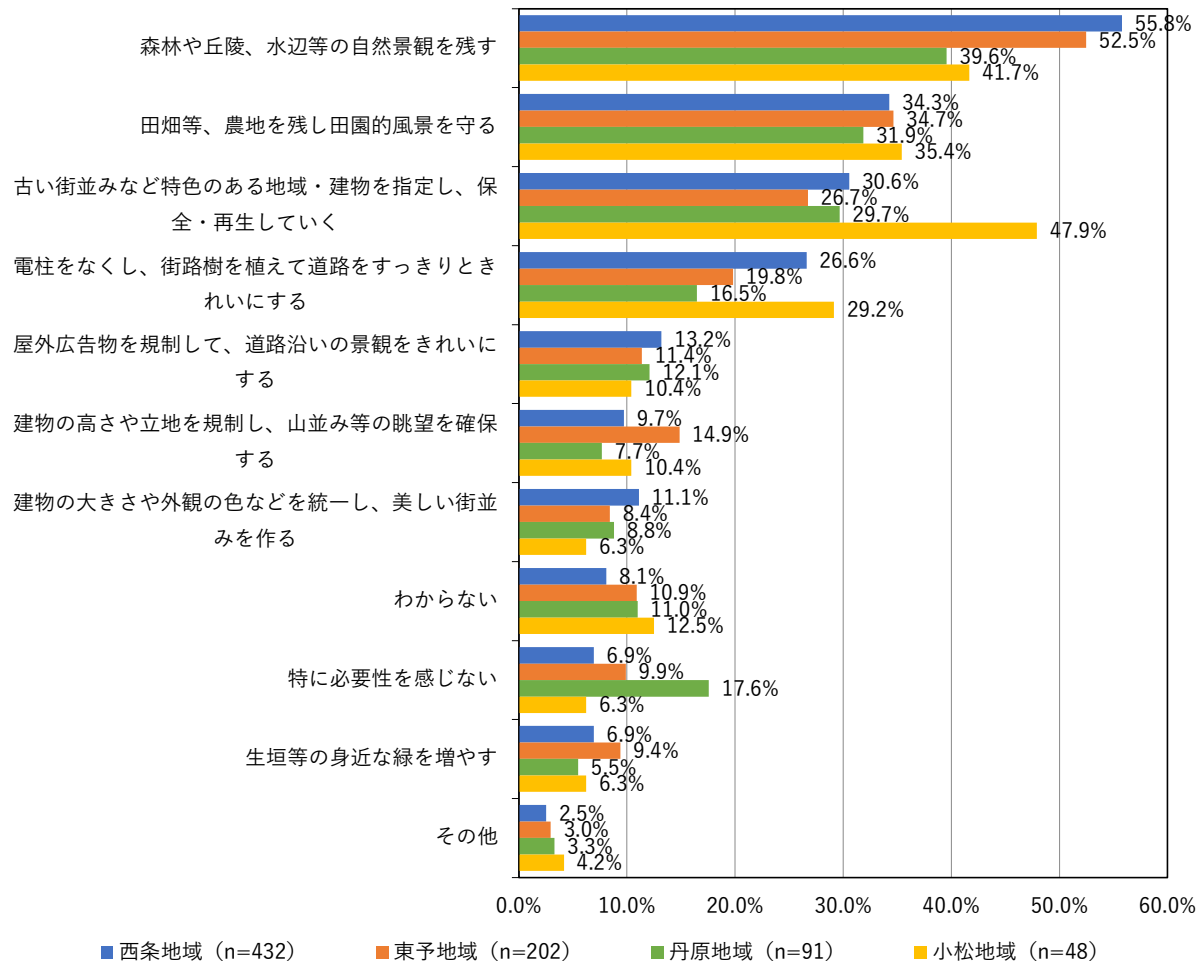
■ 自然環境や美しい街並みの景観の保全・創出に必要な取組



(n=777)

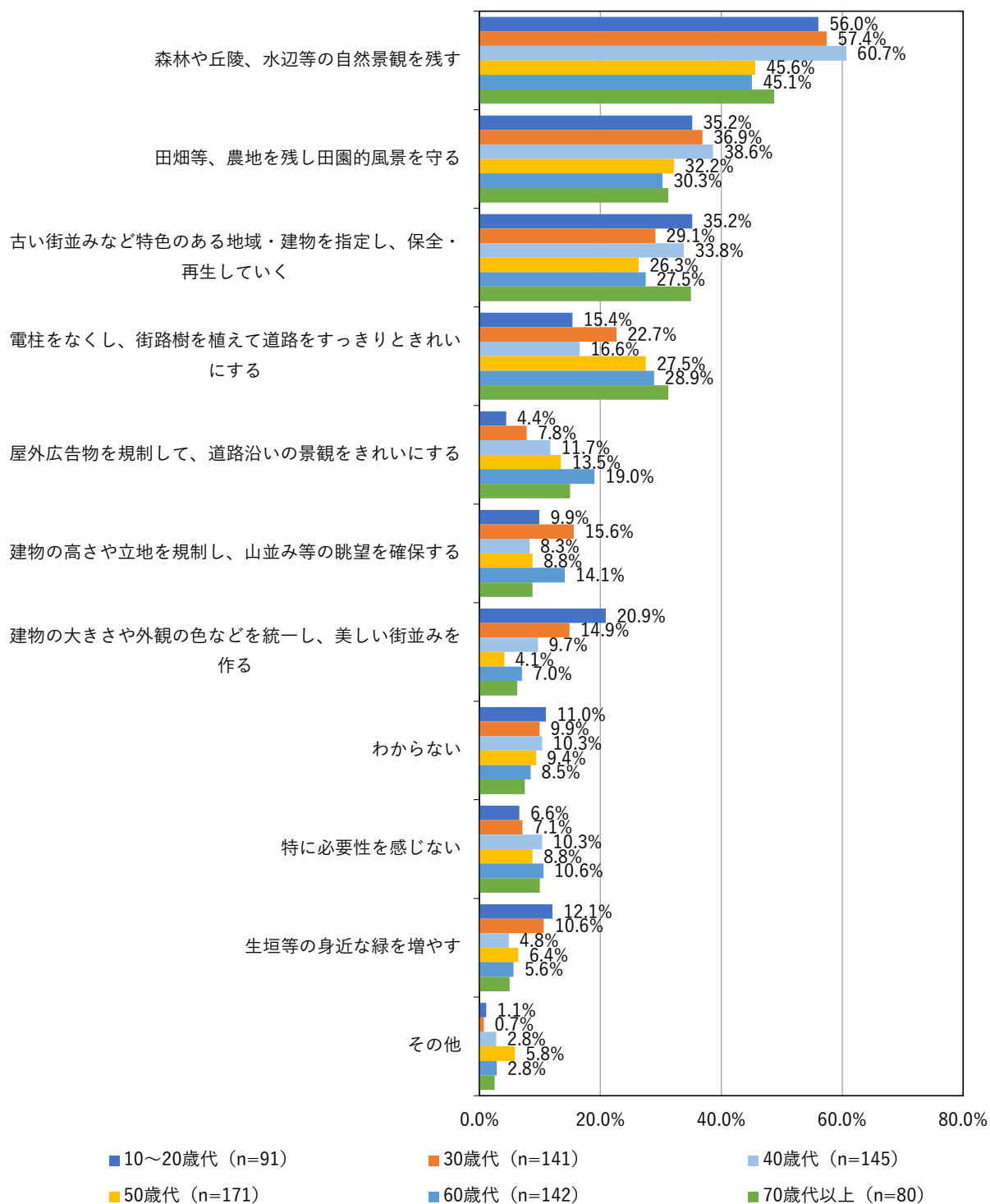
・地域別にみると、西条地域及び東予地域では「森林や丘陵、水辺等の自然景観を残す」が、小松地域では「古い街並みなど特色のある地域・建物を指定し、保全・再生していく」及び「電柱をなくし、街路樹を植えて道路をすっきりときれいにする」がそれぞれ比較的多くなっています。

■ 自然環境や美しい街並みの景観の保全・創出に必要な取組（地域別）



- ・年齢別にみると、10～20歳代では「建物の大きさや外観の色などを統一し、美しい街並みを作る」が比較的多くなっています。
- ・「電柱をなくし、街路樹を植えて道路をすっきりときれいにする」及び「屋外広告物を規制して、道路沿いの景観をきれいにする」は、高齢になるほど多くなる傾向がみられます。

■ 自然環境や美しい街並みの景観の保全・創出に必要な取組（年齢別）

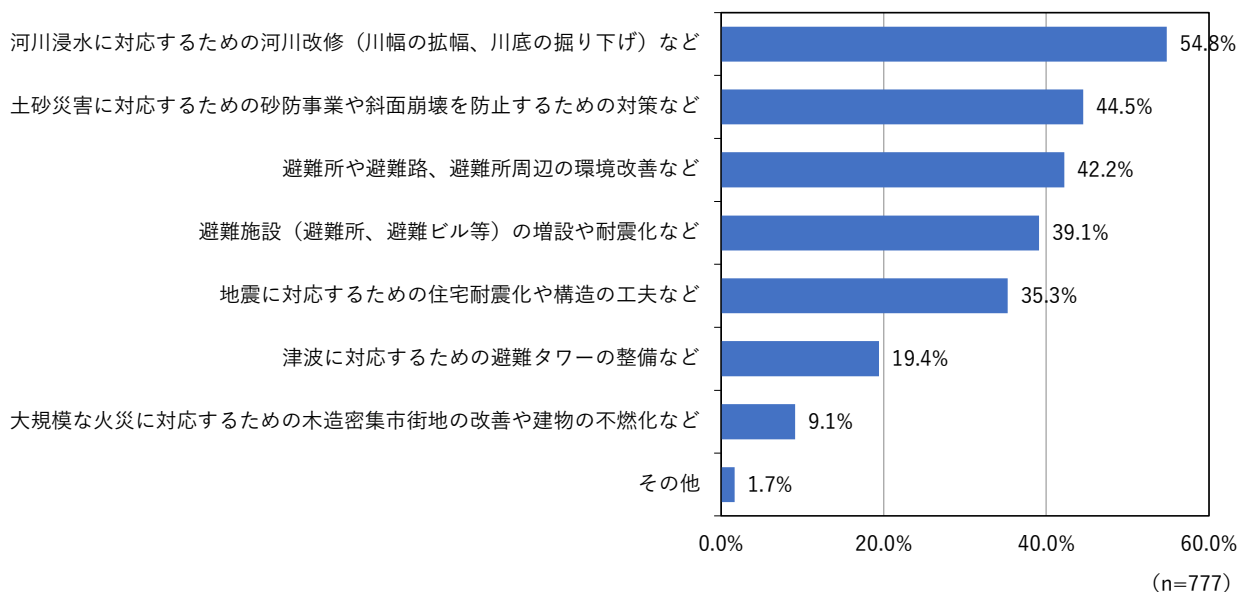


(6)防災・減災の取組について

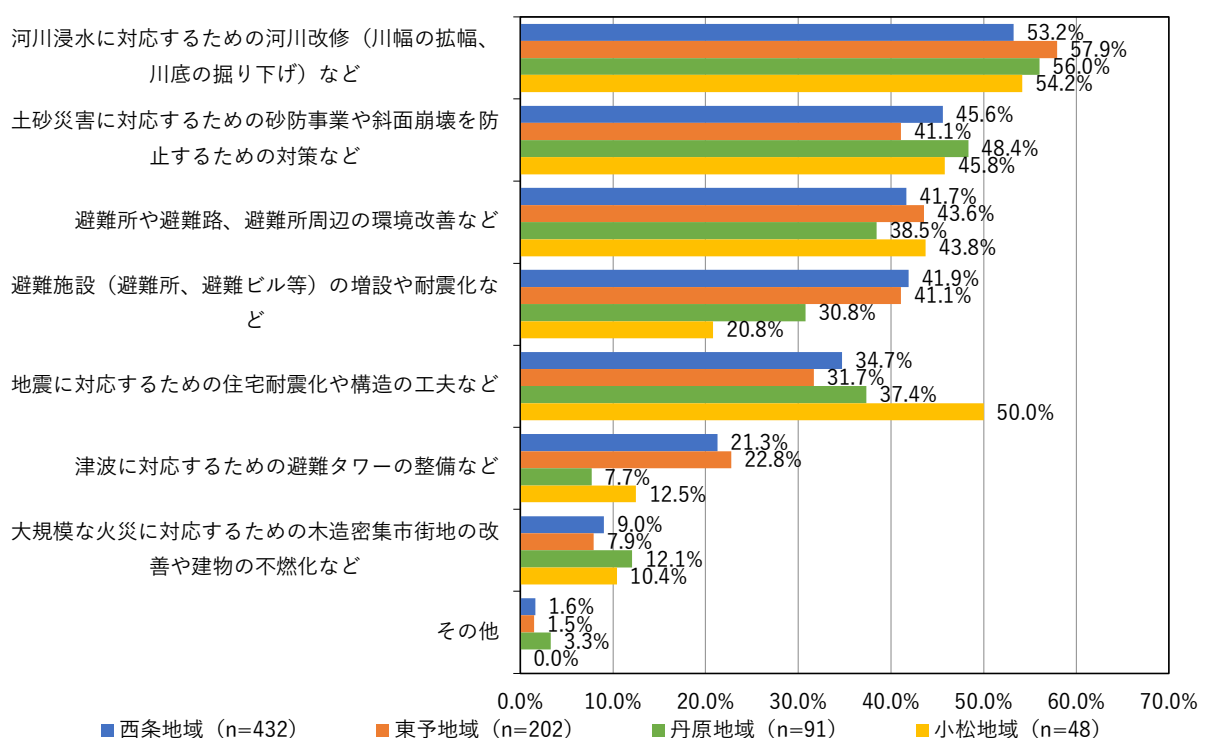
問 23：今後重視すべき防災・減災対策【ハード対策】（最大3つまで選択）

- ・今後重視すべき防災・減災対策（ハード対策）は、「河川浸水に対応するための河川改修（川幅の拡幅、川底の掘り下げ）など」が 426 人（54.8%）と最も多く、次いで「土砂災害に対応するための砂防事業や斜面崩壊を防止するための対策など」が 346 人（44.5%）となっている。
- ・地域別にみると、小松地域では「地震に対応するための住宅耐震化や構造の工夫など」が比較的多くなっています。

■ 今後重視すべき防災・減災対策【ハード対策】

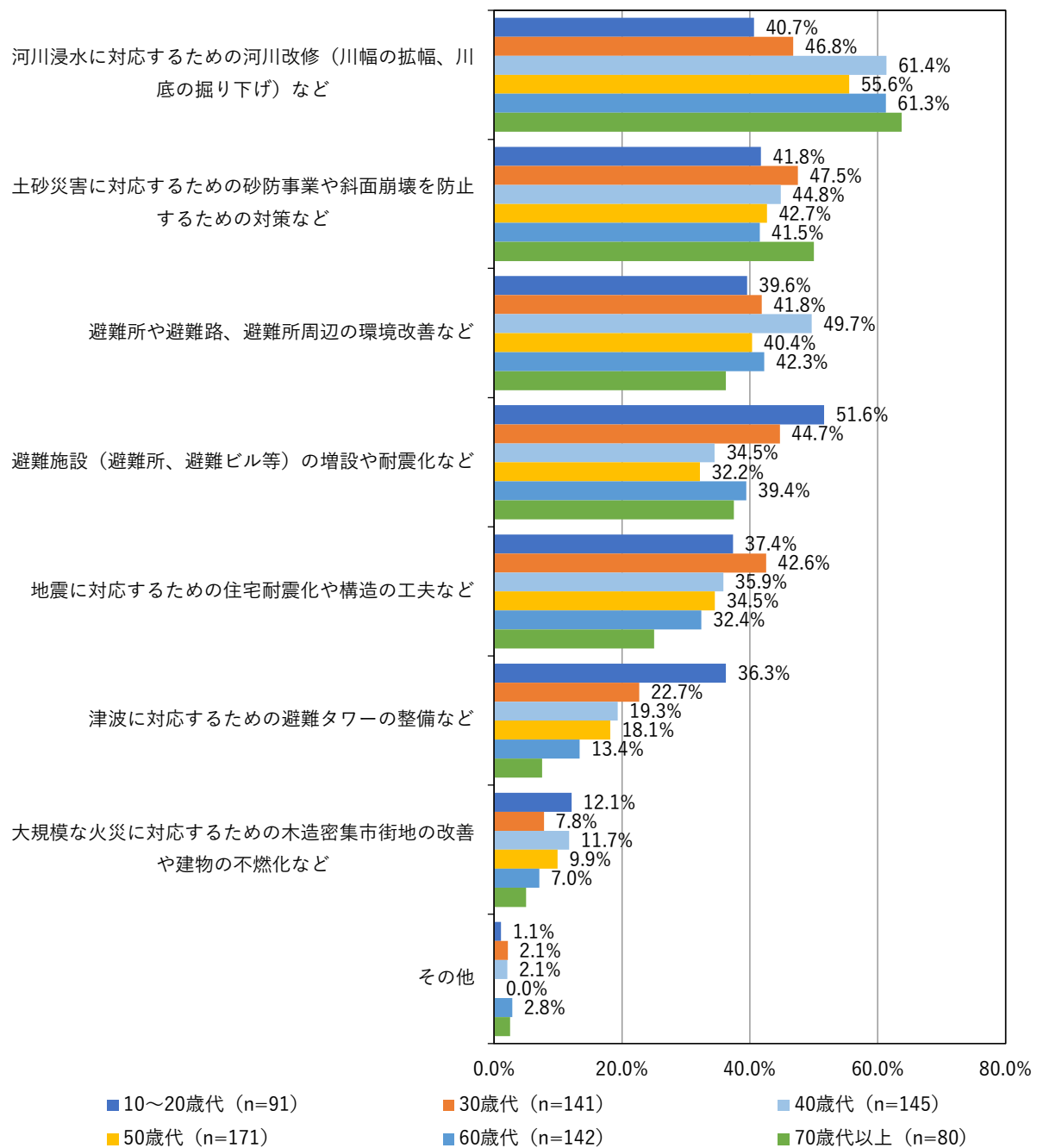


■ 今後重視すべき防災・減災対策【ハード対策】（地域別）



- ・年齢別にみると、10～20 歳代では「避難施設（避難所、避難ビル等）の増設や耐震化など」及び「津波に対応するための避難タワーの整備など」が比較的多くなっています。

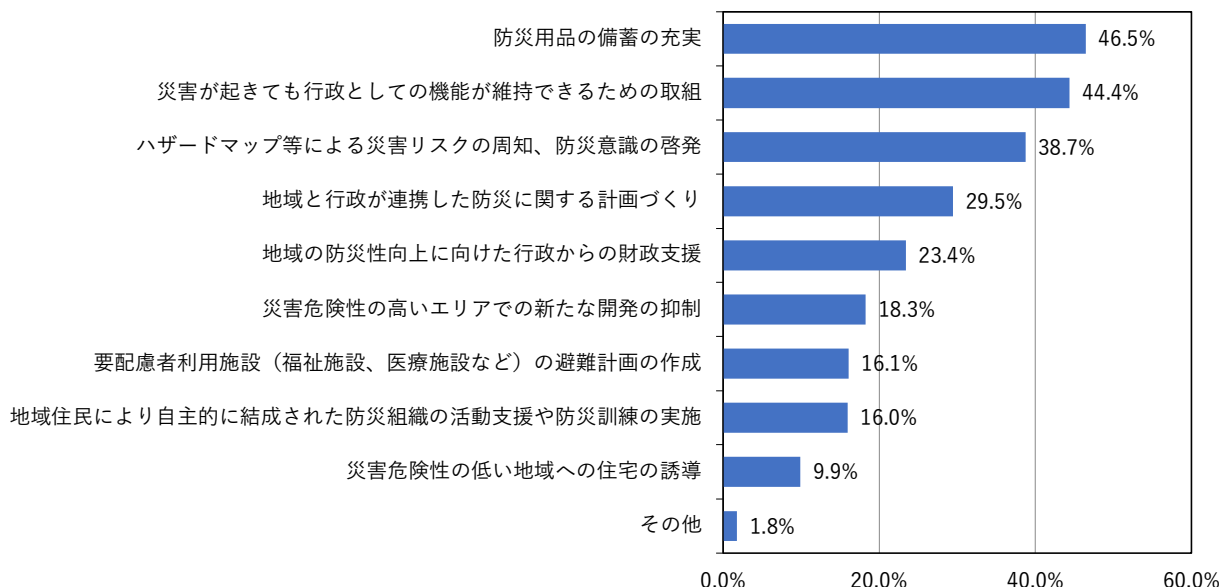
■ 今後重視すべき防災・減災対策【ハード対策】（年齢別）



問 24：今後重視すべき防災・減災対策【ソフト対策】（最大3つまで選択）

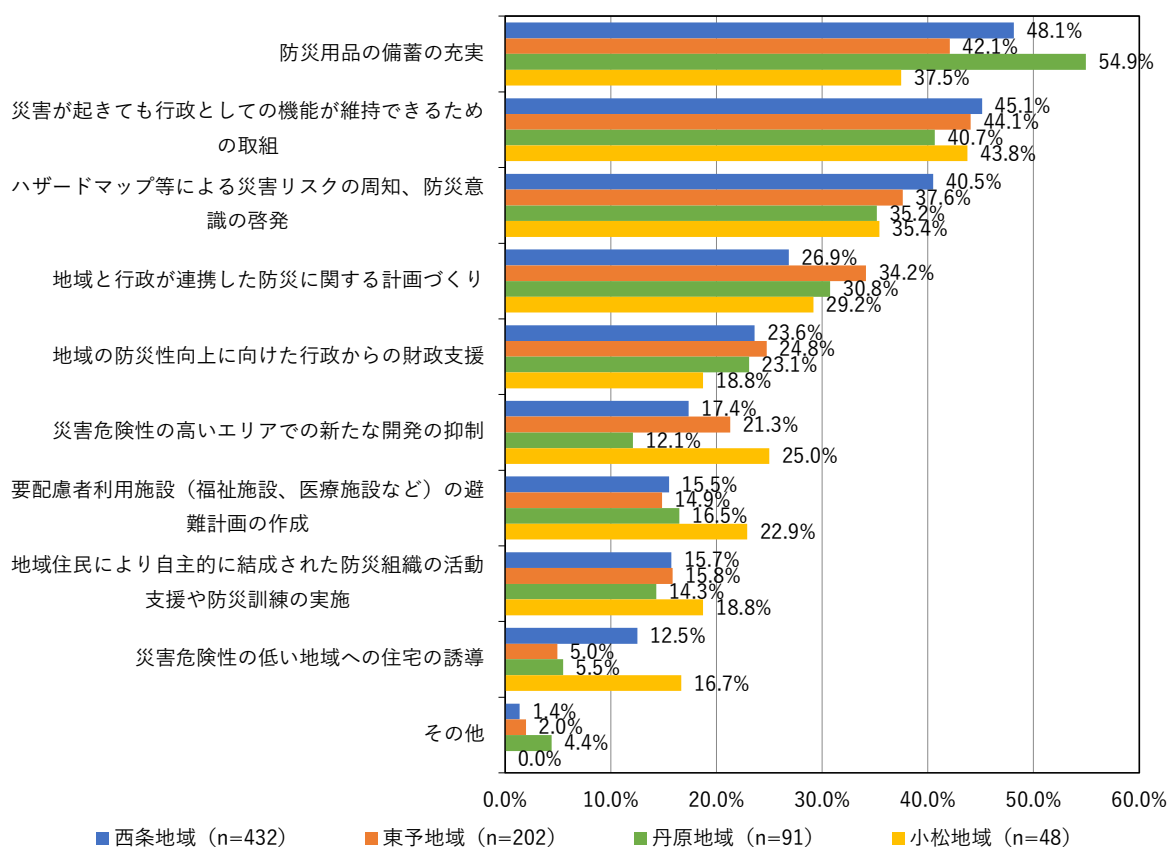
- ・今後重視すべき防災・減災対策（ソフト対策）は、「防災用品の備蓄の充実」が 361 人（46.5%）と最も多く、次いで「災害が起きても行政としての機能が維持できるための取組」が 345 人（44.4%）となっています。
- ・地域別にみると、丹原地域では「防災用品の備蓄の充実」が、小松地域では「災害危険性の高いエリアでの新たな開発の抑制」、「要配慮者利用施設（福祉施設、医療施設など）の避難計画の作成」、「災害危険性の低い地域への住宅の誘導」が比較的多くなっています。

■ 今後重視すべき防災・減災対策【ソフト対策】



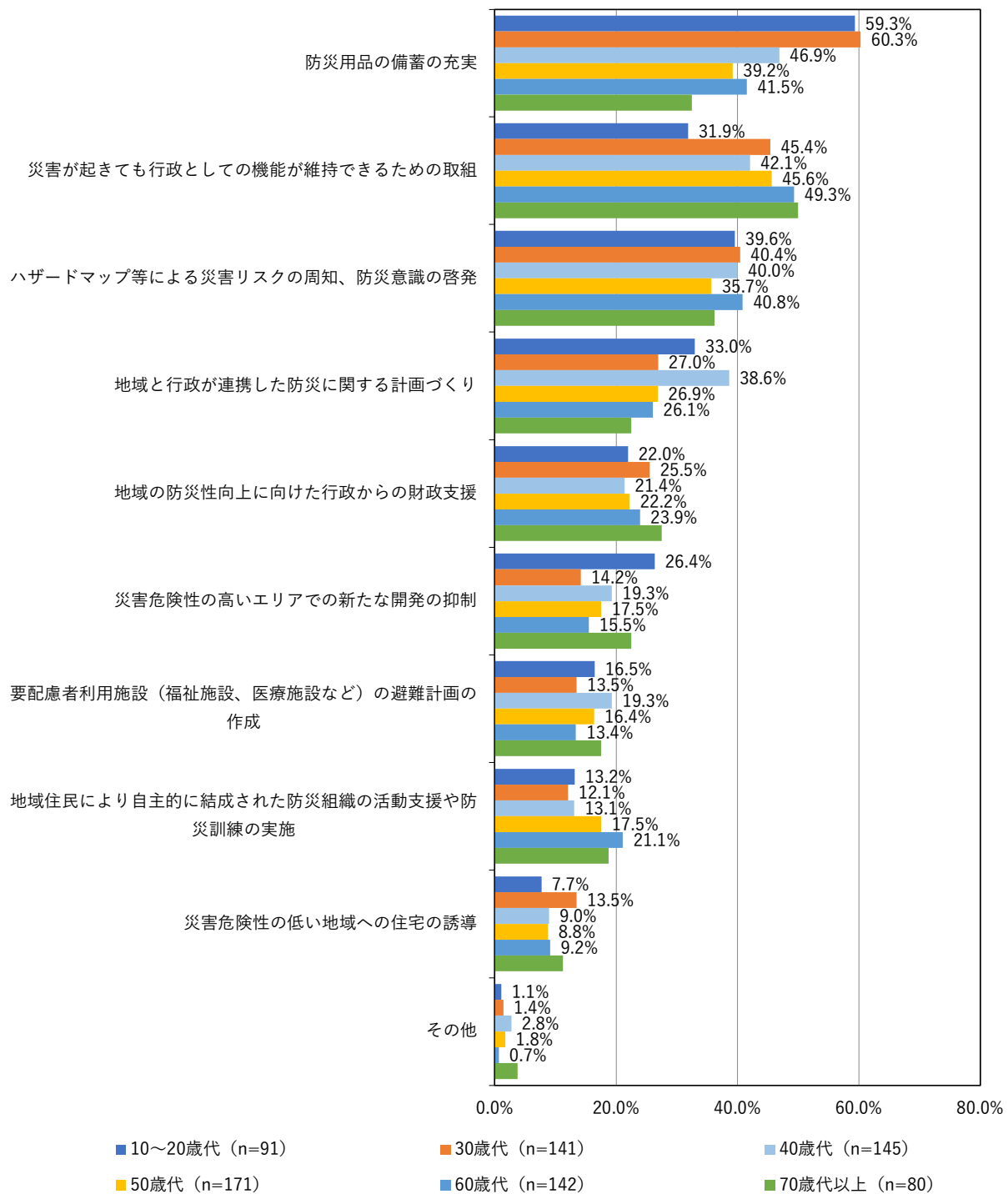
■ 今後重視すべき防災・減災対策【ソフト対策】（地域別）

(n=777)



- ・年齢別にみると、10～30 歳代では「防災用品の備蓄の充実」が比較的多くなっています。

■ 今後重視すべき防災・減災対策【ソフト対策】（年齢別）

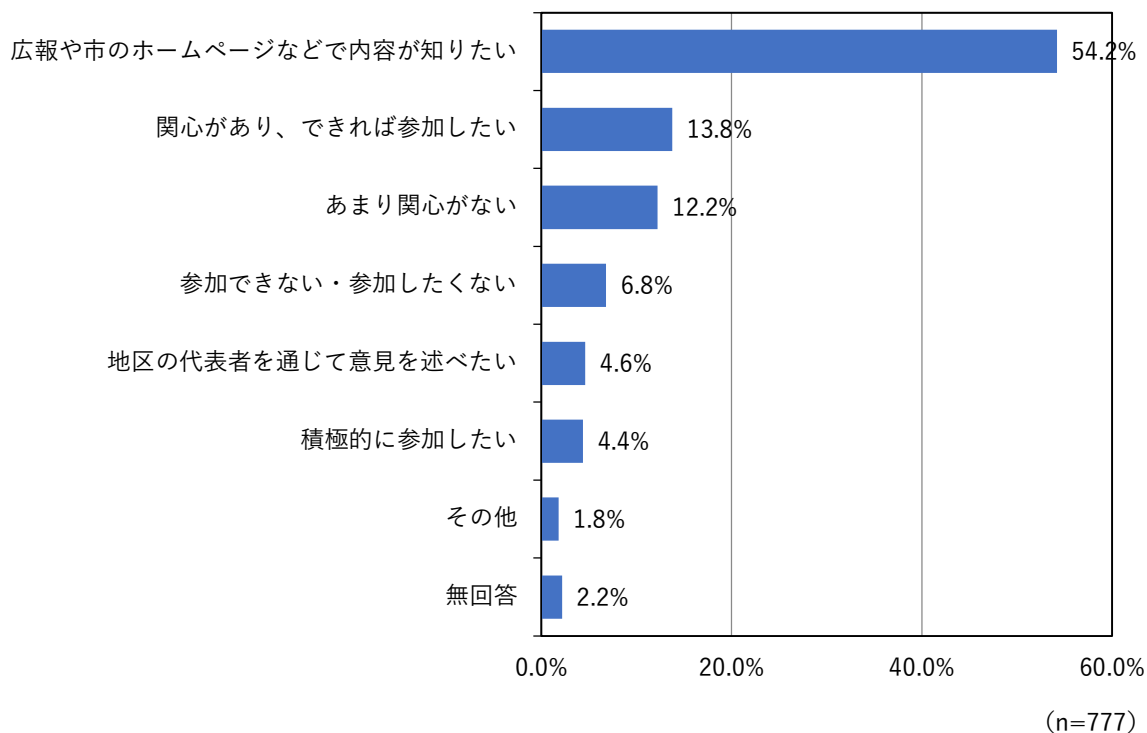


(7) 今後のまちづくりについて

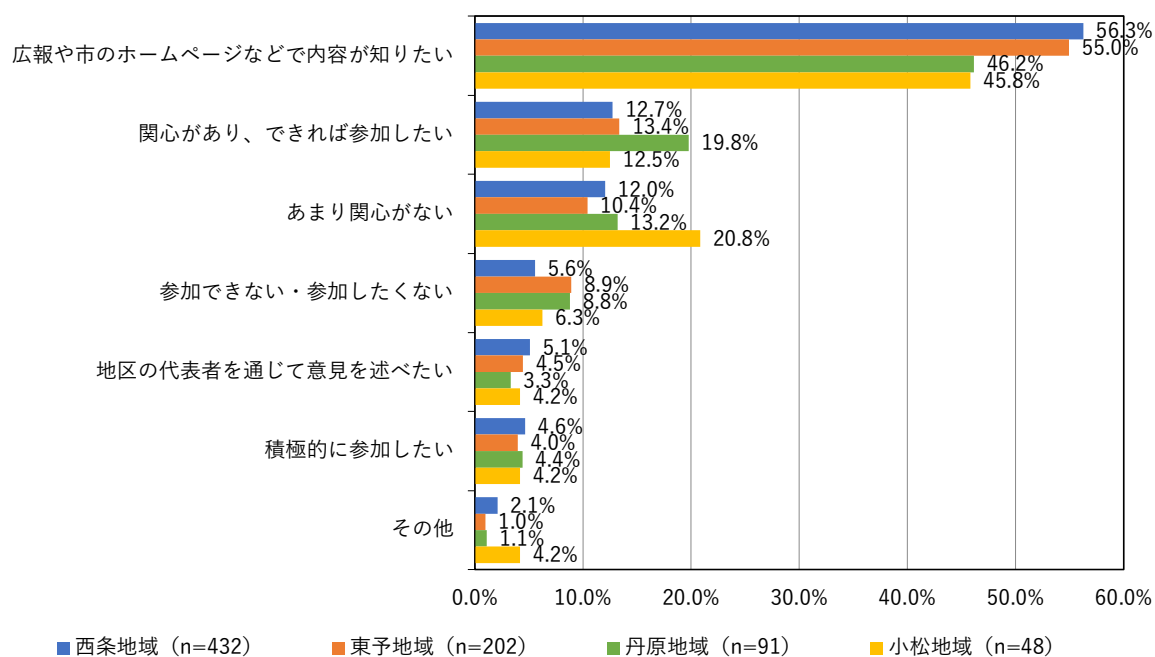
問 25：今後のまちづくりへの参加意向（最大3つまで選択）

- ・今後のまちづくりへの参加意向は、「広報や市のホームページなどで内容を知りたい」が421人（54.2%）と過半数を占めています。
- ・地域別にみると、丹原地域では「関心があり、できれば参加したい」が、小松地域では「あまり関心がない」が比較的多くなっています。

■ 今後のまちづくりへの参加意向

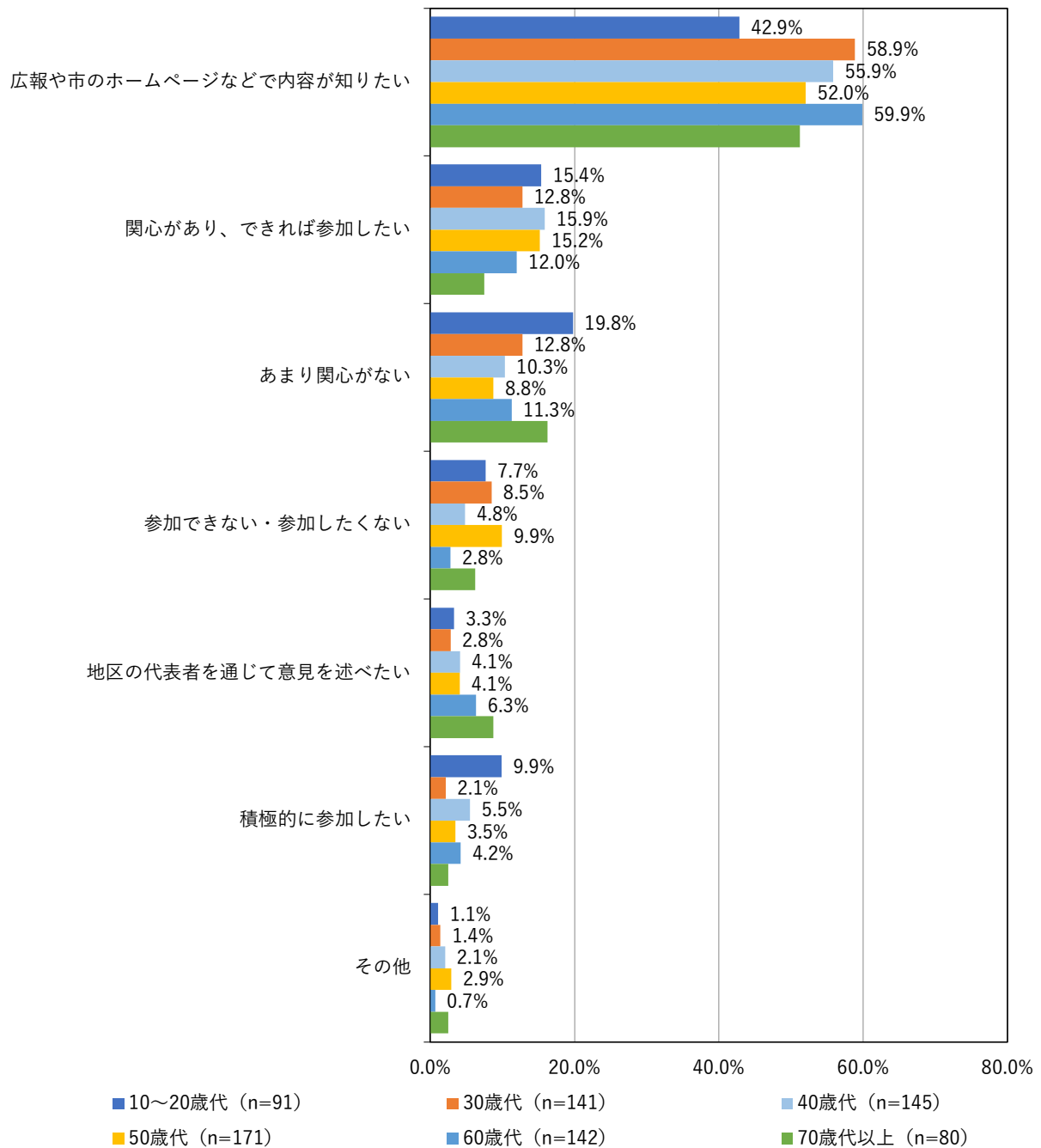


■ 今後のまちづくりへの参加意向（地域別）



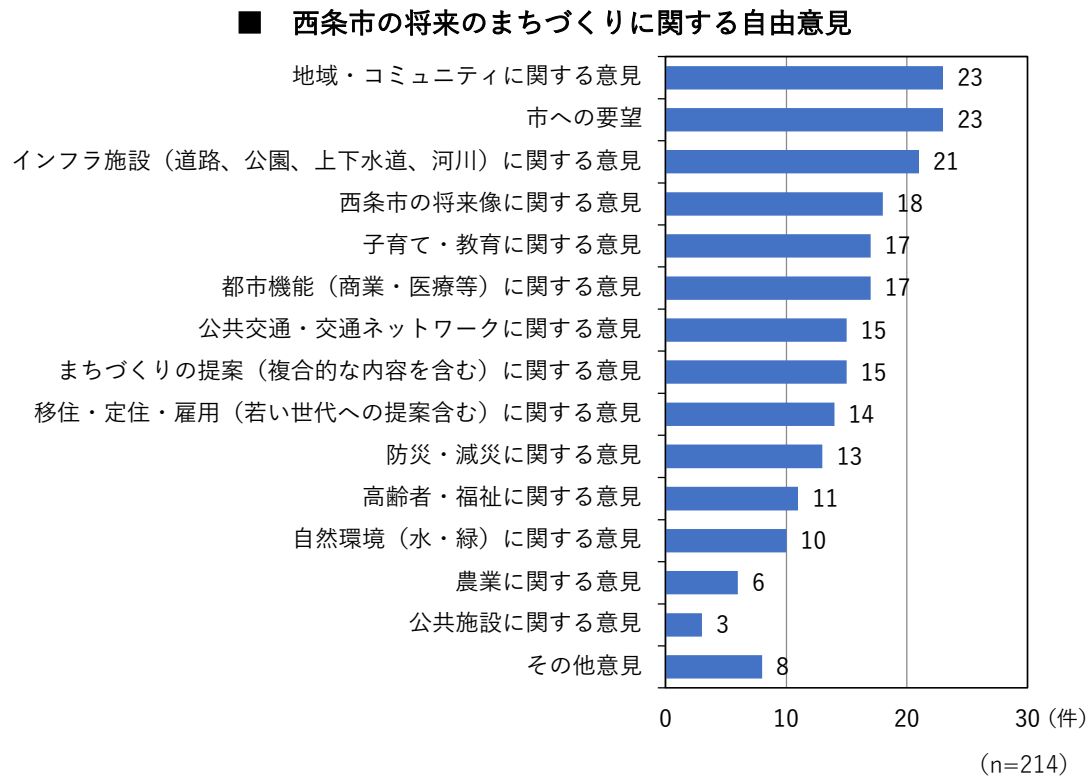
- ・年齢別にみると、10～20 歳代では「広報や市のホームページなどで内容を知りたい」が少なく、「あまり関心がない」が比較的多くなっています。

■ 今後のまちづくりへの参加意向（年齢別）



問 26：西条市の将来のまちづくりに関する自由意見

- ・西条市の将来のまちづくりについて、自由記述形式で尋ねたところ、「地域・コミュニティに関する意見」及び「市への要望」が 23 件と最も多く、次いで「インフラ施設（道路、公園、上下水道、河川）に関する意見」が 21 件となっています。



4 調査票

西条市のまちづくりに関する市民意向調査 アンケート調査へのご協力をお願い

市民のみなさまには、日頃より西条市市政にご協力いただきまして、厚くお礼を申し上げます。
西条市では現在、まちづくりの基本的な考え方を示した「西条市都市計画マスタープラン」と「西条市立地適正化計画」の見直し作業を進めています。

この見直し作業の中で、市民のみなさまからご意見をいただき、各計画の内容に活かすため、無作為に対象者2,000名を選定し、アンケート調査を実施させていただきます。

なお、この調査は、無記名で回答していただくので個人が特定されることはありません。また、回答内容は、統計的に処理し、調査以外の目的で使用することはありません。

お忙しいところ恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解のうえ、調査にご協力をお願いいたします。

令和6年10月 西条市

ご回答にあたってのお願い

- 本調査は、インターネットからもご回答いただけます。右のコードを読み取って回答してください。（インターネットで回答された場合は、本調査票は提出不要です。）
- 本調査票で回答される場合は、同封の返信用封筒でご返信ください。（切手は不要です。）
- 封筒の宛先のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。
- 回答欄は太い枠線で囲まれた個所となります。
- 回答に当たっては、特に記載のない場合は、該当する選択肢の番号に○印をつけてください。ただし、「その他」等を選択された場合は、（ ）内に具体的にその内容をご記入ください。
- 本アンケートは、令和6年11月15日（金）までにご回答をお願いします。
- 本アンケートについてのご質問などがありましたら、下記までお問合せください。



【お問合せ先】 西条市 建設部 都市計画課
電話：0897-52-1238
FAX：0897-52-1260
担当：藤田、越智

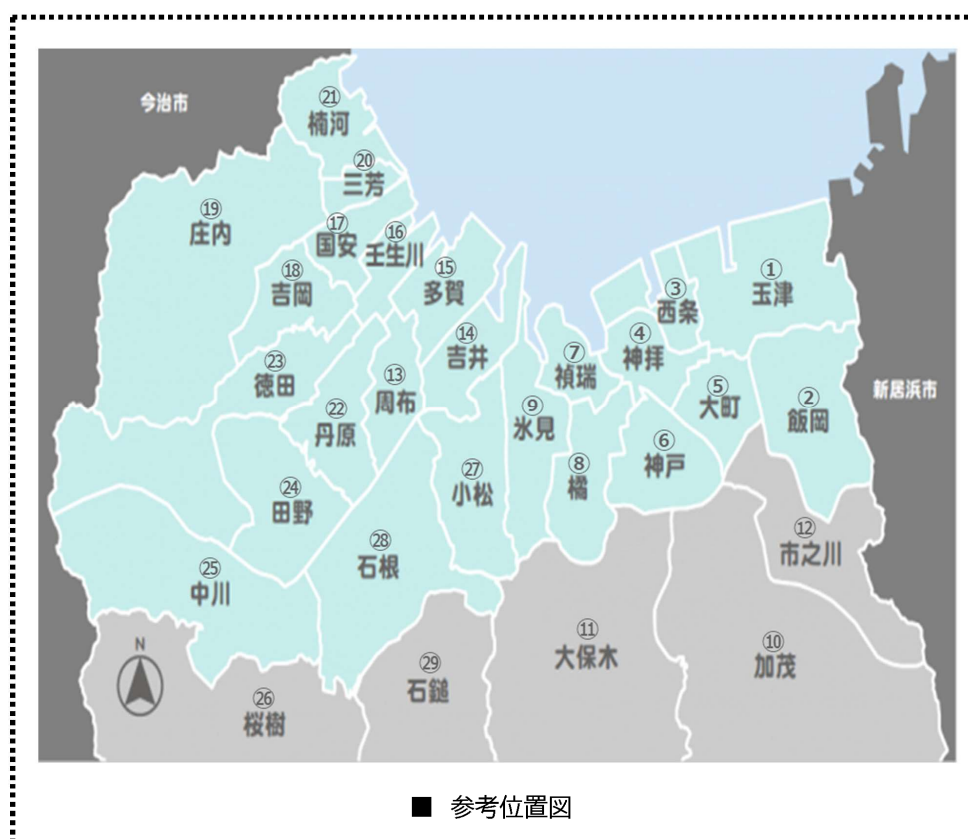
1. あなた自身のことについてお伺いします。

問1 性別、年齢などあなた自身に関することについて、それぞれあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

① 性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
② 年齢	1. 18、19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳
	4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～64歳
	7. 65～69歳	8. 70～74歳	9. 75歳以上
③ 同居の状況	※あてはまるものを選択してください。 1. 小学生以下（12歳）の子どもがいる 2. 65歳以上の同居人がいる 3. 上記の該当なし		
④ あなたの職業	1. 農林漁業 2. 自営業・会社経営 3. 会社員 4. 公務員 5. 専門職（医師・弁護士等） 6. パート・アルバイト・派遣 7. 専業主婦（夫） 8. 学生 9. 無職 10. その他（ ）		
⑤ 西条市での居住歴	1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満 5. 20年以上		
⑥ お住まいの種類	1. 持ち家一戸建て 2. 民間借家一戸建て 3. 分譲マンション 4. 賃貸のマンション・アパート 5. 公営の住宅・アパート 6. 社宅・寮・官公舎 7. その他（ ）		
⑦ 自家用車の所有	1. 所有している 2. 所有していない		
⑧ 自家用車の利用頻度	1. ほぼ毎日 2. 週に3～4日程度 3. 週に1～2日程度 4. 1か月に1～2日程度 5. 数か月に1日程度 6. ほとんど利用しない 7. その他（ ）		

問2 お住まいの地区について、あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。
わからない場合は郵便番号をご記入ください。

お住まいの地区	1. 玉津	2. 飯岡	3. 西条	4. 神拝				
	5. 大町	6. 神戸	7. 禎瑞	8. 橘				
	9. 氷見	10. 加茂	11. 大保木	12. 市之川				
	13. 周布	14. 吉井	15. 多賀	16. 壬生川				
	17. 国安	18. 吉岡	19. 庄内	20. 三芳				
	21. 楠河	22. 丹原	23. 徳田	24. 田野				
	25. 中川	26. 桜樹	27. 小松	28. 石根				
	29. 石鎚							
	郵便番号	〒	7	9		—		



2. 身近な施設の利用状況についてお伺いします。

問3～問6に示す施設の種類ごとに最もよく利用する施設について、あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

問3 食料品や飲料などの日用品の買い物に利用する店舗について

① 店舗の場所	1. 市内（地区番号： ） ※地区番号は2ページを参照 2. 市外（具体的に： ） 3. 実店舗は利用しない（宅配等）※問4へお進みください		
② 主な移動手段	1. 鉄道 4. タクシー 7. バイク	2. バス 5. 自転車 8. その他（ ）	3. 自家用車 6. 徒歩
③ 移動時間	1. 10分未満 4. 30～40分未満 7. 60分以上	2. 10～20分未満 5. 40～50分未満	3. 20～30分未満 6. 50～60分未満
④ アクセスの利便性	1. 満足 4. やや不満	2. やや満足 5. 不満	3. 普通
⑤ 利用頻度	1. ほぼ毎日 4. 1年に数回程度	2. 1週間に数回程度 5. その他（ ）	3. 1ヶ月に数回程度

問4 衣料品、家具・家電や趣味品など(買い回り品)の買い物に利用する店舗について

① 場所	1. 市内（地区番号： ） ※地区番号は2ページを参照 2. 市外（具体的に： ） 3. 実店舗は利用しない（通販など）※問5へお進みください		
② 主な移動手段	1. 鉄道 4. タクシー 7. バイク	2. バス 5. 自転車 8. その他（ ）	3. 自家用車 6. 徒歩
③ 移動時間	1. 10分未満 4. 30～40分未満 7. 60分以上	2. 10～20分未満 5. 40～50分未満	3. 20～30分未満 6. 50～60分未満
④ アクセスの利便性	1. 満足 4. やや不満	2. やや満足 5. 不満	3. 普通
⑤ 利用頻度	1. ほぼ毎日 4. 1年に数回程度	2. 1週間に数回程度 5. その他（ ）	3. 1ヶ月に数回程度

問5 かかりつけの病院や診療所への通院について

① 場所	1. 市内（地区番号： ） ※地区番号は2ページを参照 2. 市外（具体的に： ） 3. かかりつけの病院や診療所はない ※問6へお進みください		
② 主な移動手段	1. 鉄道 4. タクシー 7. バイク	2. バス 5. 自転車 8. その他（ ）	3. 自家用車 6. 徒歩
③ 移動時間	1. 10分未満 4. 30～40分未満 7. 60分以上	2. 10～20分未満 5. 40～50分未満	3. 20～30分未満 6. 50～60分未満
④ アクセスの利便性	1. 満足 4. やや不満	2. やや満足 5. 不満	3. 普通
⑤ 利用頻度	1. ほぼ毎日 4. 1年に数回程度	2. 1週間に数回程度 5. その他（ ）	3. 1ヶ月に数回程度

問6 通所型の福祉施設デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、障がい者福祉施設の利用について

① 場所	1. 市内（地区番号： ） ※地区番号は2ページを参照 2. 市外（具体的に： ） 3. 全く利用しない ※問7へお進みください		
② 主な移動手段	1. 鉄道 4. タクシー 7. バイク	2. バス 5. 自転車 8. その他（ ）	3. 自家用車 6. 徒歩
③ 移動時間	1. 10分未満 4. 30～40分未満 7. 60分以上	2. 10～20分未満 5. 40～50分未満	3. 20～30分未満 6. 50～60分未満
④ アクセスの利便性	1. 満足 4. やや不満	2. やや満足 5. 不満	3. 普通
⑤ 利用頻度	1. ほぼ毎日 4. 1年に数回程度	2. 1週間に数回程度 5. その他（ ）	3. 1ヶ月に数回程度

3. 西条市の生活環境についてお伺いします。

問7 西条市の生活環境についてどのように感じていますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

項目	満足	どちらかといえ ば満足	ど ちら か と い え ば 不 満	ど ちら か と い え ば 不 満	不 満
例) ○○○○○	①	2	3	4	5
① 緑・水等の自然環境	1	2	3	4	5
② 洪水や土砂崩れなど自然災害に対する対策	1	2	3	4	5
③ 身近な生活道路の整備状況	1	2	3	4	5
④ 上水道・簡易水道の整備状況	1	2	3	4	5
⑤ 下水道・排水路の整備状況	1	2	3	4	5
⑥ 公園や広場、子供の遊び場	1	2	3	4	5
⑦ バスや鉄道などの公共交通の便	1	2	3	4	5
⑧ 買物の便利さ	1	2	3	4	5
⑨ スポーツ・レクリエーション施設の整備状況	1	2	3	4	5
⑩ 街並み・景観（看板、色彩、緑、建物のデザインや並びなど）の保全・整備状況	1	2	3	4	5
⑪ 高齢者や障がい者等の施設の整備状況	1	2	3	4	5
⑫ 図書館や美術館などの文化施設の整備状況	1	2	3	4	5
⑬ 医療施設や救急医療体制の整備状況	1	2	3	4	5
⑭ インターネットなどの情報環境	1	2	3	4	5
⑮ 集会所などのコミュニティ施設の整備状況	1	2	3	4	5
⑯ 治安や風紀の状況	1	2	3	4	5
⑰ 幼稚園、小・中学校、高等学校などの教育環境	1	2	3	4	5
⑱ 住まい（住宅）の満足度	1	2	3	4	5
⑲ 総合的に見た西条市の暮らしやすさ	1	2	3	4	5

4. 定住意向についてお伺いします。

問8 現在の場所に住んでいるきっかけについて、あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 西条市で生まれ育ったから | 2. 進学 |
| 3. 就職・転勤 | 4. 結婚・出産 |
| 5. 親や子との同居・近居 | 6. 介護・福祉施設などへの入居 |
| 7. その他（ | ） |

問9 現在お住まいの場所に今後も住み続けたいとお考えですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------------|---|----------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | } | 問10を回答後、問12へお進みください。 |
| 2. できれば住み続けたい | | |
| 3. いずれは市内で引っ越したい | } | 問11を回答後、問12へお進みください。 |
| 4. いずれは市外に引っ越したい | | |
| 5. 現時点ではわからない | | 問12へお進みください。 |

※問9で「1. ずっと住み続けたい」、「2. できれば住み続けたい」に○をつけた方におたずねします。

問10 住み続けたい理由は何ですか。特にそう思われる理由を最大3つまで選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 住んでいる地域の住環境に満足しているから | |
| 2. 駅やバス停に近いなど、交通の利便性が良いから | |
| 3. 商店やスーパーなど、日常の買い物をする施設が充実しているから | |
| 4. 幼稚園・保育園が近い、公園が多いなど、子育て環境が良いから | |
| 5. 医療や福祉サービスなど、高齢でも暮らしやすい環境が整っているから | |
| 6. うちぬきや緑などの豊かな自然環境に満足しているから | |
| 7. 市民活動やイベントなどが活発で賑わいや活気があるから | |
| 8. 治安や防犯、防災面で安心感・安全性が高いから | |
| 9. 先祖代々の土地なので離れたくないから | |
| 10. 親世帯や子世帯との同居・近居のため | |
| 11. 固定資産税や家賃など、居住するうえでの経済的な負担が少ないから | |
| 12. その他（ | ） |

問11 引っ越したいと思う理由は何ですか。特にそう思われる理由を最大3つまで選び、番号に○をつけてください。

-)

5. 西条市が目指すまちづくりについてお伺いします。

下記の内容を踏まえて設問にお答えください。

今後、人口減少や少子高齢化の更なる進行が見込まれるなか、西条市では、いつまでも
便利で生活しやすい持続可能なまちを目指すため、地域公共交通と連携しコンパクトなま
ちづくりを進める『コンパクト・プラス・ネットワーク』に向けた取組を検討しています。
(平成 29 年に策定した「西条市立地適正化計画」では、まちなかに生活利便施設などの
都市機能を誘導する区域と、居住を誘導する区域を設定しています。)

問12 上記の説明にある『コンパクト・プラス・ネットワーク』について、あてはまるものを1つ
だけ選び、番号に○をつけてください。

1. 意味を含めて知っていた
2. 聞いたことはあるが意味は知らなかった
3. 知らなかった

問13 『コンパクト・プラス・ネットワーク』の取組は今後必要であると感じますか。あてはま
るものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 大に感じる
2. 感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない
5. わからない

問14 西条市は将来どのようなまちになることを望みますか。特に望まれるものを最大3つ
まで選び、番号に○をつけてください。

1. 日々の暮らしに必要な店舗などが充実し、買い物などに便利なまち
2. 駅前の広場や商店街などでイベントが盛んに行われ、賑わいを楽しめるまち
3. 地域公共交通の活用によって、安全で快適に歩き回ることができるまち
4. 市外から多くの観光客が訪れ、交流や賑わいが生まれるまち
5. 大規模工場などの立地による産業の盛んなまち
6. 小規模なオフィス・企業・店舗などが点在し、働く場があるまち
7. 医療や保健・福祉、スポーツ施設などが充実し、誰もが健やかで安心して暮らせるまち
8. 若者や子育て世代などが暮らしやすく、活気にあふれたまち
9. 高齢になっても安心して住むことができる、支え合うまち
10. 環境負荷の低減と自然環境の保全を図り豊かな田園を維持するまち
11. その他 ()

問15 西条市では今後、どのような施策が必要だと思いますか。特に必要と思われるものを**最大3つ**まで選び、番号に○をつけてください。

1. 持続可能で歩いて暮らせるまちづくりの実現に向けた取組
(コンパクト・プラス・ネットワーク(注1)の推進など)
2. 子育て環境の充実(子育て支援施設や支援体制の充実など)
3. 空き家・空き店舗・空き地などの有効活用(コミュニティスペースやワークスペース(注2)の活用など)
4. 郊外での住宅開発のコントロール(緑や田園環境の保全など)
5. 移住・定住施策の推進(Uターン・Iターンなどの若年層の確保など)
6. 企業誘致施策の推進
7. 農業・水産業・林業など第一次産業の振興
8. 高齢者福祉の充実(高齢者福祉施設の充実、バリアフリー化への対応など)
9. 障がい者福祉の充実(障がい者福祉施設の充実、雇用の確保など)
10. 地域の需要に応じた公共施設などの更新(公共施設の更新や統廃合の促進など)
11. 市内全体の公共交通の活性化(運賃補助、まちなかと郊外との連携強化など)
12. 駅周辺の活性化(各種イベントの開催、社会実験などによる賑わいの創出など)
13. 観光資源の活用(地域内外の交流促進など)
14. 防災・減災対策の推進(ハード対策・ソフト対策など)
15. 市民自ら地域課題を解決する組織づくり・仕組みづくり
16. 良好な景観の形成(歴史的な建築物の保全や地域の拠点としての再整備など)
17. その他()

注1)コンパクト・プラス・ネットワークについては、別添資料をご参照ください。

注2)個人や複数の企業が共用するワークスペースのこと。

問16 駅周辺などの拠点となる場所に、特に必要と思う生活サービス施設について、あてはまるものを**最大3つ**まで選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 日常生活に必要な店舗・コンビニなど | 2. 大規模な商業施設 |
| 3. 銀行や郵便局などの金融機関 | 4. 旅館・ホテルなどの宿泊施設 |
| 5. レストラン、居酒屋などの飲食店 | 6. 映画館、カラオケなどの娯楽施設 |
| 7. 病院や診療所 | 8. 保育所などの子育て支援施設 |
| 9. 学生が集える公共空間 | 10. 介護サービス等の高齢者福祉施設 |
| 11. 障がい者福祉施設 | 12. 公民館、集会所等のコミュニティ施設 |
| 13. 幼稚園、学校などの教育施設 | 14. 公園や広場 |
| 15. 駐車場や駐輪場 | 16. その他() |

問17 新たな住宅地の開発について、今後望まれることはどのようなことですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 既に形成されている市街地内で空き家や空き地などを活用して再開発する
2. 市街地の周辺の地域ごとに住宅地を開発する
3. 国道などの幹線道路沿道に住宅地を開発する
4. 市街地から離れた環境が良好なところに、新たな住宅地を開発する
5. 現状のままでよい
6. わからない
7. その他（ ）

問18 今後の商業店舗の出店場所やあり方について、どのようなことを望まれますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 既に形成されている市街地内の商業を活性化させる
（空き家、空き店舗、空き地の利活用）
2. 郊外の幹線道路沿いや工場跡地に、大規模な店舗（スーパー）などを誘致する
3. 現状のままでよい
4. わからない
5. その他（ ）

問19 これからの工場施設の立地場所やあり方について、どのようなことを望まれますか。
あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 海岸部を埋め立てて新しい工業用地を整備し、企業を誘致する
2. 高速道路等が利用しやすい適地を新しい工業用地として整備し、企業を誘致する
3. 農地や山間部を新しい工業用地として整備し、企業を誘致する
4. 工業地を減らし、住宅地や商業地を整備する
5. 現状のままでよい（新たな工業用地は必要ない）
6. わからない
7. その他（ ）

1. 地域間や都市間の連携、防災対策のための幹線道路の整備
2. 消防車や救急車などの緊急車両が通れない生活道路の改善
3. 計画されているものの長期未整備となっている道路の計画見直し
4. 歩道やスロープなどのバリアフリー環境の充実
5. 安全で快適な自転車走行環境の充実
6. 現状のままでよい
7. その他（

1. 身近に遊べる公園・緑地の整備
2. 大きな公園・緑地への統合
3. 防災機能を有した公園の整備
4. カフェやショップ等が設置された公園の整備
5. 自然環境を保全・活用する公園の整備
6. 現状のままでよい
7. その他（ ）

- １．森林や丘陵、水辺等の自然景観を残す
- ２．田畑等、農地を残し田園的風景を守る
- ３．生垣等の身近な緑を増やす
- ４．古い街並みなど特色のある地域・建物を指定し、保全・再生していく
- ５．建物の高さや立地を規制し、山並み等の眺望を確保する
- ６．建物の大きさや外観の色などを統一し、美しい街並みを作る
- ７．屋外広告物を規制して、道路沿いの景観をきれいにする
- ８．電柱をなくし、街路樹を植えて道路をすっきりときれいにする
- ９．特に必要性を感じない
10. わからない
11. その他（)

6. 防災・減災の取組についてお伺いします。

下記の内容を踏まえて設問にお答えください。

近年、大型台風やゲリラ豪雨などによる被害が全国で大きな課題となっていますが、西条市内にも、浸水被害や土砂災害などの危険性のある地域が存在します。これら地域には既に多くの方が居住しているところもあるため、今後、居住地としてのあり方を検討していくことが求められます。

問23 今後、西条市で重視すべき**防災・減災対策(ハード対策)**は何だと思われますか。特に重視すべきだと思われるものを**最大3つまで選び**、番号に○をつけてください。

1. 土砂災害に対応するための砂防事業(注1)や斜面崩壊を防止するための対策など
2. 河川浸水に対応するための河川改修(川幅の拡幅、川底の掘り下げ)など
3. 津波に対応するための避難タワーの整備など
4. 地震に対応するための住宅耐震化や構造の工夫など
5. 大規模な火災に対応するための木造密集市街地(注2)の改善や建物の不燃化など
6. 避難施設(避難所、避難ビル等)の増設や耐震化など
7. 避難所や避難路、避難所周辺の環境改善など
8. その他()

注1) 下流部での土砂流出に伴う氾濫被害の抑制・軽減に向けて、砂防施設を整備する事業のこと。

注2) 老朽化した木造住宅が密集し、細街路が多く公園などのオープンスペースの少ない市街地のこと。

問24 今後、西条市で重視すべき**防災・減災対策(ソフト対策)**は何だと思われますか。特に重視すべきだと思われるものを**最大3つまで選び**、番号に○をつけてください。

1. ハザードマップ等による災害リスクの周知、防災意識の啓発
2. 地域住民により自主的に結成された防災組織の活動支援や防災訓練の実施
3. 地域と行政が連携した防災に関する計画づくり
4. 地域の防災性向上に向けた行政からの財政支援
5. 災害が起きても行政としての機能が維持できるための取組
6. 防災用品の備蓄の充実
7. 要配慮者利用施設(福祉施設、医療施設など)の避難計画の作成
8. 災害危険性の高いエリアでの新たな開発の抑制
9. 災害危険性の低い地域への住宅の誘導
10. その他()

7. 今後のまちづくりについてお伺いします。

問25 あなたは、今後のまちづくりへの参加意向についてどのように思われますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 積極的に参加したい
2. 関心があり、できれば参加したい
3. 地区の代表者を通じて意見を述べたい
4. 広報や市のホームページなどで内容を知りたい
5. あまり関心がない
6. 参加できない・参加したくない
7. その他 ()

問26 その他、西条市の将来のまちづくりについてご意見があれば、ご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の「返信用封筒(切手不要)」にこのアンケート用紙のみを入れて、

令和6年11月15日(金)までにお近くの郵便ポストにご投函をお願いいたします。

LOVE SAIJO

まちへの愛が未来をつくる

別紙資料 コンパクト・プラス・ネットワークについて

1 コンパクト・プラス・ネットワークとは？

都市拠点・地域拠点



公共交通

人口減少・高齢化が進む中、人口の低密度化が進むことで、商業・医療・福祉・子育て・娯楽などの都市としての機能（都市機能）が低下し、居住における利便性の低下へつながることが懸念されます。

こうした状況に対応するため、都市機能の維持・強化の要となる拠点（都市拠点・地域拠点など）を設定し、商業・医療などの機能と人をゆるやかに誘導するとともに、地域公共交通と連携してコンパクトなまちづくりを進める取り組みを指します。

2 コンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりを実現するための計画

西条市では、コンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりを進めるため「西条市都市計画マスタープラン」と「西条市立地適正化計画」の策定に取り組んでいます。

本計画は、駅周辺などの拠点における都市機能の強化を図り、市全体の生活利便性と活力のベースアップにつなげる取り組みとなります。

拠点の利便性が高まることは、拠点内の居住者だけでなく、周囲に広がる郊外住宅の居住者にとってもその都市機能を楽しむことができることから、暮らしやすいまちづくりを実現するための計画となります。

